

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)					
							財政健全化等		歳入総額	18,727,656	19,084,716	実質収支比率	5.4	8.1					
									歳出総額	17,959,336	18,135,790	経常収支比率	91.5	91.8					
							財源超過		歳入歳出差引	768,320	948,926	(※1)	(99.4)	(100.9)					
市町村名		白井市		地方交付税種地	2-7		首都		翌年度に繰越すべき財源	176,716	46,509	標準財政規模	10,964,006	11,088,684					
							近畿		実質収支	591,604	902,417	財政力指数	0.88	0.88					
							中部		単年度収支	-310,813	-16,810	公債費負担比率	10.4	10.8					
人口		22年国調(人)	60,345 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th colspan="2">過疎</th> <th>積立金</th> <td>456,275</td> <td>525,700<th>健全化判断比率</th><td></td><td></td></td>	産業構造 (※5)			過疎		積立金	456,275	525,700 <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	健全化判断比率							
		17年国調(人)	53,005 <th colspan="2">山振</th> <th>繰上償還金</th> <td>-</td> <td>-</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振		繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-					
		増減率 (％)	13.8 <th colspan="2"></th> <th></th> <td></td> <td></td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>									連結実質赤字比率	-	-					
		27.01.01(人)	62,761 <th>区分</th> <th>22年国調</th> <th>17年国調</th> <th>低開発</th> <th>指数表選定</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>431,626</td> <td>535,416</td> <th>実質公債費比率</th> <td>2.9</td> <td>3.6</td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	指数表選定	積立金取崩し額	431,626	535,416	実質公債費比率	2.9	3.6					
		うち日本人(人)	62,055 <th rowspan="2">第1次</th> <td>1,148</td> <td>1,346</td> <td></td> <td></td> <th>実質単年度収支</th> <td>-286,164</td> <td>-26,526</td> <th>将来負担比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	第1次	1,148	1,346			実質単年度収支	-286,164	-26,526	将来負担比率	-	-					
		26.01.01(人)	62,518		4.1	5.1													
		うち日本人(人)	61,845 <th rowspan="2">第2次</th> <td>5,534</td> <td>5,557</td> <td></td> <td></td> <td>基準財政収入額</td> <td>7,153,709</td> <td>7,012,361</td> <th colspan="3" rowspan="8">資金不足比率 (※4)</th>	第2次	5,534	5,557			基準財政収入額	7,153,709	7,012,361	資金不足比率 (※4)							
		増減率 (％)	0.4		19.9	21.0			基準財政需要額	7,945,090	7,960,827								
		うち日本人(%)	0.3 <th rowspan="2">第3次</th> <td>21,193</td> <td>19,244</td> <td></td> <td></td> <td>標準税収入額等</td> <td>9,288,154</td> <td>9,133,272</td>	第3次	21,193	19,244			標準税収入額等	9,288,154	9,133,272								
					76.0	72.8			経常経費充当一般財源等	10,125,709	10,318,424								
面積 (km ²)		35.48							歳入一般財源等	13,538,782	14,751,685								
人口密度 (人/km ²)		1,701																	
世帯数 (世帯)		21,207																	
職員の状況																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		14,259,973	13,559,822							
	市区町村長	1	7,470 <th>一般職員</th> <td>365</td> <td>1,182,235</td> <td>3,239<th colspan="2">うち公的資金</th><td>11,771,327</td><td>11,043,875</td><th colspan="2"></th></td>		一般職員	365	1,182,235	3,239 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>11,771,327</td> <td>11,043,875</td> <th colspan="2"></th>	うち公的資金		11,771,327	11,043,875							
	副市区町村長	1	6,555 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>2,591,250</td><td>2,345,090</td><th colspan="2"></th></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>2,591,250</td> <td>2,345,090</td> <th colspan="2"></th>	債務負担行為額(支出予定額)		2,591,250	2,345,090							
	教育長	1	6,370 <th>うち技能労務職員</th> <td>13</td> <td>36,491</td> <td>2,807<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td><th colspan="2"></th></td>		うち技能労務職員	13	36,491	2,807 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2"></th>	収益事業収入		-	-							
	議会議長	1	3,900 <th>教育公務員</th> <td>6</td> <td>23,844</td> <td>3,974<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>1,489,495</td><td>1,489,483</td><th colspan="2"></th></td>		教育公務員	6	23,844	3,974 <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>1,489,495</td> <td>1,489,483</td> <th colspan="2"></th>	土地開発基金現在高		1,489,495	1,489,483							
	議会副議長	1	3,200 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>2,112,302</td><td>2,087,653</td><th colspan="2"></th></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>2,112,302</td> <td>2,087,653</td> <th colspan="2"></th>	積立金現在高	財政調整基金	2,112,302	2,087,653							
	議会議員	19	3,000 <th>合計</th> <td>371</td> <td>1,206,079</td> <td>3,251<th>減債基金</th><td>615</td><td>615</td><th colspan="2"></th></td>		合計	371	1,206,079	3,251 <th>減債基金</th> <td>615</td> <td>615</td> <th colspan="2"></th>		減債基金	615	615							
						ラスパイレス指数	100.1												
一般会計等の一覧																			
項番	会計名			事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)		
				項番	会計名		項番	会計名		項番	会計名		項番	組合等名		項番		団体名	
(1)	一般会計			(3)	白井市国民健康保険特別会計事業勘定		(6)	白井市水道事業会計		(7)	白井市下水道事業特別会計		(8)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)					
(2)	白井市学校給食共同調理場事業特別会計			(4)	白井市介護保険特別会計保険事業勘定								(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)					
				(5)	白井市後期高齢者医療特別会計								(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)					
													(11)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)					
													(12)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)					
													(13)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)					
													(14)	印旛郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)					
													(15)	印旛郡市広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業会計)					
													(16)	印西地区環境整備事業組合(一般会計)					
													(17)	印西地区環境整備事業組合(墓地事業特別会計)					

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	8,910,285	47.6	8,355,988	82.1	普通税	8,355,988	93.8		-
地方譲与税	136,715	0.7	136,715	1.3	法定普通税	8,355,988	93.8		-
利子割交付金	17,910	0.1	17,910	0.2	市町村民税	4,435,287	49.8		-
配当割交付金	79,093	0.4	79,093	0.8	個人均等割	105,001	1.2		-
株式等譲渡所得割交付金	55,626	0.3	55,626	0.5	所得割	3,806,696	42.7		-
地方消費税交付金	599,119	3.2	599,119	5.9	法人均等割	143,411	1.6		-
ゴルフ場利用税交付金	26,011	0.1	26,011	0.3	法人税割	380,179	4.3		-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,461,735	38.9		-
自動車取得税交付金	27,172	0.1	27,172	0.3	うち純固定資産税	3,411,015	38.3		-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	68,220	0.8		-
地方特例交付金	52,984	0.3	52,984	0.5	市町村たばこ税	390,746	4.4		-
地方交付税	921,758	4.9	791,381	7.8	鉱産税	-	-		-
普通交付税	791,381	4.2	791,381	7.8	特別土地保有税	-	-		-
特別交付税	128,188	0.7	-	-	法定外普通税	-	-		-
震災復興特別交付税	2,189	0.0	-	-	目的税	554,297	6.2		-
（一般財源計）	10,826,673	57.8	10,141,999	99.6	法定目的税	554,297	6.2		-
交通安全対策特別交付金	6,005	0.0	6,005	0.1	入湯税	-	-		-
分担金・負担金	437,784	2.3	1,891	0.0	事業所税	-	-		-
使用料	223,476	1.2	34,009	0.3	都市計画税	554,297	6.2		-
手数料	44,683	0.2	-	-	水利地益税等	-	-		-
国庫支出金	2,302,283	12.3	-	-	法定外目的税	-	-		-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-		-
都道府県支出金	940,114	5.0	-	-	合計	8,910,285	100.0		-
財産収入	4,109	0.0	-	-					
寄附金	8,580	0.0	-	-					
繰入金	582,070	3.1	-	-					
繰越金	948,926	5.1	-	-					
諸収入	482,282	2.6	35	0.0					
地方債	1,920,671	10.3	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	884,471	4.7	-	-					
歳入合計	18,727,656	100.0	10,183,939	100.0					

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）						
目的別歳出の状況（単位 千円・％）						
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等		
議会費	206,465	1.1	-	206,440		
総務費	2,429,415	13.5	60,411	2,224,203		
民生費	6,019,357	33.5	76,515	2,993,201		
衛生費	1,659,785	9.2	20,305	1,542,801		
労働費	-	-	-	-		
農林水産業費	130,892	0.7	3,441	120,409		
商工費	204,687	1.1	49,194	174,252		
土木費	1,013,228	5.6	471,695	759,197		
消防費	1,154,123	6.4	23,422	1,153,449		
教育費	3,728,724	20.8	1,570,922	2,183,850		
災害復旧費	10,496	0.1	-	10,496		
公債費	1,402,164	7.8	-	1,402,164		
諸支出費	-	-	-	-		
前年度繰上充用金	-	-	-	-		
歳出合計	17,959,336	100.0	2,275,905	12,770,462		
性質別歳出の状況（単位 千円・％）						
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
義務的経費計	8,549,254	47.6	5,604,617	5,225,881	47.2	
人件費	3,209,897	17.9	2,922,211	2,714,702	24.5	
うち職員給	2,233,644	12.4	1,955,129	-	-	
扶助費	3,937,193	21.9	1,280,242	1,109,015	10.0	
公債費	1,402,164	7.8	1,402,164	1,402,164	12.7	
内 訳	元利償還金	1,402,164	7.8	1,402,164	1,402,164	12.7
	うち元金	1,220,520	6.8	1,220,520	1,220,520	11.0
	うち利子	181,644	1.0	181,644	181,644	1.6
	一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	7,123,681	39.7	6,403,636	4,899,828	44.3	
物件費	2,863,079	15.9	2,380,296	1,868,259	16.9	
維持補修費	57,138	0.3	57,138	57,138	0.5	
補助費等	2,344,844	13.1	2,311,530	1,919,559	17.3	
うち一部事務組合負担金	1,890,919	10.5	1,890,919	1,688,952	15.3	
繰出金	1,308,881	7.3	1,119,620	1,051,304	9.5	
積立金	465,137	2.6	454,950	-	-	
投資・出資金・貸付金	84,602	0.5	80,102	3,568	0.0	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
投資的経費計	2,286,401	12.7	762,209	-	-	
うち人件費	198,569	1.1	198,569	-	-	
普通建設事業費	2,275,905	12.7	751,713	-	-	
うち補助	883,082	4.9	219,937	-	-	
うち単独	1,391,701	7.7	531,054	-	-	
災害復旧事業費	10,496	0.1	10,496	-	-	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	
歳出合計	17,959,336	100.0	12,770,462	-	-	

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	18,445	17,684	761	584	582	14,260	
2 白井市学校給食共同調理場事業特別会計	527	520	7	7	226	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	18,747	17,978	768	592		14,260	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純増益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 白井市国民健康保険特別会計事業勘定	6,538	6,229	309	309	281	-	-	-	
2 白井市介護保険特別会計保険事業勘定	2,766	2,683	83	83	420	-	-	-	
3 白井市後期高齢者医療特別会計	452	450	2	2	63	-	-	-	
4 白井市水道事業会計	440	412	28	650	57	463	295	-	法適用企業
5 白井市下水道事業特別会計	1,037	934	103	103	78	2,427	439	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,147		2,890	734		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉縣市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
2 千葉縣市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
3 千葉縣市町村総合事務組合(千葉県自治研センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
4 千葉縣市町村総合事務組合(千葉県市町村交通安全共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
5 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
6 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
7 印旛都市広域市町村圏事務組合(一般会計)	291	268	23	23	-	-	-	
8 印旛都市広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業会計)	3,579	2,973	606	1,734	2	3,290	2	
9 印西地区環境整備事業組合(一般会計)	2,571	2,403	168	168	0	319	118	
10 印西地区環境整備事業組合(墓地事業特別会計)	191	182	9	9	0	190	76	
11 柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合(一般会計)	3,489	3,346	143	114	0	416	1	
12 印旛利根川水防事務組合(一般会計)	13	12	1	0	1	-	-	
13 印西地区消防組合(一般会計)	2,856	2,787	69	35	0	1,496	617	
計一部事務組合等				18,453		5,711	814	

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	1,460,586	1,591,814	1,402,164	14.2	将来負担額	13,481,898	13,559,823	14,259,973	144.4
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	一般会計等に係る地方債の現在高	1,497,460	1,342,814	1,183,395	12.0
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	債務負担行為に基づく支出予定額	698,820	646,995	734,277	7.4
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	64,160	67,020	79,860	0.8	公営企業債等繰入見込額	1,496,607	624,367	521,575	5.3
組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	433,551	335,545	172,806	1.7	組合等負担等見込額	1,032,983	950,963	1,087,886	11.0
債務負担行為に基づき支出額（公債費に準ずるもの）	154,690	154,697	154,042	1.6	退職手当負担見込額	10	-	954	0.0
一時借入金の利子	-	-	-	-	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
合計	2,112,987	2,149,076	1,808,872	-	連結実質赤字額	-	-	-	-
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
PFI事業に係るもの	-	-	-	-	合計	(E) 18,207,778	17,124,962	17,788,060	-
いわゆる五省協定等に係るもの	154,583	154,697	154,042	1.6	充当可能財源等	3,913,402	3,953,604	3,811,647	38.6
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能特定歳入	3,669,119	3,213,220	3,189,877	32.3
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	11,891,939	12,425,230	14,200,601	143.8
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	合計	(F) 19,474,460	19,592,054	21,202,125	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	107	-	-	-	健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	実質赤字比率	-	13.19	20.00	-
利子補給に係るもの	-	-	-	-	連結実質赤字比率	-	18.19	30.00	-
特定財源の額	(B) 549,556	551,039	554,297	-	実質公債費比率	2.9	25.0	35.0	-
標準財政規模	(C) 11,071,802	11,088,684	10,964,006	-	将来負担比率	-	350.0	-	-
算入公債費等の額	(D) 1,230,344	1,214,949	1,086,095	-	健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準	-
（単年度）	(C)-(D) 9,841,458	9,873,735	9,877,911	-	実質赤字比率	-	13.19	20.00	-
（3年平均）	4.4	3.6	2.9	-	連結実質赤字比率	-	18.19	30.00	-
実質公債費比率	4.4	3.6	2.9	-	実質公債費比率	2.9	25.0	35.0	-
((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100	4.4	3.6	2.9	-	将来負担比率	-	350.0	-	-

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	62,761	人(H27.1.1現在)	実	赤	比	率	-	%
うち日本人	62,055	人(H27.1.1現在)	連結実	質	赤	字	比	率
面積	35.48	km ²	実	質	公	債	費	比
歳入総額	18,727,656	千円	将	来	負	担	比	率
歳出総額	17,959,336	千円	市	町	村	類	型	
実質収支	591,604	千円	(	年	度	毎	)	
標準財政規模	10,964,006	千円	H22	Ⅱ-1	H23	Ⅱ-1	H24	Ⅱ-1
地方債現在高	14,259,973	千円	H25	Ⅱ-1	H26	Ⅱ-1		



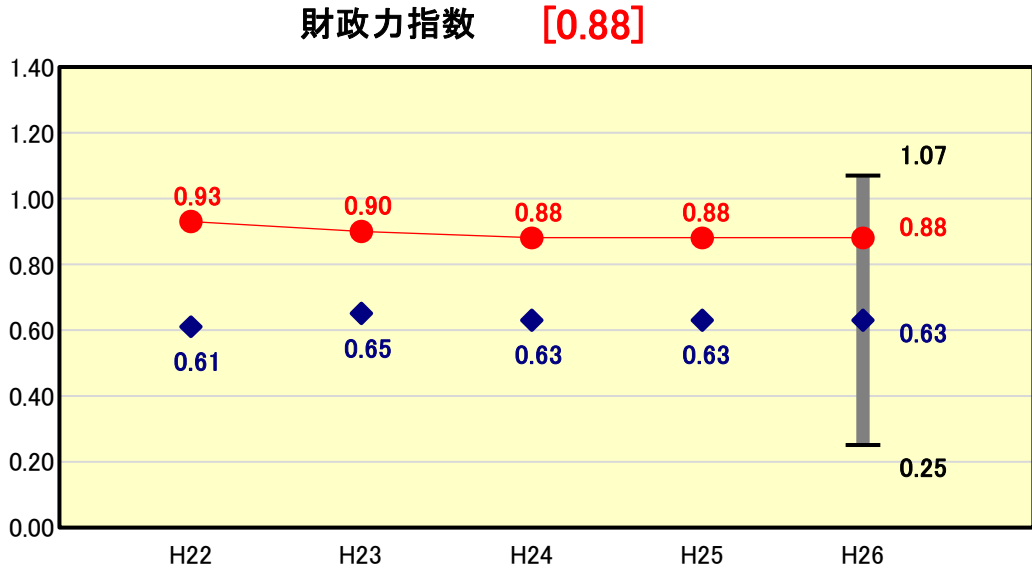
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

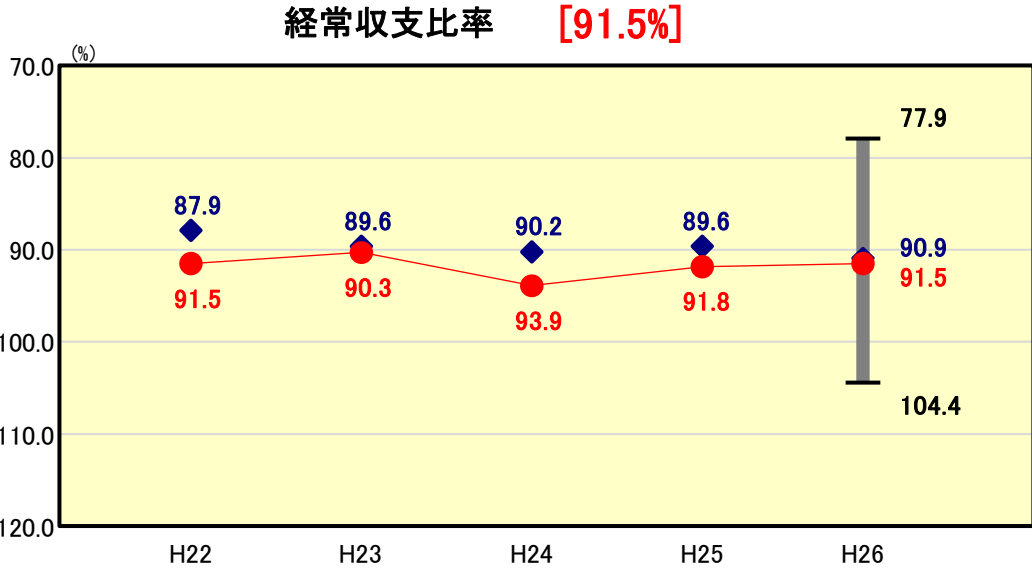


類似団体内順位 27/198 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

財政力指数は3カ年の平均値であり、平成23年度と比較すると、固定資産税の家屋が評価替えなどにより減となったものの、公債費の減などにより経常経費も減となり、財政力指数は前年度と同じ値となった。

財政構造の弾力性



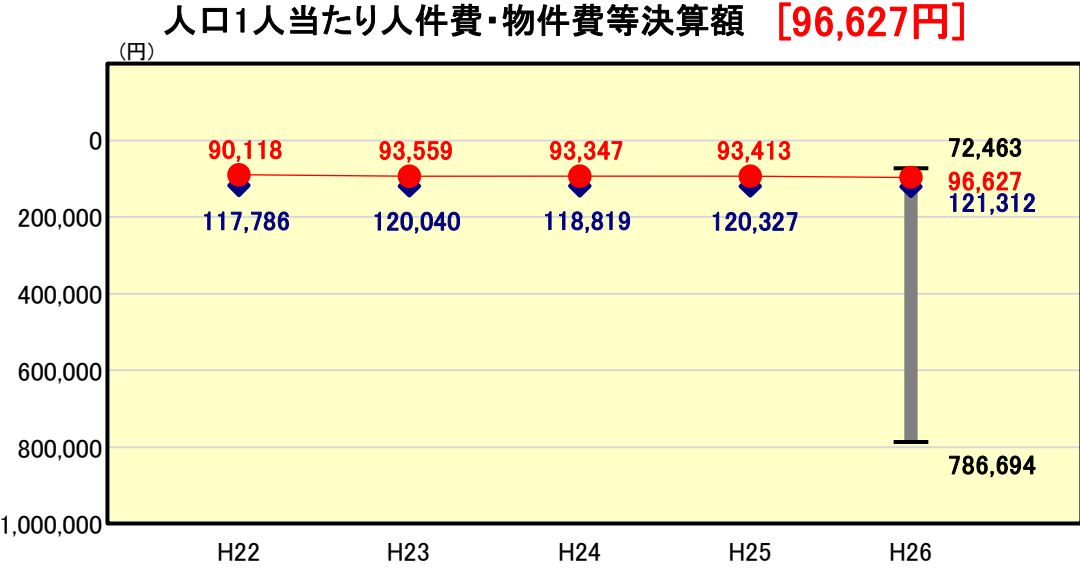
類似団体内順位 109/198 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

地方交付税の減により、経常的な一般財源が減となったが、印西地区環境整備事業組合が平成25年度に実施した公債費の繰上償還に伴い、平成26年度の組合への負担金が減となり、補助費が1.3ポイント減となったことから、平成26年度は前年度に比べ、0.3ポイント減の91.5%となった。

今後、高齢化に伴う退職者の増加などにより個人所得が減少するなど市税収入の落ち込みが予測されることから、市債権の徴収体制を強化するなど徴収率の向上に努め、財政の健全化を図る。

人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 49/198 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

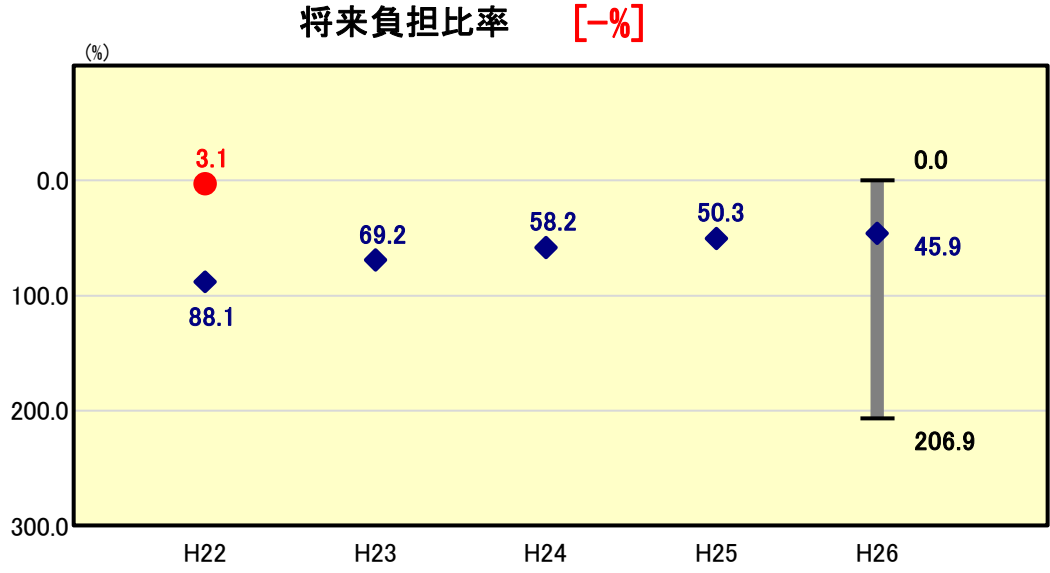
ゴミ処理業務や消防業務などを一部事務組合で行っていること、及び定員管理指針に基づき職員数の抑制を図ってきたことから、類似団体平均を下回っている。

今後は、高齢化などにより個人市民税の増収が見込めないことから、定員管理指針に基づいて多様な任用方法等を行うなど人件費や物件費の抑制に努める。

また、一部事務組合に対しても経費節減を求め、負担金の抑制に努める。

平成26年度 千葉県白井市

将来負担の状況



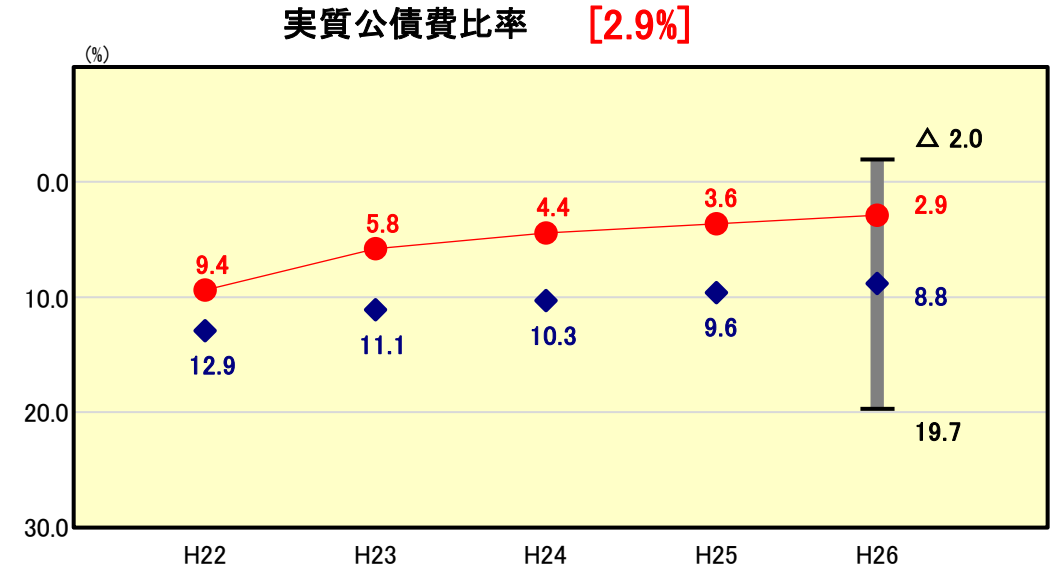
類似団体内順位 1/198 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

千葉ニュータウン事業に係る基盤整備に伴う債務負担行為について、平成20・21年度に繰上償還を実施したこと、また、地方債の借入について、普通交付税の基準財政需要額に算入される地方債を中心に借り入れたことから、充当可能財源等が大幅に増加し、平成26年度は将来負担見込額に充当可能な額が将来負担額を上回ったことから未表示となっている。

今後も、公共施設(庁舎)の耐震・老朽化改修などが見込まれるため、地方債の借入や債務負担行為の設定については十分精査し、将来債務の抑制に努める。

公債費負担の状況



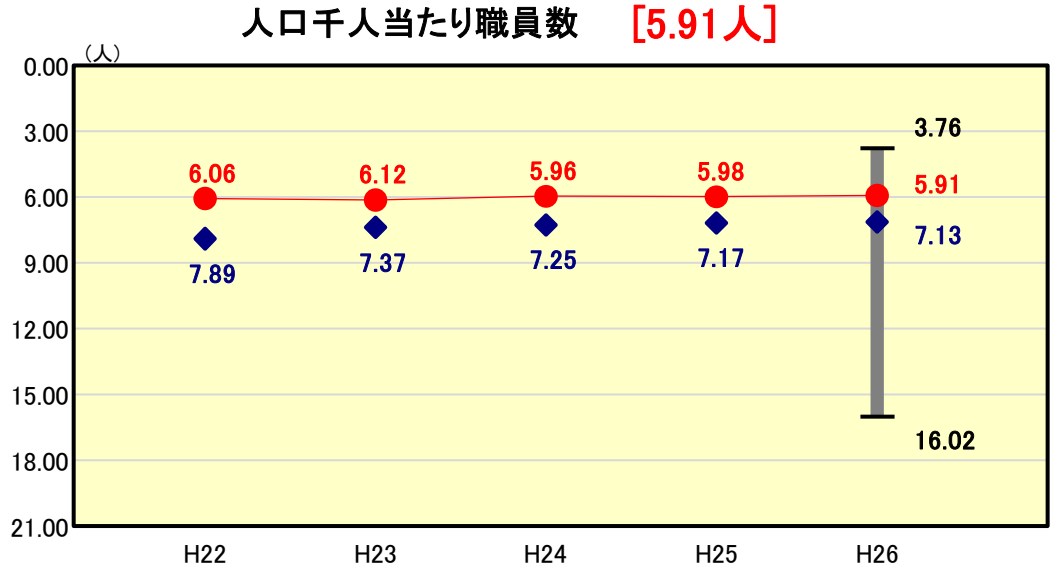
類似団体内順位 21/198 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

実質公債費率は3カ年の平均値であり、平成23年度と比較すると、平成19年度から平成21年度にかけて、公的資金補償金免除繰上償還及び債務負担行為の繰上償還を実施したことなどにより、元利償還金及び債務負担行為に基づく支出額が減少し、平成26年度は前年度に比べ、0.7ポイント減の2.9%となった。

今後は庁舎・学校の耐震改修や一部事務組合の施設の更新などにより、公債費の増加が見込まれることから、地方債の借入や債務負担行為の設定については十分精査し、将来債務の抑制に努める。

定員管理の状況



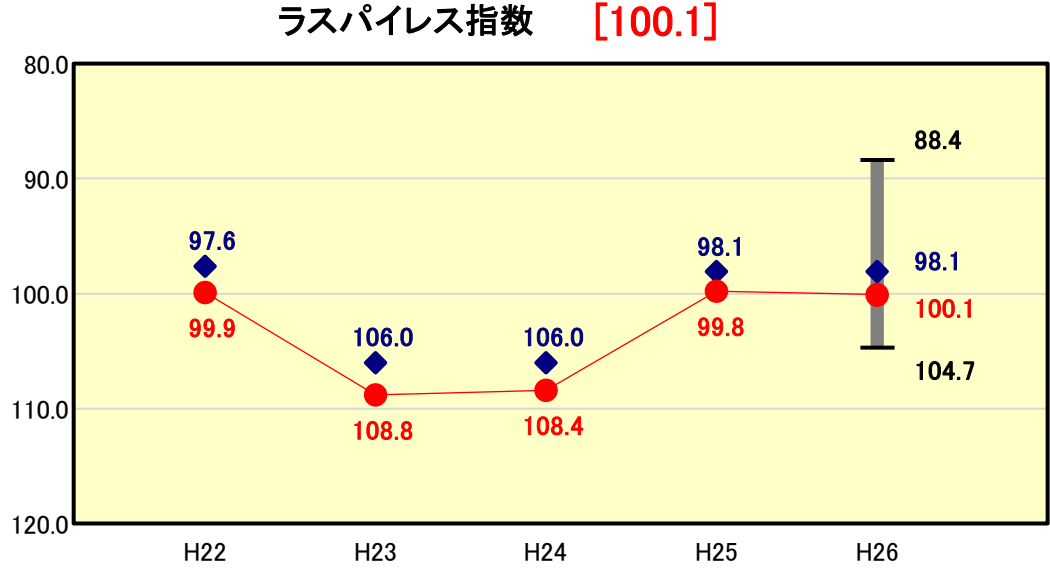
類似団体内順位 58/198 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

人口の増加により、行政需要が増加している状況下において、行政改革実施計画や定員管理指針に基づいて公共施設の指定管理者制度の導入などを着実に進めてきたことから、また、ゴミ処理業務や消防業務など一部事務組合で行っていることから、類似団体平均を下回っている。

今後は、千葉ニュータウン事業に伴う行政需要に対応するため昭和50年代に大量に採用した職員が定年期を向え退職することから、定員管理指針に基づいて多様な任用方法等を行うなど、更なる適正な定数管理に努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 153/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

千葉ニュータウン事業に伴う行政需要に対応するため昭和50年代に職員を大量採用したことから、職員の年齢構成・経験年数等に偏りが生じていることにより、職員構成を学歴別、経験年数別に区分し、加重平均するラスパイレス指数は、類似団体平均を上回っている。

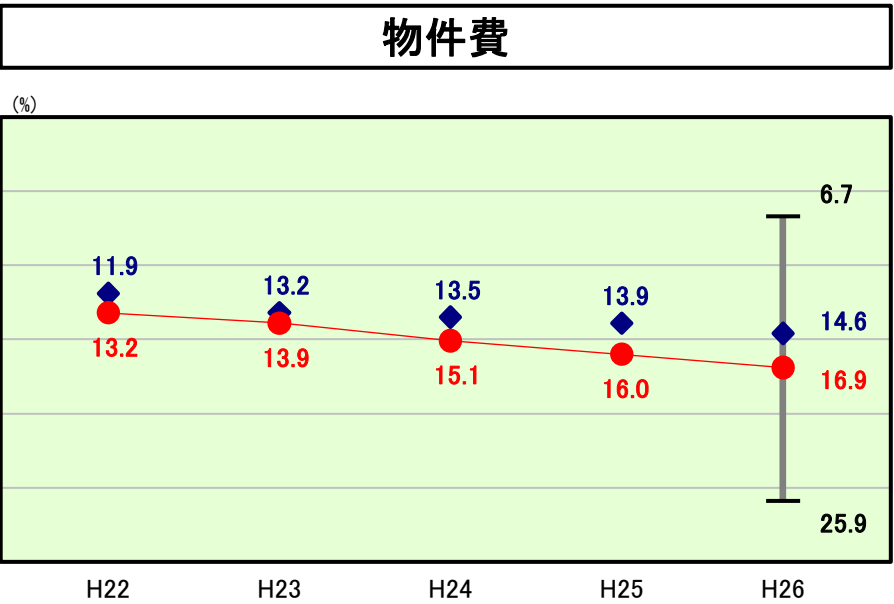
今後も、定員管理指針に基づいて多様な任用方法等を行うなど、定数管理、給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人	口	62,761	人(H27.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
うち	日 本	62,055	人(H27.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率			
面	積	35.48	km ²	実	質	公	債	費	比	率	2.9 %			
歳 入	総 額	18,727,656	千円	将	来	負	担	比	率	-	%			
歳 出	総 額	17,959,336	千円	市	町	村	類	型	H22	Ⅱ-1	H23	Ⅱ-1	H24	Ⅱ-1
実 質	収 支	591,604	千円	(	年	度	毎	)	H25	Ⅱ-1	H26	Ⅱ-1		
標 準	財 政 規 模	10,964,006	千円											

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



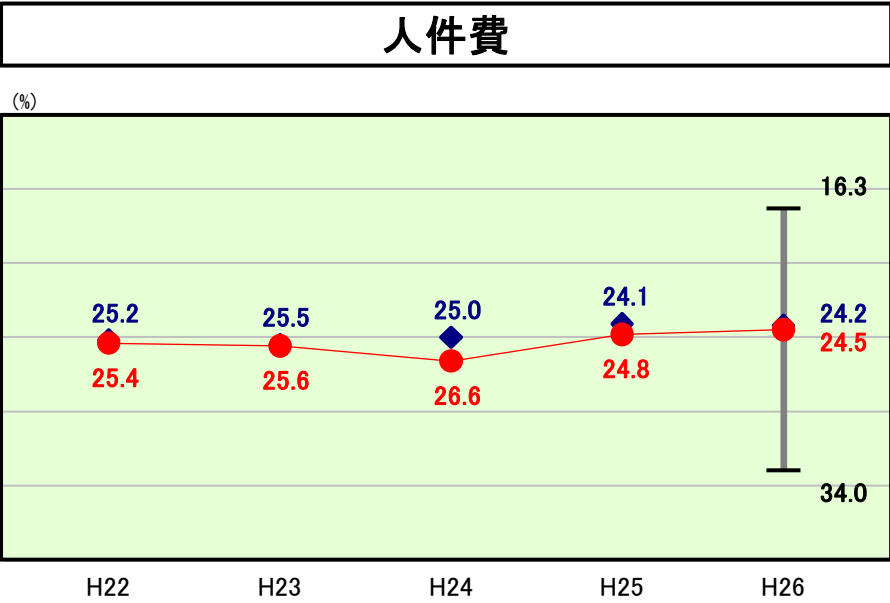
類似団体内順位
155/198

全国平均
14.3

千葉県平均
18.1

物件費の分析欄

庁内全体におけるシステム使用料の増、総合公園開設による公園緑地等管理委託料の増、庁舎整備基本計画・基本設計業務委託料の増により、物件費が増加したことから、類似団体平均を上回っている。
今後は、委託料や賃金を精査し、物件費の抑制に努める。



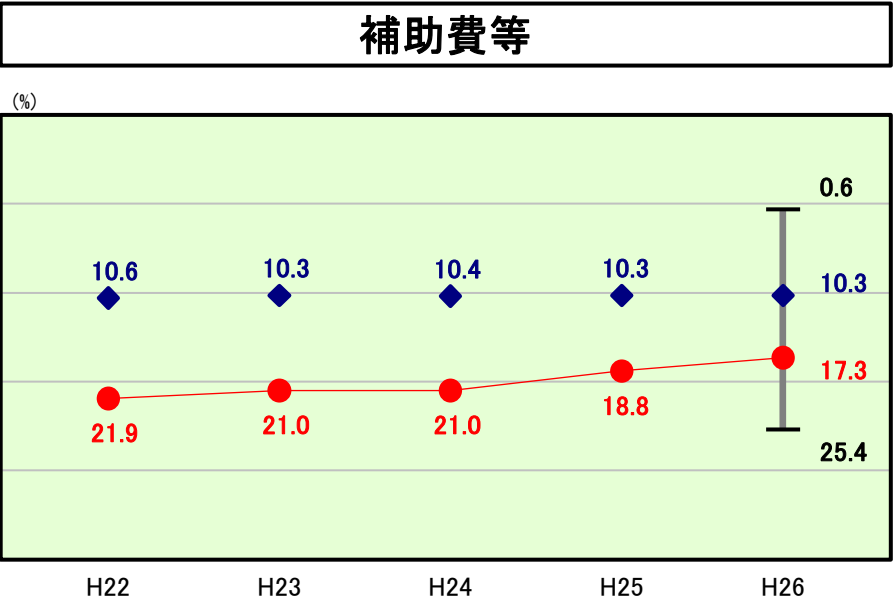
類似団体内順位
111/198

全国平均
23.8

千葉県平均
27.2

人件費の分析欄

人口の増加や国の制度改正などによる行政需要の増大に対応するため、職員を採用したことから、人件費が増加し、類似団体平均を0.3ポイント上回っている。
今後、千葉ニュータウン事業に伴う行政需要に対応するため昭和50年代に大量に採用した職員が定年期を向え退職することから、職員を補充する必要があるが、定員管理指針に基づいて多様な任用方法等を行うことや民間への業務委託の検討など、更なる適正な定数管理、人件費抑制に努める。



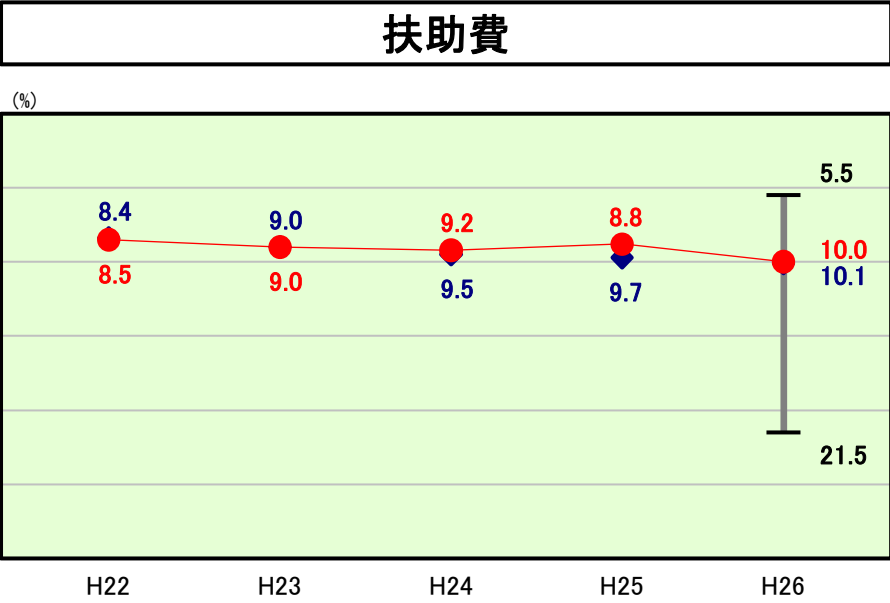
類似団体内順位
186/198

全国平均
10.1

千葉県平均
7.7

補助費等の分析欄

ごみ処理業務や消防業務などを一部事務組合で行っていることから、類似団体平均を大幅に上回っている。
今後も、一部事務組合に対し経費節減を求め、負担金の抑制に努める。



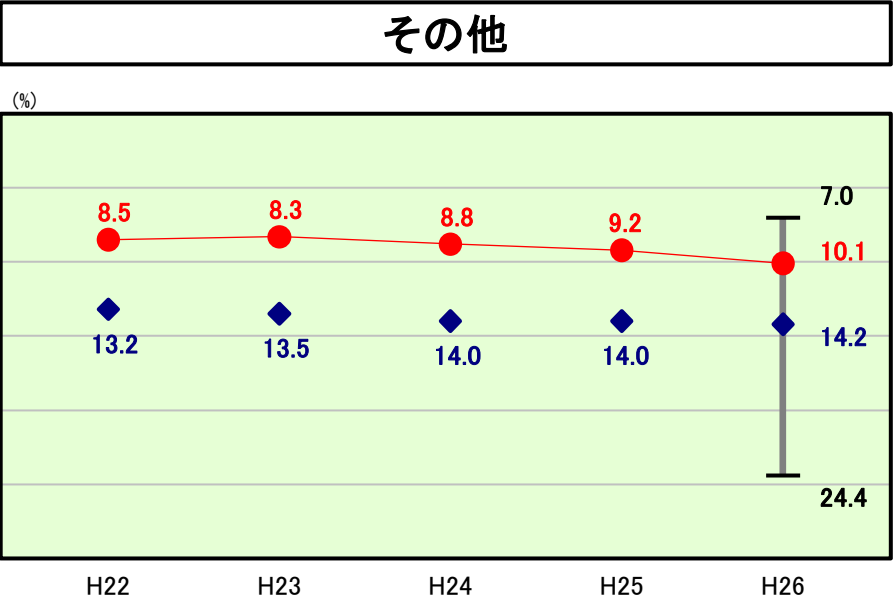
類似団体内順位
95/198

全国平均
11.7

千葉県平均
11.7

扶助費の分析欄

障害福祉サービスが増加傾向にあることや臨時福祉給付金などにより、類似団体平均に近づいている。
今後も、近年の年少人口の増加や高齢化などにより扶助費の増加が見込まれることから、市単独扶助費の更なる見直しを行うなど抑制に努める。



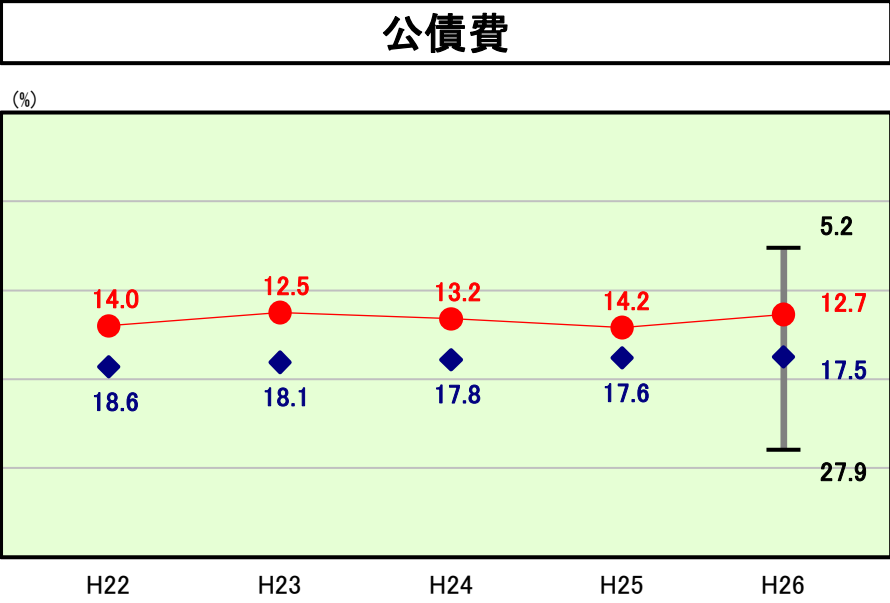
類似団体内順位
15/198

全国平均
13.2

千葉県平均
12.0

その他の分析欄

特別会計への繰出金のうち、特に下水道事業特別会計への繰出金が少額であることから類似団体平均を下回っている。
主な要因は、市の下水道事業区域の大半が、千葉ニュータウン事業や土地区画整理事業などの市街地開発事業区域で、開発者負担により施設整備が行われていることによる。
今後も、各特別会計の事業運営は、独立採算の原則に基づいた経営方針により、財源補てん的な繰出金の抑制に努める。



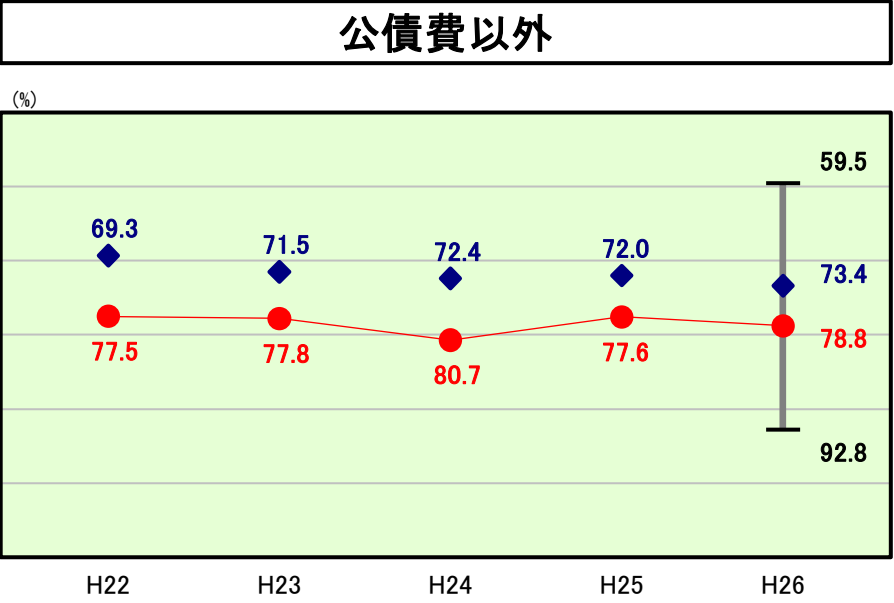
類似団体内順位
38/198

全国平均
18.2

千葉県平均
15.7

公債費の分析欄

平成19年度から平成21年度にかけて実施した、公的資金補償金免除繰上償還及び債務負担行為の繰上償還や、市施設の建設事業に係る償還終了により前年度を下回った。今後は、公共施設(庁舎など)の耐震・老朽化改修などが見込まれるため、地方債の借入については十分精査し、将来債務の抑制に努める。



類似団体内順位
156/198

全国平均
73.1

千葉県平均
76.7

公債費以外の分析欄

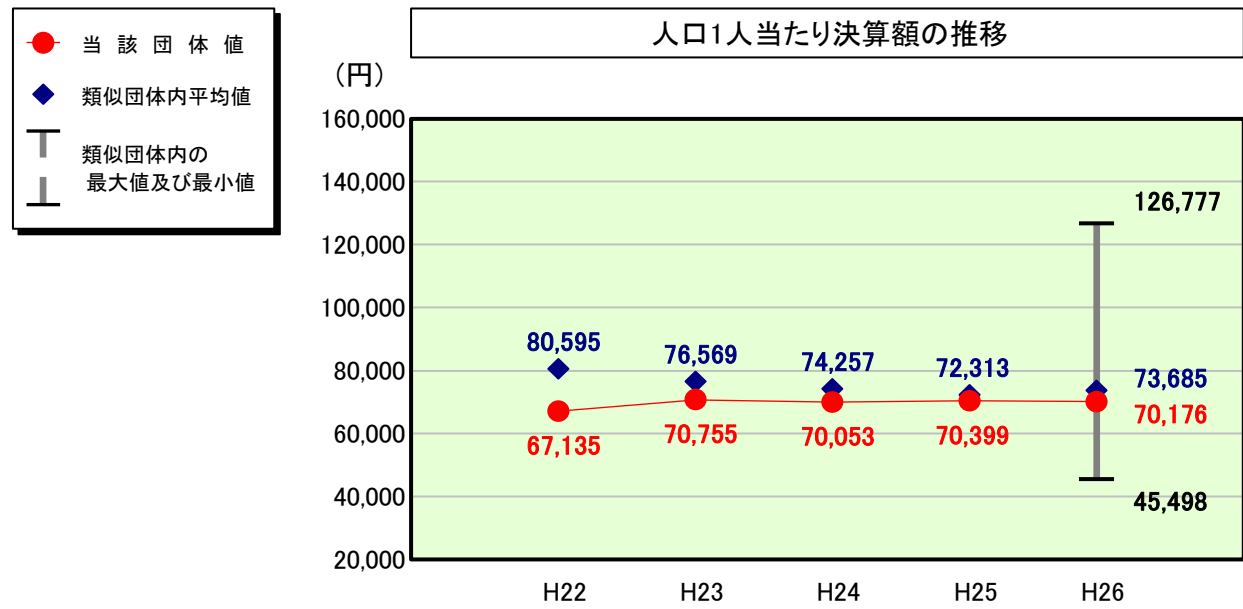
ごみ処理業務や消防業務などを一部事務組合で行っていることから、一部事務組合に対する負担金(補助費等)が多額であるため、類似団体平均を上回っている。
今後も、一部事務組合に対し経費節減を求め、負担金の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県白井市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



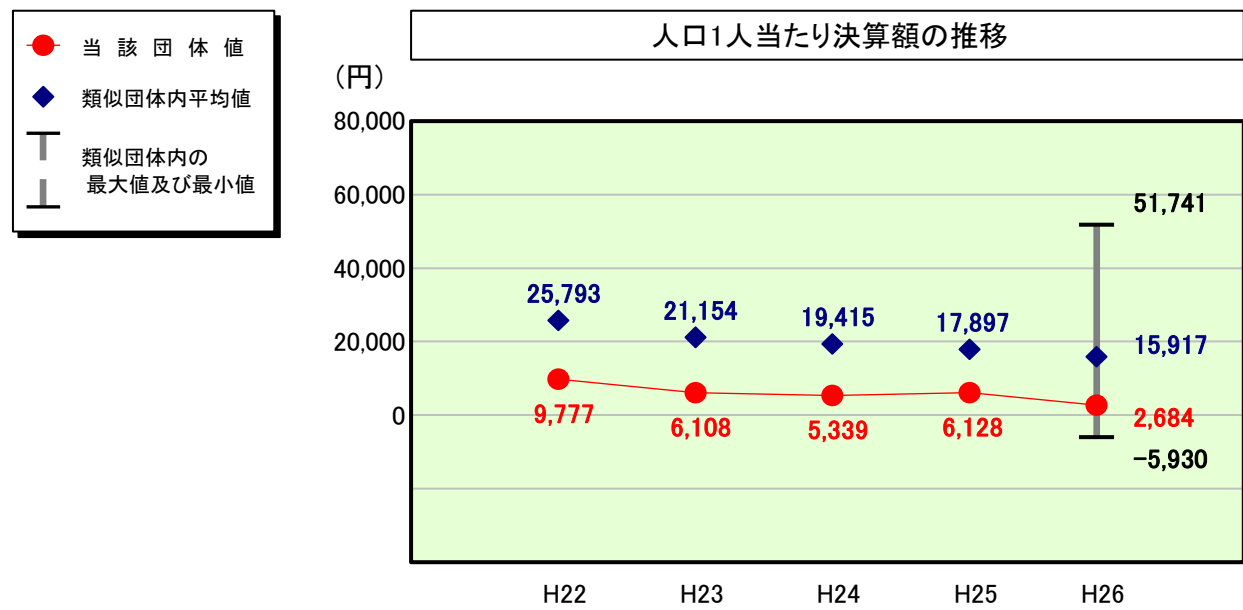
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,209,897	51,145	65,114	▲ 21.5
賃金 (物件費)	186,178	2,966	4,538	▲ 34.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	894,882	14,259	5,513	158.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	953	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	5,494	88	2	4,300.0
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	173,569	2,766	2,887	▲ 4.2
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	198,569	3,164	1,642	92.7
▲退職金	▲ 264,266	▲ 4,211	▲ 6,965	▲ 39.5
合計	4,404,323	70,176	73,685	▲ 4.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.91	7.13	▲ 1.22
ラスパイレス指数	100.1	98.1	2.0

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

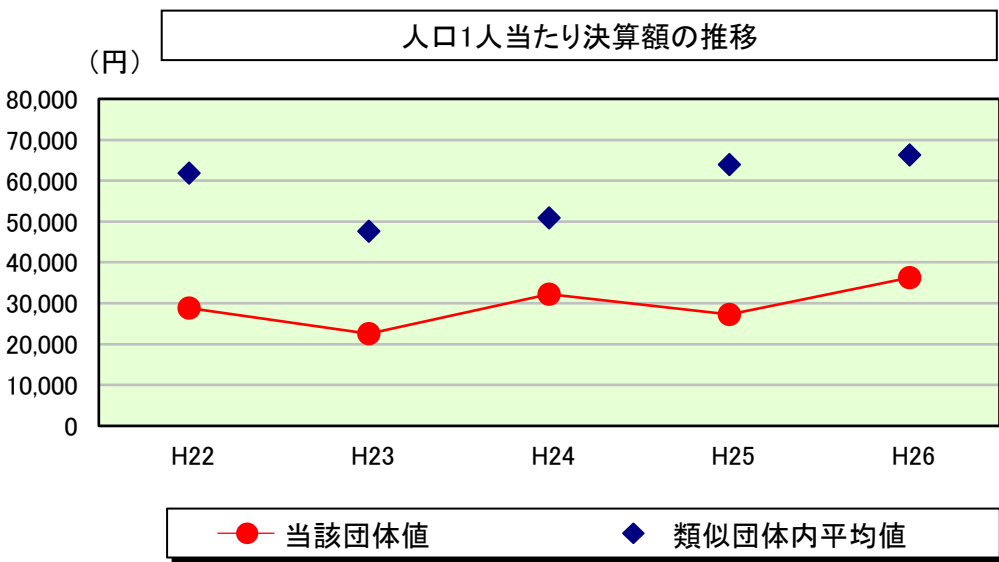


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,402,164	22,341	43,359	▲ 48.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	79,860	1,272	11,806	▲ 89.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	172,806	2,753	1,910	44.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	154,042	2,454	1,129	117.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 554,297	▲ 8,832	▲ 5,126	72.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,086,095	▲ 17,305	▲ 37,205	▲ 53.5
合計	168,480	2,684	15,917	▲ 83.1

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

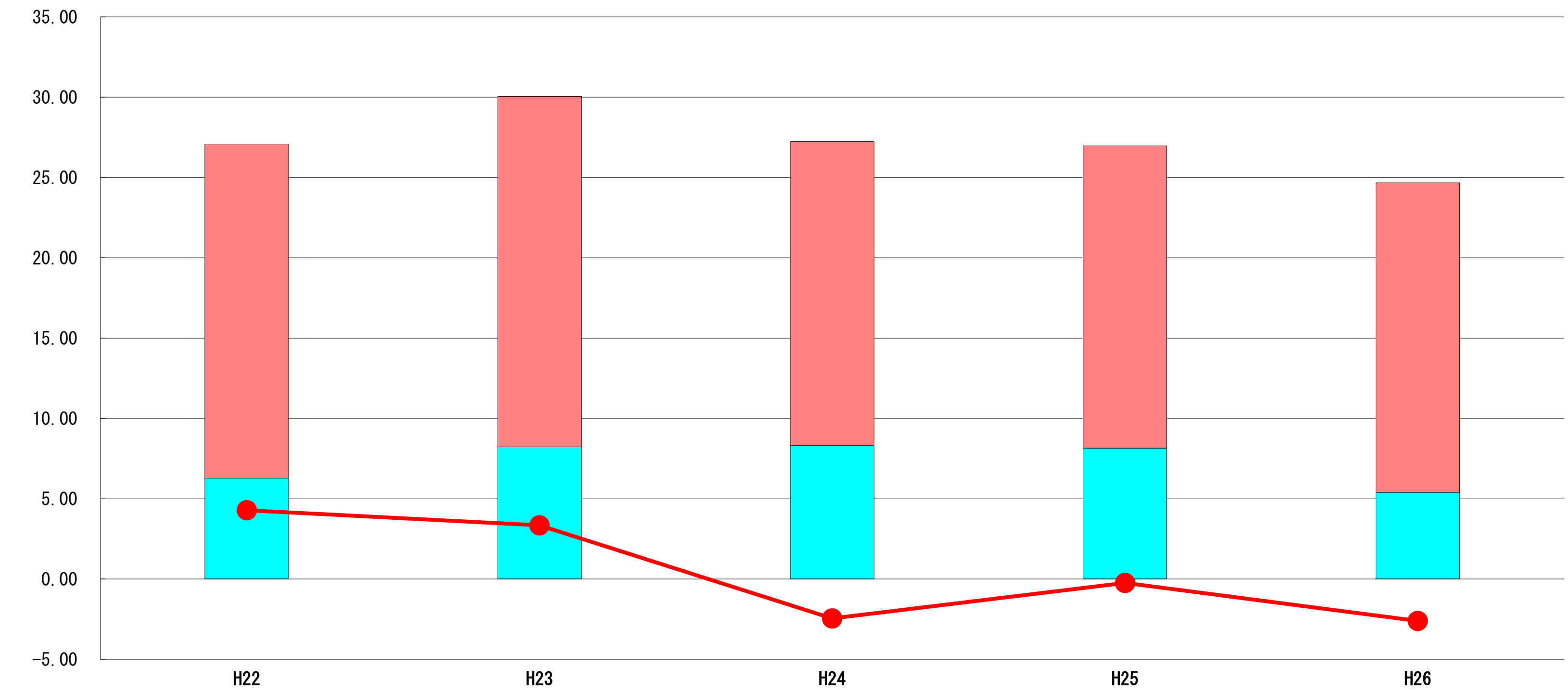
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	1,763,455	28,875	▲ 21.4	61,882	6.7	▲ 28.1
うち単独分	714,423	11,698	▲ 37.4	32,175	0.0	▲ 37.4
H23	1,381,695	22,556	▲ 21.9	47,569	▲ 23.1	1.2
うち単独分	702,795	11,473	▲ 1.9	26,255	▲ 18.4	16.5
H24	2,010,512	32,227	42.9	50,880	7.0	35.9
うち単独分	797,415	12,782	11.4	26,879	2.4	9.0
H25	1,705,594	27,282	▲ 15.3	63,956	25.7	▲ 41.0
うち単独分	864,637	13,830	8.2	29,239	8.8	▲ 0.6
H26	2,275,905	36,263	32.9	66,255	3.6	29.3
うち単独分	1,391,701	22,175	60.3	31,822	8.8	51.5
過去5年間平均	1,827,432	29,441	3.4	58,108	4.0	▲ 0.6
うち単独分	894,194	14,392	8.1	29,274	0.3	7.8

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県白井市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）						
区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		20.80	21.82	18.94	18.83	19.27
実質収支額		6.28	8.22	8.30	8.14	5.40
実質単年度収支		4.28	3.34	▲ 2.45	▲ 0.24	▲ 2.61

分析欄

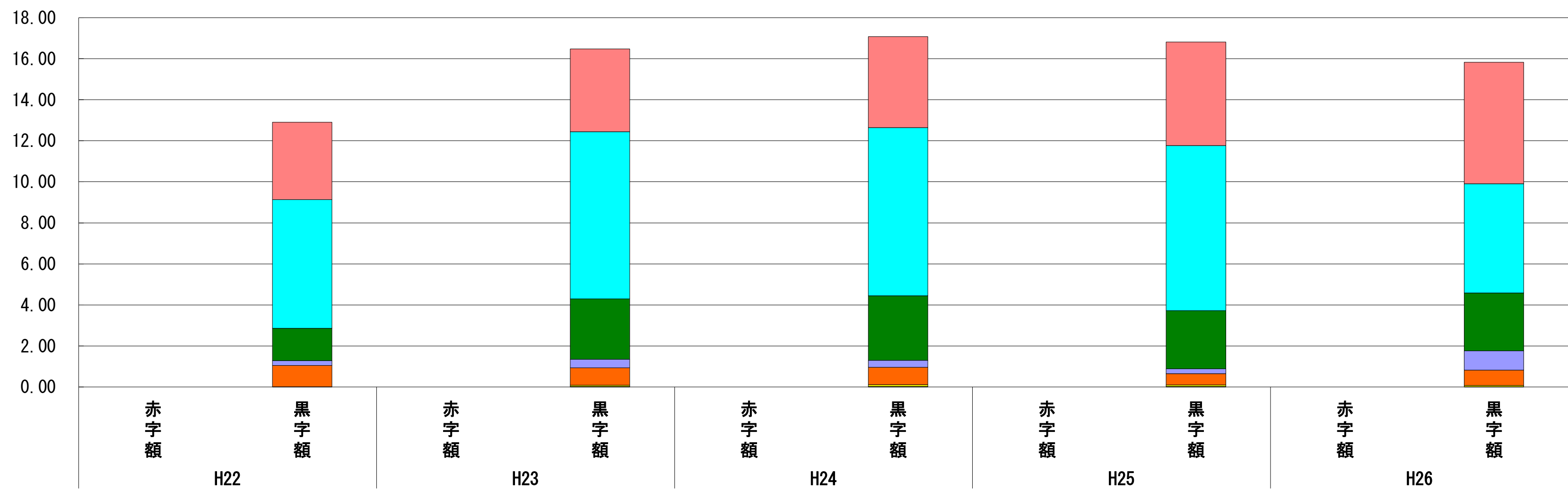
地方交付税の減などにより歳入が減少したことに加え、平成26年度東日本大震災復興特別会計当初予算に係る学校環境改善交付金を活用するために平成27年度建築計画に計上している事業を前倒したため、翌年度に繰り越した額が増加することにより、実質収支が減少した。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県白井市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H22	H23	H24	H25	H26
会計						
白井市水道事業会計		3.77	4.04	4.44	5.05	5.92
一般会計		6.27	8.15	8.20	8.05	5.33
白井市国民健康保険特別会計事業勘定		1.58	2.94	3.14	2.84	2.82
白井市下水道事業特別会計		0.23	0.42	0.34	0.23	0.94
白井市介護保険特別会計保険事業勘定		1.04	0.85	0.85	0.55	0.75
白井市学校給食共同調理場事業特別会計		0.00	0.06	0.09	0.08	0.06
白井市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.02	0.02	0.02	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	-	-	-	-

分析欄

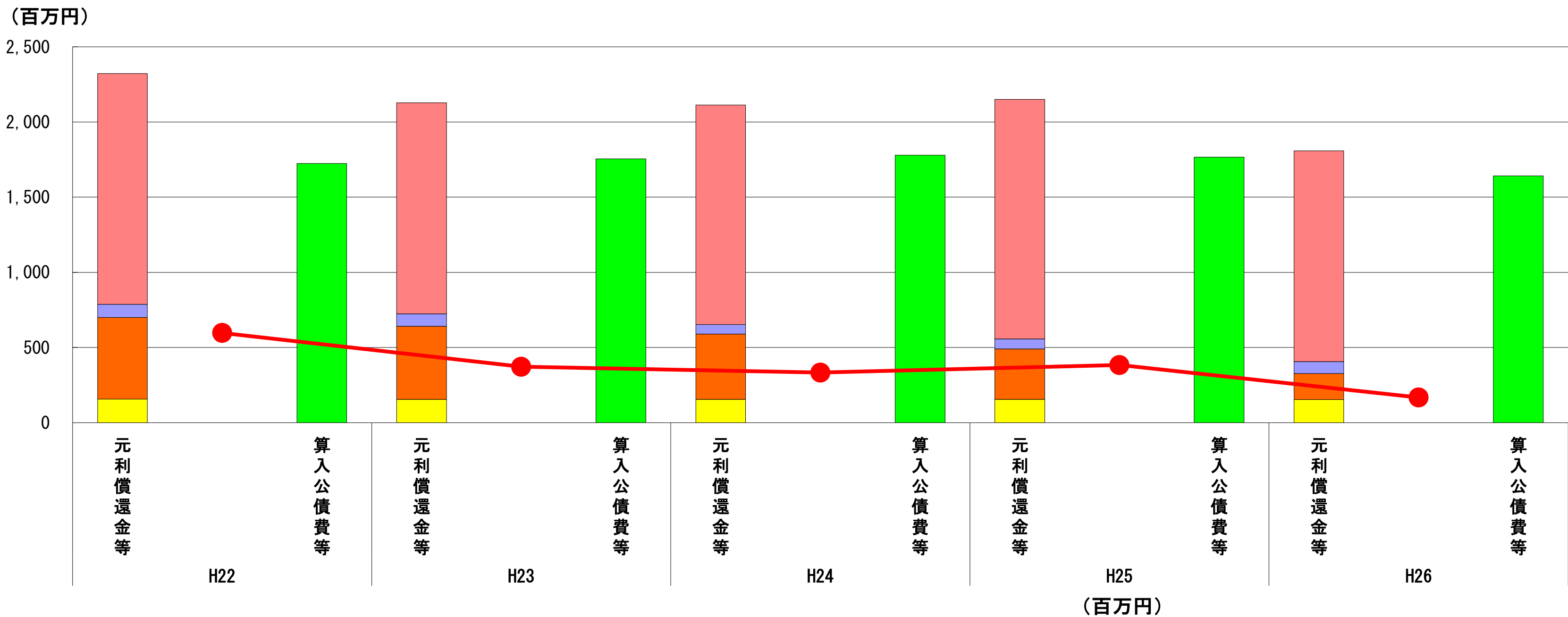
連結実質赤字比率は、すべての会計において黒字であることから表示されない。
主な黒字の構成は、一般会計及び水道会計の占める割合が高く、その他の特別会計を含めて、ほぼ同じ水準で推移している。
平成26年度の連結実質黒字比率は、平成25年度の17.13%に比べ、0.99ポイント減の15.83%となっている。
主な要因は、一般会計の歳入において地方交付税、地方消費税交付金及び地方税がそれぞれ増加したことによる。
今後は、一層の歳入の確保と歳出の削減に努め、黒字額の確保に努めるとともに、将来の大規模事業に対応するため、財政調整基金などへの基金に積み立てを行い、適正な財政運営に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県白井市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,535	1,404	1,461	1,592	1,402
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		87	83	64	67	80
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		543	485	434	336	173
	債務負担行為に基づく支出額		157	156	155	155	154
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,725	1,755	1,780	1,766	1,641
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		597	373	334	384	168

分析欄

平成19年度から平成21年度にかけて、公的資金補償金免除繰上償還及び債務負担行為の繰上償還を実施したことなどにより、元利償還金及び債務負担行為に基づく支出額が減少した。また、一部事務組合が起こした地方債の元利償還金に対する負担金額が、平成23年度から26年度にかけて減少した。

今後は庁舎の耐震改修や一部事務組合の施設の更新などにより、公債費の増加が見込まれることから、地方債の借入や債務負担行為の設定については十分精査し、将来債務の抑制に努める。

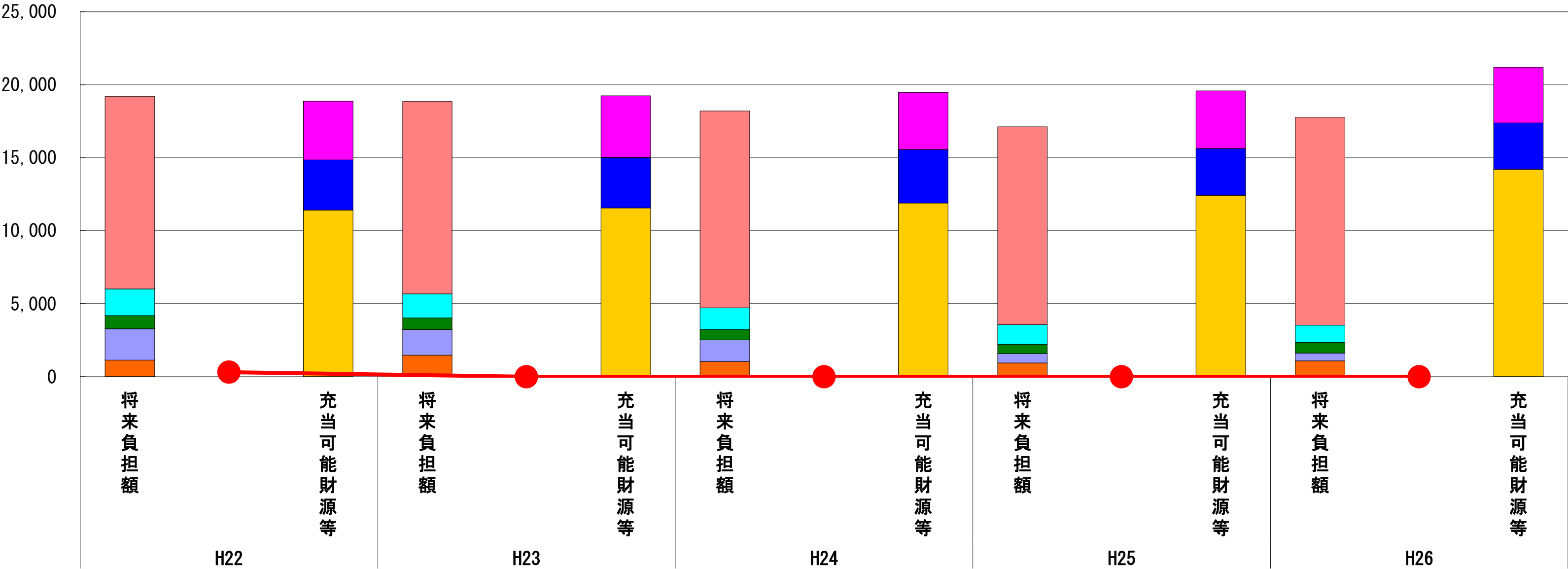
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県白井市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		13,185	13,192	13,482	13,560	14,260
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,815	1,657	1,497	1,343	1,183
	公営企業債等繰入見込額		909	781	699	647	734
	組合等負担等見込額		2,149	1,767	1,497	624	522
	退職手当負担見込額		1,131	1,472	1,033	951	1,088
	設立法人等の負債額等負担見込額		0	-	0	-	1
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		4,022	4,234	3,913	3,954	3,812
	充当可能特定歳入		3,434	3,451	3,669	3,213	3,190
	基準財政需要額算入見込額		11,423	11,564	11,892	12,425	14,201
(A) - (B)		将来負担比率の分子	309	▲ 380	▲ 1,267	▲ 2,467	▲ 3,414

分析欄

平成19年度から平成21年度にかけて、公的資金補償金免除繰上償還及び債務負担行為の繰上償還を実施したことや、一部事務組合の公債費の償還が進んだことにより、将来負担額が減少したこと、また、普通交付税の基準財政需要額に算入される地方債を中心に借り入れたことにより、基準財政需要額算入見込額が増加したことから、充当可能財源等が大幅に増加した。

今後は、庁舎の耐震改修や一部事務組合の施設の更新などによる公債費の増加が見込まれることから、地方債の借入や債務負担行為の設定については十分精査し、将来債務の抑制に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・％)	平成25年度(千円・％)

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	6,154,482	37.4	5,882,355	69.9	普通税	5,882,355	95.6	27,503	
地方譲与税	136,854	0.8	136,854	1.6	法定普通税	5,882,355	95.6	27,503	
利子割交付金	11,268	0.1	11,268	0.1	市町村民税	2,877,921	46.8	27,503	
配当割交付金	49,417	0.3	49,417	0.6	個人均等割	87,399	1.4	-	
株式等譲渡所得割交付金	34,529	0.2	34,529	0.4	所得割	2,377,243	38.6	-	
地方消費税交付金	516,858	3.1	516,858	6.1	法人均等割	128,336	2.1	-	
ゴルフ場利用税交付金	14,331	0.1	14,331	0.2	法人税割	284,943	4.6	27,503	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,363,376	38.4	-	
自動車取得税交付金	27,146	0.2	27,146	0.3	うち純固定資産税	2,363,345	38.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	98,617	1.6	-	
地方特例交付金	24,622	0.1	24,622	0.3	市町村たばこ税	542,441	8.8	-	
地方交付税	1,731,169	10.5	1,540,975	18.3	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,540,975	9.4	1,540,975	18.3	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	116,637	0.7	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	73,557	0.4	-	-	目的税	272,127	4.4	-	
（一般財源計）	8,700,676	52.8	8,238,355	97.9	法定目的税	272,127	4.4	-	
交通安全対策特別交付金	6,636	0.0	6,636	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	118,665	0.7	1,829	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	92,250	0.6	33,521	0.4	都市計画税	272,127	4.4	-	
手数料	133,612	0.8	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	2,202,857	13.4	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	871,424	5.3	-	-	合計	6,154,482	100.0	27,503	
財産収入	49,547	0.3	4,398	0.1					
寄附金	2,322	0.0	-	-					
繰入金	238,856	1.5	-	-					
繰越金	781,174	4.7	-	-					
諸収入	514,265	3.1	127,039	1.5					
地方債	2,751,000	16.7	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	803,000	4.9	-	-					
歳入合計	16,463,284	100.0	8,411,778	100.0					

区分		平成26年度		平成25年度		
徴収率 (%)	現・計 年	合計	96.7	85.1	96.0	83.4
		市町村民税	96.0	84.4	94.6	82.6
		純固定資産税	96.8	83.3	96.7	81.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	1,596,515	実質収支	401,402
下水道	345,549	再差引収支	221,965
上水道	47,851	加入世帯数（世帯）	9,604
工業用水道	-	被保険者数（人）	17,318
交通	-	被保険者 1人当り	保険税（料）収入額 国庫支出金 保険給付費
国民健康保険	500,869		
その他	702,246		

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	181,744	1.2	-	181,737	
総務費	2,038,637	13.0	254,886	1,638,554	
民生費	5,165,240	33.0	13,512	2,450,455	
衛生費	1,785,213	11.4	631,273	1,103,377	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	294,443	1.9	55,715	217,467	
商工費	108,114	0.7	1,213	59,999	
土木費	1,208,046	7.7	545,122	945,312	
消防費	820,239	5.2	82,045	749,893	
教育費	2,771,184	17.7	1,374,941	1,430,493	
災害復旧費	107,210	0.7	-	8,355	
公債費	1,149,521	7.4	-	1,149,521	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	15,629,591	100.0	2,958,707	9,935,163	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	7,553,795	48.3	5,004,262	5,001,474	54.3
人件費	3,094,611	19.8	2,911,242	2,908,459	31.6
うち職員給	2,291,279	14.7	2,140,656	-	-
扶助費	3,309,663	21.2	943,499	943,494	10.2
公債費	1,149,521	7.4	1,149,521	1,149,521	12.5
元利償還金	1,149,521	7.4	1,149,521	1,149,521	12.5
内 うち元金	972,195	6.2	972,195	972,195	10.6
うち利子	177,326	1.1	177,326	177,326	1.9
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	5,009,879	32.1	4,139,603	3,159,454	34.3
物件費	2,047,362	13.1	1,543,934	1,402,132	15.2
維持補修費	40,958	0.3	40,687	40,687	0.4
補助費等	812,042	5.2	723,759	551,797	6.0
うち一部事務組合負担金	174,303	1.1	174,197	107,986	1.2
繰出金	1,548,664	9.9	1,337,504	1,164,838	12.6
積立金	500,994	3.2	480,260	-	-
投資・出資金・貸付金	59,859	0.4	13,459	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,065,917	19.6	791,298	-	-
うち人件費	197,447	1.3	197,447	-	-
普通建設事業費	2,958,707	18.9	782,943	-	-
うち補助	1,323,101	8.5	88,094	-	-
うち単独	1,610,958	10.3	681,801	-	-
災害復旧事業費	107,210	0.7	8,355	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	15,629,591	100.0	9,935,163	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成26年度

千葉県富里市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	16,468	15,634	834	804	247	15,716	
2 公共用地取得事業特別会計	10	10	0	-	2	138	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	16,463	15,630	834	804		15,854	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	6,825	6,436	389	389	547	-	-	-	
2 介護保険特別会計	2,327	2,177	150	148	415	-	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	285	280	5	5	61	-	-	-	
4 水道事業会計	1,004	923	81	695	40	1,557	191	-	法適用企業
5 下水道事業特別会計	799	776	23	23	346	2,808	2,507	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,260		4,365	2,698		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
2 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
3 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
4 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
5 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
6 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
7 印旛広域市町村圏事務組合(一般会計)	291	268	23	23	-	-	-	
8 印旛広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業特別会計)	3,579	2,973	606	1,734	59	3,290	10	法適
9 印旛衛生施設管理組合(一般会計)	778	773	5	5	-	678	139	
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				18,132		3,968	149	

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）												
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金		1,072,167	1,061,432	1,149,522	14.6	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	13,470,271	14,075,314	15,854,119	201.6	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	5,217	1,187,279	1,185,745	15.1	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	2,708,803	2,720,007	2,698,883	34.3	国営土地改良事業に係るもの	-	1,185,745	1,185,745	15.1	
公営企業債の元利償還金に対する繰入金		287,370	297,096	301,080	3.8		組合等負担等見込額	285,533	212,443	144,503	1.8	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		70,911	68,381	67,789	0.9		退職手当負担見込額	1,376,544	1,147,201	1,129,608	14.4	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）		5,970	3,683	1,534	0.0		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-	
一時借入金の利息		-	-	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	
合計		(A) 1,436,418	1,430,592	1,519,925	-		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	
内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	合計	(E) 17,846,368	19,342,244	21,012,858	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-		
債務負担行為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能財源等	充当可能基金	1,567,754	1,364,870	1,795,819	22.8	企業債等繰入見込額	下水道事業特別会計	2,496,894	2,516,812	2,507,379	31.9
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-		充当可能特定歳入	2,636,710	2,118,881	2,147,928	27.3		水道事業会計	211,909	203,195	191,504	2.4
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	11,460,287	11,957,978	12,334,399	156.9		その他の会計	-	-	-	-
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	合計	(F) 15,664,751	15,441,729	16,278,146	-	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-		
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	27.5	49.0	60.2	-	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-		
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	健全化判断比率	健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準	公社・三セク等	その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-	
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-		実質赤字比率	-	13.54	20.00							
	その他上記に準ずるもの	5,970	3,683	1,534	0.0		連結実質赤字比率	-	18.54	30.00							
利子補給に係るもの	-	-	-	-	実質公債費比率		3.3	25.0	35.0								
特定財源の額	(B) 161,106	172,657	225,087	-	将来負担比率		60.2	350.0	-								
標準財政規模		(C) 8,882,364	8,961,251	8,907,948	-												
算入公債費等の額		(D) 973,801	1,006,303	1,044,960	-												
		(C)-(D) 7,908,563	7,954,948	7,862,988	-												
実質公債費比率		(単年度)	3.8	3.2	3.2												
((A)-((B)+(D)))/(C)-(D))×100		(3カ年平均)	4.4	3.6	3.3												

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県富里市

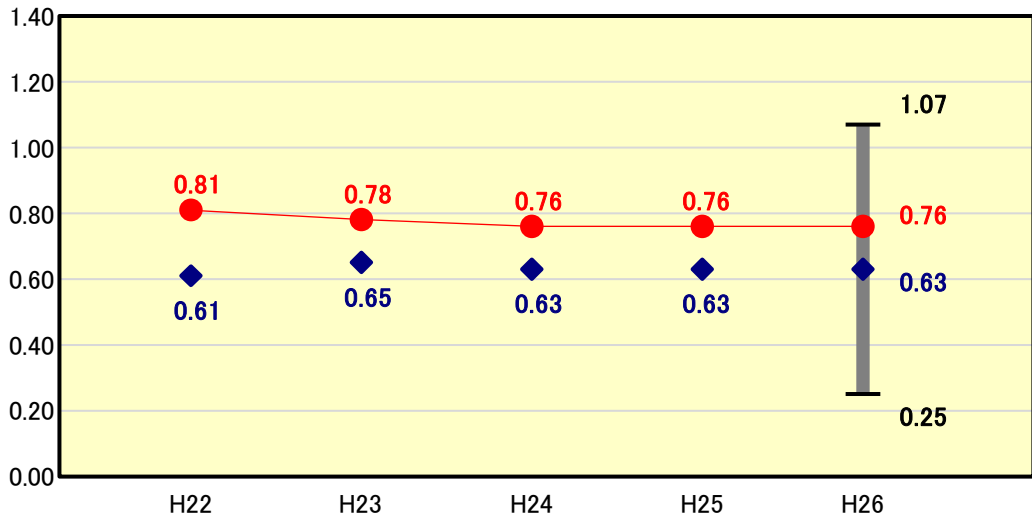
人口	49,972	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	48,424	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	53.88	km ²	実質公債費比率	3.3	%
歳入総額	16,463,284	千円	将来負担比率	60.2	%
歳出総額	15,629,591	千円			
実質収支	803,620	千円	市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
標準財政規模	8,907,948	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
地方債現在高	15,854,119	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.76]



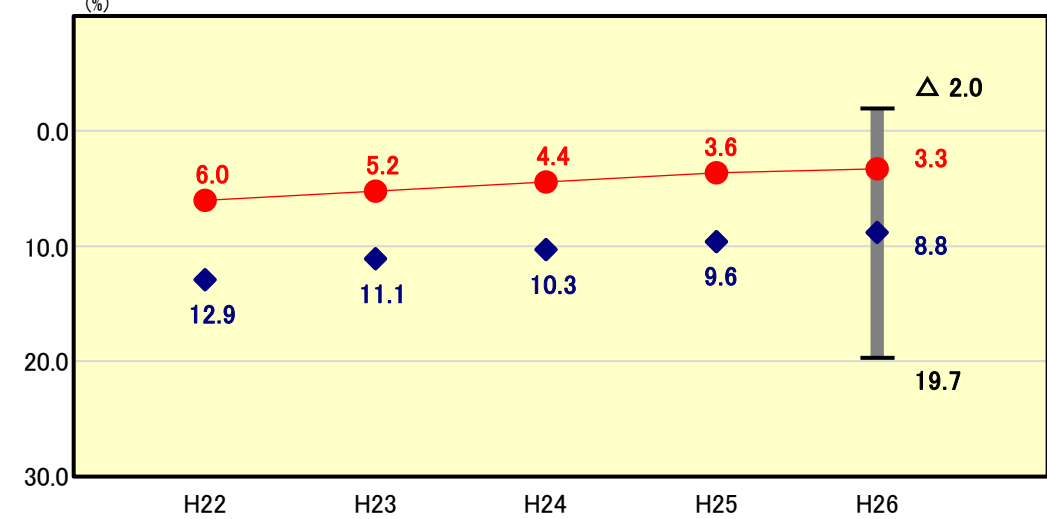
類似団体内順位 57/198 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

財政力指数については、類似団体平均値よりも上回っているものの、数値自体は3か年同じである。
基準財政需要額は、道路橋りょう費・都市計画費・その他教育費などの減があるものの、全体ではほぼ前年度並みとなった。また、基準財政収入額については、個人並びに法人市民税や固定資産税の増収から、前年度比71,209千円の増額となった。
今後も厳しい財政状況が継続することを十分に認識の上、最大限の創意工夫に努め、今後とも支出の削減及び歳入確保を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [3.3%]



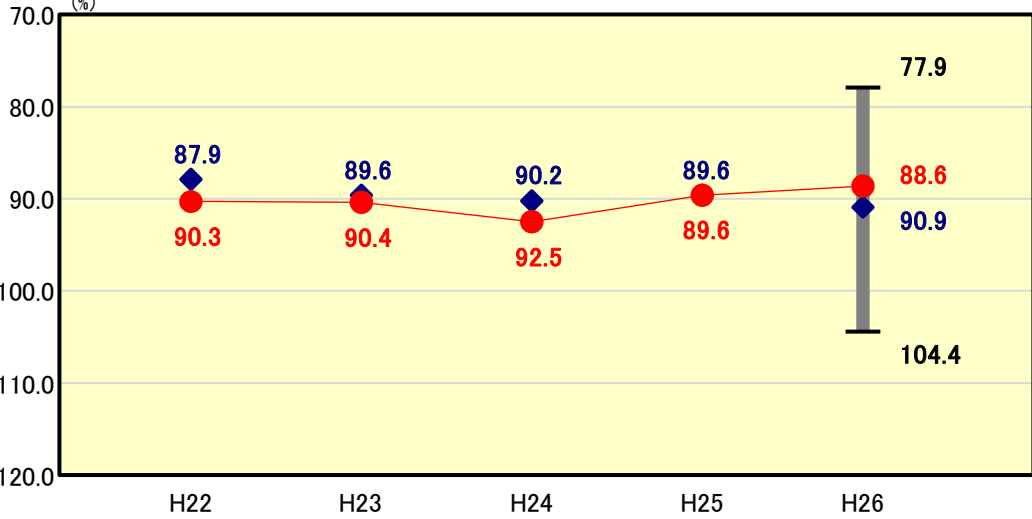
類似団体内順位 25/198 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

償還完了を迎えた大口の地方債があったことなどから、実質公債費比率は、平成18年度以降減少傾向にあり、前年度比0.3ポイント低下した。
しかし、単年度の公債費比率は25年度を底として26年度から微増してきており、加えて今後大口の市債償還が控えていることから、新規市債の発行に際しては、その事業効果の精査と公債費負担の中長期的な平準化に配慮するように努める。
また、引き続き市税の徴収率の向上に努め、健全な財政運営を推進していく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [88.6%]



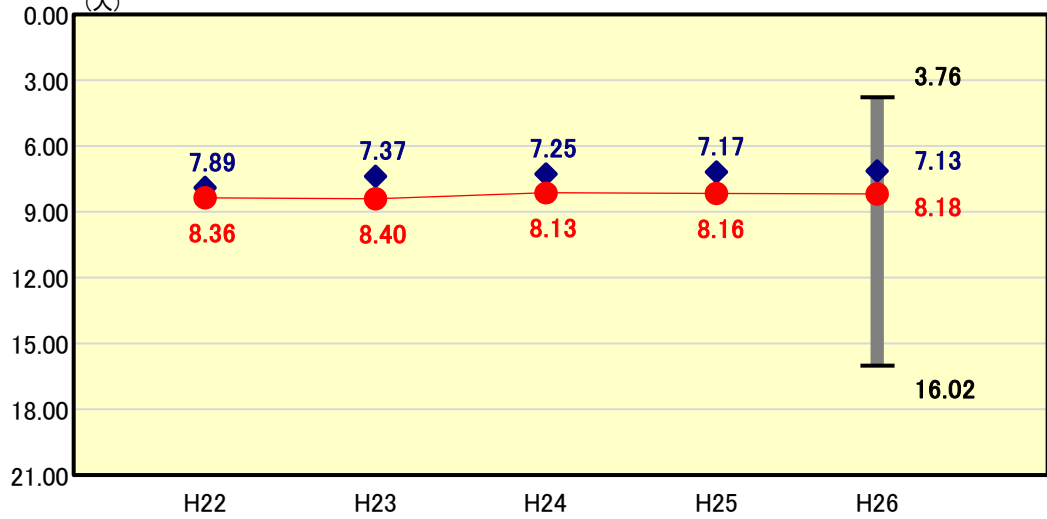
類似団体内順位 57/198 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

経常収支比率については、前年度に比べ1.0ポイント向上し、類似団体平均を若干上回った。
主な要因としては、生活保護費や障害者福祉費などの扶助費は増となったものの、人件費や物件費の減などにより、経常経費充当一般財源は31,742千円の減となり、また、法人市民税や固定資産税などの増収により、経常一般財源収入額が164,828千円増となったためである。
今後も、経常的経費の削減を行い、さらなる歳入の確保に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.18人]



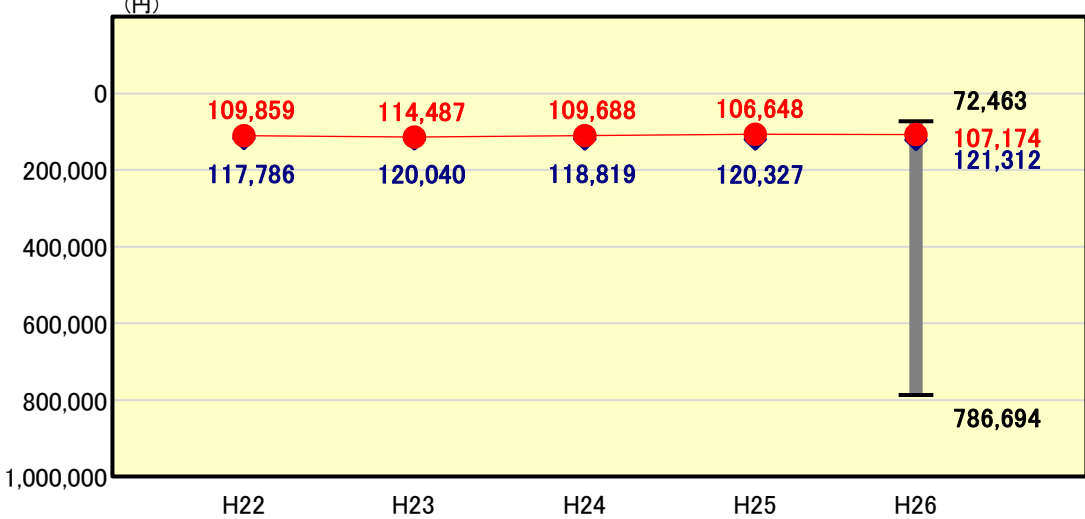
類似団体内順位 149/198 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

定員管理については、定員適正化計画、集中改革プラン及び行政改革により事務事業及び組織体制の整理合理化等による定員の削減を図っているものの、単独で消防本部・署を設置していることから、消防職員数を含め算出した職員数を類似団体と比較することも要因となり、平均を上回る状況となる。
このことから、職員採用計画を見直し、平成27年度より新たな計画に基づく定員管理を進めているところである。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [107,174円]



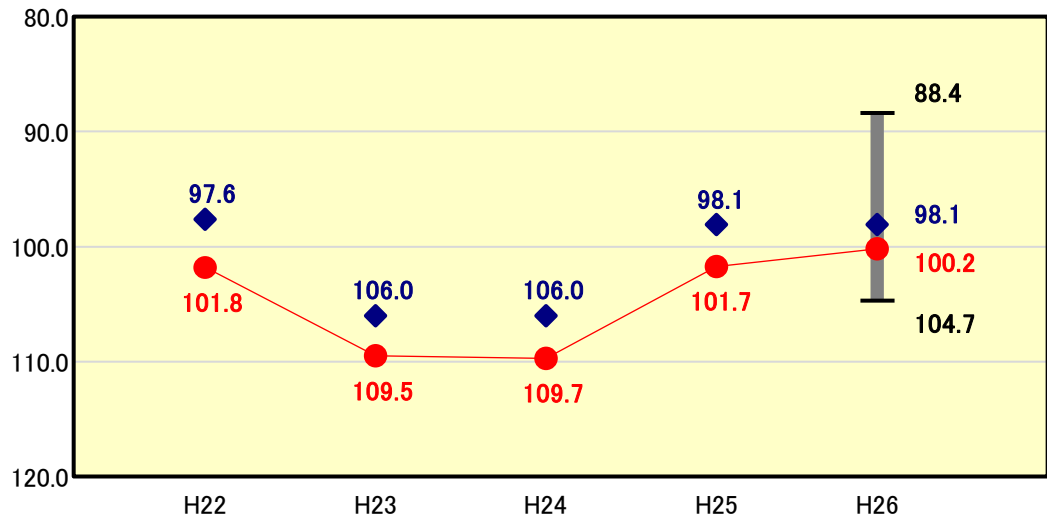
類似団体内順位 83/198 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費については、前年度比増減率で7.6パーセントの減、物件費については、4.9パーセントの減となり類似団体平均値を下回っている。
人件費は、千葉県市町村総合事務組合との退職手当負担金の見直しによる減額の影響が大きく、前年度に比べ254,026千円の減額となった。
今後も行政改革等を推進し、市民サービスの向上、協働のまちづくりを図りながら、経費の節減、組織と人事管理の適正化に努める。

給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数 [100.2]



類似団体内順位 155/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

平成26年度の人事院勧告による給与制度の総合的見直し及び初任給の引下げ等により、前年度に比べ1.5ポイントの減となる。
ただし、当市の指数が全国平均を上回っている状況は続いていることから、今後においても継続して地域の民間給与の状況を踏まえ、給与体系、昇給及び昇格基準の見直しを図り、給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

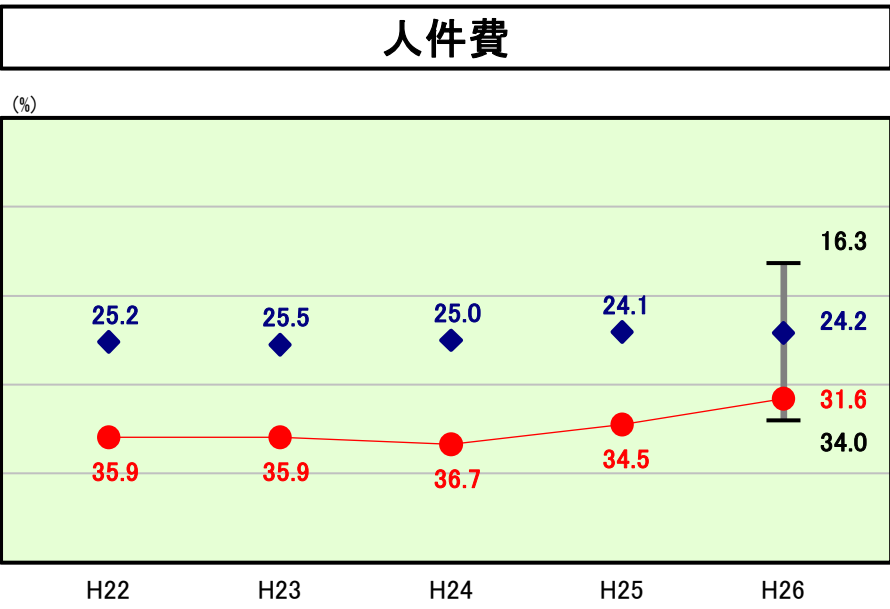
平成26年度

千葉県富里市

経常収支比率の分析

人口	49,972	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	48,424	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	53.88	km ²	実質公債費比率	3.3	%
歳入総額	16,463,284	千円	将来負担比率	60.2	%
歳出総額	15,629,591	千円	市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
実質収支	803,620	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
標準財政規模	8,907,948	千円			

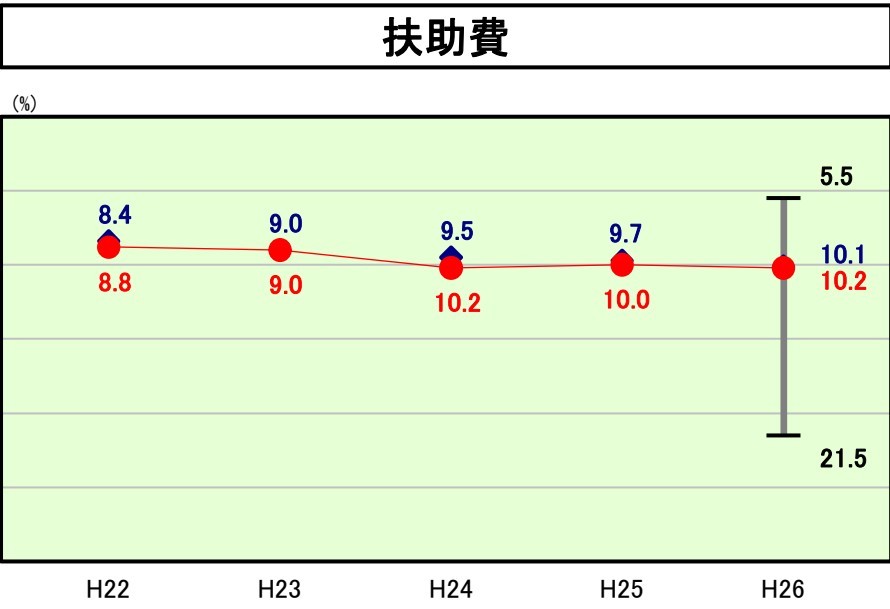
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 193/198 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

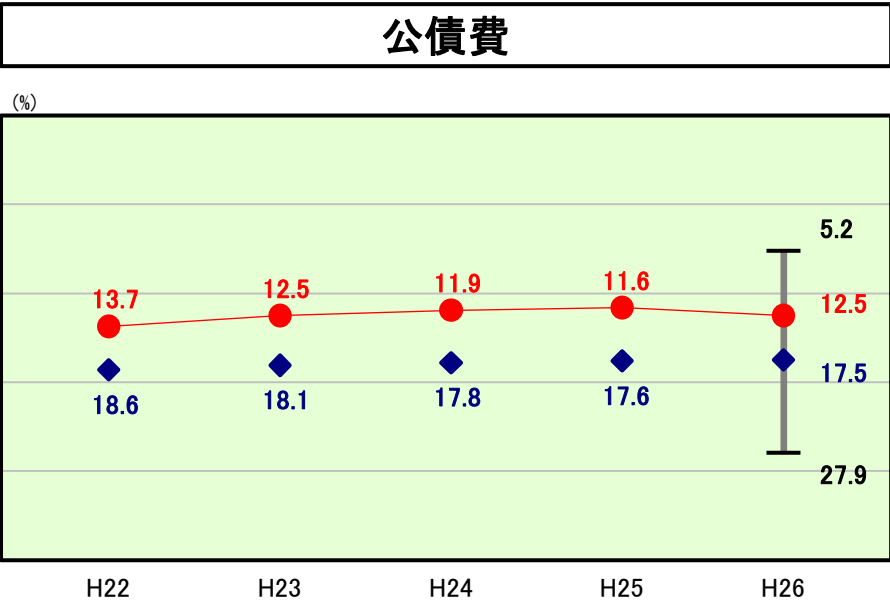
人件費は定員適正化計画、集中改革プラン及び行政改革において、適正な定員管理として計画的に職員削減を実施してきたことから、前年度に比べ2.9ポイントの減となる。ただし、類似団体との比較では、単独で消防本部・署を設置しており、消防職員を含めた人件費となることから、平均を大きく上回る結果となる。このことから、業務量と定員のバランスに配慮し、給与体系等の見直しもあわせ、今後も引き続き職員の平均年齢の上昇の影響による人件



類似団体内順位 99/198 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

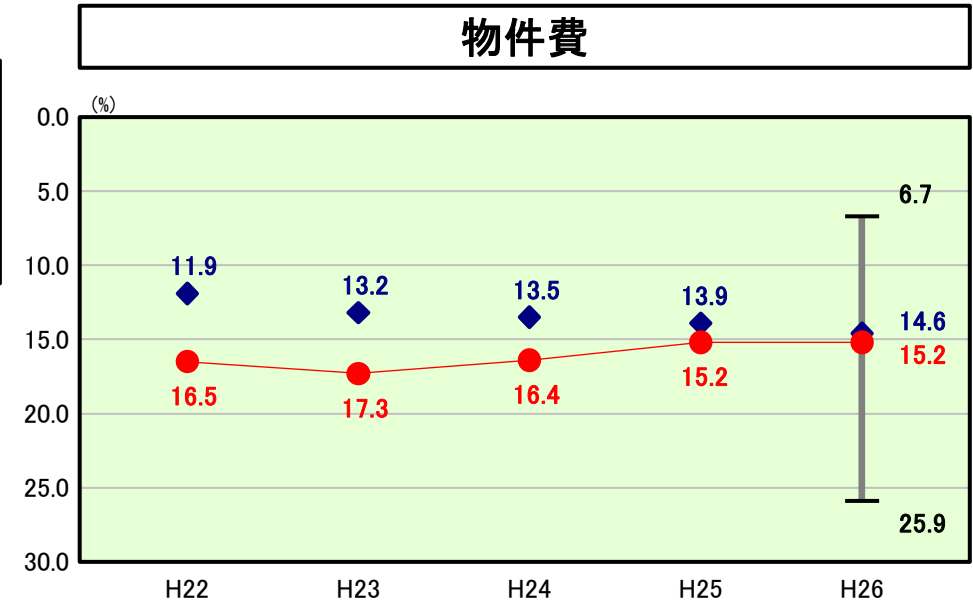
扶助費については、類似団体平均値と概ね近い数値で推移している。数値が0.2ポイント上昇した主な要因は、分子である扶助費自体が前年に比べ増加した反面、母数となる標準財政規模は前年度比較で減少したためである。今後も少子高齢化対策をはじめ生活保護費などに関する扶助費の増加が見込まれることから、給付水準や市単独事業の見直し等の検討により適正水準に止めるよう努める。



類似団体内順位 33/198 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

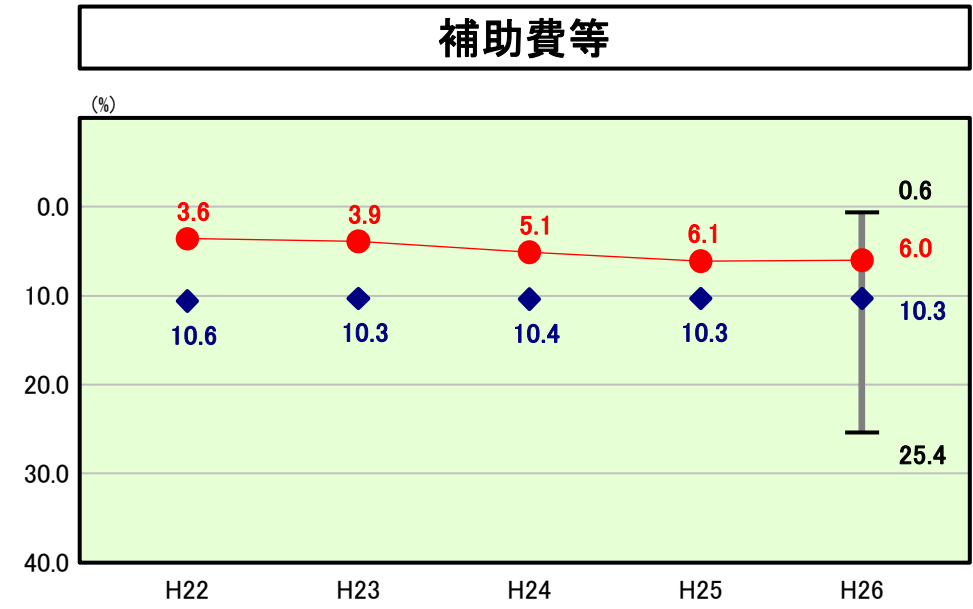
公債費については昨年度より0.9ポイント上昇したが、類似団体平均値よりも低い数値で推移している。数値が0.9ポイント上昇した主な要因は、昨年度に平成22年度の臨時財政対策債や衛生債(新清掃工場)など大口借入の元金償還据置き期限を迎えたことから、元金償還額が増加したためである。今後、大口の市債償還が控えており、増嵩がみこまれるため、新規市債の発行に際しては、その事業効果の精査と公債費負担の中長期的な平準化に配慮するよう努める。



類似団体内順位 109/198 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

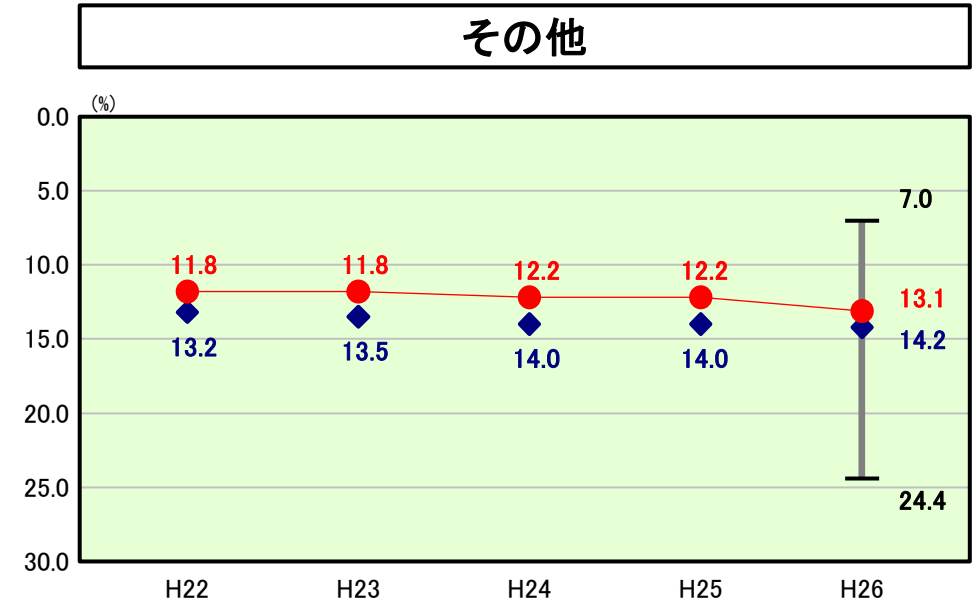
物件費については、前年度と同数値であり類似団体平均値を上回った状態で推移している。社会保障・税番号制度に伴うシステム改修業務委託料などで増があるものの、道路情報電子化の減などもあり、全体として前年並みの数値となった。今後も業務の効率化、低コスト化を推進し、委託業務内容の縮減を図り、更なる物件費の削減に努める。



類似団体内順位 35/198 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

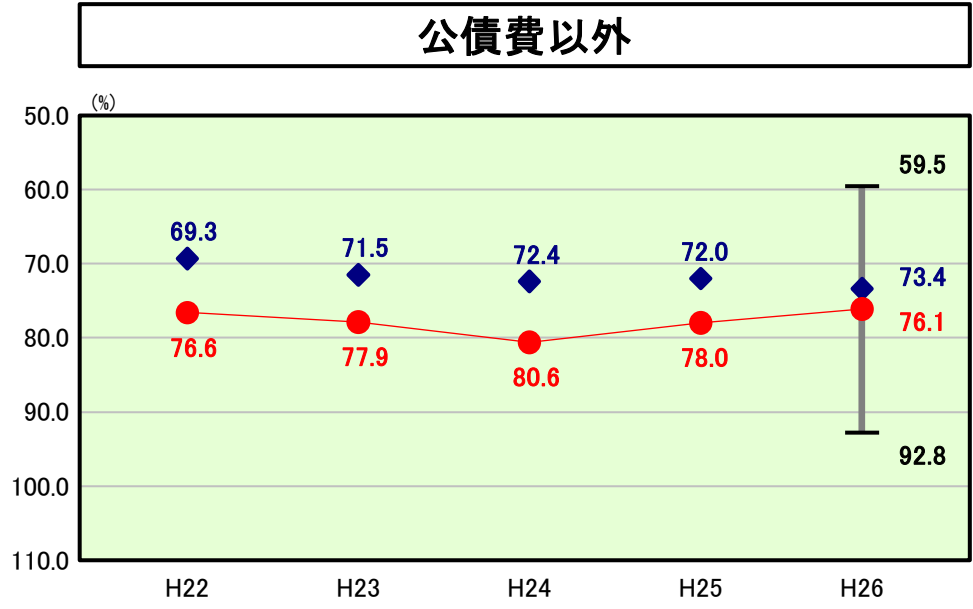
補助費等については、0.1ポイント下降したものの、類似団体平均値に比べ低い数値で推移している。新規就農者への支援事業や被災農業者への経営体育成事業補助金の増などにより全体で9,340千円の増となった。今後も補助金の全体的な見直し検討(補助目的の達成度、公平性、透明性など)を行い、最大の効果が挙がる補助のあり方を考慮していく。



類似団体内順位 80/198 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

その他に係る経常経費(繰出金等)は0.9ポイント上昇したが、類似団体平均を下回っている。特別会計への繰出金は国民健康保険事業特別会計への法定外繰出金が大幅に減少となったが、それ以外の特別会計への繰出金は増加傾向にある。今後も繰出基準に基づく適正な繰出しと、特別会計は独立採算の原則に沿った運営を行い、普通会計の負担軽減を図るよう努める。



類似団体内順位 121/198 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

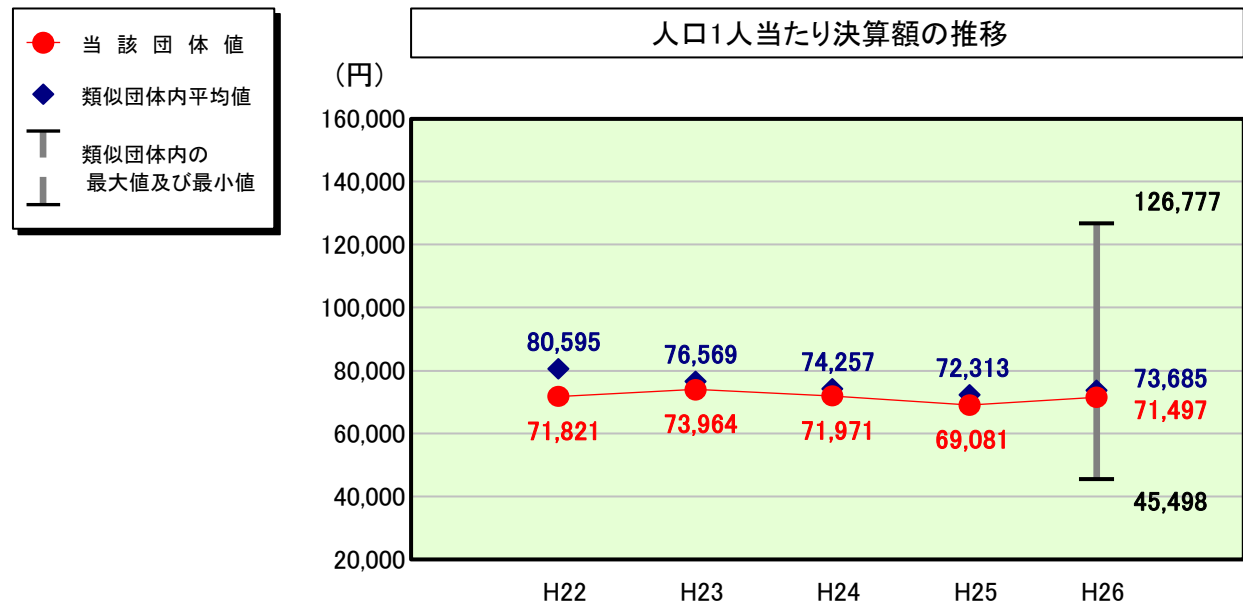
公債費以外における経常収支比率は前年度と比較して1.9ポイント減少したものの、類似団体平均を上回っている。これには、市単独の消防組織設置による人件費や、老朽化した施設の維持補修費などの影響をはじめ、扶助費等の増加傾向に要因がある。今後も、市民サービスを確保しつつ、業務の効率化や低コスト化などを推進し、健全な財政運営に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県富里市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



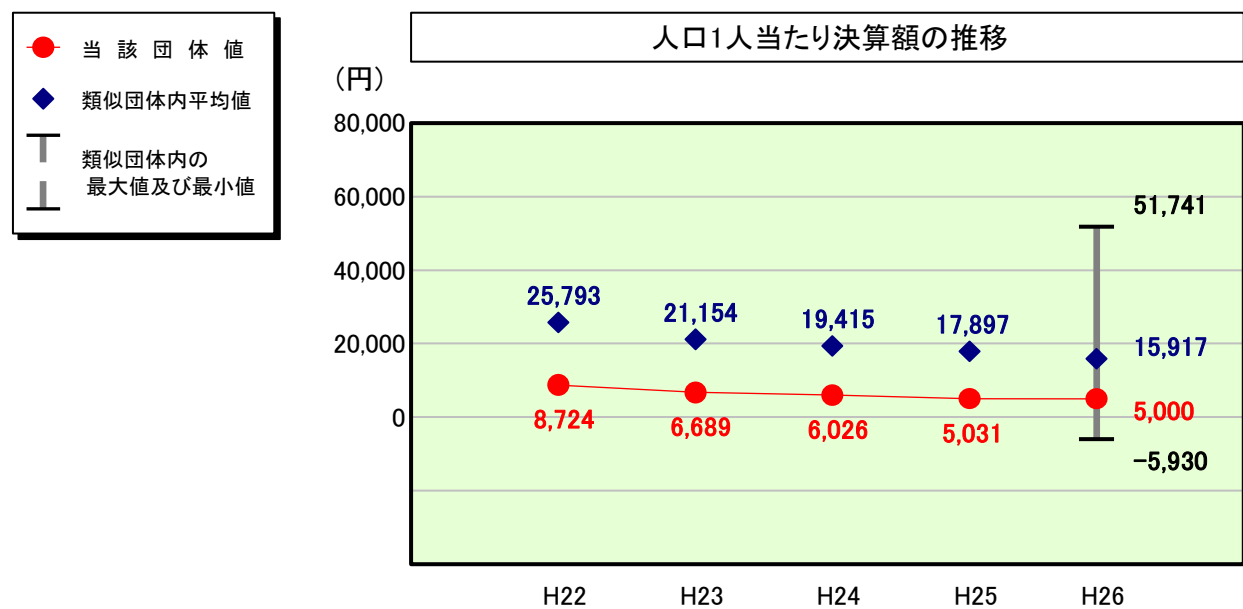
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,094,611	61,927	65,114	▲ 4.9
賃金 (物件費)	55,544	1,112	4,538	▲ 75.5
一部事務組合負担金 (補助費等)	39,216	785	5,513	▲ 85.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	953	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	210,703	4,216	2,887	46.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	197,447	3,951	1,642	140.6
▲退職金	▲ 24,692	▲ 494	▲ 6,965	▲ 92.9
合計	3,572,829	71,497	73,685	▲ 3.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.18	7.13	1.05
ラスパイレス指数	100.2	98.1	2.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

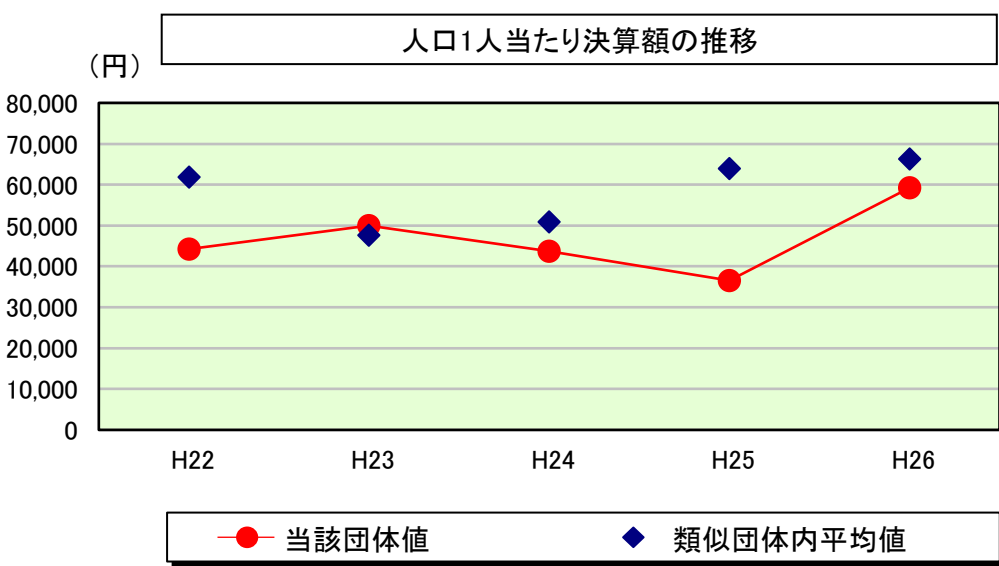


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,149,522	23,003	43,359	▲ 46.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	301,080	6,025	11,806	▲ 49.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	67,789	1,357	1,910	▲ 29.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,534	31	1,129	▲ 97.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 225,087	▲ 4,504	▲ 5,126	▲ 12.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,044,960	▲ 20,911	▲ 37,205	▲ 43.8
合計	249,878	5,000	15,917	▲ 68.6

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

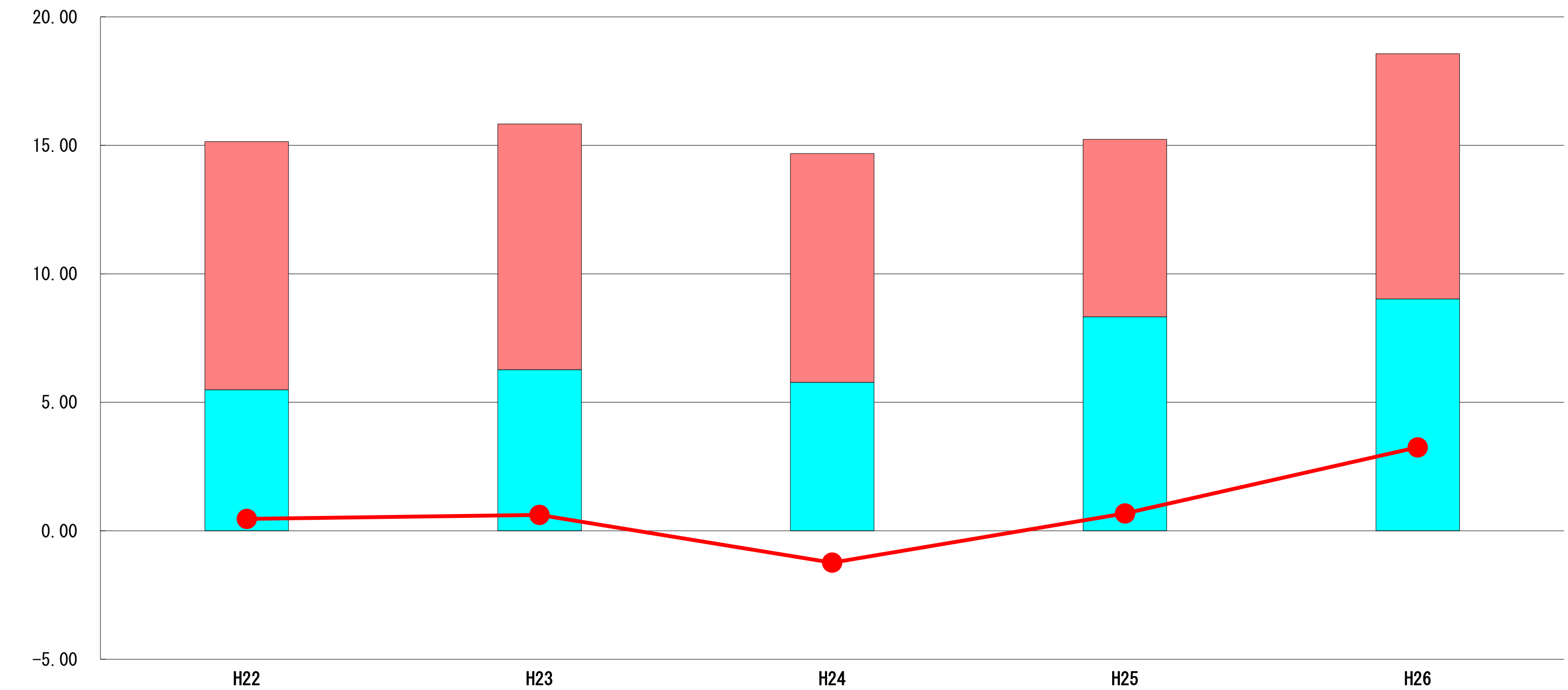
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均(円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	2,183,681	44,226	50.2	61,882	6.7	43.5
うち単独分	1,453,641	29,441	78.2	32,175	0.0	78.2
H23	2,436,983	49,929	12.9	47,569	▲ 23.1	36.0
うち単独分	1,854,632	37,998	29.1	26,255	▲ 18.4	47.5
H24	2,190,022	43,767	▲ 12.3	50,880	7.0	▲ 19.3
うち単独分	1,630,187	32,579	▲ 14.3	26,879	2.4	▲ 16.7
H25	1,828,015	36,547	▲ 16.5	63,956	25.7	▲ 42.2
うち単独分	967,351	19,340	▲ 40.6	29,239	8.8	▲ 49.4
H26	2,958,707	59,207	62.0	66,255	3.6	58.4
うち単独分	1,610,958	32,237	66.7	31,822	8.8	57.9
過去5年間平均	2,319,482	46,735	19.3	58,108	4.0	15.3
うち単独分	1,503,354	30,319	23.8	29,274	0.3	23.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県富里市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）		年度				
区分		H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		9.66	9.56	8.90	6.90	9.55
実質収支額		5.49	6.27	5.78	8.33	9.02
実質単年度収支		0.46	0.62	▲ 1.24	0.68	3.25

分析欄

実質収支額については、0.69ポイント上昇した。これは市民税及び固定資産税など市税収入の増加と併せて、七栄南新木戸地先の普通財産売払いが年度末になったことや、配当割交付金などの依存財源が予算を上回ったことなどの特殊事情の影響が大きい。

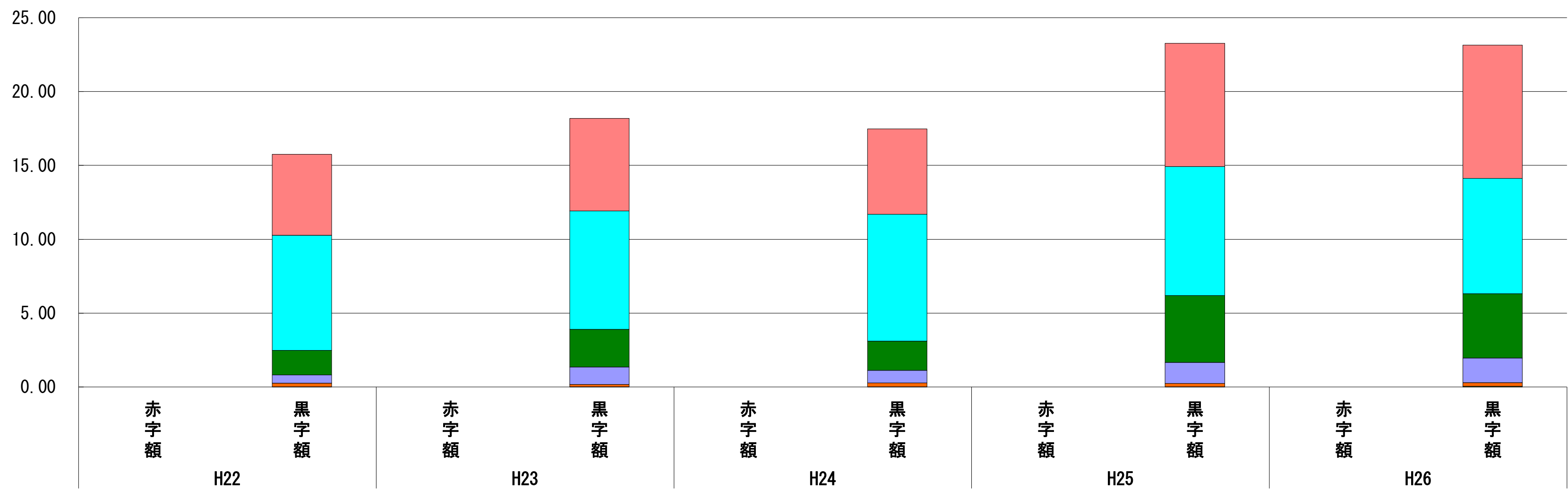
実質単年度収支の比率については、市民税・固定資産税などの市税収入の増加と人件費・物件費の抑制などの要因により、2.57ポイントのプラスとなった。今後も大規模な建設事業等などにより基金の取り崩しを余儀なくされることが予想されることから、適切な財政調整基金残高の確保と、より一層の財政運営の健全化に努めていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県富里市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計		5.48	6.26	5.78	8.33	9.02
水道事業会計		7.79	8.02	8.60	8.74	7.80
国民健康保険特別会計		1.66	2.55	1.97	4.52	4.36
介護保険特別会計		0.57	1.18	0.85	1.43	1.66
下水道事業特別会計		0.23	0.16	0.26	0.22	0.25
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.02	0.02	0.05
公共用地取得事業特別会計		-	-	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	-	-	-	-

分析欄

富里市の一般会計、特別会計及び企業会計においては、いずれの会計も赤字は無く、全て黒字決算で推移している。

近年、国民健康保険事業特別会計の財政事情の悪化に伴う法定外の繰出金を継続的に行っているが、今後も、特別会計は独立採算の原則に立った適正な運営を行い、普通会計の負担を減らしていくことが重要である。

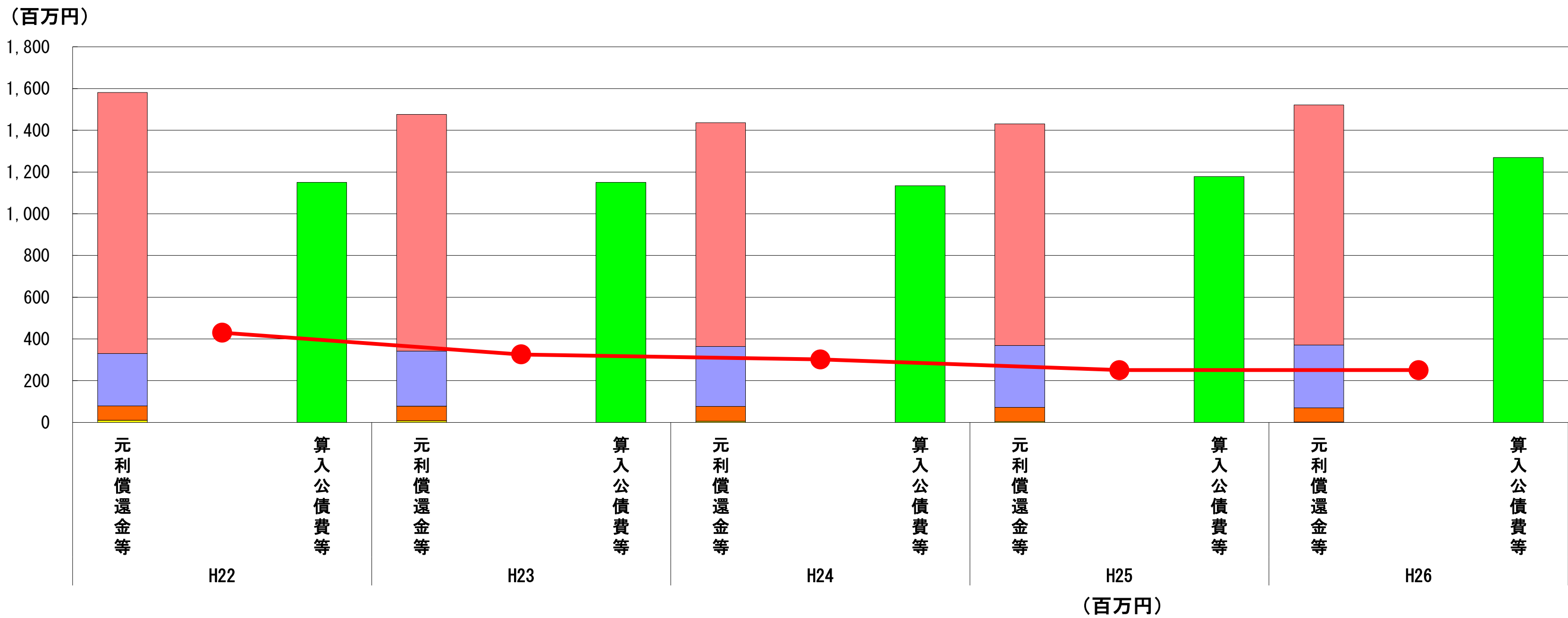
各会計ともに適量、適切な事業実施に努め、引き続き行政改革に基づき適正な水準を確保するとともに、毎年のプライマリーバランスの黒字化を維持し更なる財政の健全化を図っていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県富里市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,251	1,134	1,072	1,061	1,150
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		251	264	287	297	301
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		69	70	71	68	68
	債務負担行為に基づく支出額		10	8	6	4	2
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,151	1,150	1,134	1,179	1,270
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		430	326	302	251	251

分析欄

実質公債費比率の分子構造について、元利償還金については平成22年度以降減少していたものの、平成26年度より平成22年度の臨時財政対策債や新清掃工場などの大口借入の元金償還が始まったことにより増加に転じた。さらに公営企業債の元利償還金に対する繰入金は平成22年度以降増加傾向である。今後も、地方債の発行については世代間の負担の公平化と公債費負担の中長期的な平準化に配慮に努め、行政効果及び緊急度・優先度に基づく事業選択を行い健全な財政運営に努める。

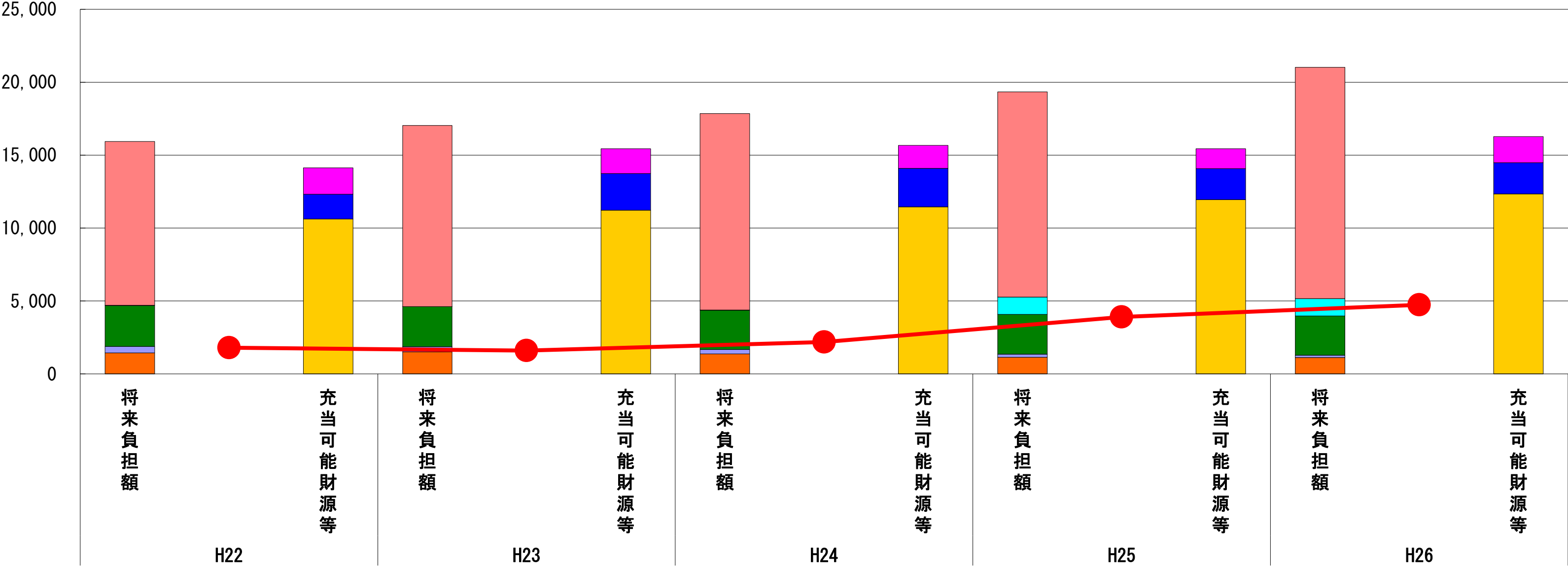
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県富里市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		11,237	12,417	13,470	14,075	15,854
	債務負担行為に基づく支出予定額		19	11	5	1,187	1,186
	公営企業債等繰入見込額		2,795	2,739	2,709	2,720	2,699
	組合等負担等見込額		439	360	286	212	145
	退職手当負担見込額		1,441	1,505	1,377	1,147	1,130
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,818	1,686	1,568	1,365	1,796
	充当可能特定歳入		1,690	2,527	2,637	2,119	2,148
	基準財政需要額算入見込額		10,628	11,219	11,460	11,958	12,334
(A) - (B)		将来負担比率の分子	1,795	1,598	2,182	3,901	4,735

分析欄

将来負担比率の分子構造については、地方債の現在高が、近年続いた大型事業（新清掃工場建設負担金、学校給食センター施設統合事業、新保健センター等建設事業）に伴う地方債の大口借入などの要因により増加し、前年度比1,779百万円の増となっている。

退職手当負担見込額などは減となったが、債務負担行為に基づく支出予定額は北総中央用水建設負担金の債務負担行為が昨年度に同様に継続していることも将来負担額を引き上げる一因となっている。

今後、政策として推進すべき大規模事業が重なることにより増嵩が見込まれることから長期的な事業計画を明確にし、公債費負担の平準化に配慮し、適正な水準を確保する。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	I－1		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)		
							財政健全化等		×	歳入総額	26,533,906	25,193,889	実質収支比率		6.5	8.2		
										歳出総額	25,343,585	23,787,539	経常収支比率		87.4	80.8		
							財源超過		×	歳入歳出差引	1,190,321	1,406,350	(※1)		(87.4)	(85.2)		
市町村名		南房総市		地方交付税種地	2-2		首都		×	翌年度に繰越すべき財源	172,672	126,797	標準財政規模		15,727,978	15,646,523		
							近畿		×	実質収支	1,017,649	1,279,553	財政力指数		0.36	0.36		
人口		22年国調(人)	42,104	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-261,904	179,016	公債費負担比率		17.1	17.3			
		17年国調(人)	44,763				過疎	○	積立金	15,301	13,215	健全化判断比率						
		増減率 (％)	-5.9				山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率		-	-			
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	41,034	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	2,015,130	291,932	連結実質赤字比率		-	-			
		うち日本人(人)		40,732	第1次	4,332	5,838	指数表選定	×	実質単年度収支	-2,261,733	-99,701	実質公債費比率		6.3	6.8		
		26.01.01(人)	41,675	21.1		24.9			将来負担比率		-	-						
		うち日本人(人)		41,348	第2次	3,459	4,076			基準財政収入額		3,696,215	3,588,536	資金不足比率 (※4)				
		増減率 (％)	-1.5	16.9		17.4			基準財政需要額		10,450,406	9,985,737						
		うち日本人(%)		-1.5	第3次	12,695	13,434			標準税収入額等		4,710,299	4,580,570					
		62.0	57.2				経常経費充当一般財源等		13,065,034	12,624,555								
面積 (km ²)		230.14						歳入一般財源等		19,341,449	18,792,915							
人口密度 (人/km ²)		183																
世帯数 (世帯)		15,575																
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		27,874,410	28,654,418						
	市区町村長	1	8,300		一般職員	414	1,358,748	3,282	うち公的資金		16,685,929	18,116,835						
	副市区町村長	1	6,940		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)		1,501,383	2,534,888						
	教育長	1	6,410		うち技能労務職員	33	81,444	2,468	収益事業収入		-	-						
	議会議長	1	4,130		教育公務員	41	136,940	3,340	土地開発基金現在高		100,000	100,000						
	議会副議長	1	3,600		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	5,025,968	7,025,797						
	議会議員	18	3,370		合計	455	1,495,688	3,287		減債基金	4,556,077	3,705,073						
					ラスパイレス指数		99.6		その他特定目的基金		11,185,790	8,864,433						
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(3) 国民健康保険特別会計			(6) 水道事業会計						(8) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)			(18) 富楽里とみやま			
(2) 公共用地取得事業特別会計			(4) 介護保険特別会計			(7) 国保病院事業会計						(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)			(19) 千倉黒潮物産センター			
			(5) 後期高齢者医療特別会計									(10) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)			(20) ちば南房総			
												(11) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)			(21) 南房総農業支援センター			
												(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)						
												(13) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)						
												(14) 安房郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)						
												(15) 鉅南地区環境衛生組合(一般会計)						
												(16) 南房総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)						
												(17) 三芳水道企業団(水道事業会計)						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,969,261	15.0	3,969,261	26.6	普通税	3,926,875	98.9	-	-
地方譲与税	201,406	0.8	201,406	1.3	法定普通税	3,926,875	98.9	-	-
利子割交付金	6,571	0.0	6,571	0.0	市町村民税	1,555,315	39.2	-	-
配当割交付金	28,806	0.1	28,806	0.2	個人均等割	64,723	1.6	-	-
株式等譲渡所得割交付金	20,116	0.1	20,116	0.1	所得割	1,323,809	33.4	-	-
地方消費税交付金	432,759	1.6	432,759	2.9	法人均等割	92,338	2.3	-	-
ゴルフ場利用税交付金	11,375	0.0	11,375	0.1	法人税割	74,445	1.9	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,052,639	51.7	-	-
自動車取得税交付金	39,881	0.2	39,881	0.3	うち純固定資産税	2,047,096	51.6	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	107,323	2.7	-	-
地方特例交付金	11,033	0.0	11,033	0.1	市町村たばこ税	211,598	5.3	-	-
地方交付税	10,998,301	41.4	10,123,160	67.7	鉱産税	-	-	-	-
普通交付税	10,123,160	38.2	10,123,160	67.7	特別土地保有税	-	-	-	-
特別交付税	875,141	3.3	-	-	法定外普通税	-	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	42,386	1.1	-	-
（一般財源計）	15,719,509	59.2	14,844,368	99.3	法定目的税	42,386	1.1	-	-
交通安全対策特別交付金	4,865	0.0	4,865	0.0	入湯税	42,386	1.1	-	-
分担金・負担金	258,200	1.0	20	0.0	事業所税	-	-	-	-
使用料	208,379	0.8	18,818	0.1	都市計画税	-	-	-	-
手数料	201,010	0.8	167	0.0	水利地益税等	-	-	-	-
国庫支出金	2,287,819	8.6	-	-	法定外目的税	-	-	-	-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	10,807	0.0	10,807	0.1	旧法による税	-	-	-	-
都道府県支出金	1,241,877	4.7	-	-	合計	3,969,261	100.0	-	-
財産収入	314,992	1.2	14,256	0.1					
寄附金	4,585	0.0	-	-	区分	平成26年度		平成25年度	
繰入金	2,465,532	9.3	-	-	徴収率	現	計		
繰越金	1,406,350	5.3	-	-	(%)	年			
諸収入	212,681	0.8	53,103	0.4	合計	97.8	90.2	97.7	90.1
地方債	2,197,300	8.3	-	-	市町村民税	98.0	92.0	97.8	92.1
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	純固定資産税	97.4	87.8	97.3	87.2
うち臨時財政対策債	-	-	-	-					
歳入合計	26,533,906	100.0	14,946,404	100.0					

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,501,807	実質収支	481,767
上水道	529,720	再差引収支	410,249
病院	90,000	加入世帯数(世帯)	8,835
工業用水道	-	被保険者数(人)	15,141
交通	-	被保険者	100
国民健康保険	391,095	1人当り	99
その他	1,490,992	保険税(料)収入額	298
		国庫支出金	
		保険給付費	

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	223,342	0.9	-	223,342	-
総務費	6,301,119	24.9	82,969	5,833,546	-
民生費	5,595,384	22.1	368,739	3,023,035	-
衛生費	2,089,963	8.2	65,292	1,695,119	-
労働費	-	-	-	-	-
農林水産業費	709,136	2.8	149,540	446,692	-
商工費	781,505	3.1	58,192	490,000	-
土木費	634,749	2.5	389,305	335,047	-
消防費	1,621,142	6.4	742,818	960,291	-
教育費	3,903,818	15.4	2,122,717	1,763,516	-
災害復旧費	140,092	0.6	-	70,073	-
公債費	3,342,935	13.2	-	3,310,467	-
諸支出費	400	0.0	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	25,343,585	100.0	3,979,572	18,151,128	-
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,753,498	38.5	7,867,634	7,809,206	52.2
人件費	4,051,798	16.0	3,891,818	3,833,390	25.6
うち職員給	2,577,583	10.2	2,432,276	-	-
扶助費	2,358,765	9.3	665,349	665,349	4.5
公債費	3,342,935	13.2	3,310,467	3,310,467	22.1
元利償還金	3,342,935	13.2	3,310,467	3,310,467	22.1
うち元金	2,977,308	11.7	2,952,884	2,952,884	19.8
うち利子	365,627	1.4	357,583	357,583	2.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	11,470,423	45.3	9,470,437	5,255,828	35.2
物件費	3,345,666	13.2	2,299,278	2,100,701	14.1
維持補修費	135,637	0.5	122,241	122,241	0.8
補助費等	2,323,827	9.2	2,046,419	1,489,052	10.0
うち一部事務組合負担金	1,008,819	4.0	1,008,819	947,955	6.3
繰出金	1,882,087	7.4	1,582,563	1,508,022	10.1
積立金	3,638,064	14.4	3,383,024	-	-
投資・出資金・貸付金	145,142	0.6	36,912	35,812	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,119,664	16.3	813,057	-	-
うち人件費	169,002	0.7	145,202	-	-
普通建設事業費	3,979,572	15.7	742,984	-	-
うち補助	1,559,588	6.2	34,693	-	-
うち単独	2,394,301	9.4	701,277	-	-
災害復旧事業費	140,092	0.6	70,073	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	25,343,585	100.0	18,151,128	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	26,532	25,342	1,190	1,018	2,466	27,874	
2	公共用地取得事業特別会計	5	5	-	-	5	-	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）	26,532	25,342	1,190	1,018		27,874	-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	7,043	6,562	482	482	350	-	-	-	
2	介護保険特別会計	5,011	4,911	100	100	664	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	511	508	3	3	144	-	-	-	
4	水道事業会計	1,491	1,420	71	1,430	307	2,285	676	-	法適用企業
5	国保病院事業会計	624	580	44	414	90	25	16	-	法適用企業
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				2,429		2,310	692		-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
2	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	170	118	52	52	-	-	-	
3	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研修センター特別会計）	109	101	8	8	2	-	-	
4	千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通安全審判員特別会計）	129	96	33	33	-	-	-	
5	千葉県県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
6	千葉県県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療特別会計）	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
7	安房郡市広域市町村圏事務組合（一般会計）	2,981	2,712	269	166	-	2,570	377	
8	鋸南地区環境衛生組合（一般会計）	693	659	34	34	-	-	-	
9	南房総広域水道企業団（水道用水供給事業会計）	4,113	3,635	478	4,036	-	4,449	36	
10	三芳水道企業団（水道事業会計）	2,125	2,101	23	1,322	-	-	-	
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				21,928		7,019	413	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	富楽里とみやま	5	70	17	-	-	-	-	-	
2	千倉黒潮物産センター	4	68	24	-	-	-	-	-	
3	ちば南房総	▲ 29	225	115	-	-	-	-	-	
4	南房総農業支援センター	9	47	15	22	-	-	-	-	
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			171	22	-	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	3,012,135	3,012,962	3,342,935	25.5
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
準元利償還金				
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	120,686	61,068	59,482	0.5
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	112,907	90,426	89,880	0.7
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	69,569	56,622	42,156	0.3
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 3,315,297	3,221,078	3,534,453	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	8,064	8,064	8,064	0.1
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	61,505	48,558	34,092	0.3
特定財源の額	(B) 32,036	32,236	32,468	
標準財政規模	(C) 15,556,976	15,646,523	15,727,978	
算入公債費等の額	(D) 2,379,254	2,453,505	2,631,353	
	(C)－(D) 13,177,722	13,193,018	13,096,625	
実質公債費比率	(単年度) 6.9	5.6	6.6	
((A)－((B)＋(D)))／((C)－(D)) × 100	(3ヵ年平均) 8.1	6.8	6.3	

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）											
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	28,423,879	28,654,418	27,874,410	212.8	PFI事業に係るもの		-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額	86,867	80,280	73,582	0.6	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	641,159	642,421	692,581	5.3	国営土地改良事業に係るもの		-	-	-	-
	組合等負担等見込額	530,328	460,775	412,518	3.1	債務 負 担 行 為	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	86,867	80,280	73,582	0.6
	退職手当負担見込額	7,508,807	7,205,432	6,714,650	51.3		地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-		依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-		社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-		損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	合計	(E)	37,191,040	37,043,326	35,767,741		引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	充た可能 財源等	充た可能基金	14,044,147	15,700,663	17,166,648		131.1	企業債等 繰入見込額	その他上記に準ずるもの	-	-
充た可能特定繰入	253,726	230,313	205,901	1.6	水道事業会計	635,046	637,687		676,339	5.2	
基準財政需要額算入見込額	23,811,875	24,119,117	24,035,393	183.5	国保病院事業会計	6,113	4,734		16,242	0.1	
合計	(F)	38,109,748	40,050,093	41,407,942							
将来負担比率((E)-(F))/(C)-(D)×100		-	-	-	-						
						その他の会計		-	-	-	-
						地方道路公社に係る将来負担額		-	-	-	-
						土地開発公社に係る将来負担額		-	-	-	-
						その他第三セクター等に係る将来負担額		-	-	-	-
						公社・ 三セク等		-	-	-	-
健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準								
実質赤字比率	-	12.73	20.00								
連結実質赤字比率	-	17.73	30.00								
実質公債費比率	6.3	25.0	35.0								
将来負担比率	-	350.0									

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	口	41,034	人(H27. 1. 1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%					
う	ち	日	本	人	連	結	実	質	赤	字	比	率				
面	積	230.14	km ²	実	質	公	債	費	比	率	6.3	%				
歳	入	総	額	26,533,906	千円	将	来	負	担	比	率	-	%			
歳	出	総	額	25,343,585	千円	市	町	村	類	型	H22	I-1	H23	I-1	H24	I-1
実	質	収	支	1,017,649	千円	(	年	度	毎	)	H25	I-1	H26	I-1		
標	準	財	政	規	模	15,727,978	千円									
地	方	債	現	在	高	27,874,410	千円									



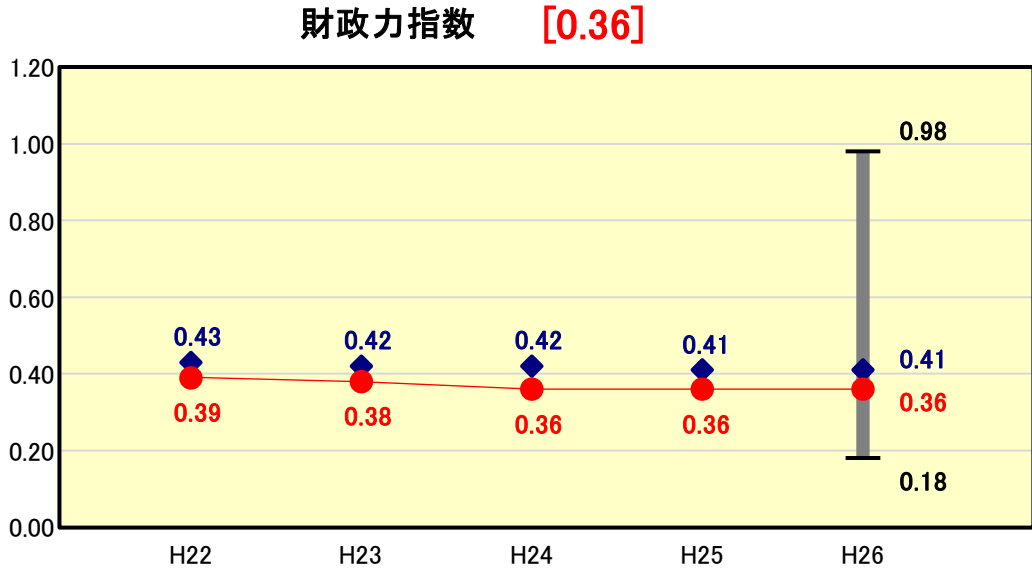
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

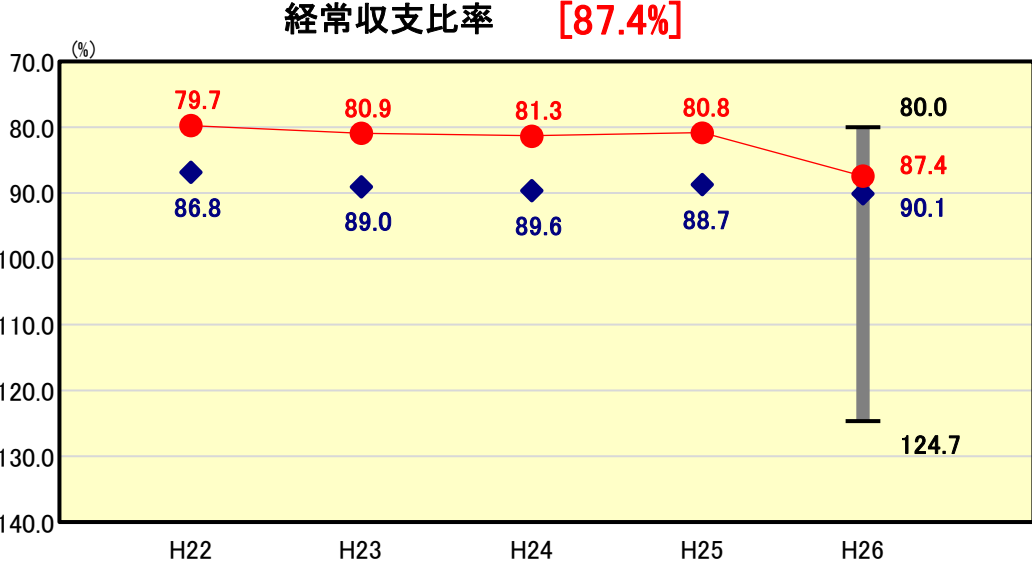


類似団体内順位 102/172 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

人口の減少や全国平均を上回る高齢化率（平成27年4月1日現在41.0％）に加え、市内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。定員適正化計画に基づく退職者補充職員数の抑制による人件費の削減、組織の合理化、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制するなど、歳出の見直しを継続するとともに、税収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

財政構造の弾力性

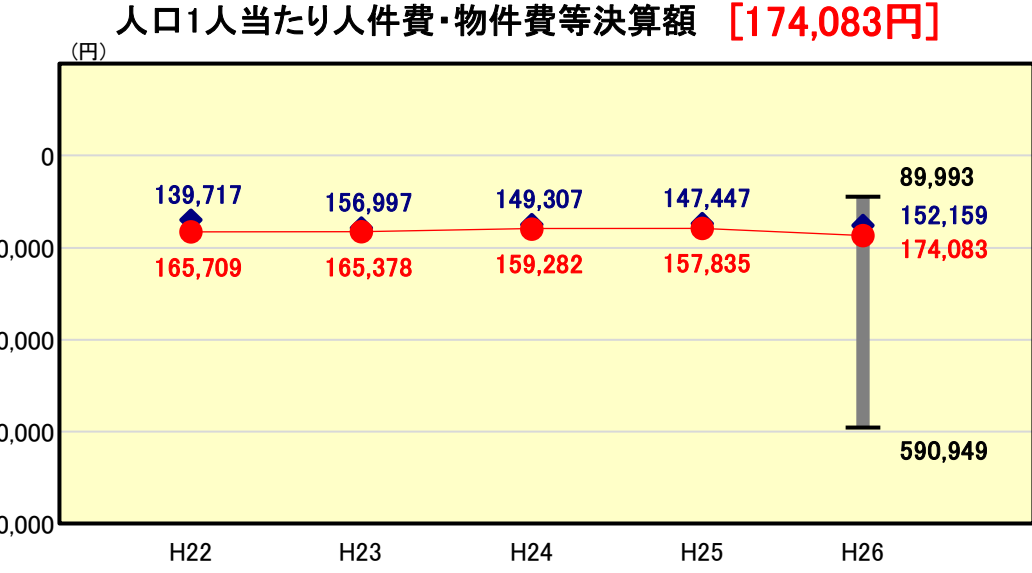


類似団体内順位 50/172 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

臨時財政対策債の発行を抑制したため、経常収支比率は上昇したものの、合併算定替の特例による普通交付税の増額により、類似団体平均を下回っている。このため、合併算定替適用期間の終了による歳入の減少を見据え、新規採用の抑制による職員数の削減や事務事業の抜本的な見直し、経常経費の削減を図っていく。

人件費・物件費等の状況

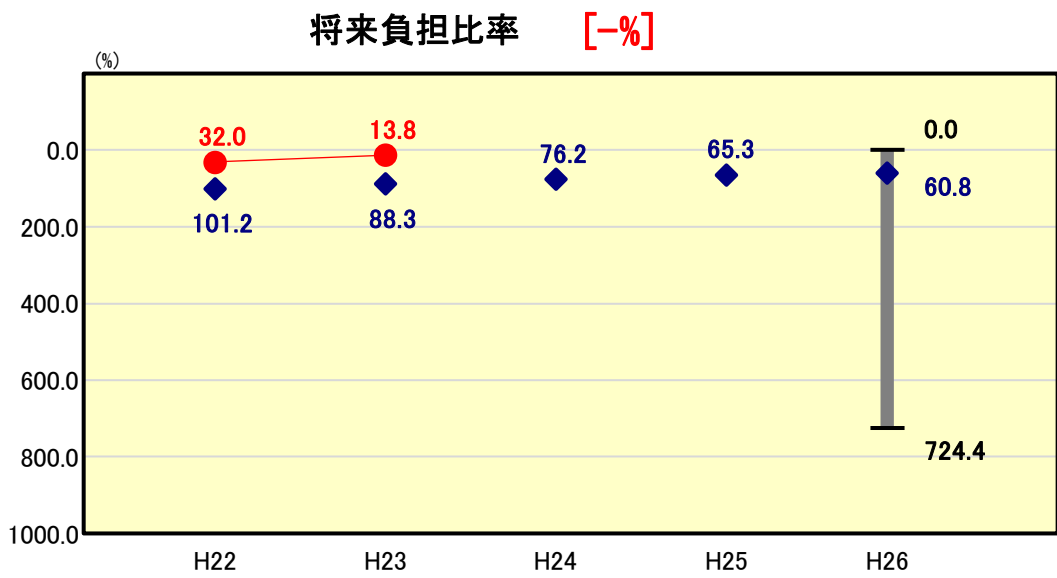


類似団体内順位 118/172 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費、物件費を主要因として類似団体平均を上回っている。これは、7団体の市町村合併により、職員数が類似団体と比べ多いために人件費が高くなっていることや旧団体運営施設を合併後も継続し、類似団体に比べ公共施設が多く管理経費が高くなっているためである。今後は、効率的運営に努めるとともに、公共施設の再編を検討するなど、その他事務事業全般にわたり行財政改革を推進し、削減を図っていく。

将来負担の状況

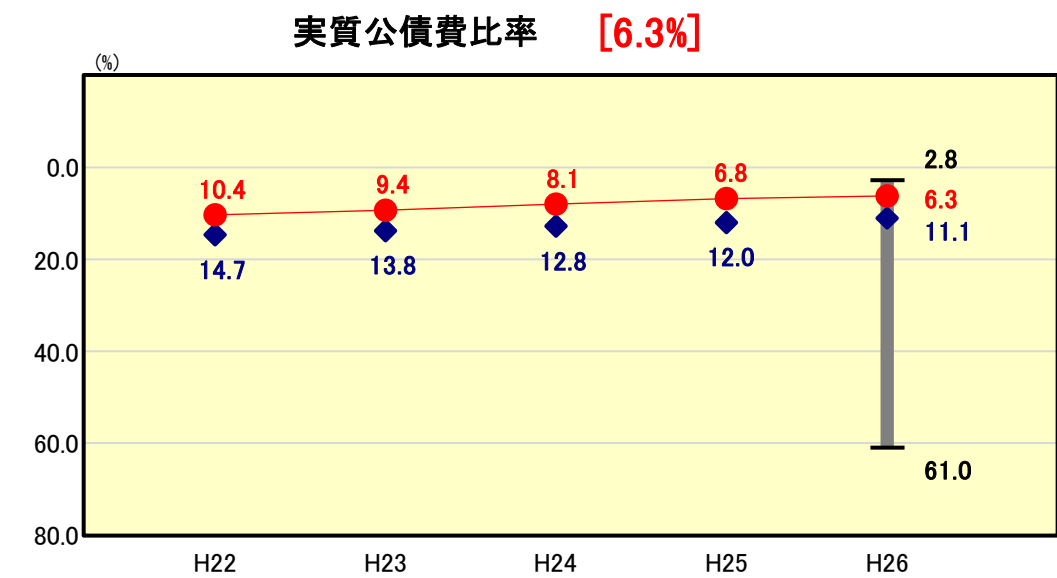


類似団体内順位 1/172 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

類似団体平均を大きく下回っている主な要因は、地方債へ充当可能な基金の増加と、交付税措置のある有利な起債を利用することによる基準財政需要額の増加により、充当可能財源等が増加し、実質的な将来負担額がマイナスとなっているためである。今後も、後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のための減債基金への積立や、公共施設再編を見据えた公共施設等再編整備基金への積立を行うなど、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況

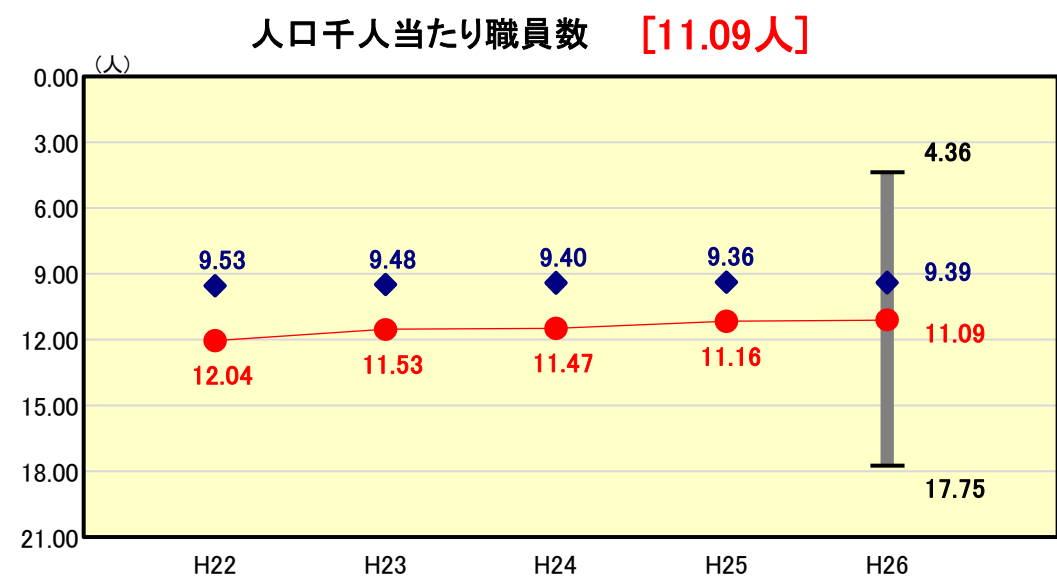


類似団体内順位 15/172 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、合併特例事業や過疎対策事業のように交付税措置のある有利な起債を利用することにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後も投資事業の厳選や減債基金の積み立て等による実質公債費比率の抑制に努める。

定員管理の状況

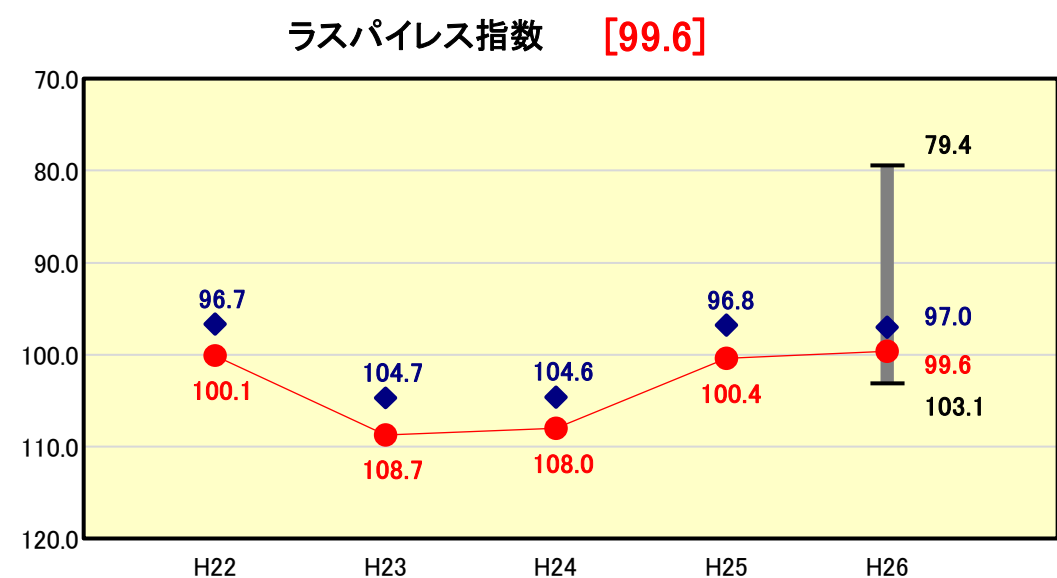


類似団体内順位 129/172 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

市町村合併により、職員数が類似団体平均を上回っている。定員適正化計画に基づき職員数の削減を進めるとともに、組織機構及び事業の見直し等により、より適切な定員管理に努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 151/172 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

国と比較し、給与引き下げに伴う現給保障者の割合が多いため、指数が減少している。今後も人事院勧告や千葉県人事委員会勧告の実施状況を勘案し、国や千葉県に準じた方向で給与制度の適正化を図り、人件費の抑制に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県南房総市

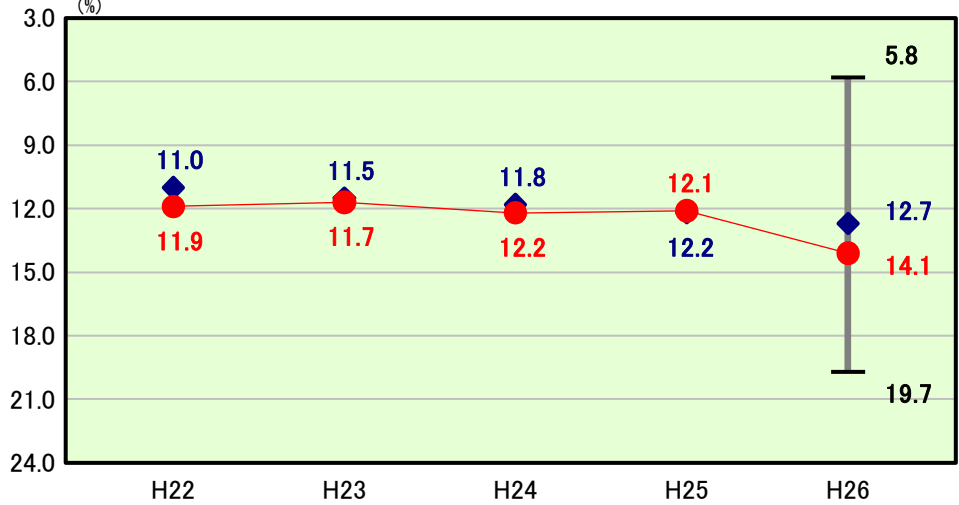
経常収支比率の分析

人口	41,034	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	40,732	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	230.14	km ²	実質公債費比率	6.3	%
歳入総額	26,533,906	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	25,343,585	千円	市町村類型	H22 I-1 H23 I-1 H24 I-1	
実質収支	1,017,649	千円	(年度毎)	H25 I-1 H26 I-1	
標準財政規模	15,727,978	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



物件費

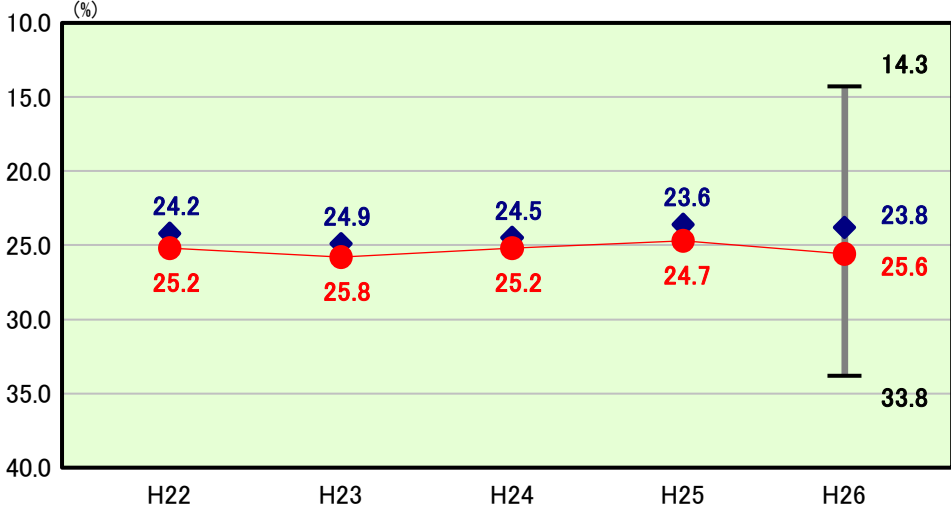


類似団体内順位 122/172 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

市町村合併前と変わらない住民サービス維持のため、旧団体運営施設を合併後も継続している。このため、類似団体に比べ、物件費に係る経常収支比率が高くなっている。また、平成26年度では、消費税率の引き上げ及び、新規事業による委託料の増加などを要因として、比率が増加した。今後は、民間委託や指定管理者制度の導入などによる効果的運営に努め、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の再編を行っていく方針である。

人件費

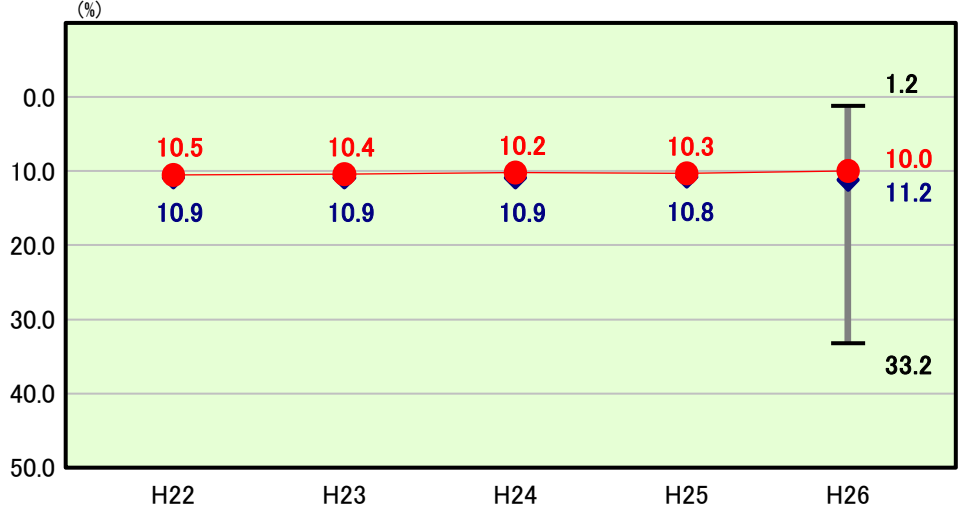


類似団体内順位 109/172 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

職員数が類似団体と比較して大きく上回っているために、経常収支比率の人件費分が高くなっている。これは、市町村合併による旧団体からの職員を引き継いだことが大きな要因で、今後職員の定員適正化計画の取り組みにより、新規採用の抑制(一般行政職については、定年退職者の概ね1/10採用)を図る等、長期的視点に立った定員管理に努める。

補助費等

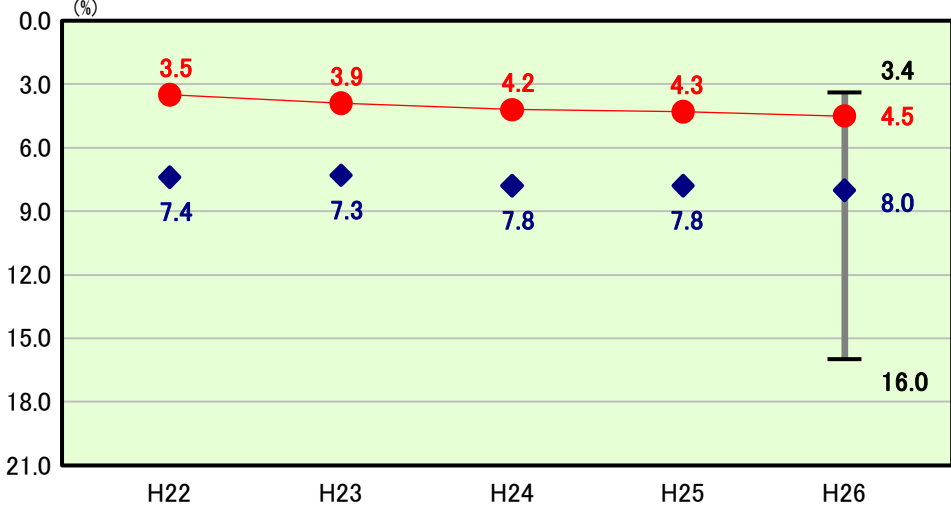


類似団体内順位 70/172 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は、概ね類似団体平均程度となっている。補助費等の内訳を見ると一部事務組合への負担金が高くなっているが、これは他団体との共同処理事業が多く、設立組合数が多くなっているためである。また、各種団体や事業に対する補助交付金も高くなっており、引き続き、効果等を検討のうえ不適当な補助金等の見直しや廃止を行う方針である。

扶助費

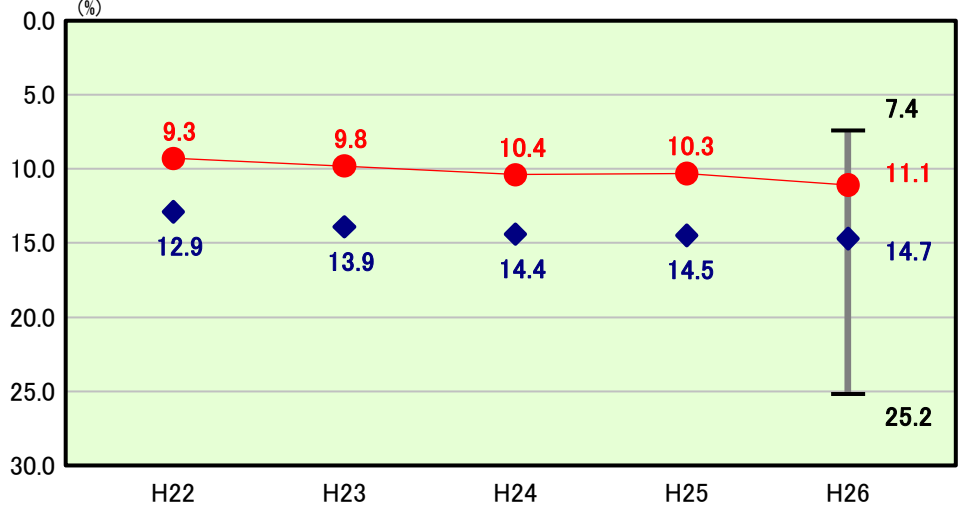


類似団体内順位 7/172 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

扶助費の決算額は児童手当の新設などにより増加しているが、扶助費に係る経常収支比率は合併以降ほぼ横ばいで推移している。現状、類似団体との比較では財政への影響は小さいと言えるが、これは普通交付税算定の優遇措置によるところが大きい。優遇措置の終了や社会保障経費自体の増加傾向により、財政の圧迫が予想されるため、国の動向に注意しながら、随時対応を検討していく。

その他

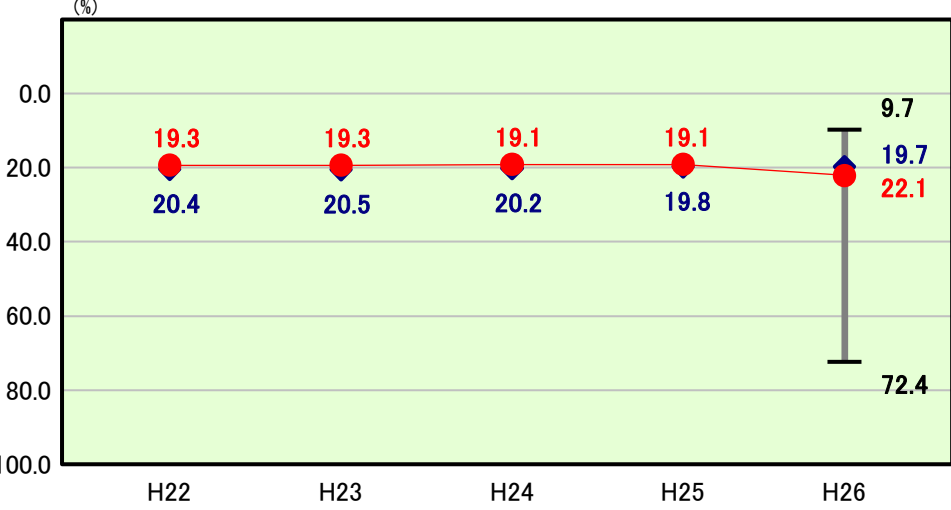


類似団体内順位 19/172 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

その他の主な内容は、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計への繰出金である。その他に係る経常収支比率は、類似団体よりも良好な数値で推移しているが、決算自体は増加している。これは、医療費の増加や所得の減少など構造的な要因が原因であるため、解決は非常に困難であるが、予防事業等の実施により繰出増加の抑制に努める。

公債費

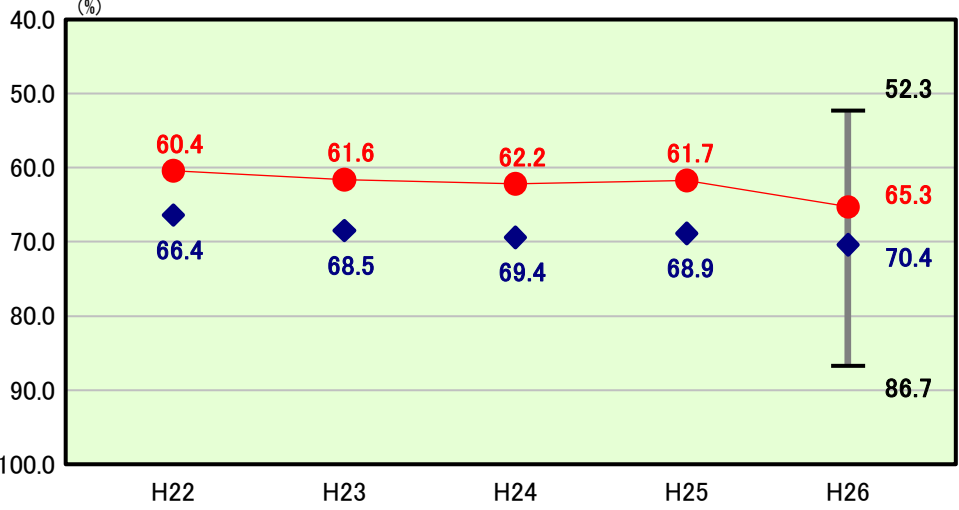


類似団体内順位 125/172 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

平成25年度借入れ分より、償還期間を短縮したことにより、増加している。引き続き、後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のため、減債基金への積立を行うなど、財政の健全化に努める。

公債費以外



類似団体内順位 25/172 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

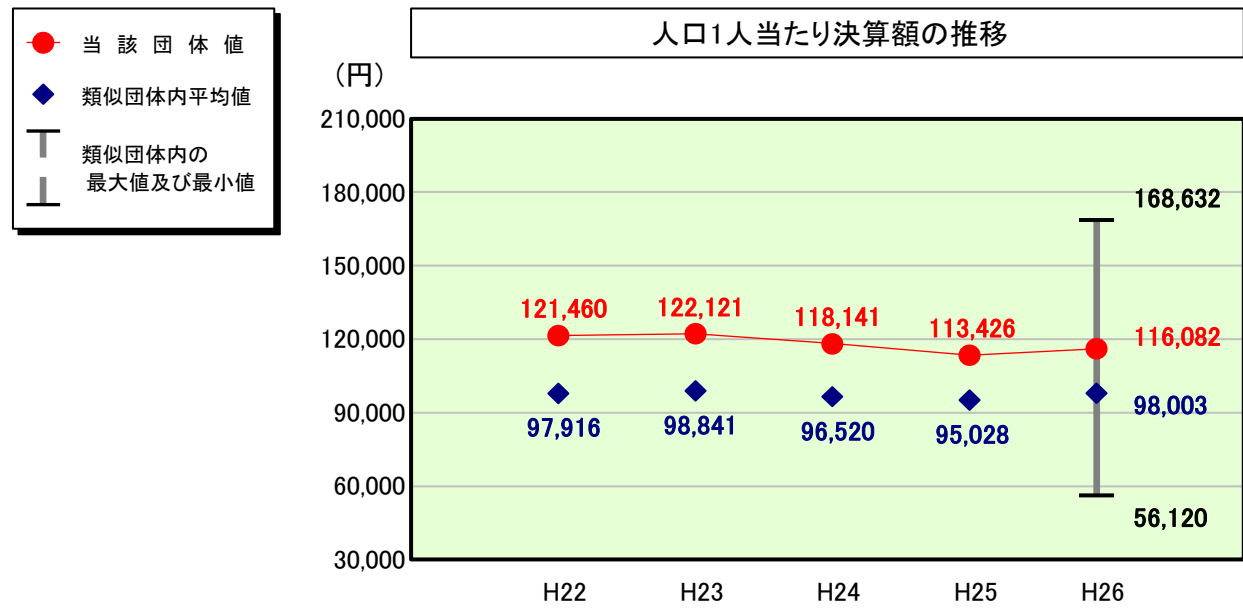
類似団体平均よりも良好な数値で推移している。これは、普通交付税額等の増加によるところが大きいいため、平成28年度以降、急激に悪化する恐れがある。そのため、主に合併により増加した人件費や物件費の計画的な削減に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県南房総市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



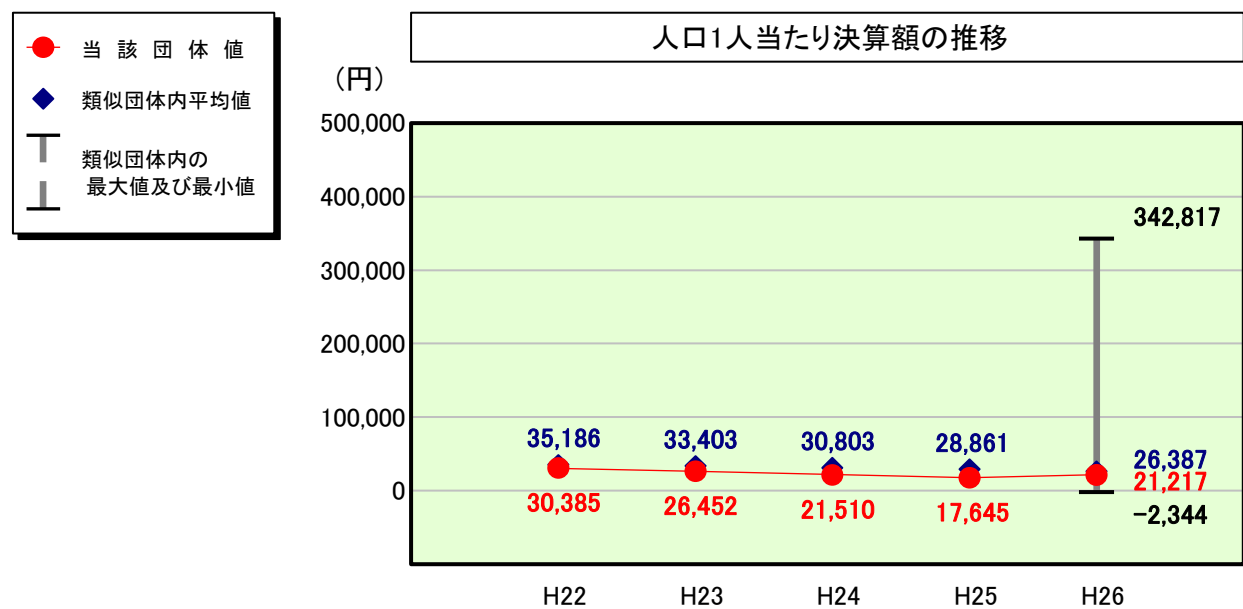
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,051,798	98,742	84,248	17.2
賃金 (物件費)	305,348	7,441	7,169	3.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	667,061	16,256	9,152	77.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	3,684	90	893	▲ 89.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	125,226	3,052	3,652	▲ 16.4
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	169,002	4,119	2,134	93.0
▲退職金	▲ 558,795	▲ 13,618	▲ 9,248	47.3
合計	4,763,324	116,082	98,003	18.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	11.09	9.39	1.70
ラスパイレス指数	99.6	97.0	2.6

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

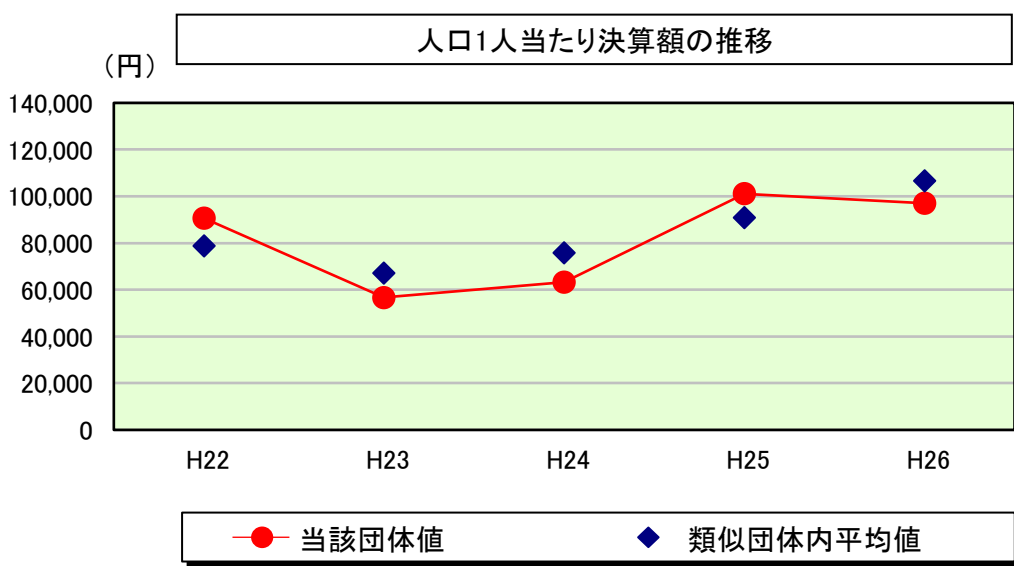


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,342,935	81,467	64,926	25.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	24	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	59,482	1,450	18,007	▲ 91.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	89,880	2,190	3,275	▲ 33.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	42,156	1,027	1,233	▲ 16.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲ 32,468	▲ 791	▲ 4,280	▲ 81.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,631,353	▲ 64,126	▲ 56,807	12.9
合計	870,632	21,217	26,387	▲ 19.6

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

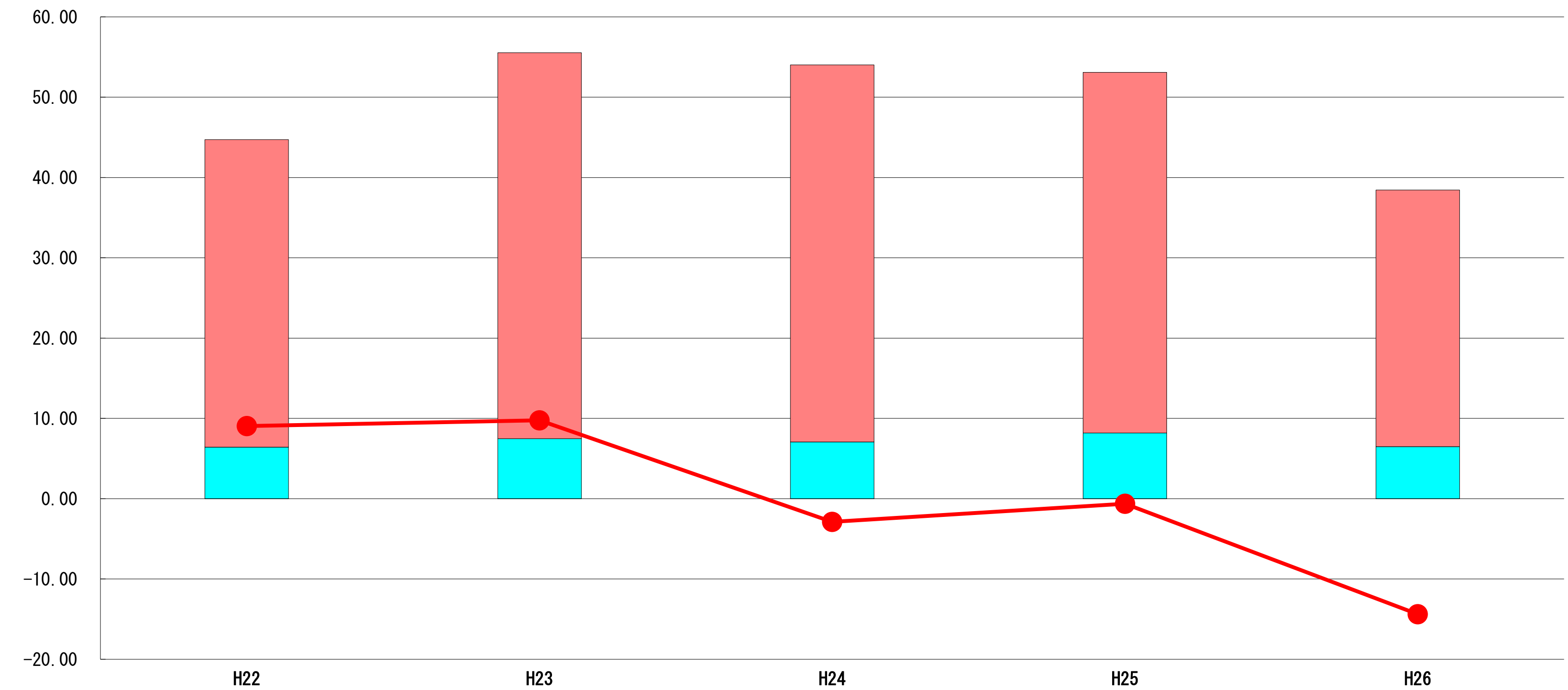
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	3,894,038	90,679	22.0	78,670	3.1	18.9
うち単独分	2,135,291	49,724	34.9	38,094	▲ 7.3	42.2
H23	2,400,441	56,720	▲ 37.4	67,201	▲ 14.6	▲ 22.8
うち単独分	1,967,985	46,501	▲ 6.5	35,210	▲ 7.6	1.1
H24	2,656,714	63,214	11.4	75,709	12.7	▲ 1.3
うち単独分	2,022,340	48,120	3.5	35,212	0.0	3.5
H25	4,211,724	101,061	59.9	90,961	20.1	39.8
うち単独分	2,787,068	66,876	39.0	37,720	7.1	31.9
H26	3,979,572	96,982	▲ 4.0	106,614	17.2	▲ 21.2
うち単独分	2,394,301	58,349	▲ 12.8	45,545	20.7	▲ 33.5
過去5年間平均	3,428,498	81,731	10.4	83,831	7.7	2.7
うち単独分	2,261,397	53,914	11.6	38,356	2.6	9.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県南房総市

標準財政規模比（％）



		標準財政規模比（％）				
区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		38.28	48.08	46.95	44.90	31.96
実質収支額		6.43	7.46	7.07	8.18	6.47
実質単年度収支		9.04	9.76	▲ 2.88	▲ 0.64	▲ 14.38

分析欄

平成23年度までは、普通交付税額や臨時財政対策債発行可能額の増加に加え、国の経済危機対策に係る交付金等の有効活用により、必要な事業を行いつつ、財政調整基金や減債基金への積立てを行ったため、各比率は増加傾向であった。

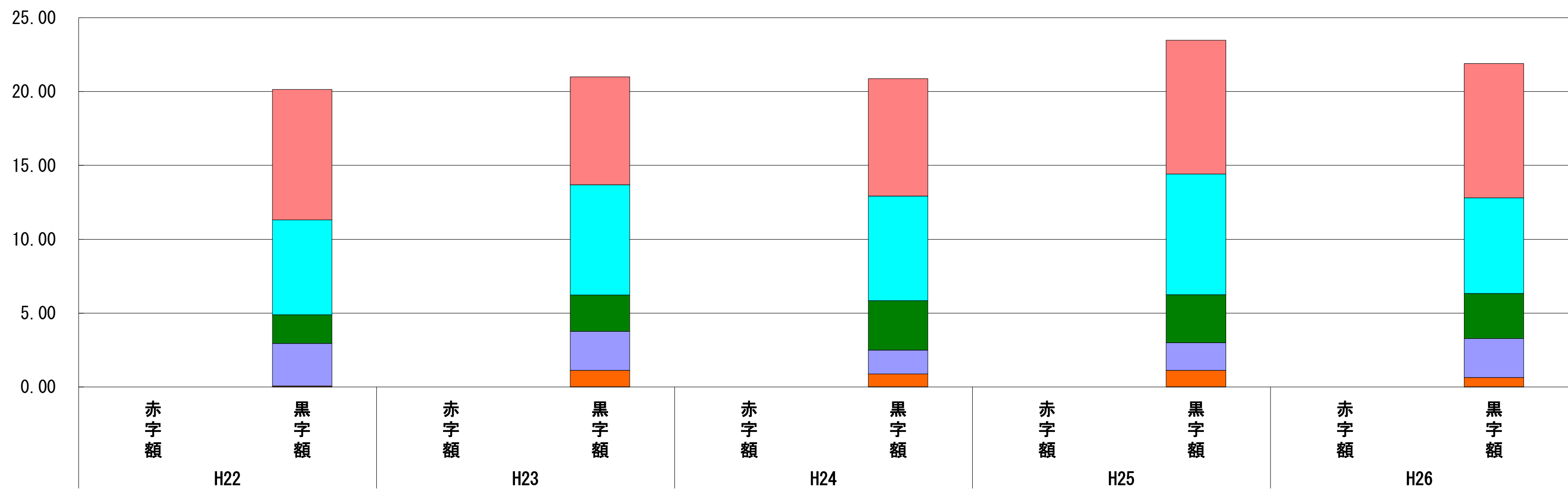
平成26年度は臨時財政対策債を発行せず、特定目的基金への積立てのため、財政調整基金を繰入れたため、各比率が減少した。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県南房総市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		8.84	7.30	7.96	9.07	9.09
一般会計		6.42	7.46	7.07	8.17	6.47
国民健康保険特別会計		1.94	2.47	3.35	3.24	3.06
国保病院事業会計		2.88	2.63	1.61	1.88	2.63
介護保険特別会計		0.06	1.12	0.88	1.11	0.63
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
公共用地取得事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	-	-	-	-

分析欄

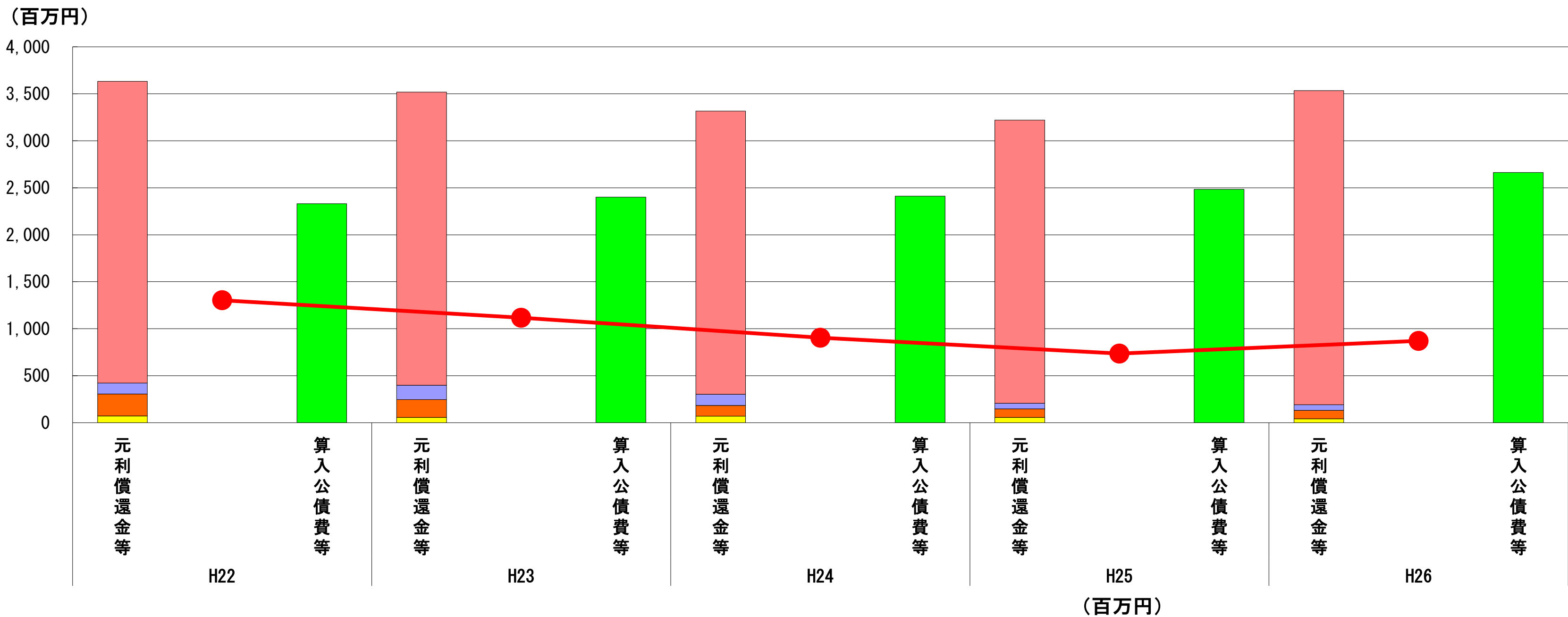
平成22年度以降、連結実質赤字比率はなく、また、すべての会計において、赤字は発生していない。ただし、各企業会計及び特別会計では一般会計からの繰入を行っており、その額は高止まりしていることから、その抑制に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県南房総市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,210	3,119	3,012	3,013	3,343
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		117	155	121	61	59
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		235	189	113	90	90
	債務負担行為に基づく支出額		71	56	70	57	42
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,330	2,401	2,411	2,485	2,662
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,303	1,118	905	736	872

分析欄

これまでは、新規起債を臨時財政対策債、合併特例事業債、過疎対策事業債等、普通交付税に高率で算入される非常に有利なものに限定してきたため、比率は減少傾向にあった。H26では比率が増加しているが、これは、H25借入れ分より、償還期間の短縮を実施したためである。

今後も有利な起債の活用に努めるとともに、減債基金への計画的な積立等を行い、公債費負担の低減を図る。

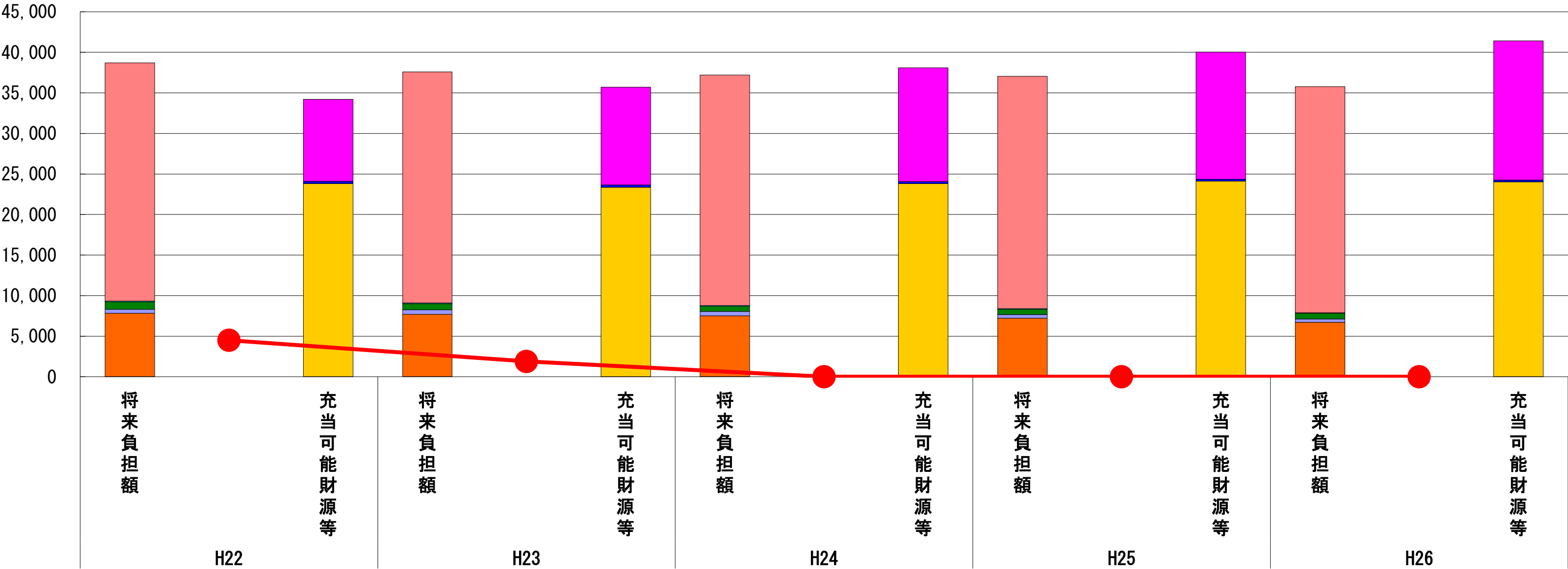
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県南房総市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		29,383	28,487	28,424	28,654	27,874
	債務負担行為に基づく支出予定額		100	93	87	80	74
	公営企業債等繰入見込額		924	776	641	642	693
	組合等負担等見込額		487	540	530	461	413
	退職手当負担見込額		7,814	7,693	7,509	7,205	6,715
	設立法人等の負債額等負担見込額		0	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		10,116	12,071	14,044	15,701	17,167
	充当可能特定歳入		297	276	254	230	206
	基準財政需要額算入見込額		23,801	23,363	23,812	24,119	24,035
(A) - (B)		将来負担比率の分子	4,494	1,879	▲ 919	▲ 3,007	▲ 5,640

分析欄

将来負担比率（分子）の主要因である一般会計等に係る地方債の現在高は平成22年度をピークに依然として高水準にあるものの、充当可能基金と基準財政需要額算入見込額の増加額はそれを上回り、平成22年度以降、一貫して減少している。
今後、普通交付税算定に係る優遇が終了すると、充当可能基金の増加が見込めなくなることから、主に起債の抑制を図る必要がある。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	I－1		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)			
							財政健全化等		×	歳入総額	16,432,733	16,709,002	実質収支比率	6.6	7.7		
									×	歳出総額	15,722,438	15,895,644	経常収支比率	87.0	86.0		
市町村名		匝瑳市		地方交付税種地	1-1		財源超過		×	歳入歳出差引	710,295	813,358	(※1)	(93.4)	(92.7)		
							首都		×	翌年度に繰越すべき財源	75,786	62,466	標準財政規模	9,644,907	9,704,137		
							近畿		×	実質収支	634,509	750,892	財政力指数	0.49	0.48		
人口		22年国調(人)	39,814	産業構造 (※5)			中部		×	単年度収支	-116,383	138,481	公債費負担比率	12.4	12.4		
		17年国調(人)	42,086				過疎		×	積立金	146,061	30,023	健全化判断比率				
		増減率 (％)	-5.4				山振		×	繰上償還金	-	30,747					
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	38,755	区分	22年国調	17年国調	低開発	○	積立金取崩し額	-	-	-	連結実質赤字比率	-	-		
		うち日本人(人)	38,349	第1次	2,447	3,451	指数表選定	○	実質単年度収支	29,678	199,251	実質公債費比率	6.2	7.6			
		26.01.01(人)	39,235		13.9	16.7						将来負担比率	39.7	47.7			
		うち日本人(人)	38,849	第2次	4,510	5,315						資金不足比率 (※4)					
		増減率 (％)	-1.2		25.6	25.7											
うち日本人(%)	-1.3	第3次	10,649	11,793													
面積 (km ²)	101.52		60.5	57.1													
人口密度 (人/km ²)	392																
世帯数 (世帯)	12,873																
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		16,453,927	15,130,166					
	市区町村長	1	7,020		一般職員	255	809,370	3,174	うち公的資金	13,719,419	11,971,289						
	副市区町村長	1	6,318		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,003,439	721,389						
	教育長	1	5,748		うち技能労務職員	11	34,837	3,167	収益事業収入	-	-						
	議会議長	1	3,900		教育公務員	18	62,748	3,486	土地開発基金現在高	345,882	345,859						
	議会副議長	1	3,600		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	2,703,162	2,181,101					
	議会議員	18	3,350		合計	273	872,118	3,195		減債基金	154,550	154,512					
					ラスパイレス指数				99.9	その他特定目的基金	2,262,144	2,714,651					
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)					
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	病院事業会計			(6)	匝瑳市横芝光町消防組合(一般会計)	(16)	ふれあいパーク八日市場						
		(3)	介護保険特別会計					(7)	八匠水道企業団(水道事業会計)								
		(4)	後期高齢者医療特別会計					(8)	匝瑳市ほか二町環境衛生組合(一般会計)								
								(9)	東総衛生組合(一般会計)								
								(10)	九十九里水道企業団(水道用水供給事業会計)								
								(11)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)								
								(12)	東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計)								
								(13)	東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)								
								(14)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)								
								(15)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)								

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,905,823	23.8	3,905,823	43.3	普通税	3,905,823	100.0	12,283	
地方譲与税	213,133	1.3	213,133	2.4	法定普通税	3,905,823	100.0	12,283	
利子割交付金	7,123	0.0	7,123	0.1	市町村民税	1,850,800	47.4	12,283	
配当割交付金	31,417	0.2	31,417	0.3	個人均等割	63,023	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	22,071	0.1	22,071	0.2	所得割	1,512,552	38.7	-	
地方消費税交付金	436,785	2.7	436,785	4.8	法人均等割	96,256	2.5	-	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	178,969	4.6	12,283	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,673,615	42.8	-	
自動車取得税交付金	42,288	0.3	42,288	0.5	うち純固定資産税	1,672,686	42.8	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	87,195	2.2	-	
地方特例交付金	12,553	0.1	12,553	0.1	市町村たばこ税	294,124	7.5	-	
地方交付税	4,788,827	29.1	4,286,672	47.6	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	4,286,672	26.1	4,286,672	47.6	特別土地保有税	89	0.0	-	
特別交付税	464,276	2.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	37,879	0.2	-	-	目的税	-	-	-	
（一般財源計）	9,460,020	57.6	8,957,865	99.4	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	6,649	0.0	6,649	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	151,778	0.9	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	102,750	0.6	21,720	0.2	都市計画税	-	-	-	
手数料	22,774	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	2,009,795	12.2	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	843,557	5.1	-	-	合計	3,905,823	100.0	12,283	
財産収入	54,690	0.3	17,885	0.2					
寄附金	1,502	0.0	-	-					
繰入金	475,845	2.9	-	-					
繰越金	437,358	2.7	-	-					
諸収入	397,285	2.4	10,022	0.1					
地方債	2,468,730	15.0	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	662,430	4.0	-	-					
歳入合計	16,432,733	100.0	9,014,141	100.0					

地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	3,905,823	100.0	12,283	
法定普通税	3,905,823	100.0	12,283	
市町村民税	1,850,800	47.4	12,283	
個人均等割	63,023	1.6	-	
所得割	1,512,552	38.7	-	
法人均等割	96,256	2.5	-	
法人税割	178,969	4.6	12,283	
固定資産税	1,673,615	42.8	-	
うち純固定資産税	1,672,686	42.8	-	
軽自動車税	87,195	2.2	-	
市町村たばこ税	294,124	7.5	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	89	0.0	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	-	-	-	
法定目的税	-	-	-	
入湯税	-	-	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	-	-	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	3,905,823	100.0	12,283	

徴収率（％）					
区分	合計	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
徴収率（％）	97.4	86.0	97.2	85.0	97.1
市町村民税	97.3	87.1	97.1	86.1	97.0
純固定資産税	97.0	85.3	96.8	83.9	96.7

公営事業等への繰出					国民健康保険事業会計の状況				
合計	1,860,591	実質収支	271,697		病院	360,379	再差引収支	119,054	
水道	136,283	加入世帯数（世帯）	7,335		工業用水道	-	被保険者数（人）	14,280	
交通	-	被保険者	105		国民健康保険	450,308	被保険者	105	
その他	913,621	1人当り	241				保険税（料）収入額	105	

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	204,569	1.3	-	204,568	
総務費	1,849,560	11.8	48,268	1,652,900	
民生費	4,849,534	30.8	98,562	2,404,196	
衛生費	1,408,481	9.0	42,222	1,325,615	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	399,401	2.5	128,395	281,709	
商工費	317,125	2.0	136,827	109,157	
土木費	1,077,552	6.9	691,761	571,304	
消防費	658,658	4.2	3,337	655,440	
教育費	3,620,815	23.0	2,393,518	1,416,488	
災害復旧費	17,257	0.1	-	17,257	
公債費	1,319,486	8.4	-	1,319,486	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	15,722,438	100.0	3,542,890	9,958,120	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6,637,152	42.2	4,494,325	4,486,376	46.4
人件費	2,517,497	16.0	2,327,914	2,320,315	24.0
うち職員給	1,525,936	9.7	1,351,905	-	-
扶助費	2,800,169	17.8	846,925	846,575	8.7
公債費	1,319,486	8.4	1,319,486	1,319,486	13.6
元利償還金	1,319,486	8.4	1,319,486	1,319,486	13.6
うち元金	1,144,969	7.3	1,144,969	1,144,969	11.8
うち利子	174,517	1.1	174,517	174,517	1.8
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	5,525,139	35.1	4,714,520	3,934,990	40.7
物件費	1,776,152	11.3	1,393,008	1,294,168	13.4
維持補修費	237,109	1.5	221,268	221,268	2.3
補助費等	1,818,326	11.6	1,743,091	1,477,612	15.3
うち一部事務組合負担金	983,849	6.3	983,849	960,208	9.9
繰出金	1,363,929	8.7	1,125,507	941,942	9.7
積立金	153,481	1.0	145,504	-	-
投資・出資金・貸付金	176,142	1.1	86,142	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,560,147	22.6	749,275	-	-
うち人件費	68,407	0.4	68,407	-	-
普通建設事業費	3,542,890	22.5	732,018	-	-
うち補助	1,109,540	7.1	158,005	-	-
うち単独	2,369,393	15.1	561,656	-	-
災害復旧事業費	17,257	0.1	17,257	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	15,722,438	100.0	9,958,120	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	16,446	15,735	710	635	476	16,454	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	16,446	15,735	710	635		16,454	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	6,070	5,799	272	272	660	-	-	-	
2	介護保険特別会計	3,065	2,978	86	86	491	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	360	357	3	3	118	-	-	-	
4	病院事業会計	2,511	2,753	▲ 242	705	363	1,138	717	-	法適用企業
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				1,066		1,138	717		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	匝瑳市横芝光町消防組合(一般会計)	980	965	15	15	-	264	162	
2	八匠水道企業団(水道事業会計)	1,321	1,220	101	1,763	160	151	-	
3	匝瑳市ほか二町環境衛生組合(一般会計)	748	679	69	69	30	209	124	
4	東総衛生組合(一般会計)	565	530	35	35	57	960	283	
5	九十九里水道企業団(水道用水供給事業会計)	7,044	6,436	608	5,164	-	9,462	3	
6	東総地区広域市町村圏事務組合(一般会計)	48	46	2	2	-	-	-	
7	東総地区広域市町村圏事務組合(東総地区ふるさと市町村圏事業特別会計)	12	10	1	1	9	-	-	
8	東総地区広域市町村圏事務組合(一般廃棄物処理事業特別会計)	143	79	64	21	-	-	-	
9	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
10	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
11	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
12	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
13	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
14	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				23,440		11,046	572	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	ふれあいパーク八日市場	5	57	2	-	-	-	-	-	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			2	-	-	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	1,417,623	1,383,130	1,319,486	15.6
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
準元利償還金	-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	158,800	95,497	73,106	0.9
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	97,918	99,198	124,847	1.5
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	44,005	45,257	45,532	0.5
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 1,718,346	1,623,082	1,562,971	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
PFI事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	510	18	14	0.0
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	25,907	25,972	25,724	0.3
利子補給に係るもの	17,588	19,267	19,794	0.2
特定財源の額	(B) -	-	-	
標準財政規模	(C) 9,647,950	9,704,137	9,644,907	
算入公債費等の額	(D) 1,018,740	1,094,281	1,168,808	
	(C)-(D) 8,629,210	8,609,856	8,476,099	
実質公債費比率	(単年度)	8.1	6.1	4.7
((A)-((B)+(D)))/(C)-(D))×100	(3カ年平均)	8.5	7.6	6.2

将来負担比率（千円・％）					健全化判断比率				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	38,755人	(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	38,349人	(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	101.52km ²		実質公債費比率	6.2	%
歳入総額	16,432,733千円		将来負担比率	39.7	%
歳出総額	15,722,438千円				
実質収支	634,509千円		市町村類型	H22 I-1 H23 I-1 H24 I-1	
標準財政規模	9,644,907千円		(年度毎)	H25 I-1 H26 I-1	
地方債現在高	16,453,927千円				



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

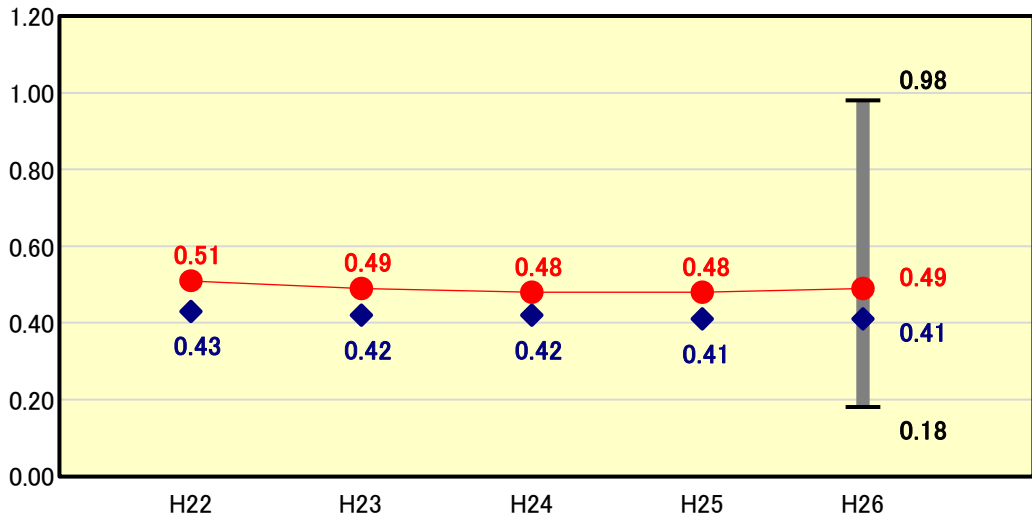
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.49]



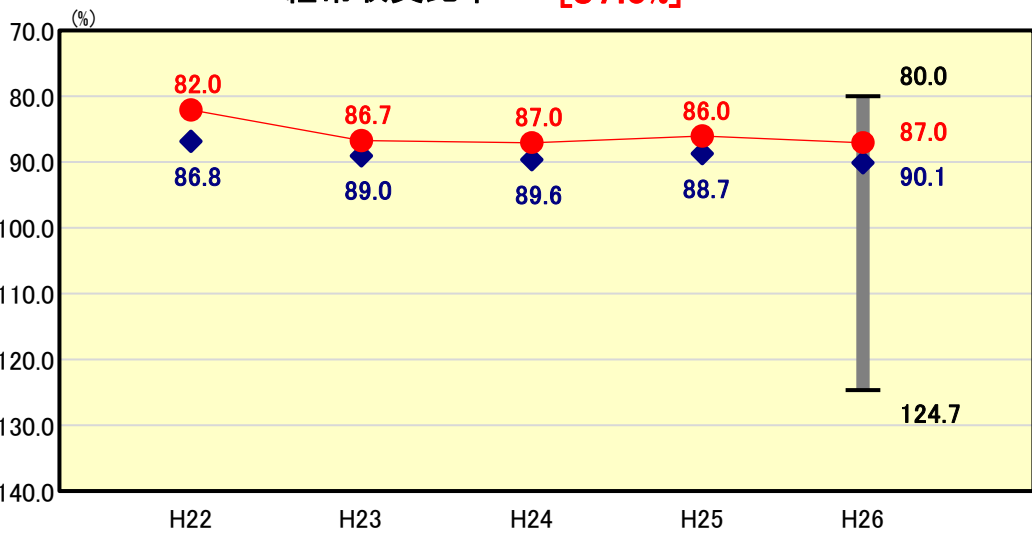
類似団体内順位 37/172 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

類似団体平均は上回っているが、人口が減少していることや高齢化率(平成27年4月1日現在30.4%)が県平均を上回っていること、市内に中核となる企業がないことなどから財政基盤が弱く、県平均を大幅に下回っている。このため市税を中心に、保育料、給食費等の確実な徴収・収納及び未利用市有地の売却、使用料・手数料の見直し等により自主財源の確保に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [87.0%]



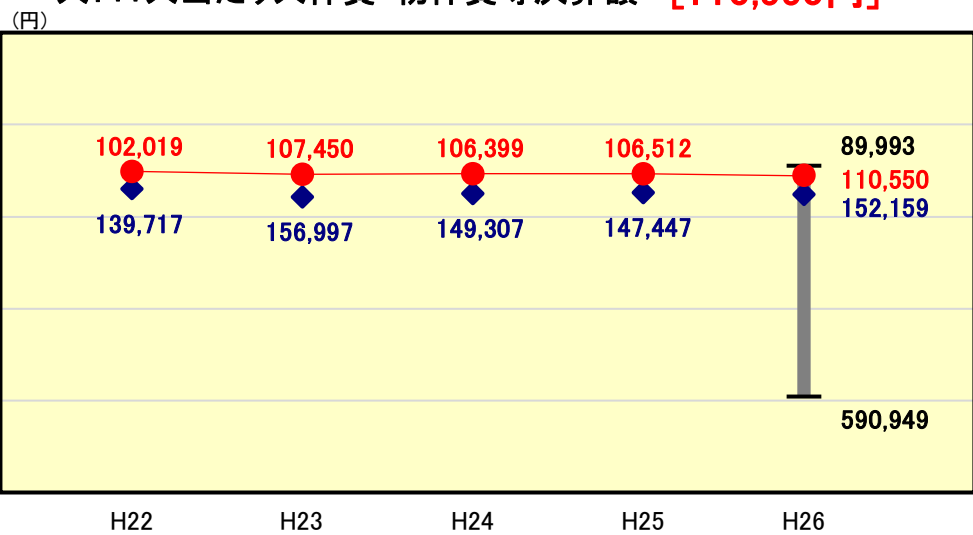
類似団体内順位 45/172 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

扶助費や物件費が増加したものの、公債費が減少したことから経常経費充当一般財源等は3百万円減少した。しかし、地方交付税、自動車取得税交付金、臨時財政対策債が減少したことにより、経常一般財源等が1億2千2百万円と大きく減少したため、経常収支比率は1.0ポイント上昇した。全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回っているが、歳入に占める依存財源の割合が大きいことから、今後も自主財源の確保と経常的経費の削減に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [110,550円]



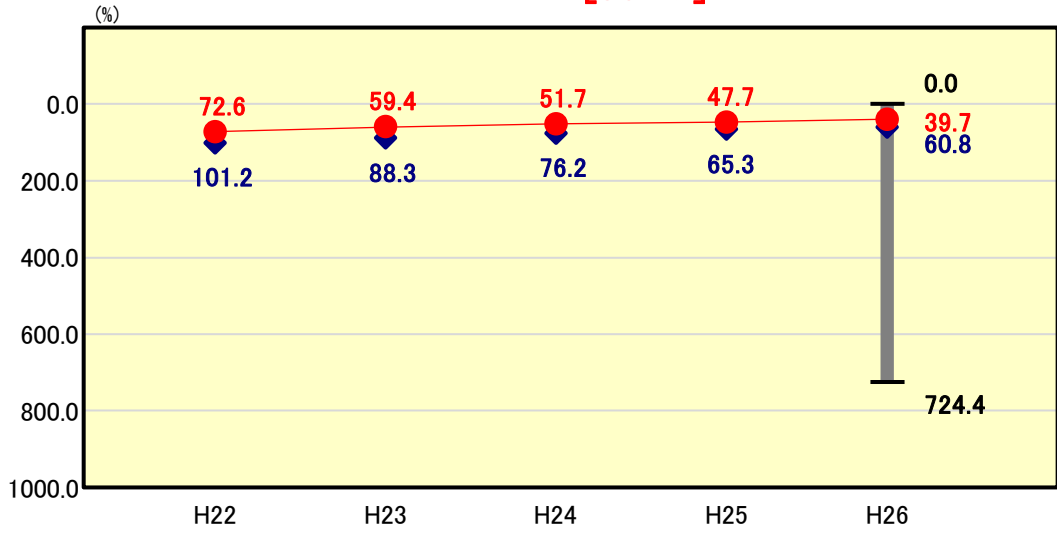
類似団体内順位 16/172 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体平均と比較して人件費・物件費等の決算額が小さくなっている要因として、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金を加味した場合、人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は大幅に増加することになる。今後はこれらの経費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [39.7%]



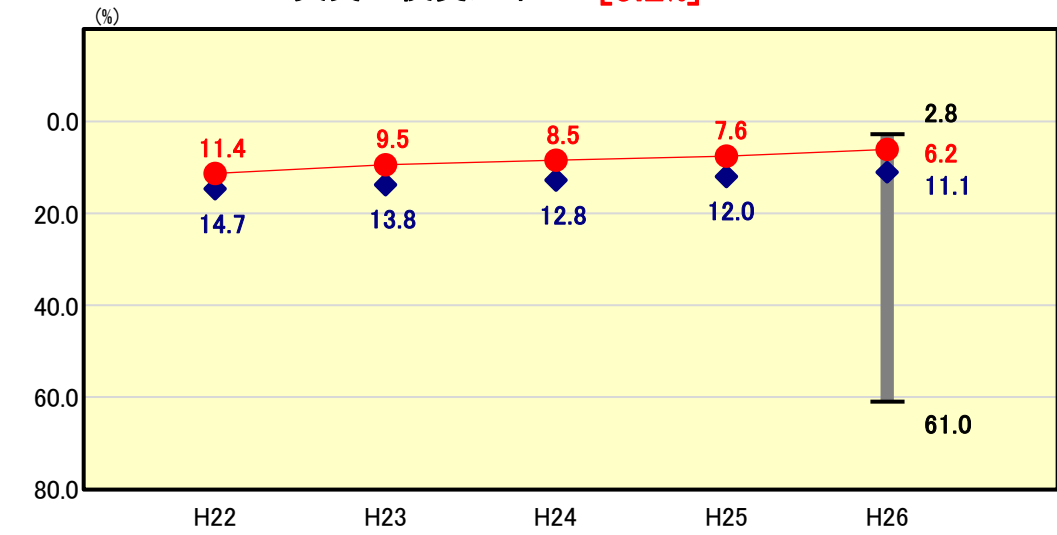
類似団体内順位 57/172 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

退職手当負担見込額、組合等負担見込額等は減少したが、地方債の現在高、債務負担行為に基づく支出予定額が増加したため、将来負担額は増加した。しかし、財政調整基金残高の増加等による充当可能基金の増加や、基準財政需要額算入見込額の増加により充当可能財源も増えたため、将来負担比率は8.0ポイント低下し、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回っている。今後、合併特例事業債の借入等により地方債残高が増加する見込みであるが、市債の新規発行は極力抑制し、財政の健全化を図る。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [6.2%]



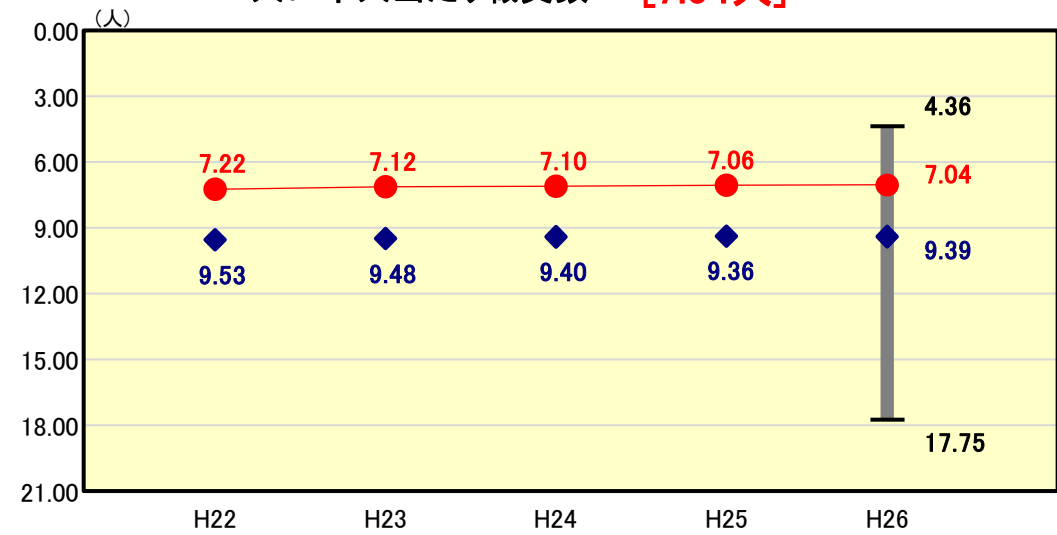
類似団体内順位 13/172 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

平成26年度は、普通交付税等の減少により標準財政規模が減少したが、一般会計及び病院事業会計の元利償還金が減少となり、交付税算入率の高い市債の割合の増加に伴い基準財政需要額算入額が増加したため、実質公債費率の分子も大きく減少した。そのため実質公債費比率は1.4ポイント低下し、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも下回る水準となっている。今後も地方債の新規発行の抑制に努めていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [7.04人]



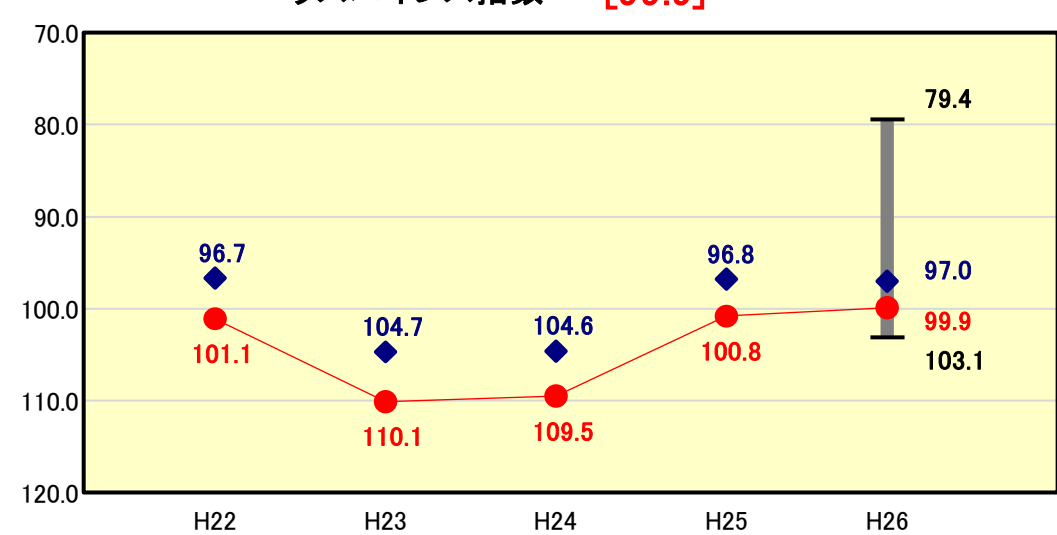
類似団体内順位 23/172 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

類似団体の平均は下回っているものの、千葉県平均、全国平均を上回っている。定員適正化計画に基づき、職員数を削減(平成25年度比△4人)しており、人口千人当たり職員数は年々減少傾向にある。今後も第2次定員適正化計画に基づき、職員数(病院事業会計に属する職員を除く)の削減を図り、職員数の適正化に努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [99.9]



類似団体内順位 156/172 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

ラスパイレス指数は、全国市平均、類似団体平均と比べ高い水準で推移してきており、平成26年度も全国市平均、類似団体平均を上回っている。これまでと比べその差は小さくなってきてはいるが、今後も管理職手当、特殊勤務手当の抑制等、行政改革大綱に基づき、職員給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

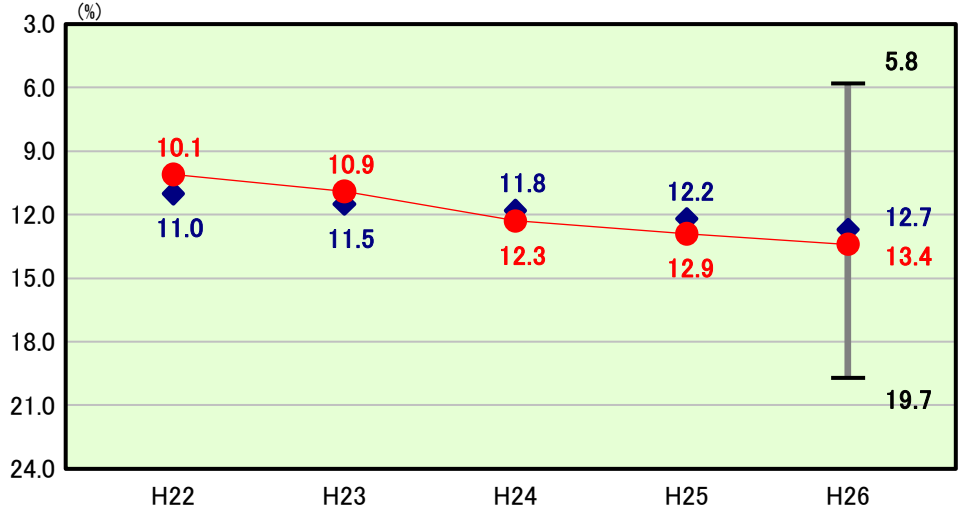
経常収支比率の分析

人口	38,755	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	38,349	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	101.52	km ²	実質公債費比率	6.2	%
歳入総額	16,432,733	千円	将来負担比率	39.7	%
歳出総額	15,722,438	千円	市町村類型	H22 I-1 H23 I-1 H24 I-1	
実質収支	634,509	千円	(年度毎)	H25 I-1 H26 I-1	
標準財政規模	9,644,907	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



物件費

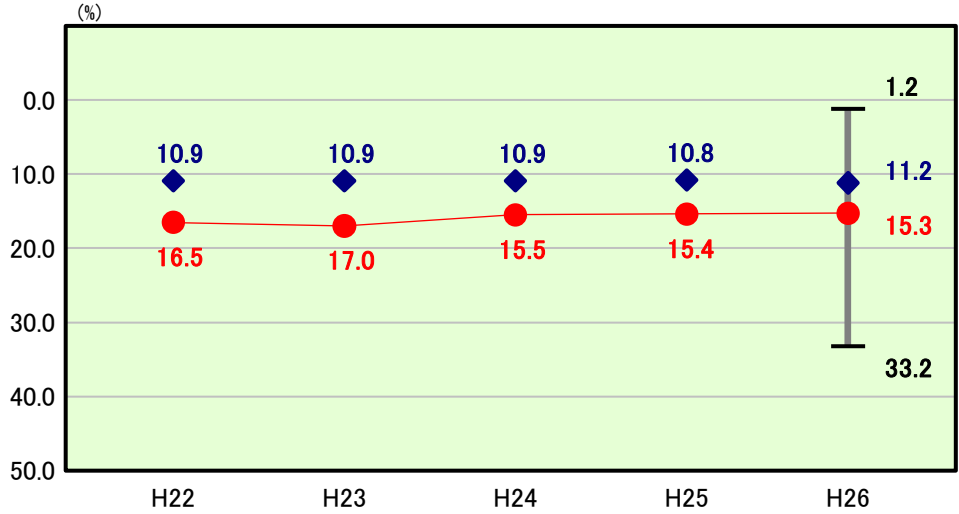


類似団体内順位 105/172 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、全国平均、県平均を下回るが、類似団体平均を上回る水準となっている。要因としては、正職員を減らし嘱託職員や臨時職員で対応していることや施設の維持管理費が増加していることなどが挙げられる。今後、施設の適正数などを検討し、物件費の抑制に努める。

補助費等

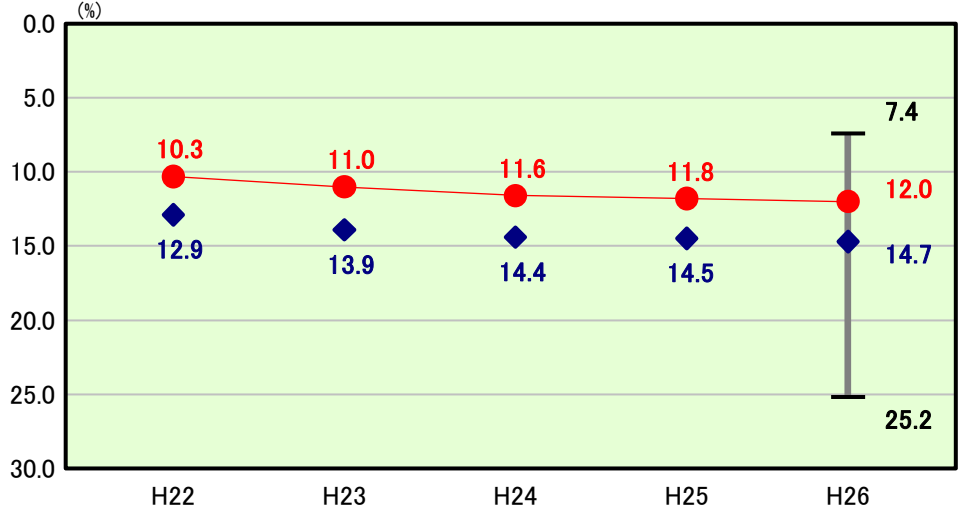


類似団体内順位 136/172 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

補助費に係る経常収支比率は、平成26年度は前年度に比べて0.1ポイント減少しているが、全国平均、県平均、類似団体平均のいずれも上回っており、高い水準での推移となっている。その要因としては、ごみ処理や消防業務を一部事務組合で行っており、それらの一部事務組合に対する負担金、病院事業会計への補助金等が多額になっていることが挙げられる。今後も補助金の交付について適正な金額を検討し、抑制に努める。

その他

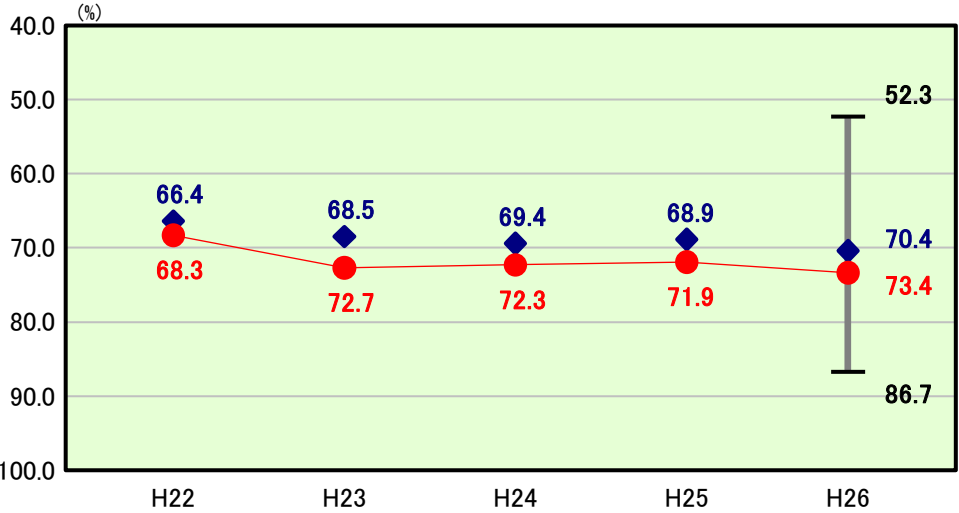


類似団体内順位 29/172 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、全国平均、類似団体平均を下回り、県平均と同水準となっているが、前年度と比べて0.2ポイント増加している。その他の中でも、国民健康保険特別会計や後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計等への繰出金が大な割合を占めている。今後も普通会計の負担を減らしていくように努める。

公債費以外

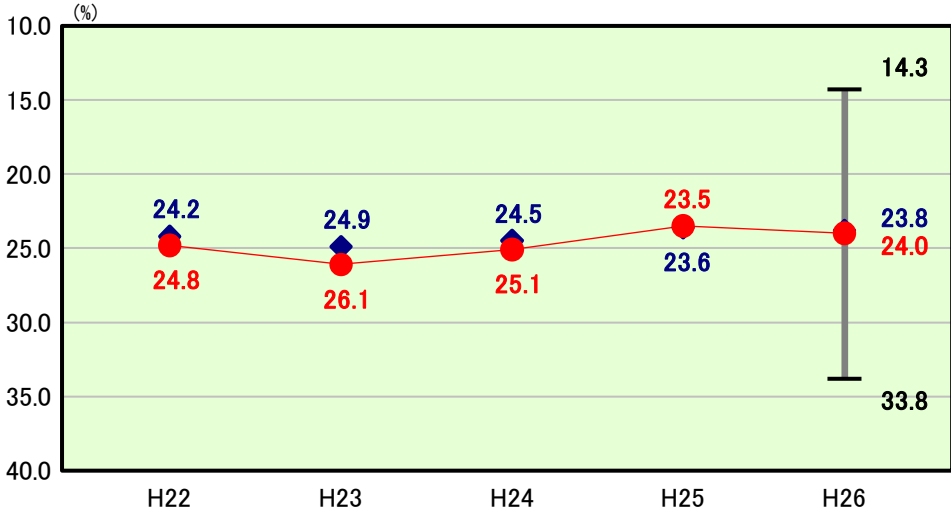


類似団体内順位 110/172 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率は、県平均を下回っているものの、全国平均、類似団体平均を上回っている。今後、生活保護扶助費等の増加が見込まれることや、特別会計への繰出金、一部事務組合への負担金が多額であることなどから、さまざまな観点から経費の削減に努めていく。

人件費

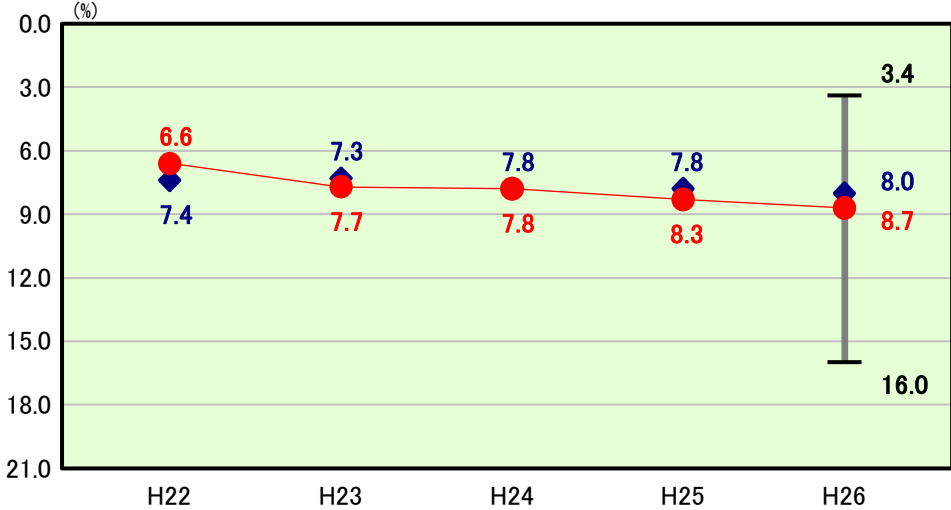


類似団体内順位 83/172 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

平成26年度は人件費が前年度と比べ増加したが、定員適正化計画に基づく職員数の削減や行政改革による給与の適正化に取り組んでおり、職員数の減少に伴い人件費はおおむね減少傾向にある。そのため、人件費に係る経常収支比率は、県平均を下回っており、全国平均と同水準となっている。今後も定員管理、給与の適正化に努めていく。

扶助費

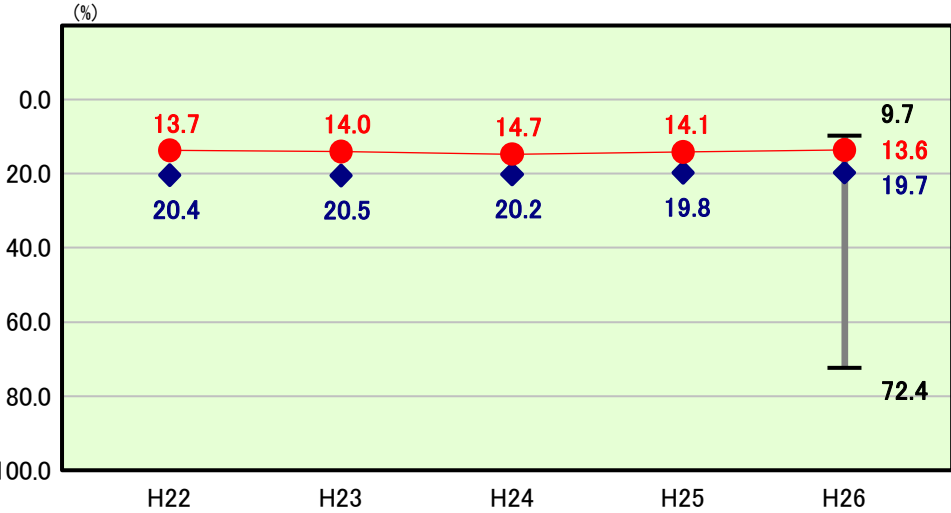


類似団体内順位 108/172 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、全国平均、県平均を下回り類似団体平均と同水準となっている。平成26年度は保育所運営費負担金や障害者自立支援給付費の増加等により、扶助費が増加した。今後も扶助費の増加傾向が見込まれる。

公債費



類似団体内順位 16/172 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

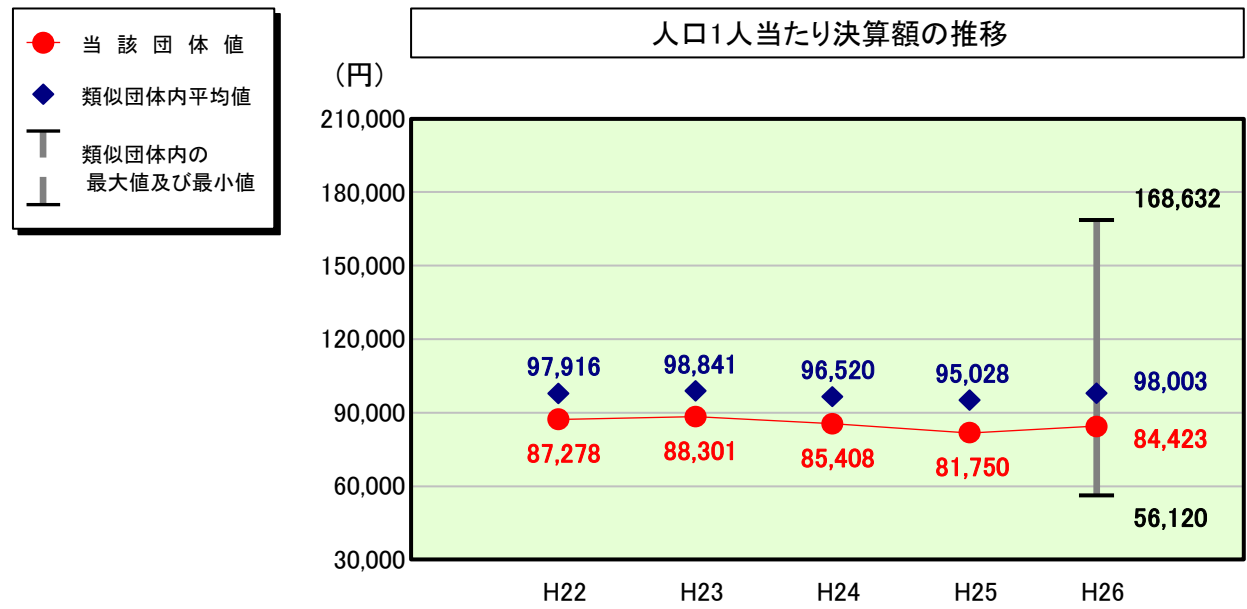
平成26年度の公債費の決算額は、前年度と比べて減少し、公債費に係る経常収支比率は、全国平均、県平均、類似団体平均をいずれも下回っている。今後も合併特例債や臨時財政対策債等の市債を借り入れる予定であり、公債費の増加は後年度の財政運営に多大な影響を及ぼすことから、市債の新規発行を極力抑制し、健全な財政運営に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県匝瑳市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



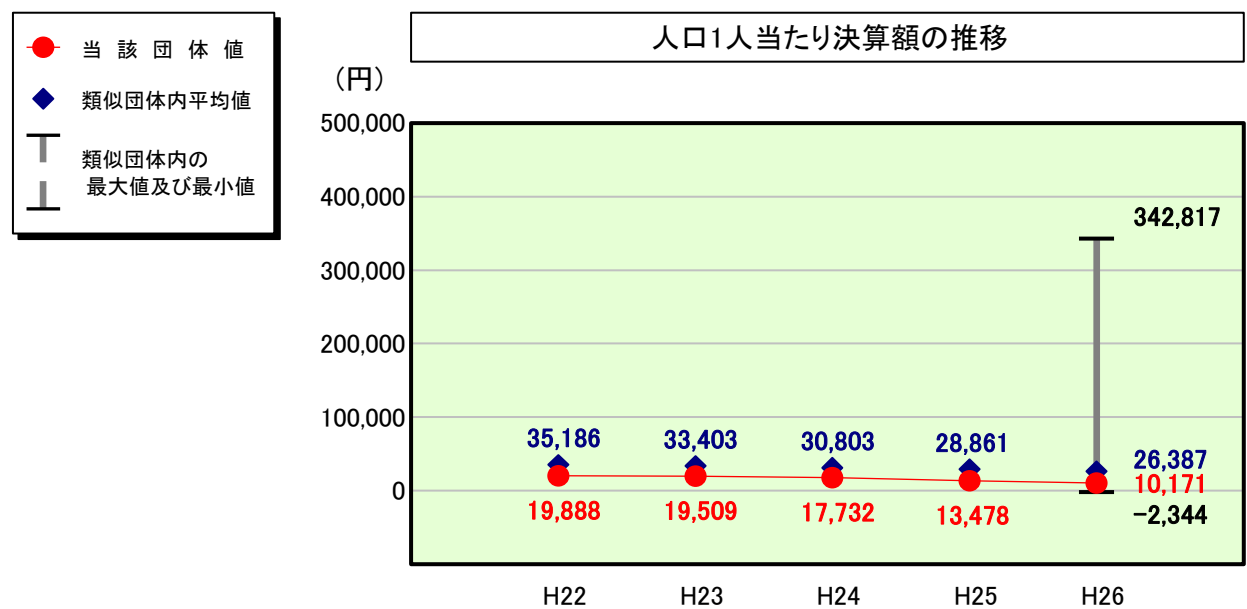
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,517,497	64,959	84,248	▲ 22.9
賃金 (物件費)	241,822	6,240	7,169	▲ 13.0
一部事務組合負担金 (補助費等)	558,517	14,411	9,152	57.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	28,070	724	893	▲ 18.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	172,303	4,446	3,652	21.7
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	68,407	1,765	2,134	▲ 17.3
▲退職金	▲ 314,790	▲ 8,123	▲ 9,248	▲ 12.2
合計	3,271,826	84,423	98,003	▲ 13.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.04	9.39	▲ 2.35
ラスパイレス指数	99.9	97.0	2.9

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

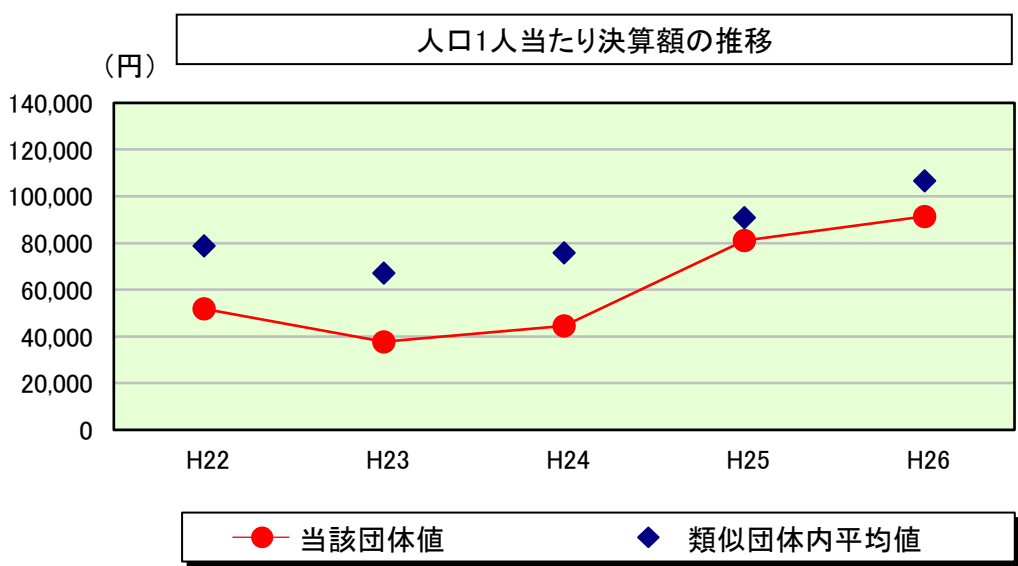


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,319,486	34,047	64,926	▲ 47.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	24	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	73,106	1,886	18,007	▲ 89.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	124,847	3,221	3,275	▲ 1.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	45,532	1,175	1,233	▲ 4.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 4,280	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,168,808	▲ 30,159	▲ 56,807	▲ 46.9
合計	394,163	10,171	26,387	▲ 61.5

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

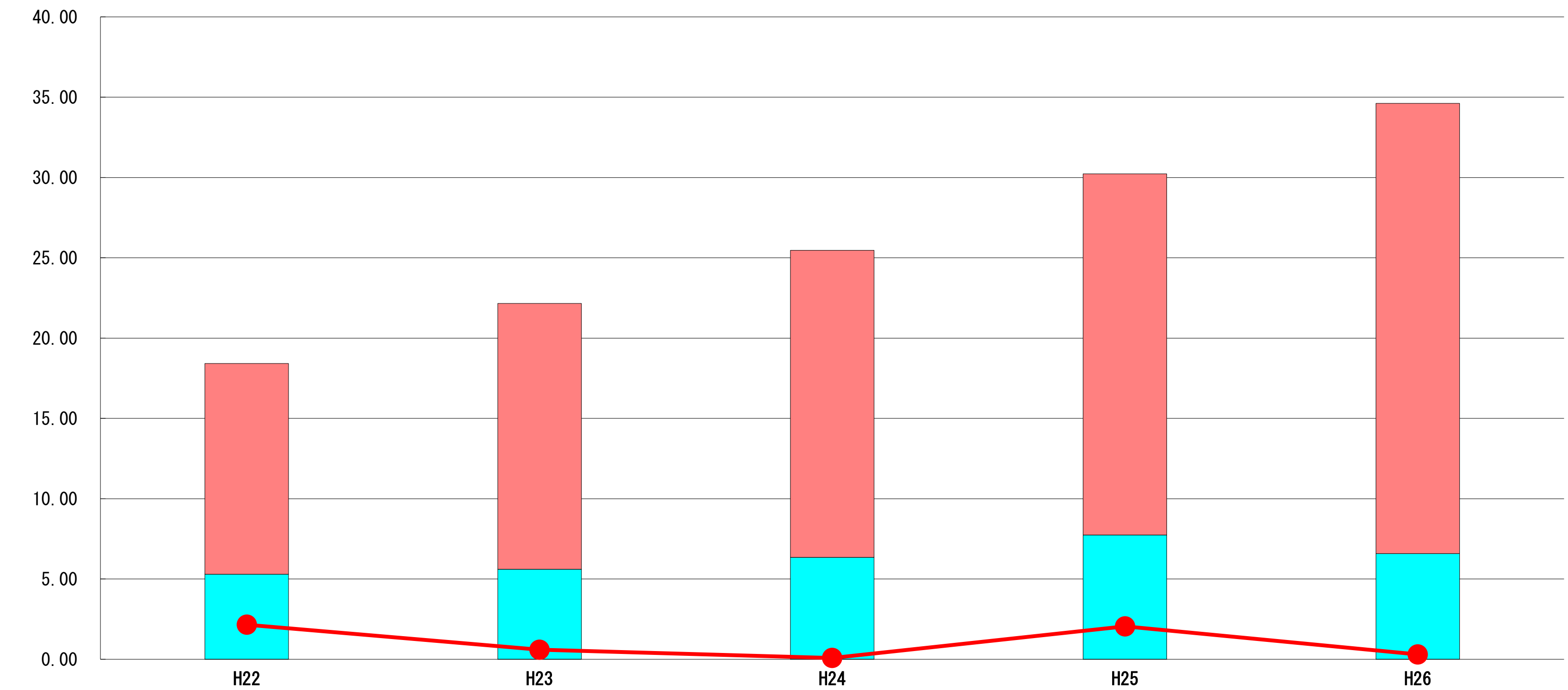
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	2,074,166	51,804	28.7	78,670	3.1	25.6
うち単独分	1,184,158	29,575	5.0	38,094	▲ 7.3	12.3
H23	1,495,417	37,773	▲ 27.1	67,201	▲ 14.6	▲ 12.5
うち単独分	890,784	22,500	▲ 23.9	35,210	▲ 7.6	▲ 16.3
H24	1,760,622	44,625	18.1	75,709	12.7	5.4
うち単独分	1,061,688	26,910	19.6	35,212	0.0	19.6
H25	3,176,427	80,959	81.4	90,961	20.1	61.3
うち単独分	1,692,197	43,130	60.3	37,720	7.1	53.2
H26	3,542,890	91,418	12.9	106,614	17.2	▲ 4.3
うち単独分	2,369,393	61,138	41.8	45,545	20.7	21.1
過去5年間平均	2,409,904	61,316	22.8	83,831	7.7	15.1
うち単独分	1,439,644	36,651	20.6	38,356	2.6	18.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県匝瑳市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		13.12	16.56	19.11	22.48	28.03
実質収支額		5.29	5.60	6.35	7.74	6.58
実質単年度収支		2.15	0.59	0.08	2.05	0.31

分析欄

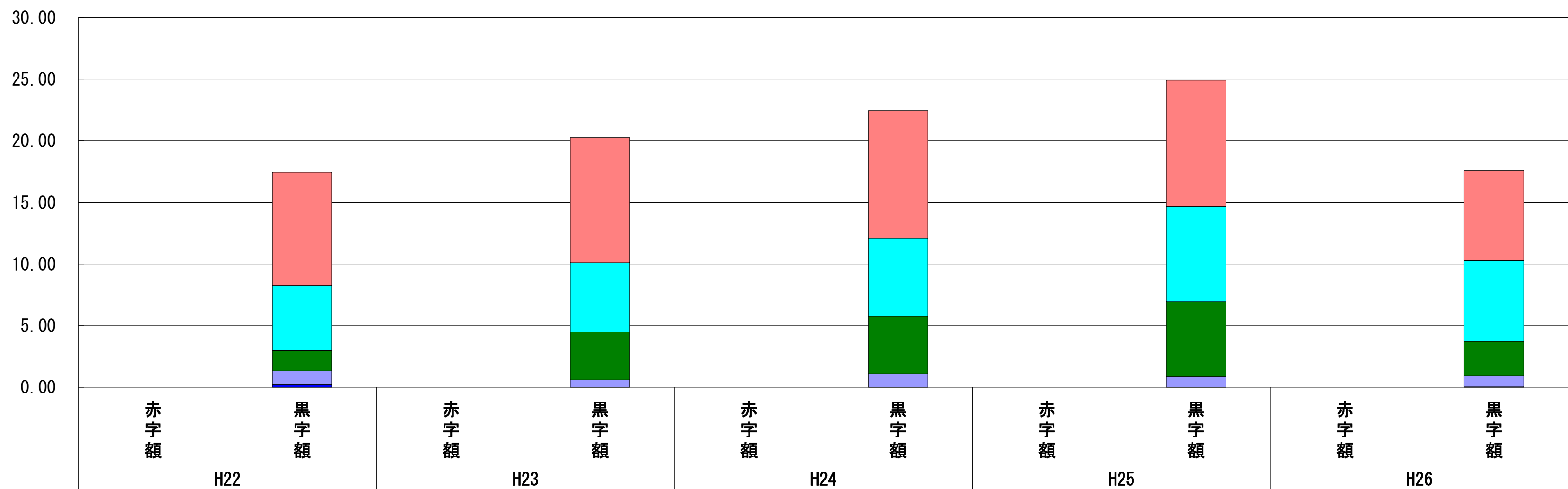
標準財政規模は5千9百万円減少し、実質収支額は1億1千6百万円減少したため、実質収支比率は1.16ポイント減少した。交付税の合併算定替終了等に備えた財政基盤強化に向けた取り組みにより、財政調整基金の残高が増加しており、財政調整基金の標準財政規模比は上昇傾向にある。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県匝瑳市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
病院事業会計		9.20	10.19	10.37	10.24	7.30
一般会計		5.28	5.60	6.34	7.73	6.57
国民健康保険特別会計		1.66	3.88	4.67	6.09	2.81
介護保険特別会計		1.11	0.61	1.08	0.85	0.89
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.01	0.01	0.03
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.21	-	-	-	-

分析欄

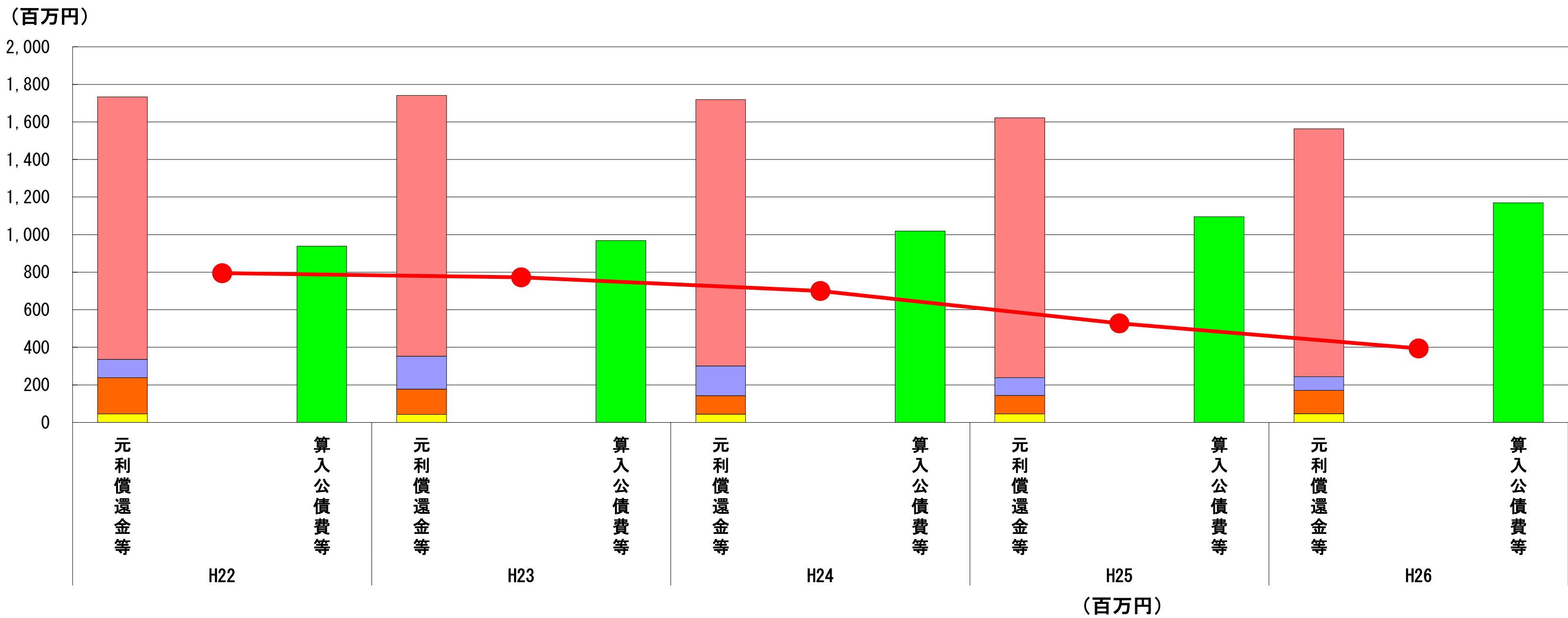
各会計において実質収支額は黒字決算されているため、実質赤字比率及び連結実施赤字比率は計上されていない。当数値は標準財政規模比であり、標準財政規模が前年度に比べて減少していることを考慮すると、病院事業会計、一般会計、国民健康保険特別会計の実質収支額は大きく減少している。一般会計の実質収支額は6億3千5百万円で、財政規模に対する比率は前年度に比べ1.16ポイント減少した。病院事業会計は黒字で推移しているものの毎年度一般会計からの基準外繰出金を計上している。また、国民健康保険特別会計も黒字で推移しているが、一般会計から多額の繰入を経常的に行っており、一般会計の負担が大きくなっている。今後も更なる各事業会計の経営の安定化に努め、一般会計の負担を軽減していくと同時に、財政性健全化を進めていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県匝瑳市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,397	1,389	1,418	1,383	1,319
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		97	174	159	95	73
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		194	135	98	99	125
	債務負担行為に基づく支出額		45	43	44	45	46
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		938	969	1,019	1,095	1,169
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		795	772	700	527	394

分析欄

平成26年度は、都市農村交流施設整備のために借入れた市債の償還が終了したことなどから一般会計の元利償還金が減少し、病院事業会計の元利償還金も減少したため、元利償還金等が減少となった。さらに、交付税算入率の高い市債の割合が増加しており、算入公債費等が増加傾向で推移しているため、実質公債費比率の分子は年々減少してきている。

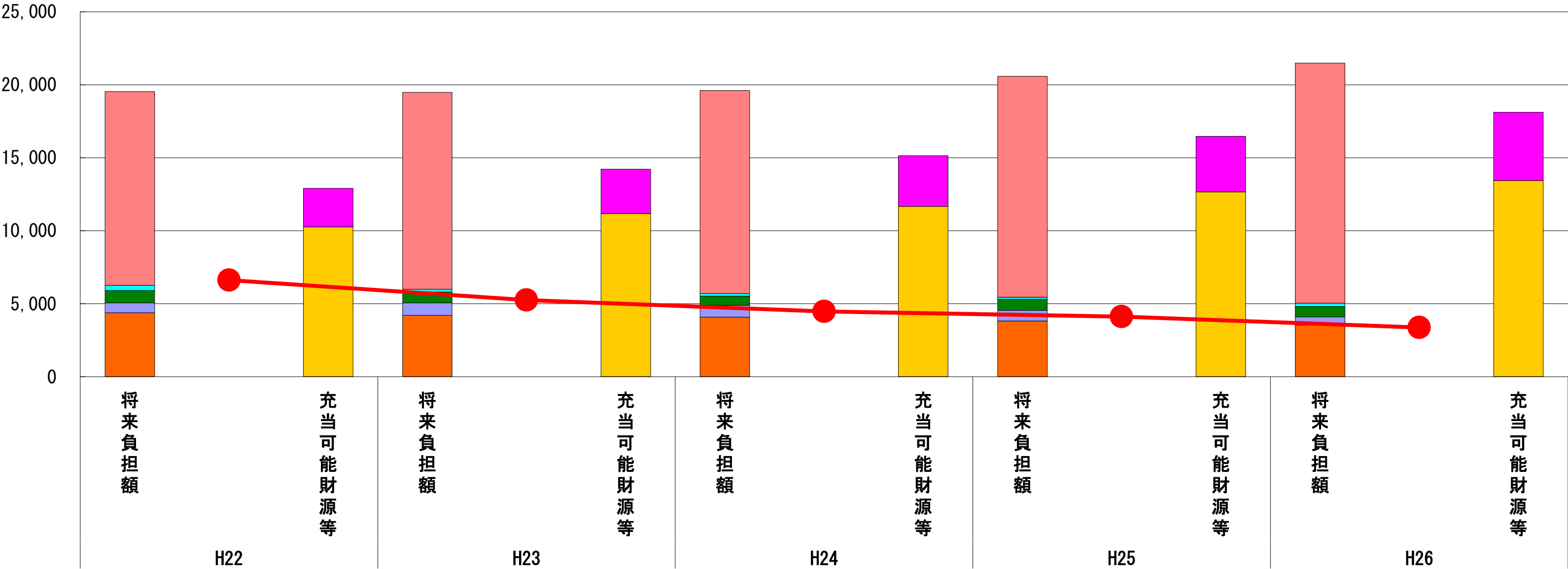
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県匝瑳市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		13,271	13,476	13,915	15,130	16,454
	債務負担行為に基づく支出予定額		348	198	174	149	216
	公営企業債等繰入見込額		861	747	623	761	717
	組合等負担等見込額		668	849	812	714	573
	退職手当負担見込額		4,382	4,204	4,089	3,822	3,524
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,647	3,047	3,474	3,810	4,667
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		10,265	11,168	11,670	12,654	13,446
(A) - (B)		将来負担比率の分子	6,617	5,259	4,469	4,113	3,371

分析欄

公営企業債等繰入見込額、組合等負担見込額、退職手当負担見込額は減少しているものの、最も大きな割合を占める地方債の現在高が合併特例事業債や臨時財政特例債等の借入により増加傾向にあるため、将来負担額は増加している。充当可能基金は財政調整基金の剰余金処分等により増加しており、基準財政需要額算入見込額は交付税算入率の高い市債の割合が増加していることにより増加しているため、充当可能財源等は増加している。ここ数年、将来負担額は増加してきているが、充当可能財源等の増加額が将来負担額の増加額を上回っていることから、将来負担比率の分子は減少傾向にある。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)				
市町村名		香取市		地方交付税種地	1-2		財政健全化等	×	歳入総額	33,996,969	37,211,290	実質収支比率	9.5	14.3				
							財源超過	×	歳出総額	31,600,642	34,155,008	経常収支比率	84.6	81.9				
							首都	×	歳入歳出差引	2,396,327	3,056,282	(※1)	(91.5)	(88.9)				
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	540,668	236,029	標準財政規模	19,531,245	19,786,879				
									実質収支	1,855,659	2,820,253	財政力指数	0.55	0.55				
人口	22年国調(人)	82,866 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <td>-964,594</td> <td>-161,166</td> <th>公債費負担比率</th> <td>13.9</td> <td>13.4</td>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	-964,594	-161,166	公債費負担比率	13.9	13.4					
	17年国調(人)	87,332 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <td>8,484</td> <td>244,388<th>健全化判断比率</th><td></td><td></td></td>				過疎	×	積立金	8,484	244,388 <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	健全化判断比率							
	増減率 (％)	-5.1 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <td>344,494</td> <td>507,941<th>実質赤字比率</th><td>-</td><td>-</td></td>				山振	×	繰上償還金	344,494	507,941 <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	実質赤字比率	-	-					
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	81,065 <th rowspan="2">区分</th> <td>22年国調</td> <td>17年国調</td> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <td>290,206</td> <td>305,142<th>連結実質赤字比率</th><td>-</td><td>-</td></td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	290,206	305,142 <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	連結実質赤字比率	-	-				
		うち日本人(人)	80,304 <th rowspan="2">第1次</th> <td>4,779</td> <td>5,689</td> <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <td>-901,822</td> <td>286,021<th>実質公債費比率</th><td>9.2</td><td>10.0</td></td>		第1次	4,779	5,689	指数表選定	○	実質単年度収支	-901,822	286,021 <th>実質公債費比率</th> <td>9.2</td> <td>10.0</td>	実質公債費比率	9.2	10.0			
		26.01.01(人)	82,120 <th rowspan="2">第2次</th> <td>12.4</td> <td>12.9<td></td><td></td><td></td><td></td><th>将来負担比率</th><td>69.0</td><td>84.1</td></td>	第2次		12.4	12.9 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <th>将来負担比率</th> <td>69.0</td> <td>84.1</td>					将来負担比率	69.0	84.1				
		うち日本人(人)	81,348 <th rowspan="2">第3次</th> <td>9,346</td> <td>11,116<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>		第3次	9,346	11,116 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>											
		増減率 (％)	-1.3 <td>24.2</td> <td>25.2<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	24.2		25.2 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>												
面積 (km ²)	262.35				24,535	27,036												
人口密度 (人/km ²)	316				63.5	61.3												
世帯数 (世帯)	27,309																	
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		36,821,581	34,666,575						
	市区町村長	1	8,000		一般職員	567	1,895,481	3,343	うち公的資金		22,756,715	22,584,622						
	副市区町村長	1	6,800		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)		2,477,288	2,665,048						
	教育長	1	6,400		うち技能労務職員	51	171,870	3,370	収益事業収入		-	-						
	議会議長	1	3,900		教育公務員	18	64,908	3,606	土地開発基金現在高		235,619	235,601						
	議会副議長	1	3,700		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	8,626,480	7,508,202						
	議会議員	20	3,500		合計	585	1,960,389	3,351		減債基金	1,006,476	1,005,498						
					ラスパイレス指数			100.1		その他特定目的基金	4,376,250	3,945,367						
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(4) 香取市国民健康保険事業特別会計			(8) 香取市水道事業会計			(10) 香取市農業集落排水事業特別会計			(14) 香取広域市町村圏事務組合(一般会計)						
(2) 香取市土地取得事業特別会計			(5) 香取市介護保険事業特別会計			(9) 香取市簡易水道事業会計			(11) 香取市観光事業特別会計			(15) 香取市東庄町病院組合(病院事業)						
(3) 香取市火葬場事業特別会計			(6) 香取市訪問看護事業特別会計						(12) 香取市下水道事業特別会計			(16) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)						
			(7) 香取市後期高齢者医療事業特別会計						(13) 香取市太陽光発電事業特別会計			(17) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)						
												(18) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)						
												(19) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)						
												(20) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)						
												(21) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	8,472,176	24.9	8,261,570	45.8	普通税	8,261,570	97.5	-	
地方譲与税	393,770	1.2	393,770	2.2	法定普通税	8,261,570	97.5	-	
利子割交付金	15,390	0.0	15,390	0.1	市町村民税	3,870,749	45.7	-	
配当割交付金	67,680	0.2	67,680	0.4	個人均等割	133,832	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	47,413	0.1	47,413	0.3	所得割	3,227,397	38.1	-	
地方消費税交付金	881,441	2.6	881,441	4.9	法人均等割	173,117	2.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	177,124	0.5	177,124	1.0	法人税割	336,403	4.0	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,607,883	42.6	-	
自動車取得税交付金	78,031	0.2	78,031	0.4	うち純固定資産税	3,603,442	42.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	185,214	2.2	-	
地方特例交付金	26,614	0.1	26,614	0.1	市町村たばこ税	597,634	7.1	-	
地方交付税	8,792,095	25.9	8,059,193	44.7	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	8,059,193	23.7	8,059,193	44.7	特別土地保有税	90	0.0	-	
特別交付税	624,313	1.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	108,589	0.3	-	-	目的税	210,606	2.5	-	
（一般財源計）	18,951,734	55.7	18,008,226	99.9	法定目的税	210,606	2.5	-	
交通安全対策特別交付金	11,602	0.0	11,602	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	280,231	0.8	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	408,031	1.2	-	-	都市計画税	210,606	2.5	-	
手数料	46,151	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	4,240,917	12.5	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	1,663,561	4.9	-	-	合計	8,472,176	100.0	-	
財産収入	90,383	0.3	4,178	0.0	区分				
寄附金	100,885	0.3	-	-	平成26年度		平成25年度		
繰入金	586,485	1.7	-	-	徴収率	現・計	合計	97.4	86.2
繰越金	1,656,282	4.9	-	-	(%)	年	市町村民税	97.3	88.6
諸収入	955,185	2.8	340	0.0			純固定資産税	97.1	83.9
地方債	5,005,522	14.7	-	-	公営事業等への繰出				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	合計		国民健康保険事業会計の状況		
うち臨時財政対策債	1,463,822	4.3	-	-	下水道	4,225,289	実質収支	407,299	
歳入合計	33,996,969	100.0	18,024,346	100.0	下水道	938,344	再差引収支	313,826	
					上水道	363,722	加入世帯数（世帯）	14,801	
					病院	289,820	被保険者数（人）	26,008	
					簡易水道	83,085	被保険者 1人当り	保険税（料）収入額	
					国民健康保険	548,057		107	
					その他	2,002,261		104	
								268	

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	254,705	0.8	-	254,705	
総務費	4,493,266	14.2	926,059	3,284,560	
民生費	9,646,685	30.5	201,854	4,767,763	
衛生費	2,592,107	8.2	58,546	2,032,951	
労働費	12,150	0.0	-	12,150	
農林水産業費	919,856	2.9	117,337	650,814	
商工費	925,618	2.9	362,730	382,187	
土木費	3,267,954	10.3	1,862,411	1,839,864	
消防費	2,021,628	6.4	43,208	1,443,330	
教育費	3,537,278	11.2	1,270,877	2,055,676	
災害復旧費	712,447	2.3	-	560,738	
公債費	3,216,948	10.2	-	3,176,753	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	31,600,642	100.0	4,843,022	20,461,491	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	13,913,668	44.0	9,616,242	9,232,759	47.4
人件費	5,139,033	16.3	4,654,117	4,638,771	23.8
うち職員給	3,252,640	10.3	2,785,755	-	-
扶助費	5,557,687	17.6	1,785,372	1,761,729	9.0
公債費	3,216,948	10.2	3,176,753	2,832,259	14.5
元利償還金	3,216,948	10.2	3,176,753	2,832,259	14.5
うち元金	2,850,516	9.0	2,813,590	2,469,096	12.7
うち利子	366,432	1.2	363,163	363,163	1.9
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	12,131,505	38.4	9,336,422	7,258,565	37.2
物件費	3,194,668	10.1	2,328,066	1,945,783	10.0
維持補修費	170,079	0.5	135,656	135,656	0.7
補助費等	4,259,902	13.5	3,415,487	2,700,765	13.9
うち一部事務組合負担金	2,835,780	9.0	2,248,777	2,119,929	10.9
繰出金	3,488,662	11.0	3,037,930	2,476,361	12.7
積立金	604,090	1.9	252,177	-	-
投資・出資金・貸付金	414,104	1.3	167,106	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,555,469	17.6	1,508,827	-	-
うち人件費	357,242	1.1	357,242	-	-
普通建設事業費	4,843,022	15.3	948,089	-	-
うち補助	2,370,477	7.5	317,514	-	-
うち単独	2,434,671	7.7	623,301	-	-
災害復旧事業費	712,447	2.3	560,738	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	31,600,642	100.0	20,461,491	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	34,002	31,622	2,380	1,839	569	36,593	
2	香取市土地取得事業特別会計	18	18	0	-	-	-	
3	香取市火葬場事業特別会計	124	108	17	17	68	255	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）	33,997	31,601	2,396	1,856		36,848	-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	香取市国民健康保険事業特別会計	11,121	10,714	407	407	796	-	-	-	
2	香取市介護保険事業特別会計	6,087	5,927	160	160	951	-	-	-	
3	香取市訪問看護事業特別会計	26	26	0	-	8	-	-	-	
4	香取市後期高齢者医療事業特別会計	733	731	1	1	201	-	-	-	
5	香取市水道事業会計	1,896	1,654	242	533	178	7,650	1,339	-	法適用企業
6	香取市簡易水道事業会計	131	121	10	332	47	1,087	916	-	法適用企業
7	香取市農業集落排水事業特別会計	181	181	1	1	138	912	816	-	法非適用企業
8	香取市観光事業特別会計	295	290	5	-	45	347	-	-	法非適用企業
9	香取市下水道事業特別会計	1,784	1,766	18	1	801	7,835	6,276	-	法非適用企業
10	香取市太陽光発電事業特別会計	689	671	18	7	-	1,029	-	-	法非適用企業
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				1,442		18,860	9,347		-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1	香取広域市町村圏事務組合（一般会計）	4,621	4,415	206	206	132	1,930	1,053	
2	香取市東庄町病院組合（病院事業）	3,042	3,310	▲ 268	852	77	665	381	
3	千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
4	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	170	118	52	52	-	-	-	
5	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研修センター特別会計）	109	101	8	8	2	-	-	
6	千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通災害共済特別会計）	129	96	33	33	-	-	-	
7	千葉県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
8	千葉県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療特別会計）	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				17,428		2,595	1,434	

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）		将来負担の状況			
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
元利償還金	2,719,903	2,862,997	2,886,141	16.9	
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	
準元利償還金					
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,193,227	819,833	805,988	4.7	
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	327,575	257,948	262,657	1.5	
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	40,111	38,719	38,735	0.2	
一時借入金の利子	113	-	-	-	
合計	(A)	4,280,929	3,979,497	3,993,521	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
PFI事業に係るもの	30,534	29,185	29,245	0.2	
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	9,425	9,425	9,425	0.1	
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	
利子補給に係るもの	152	109	65	0.0	
特定財源の額	(B)	195,727	169,555	175,762	
標準財政規模	(C)	19,578,110	19,786,879	19,531,245	
算入公債費等の額	(D)	2,162,027	2,294,046	2,440,597	
	(C)－(D)	17,416,083	17,492,833	17,090,648	
実質公債費比率	(単年度)	11.0	8.7	8.1	
((A)－((B)＋(D)))／((C)－(D)) × 100	(3ヵ年平均)	10.5	10.0	9.2	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）											
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	32,879,216	34,666,575	36,848,087	215.6	PFI事業に係るもの	391,653	304,612	280,360	1.6	
	債務負担行為に基づく支出予定額	572,140	459,261	352,244	2.1	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	
	公営企業債等繰入見込額	10,757,555	10,236,068	9,347,102	54.7	国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-	
	組合等負担等見込額	1,780,907	1,667,958	1,434,163	8.4	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	92,212	75,799	2,459	0.0	
	退職手当負担見込額	10,795,435	10,434,175	10,028,025	58.7	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	389	0.0	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	88,275	78,850	69,425	0.4	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	
	合計	(E)	56,785,253	57,464,037	58,010,010	債務負担行為	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
							その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
充当可能財源等	充当可能基金	8,227,764	9,733,297	11,276,917	66.0	企業債等繰入見込額	香取市下水道事業特別会計	7,320,390	6,982,470	6,275,846	36.7
	充当可能特定繰入	2,426,668	1,669,410	1,526,136	8.9		香取市水道事業会計	1,484,508	1,385,957	1,338,692	7.8
	基準財政需要額算入見込額	29,422,776	31,347,337	33,399,556	195.4		香取市簡易水道事業会計	915,099	925,767	915,947	5.4
	合計	(F)	40,077,208	42,750,044	46,202,609		香取市農業集落排水事業特別会計	1,001,524	917,339	816,617	4.8
							その他の会計	-	-	-	-
将来負担比率((E)-(F))／((C)-(D))×100											
						公社・三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
							土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-
							その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	389	0.0
健全化判断比率		平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準							
実質赤字比率		-	12.52	20.00							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	81,065人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	80,304人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	262.35km ²	実質公債費比率	9.2%
歳入総額	33,996,969千円	将来負担比率	69.0%
歳出総額	31,600,642千円		
実質収支	1,855,659千円	市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1
標準財政規模	19,531,245千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1
地方債現在高	36,821,581千円		

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

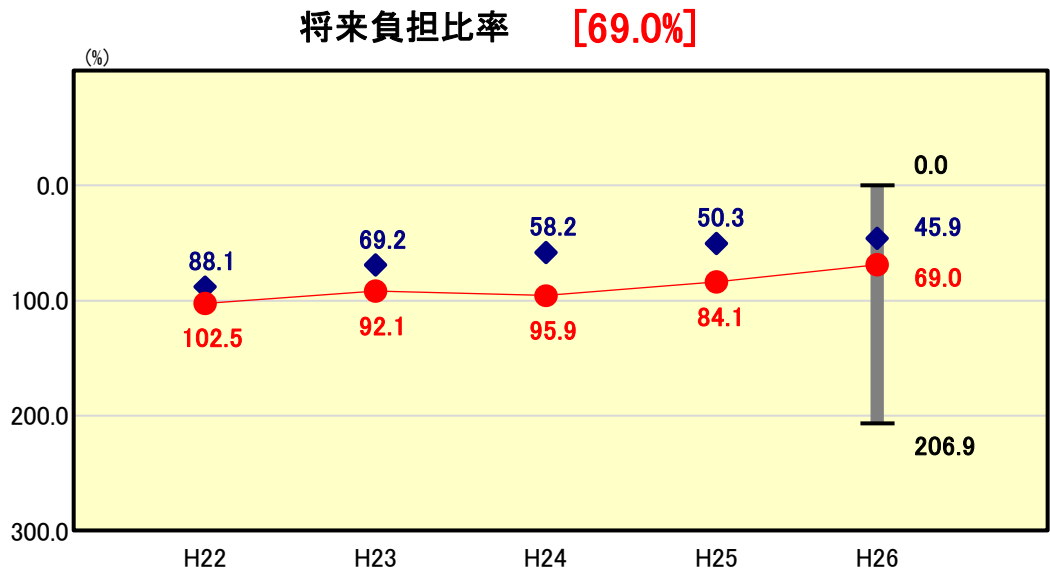
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



将来負担の状況



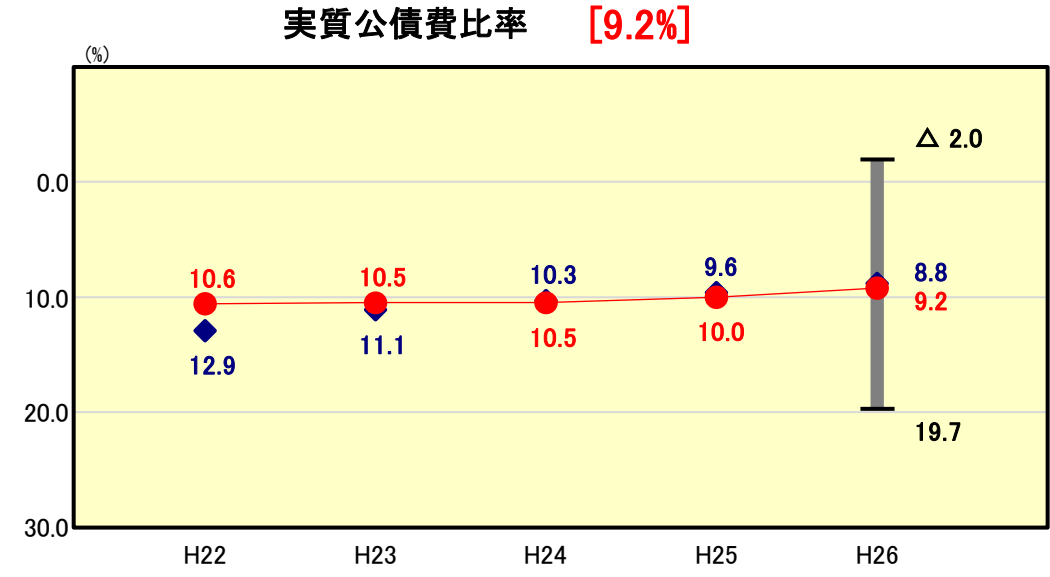
類似団体内順位 139/198 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

公共下水、農業集落排水、水道事業等の公営企業において地方債現在高が減少したことに加え、職員数の減少により退職手当負担見込額が減少した。同時に、財政調整基金の積み増しにより、充当可能基金額が増加したことから、15.1ポイント減少している。

退職金相当の累積債務が多いため平均より高い数値となっていることから、行財政運営の健全化を図り、類似団体平均値へ近づけられるよう努めていく。

公債費負担の状況



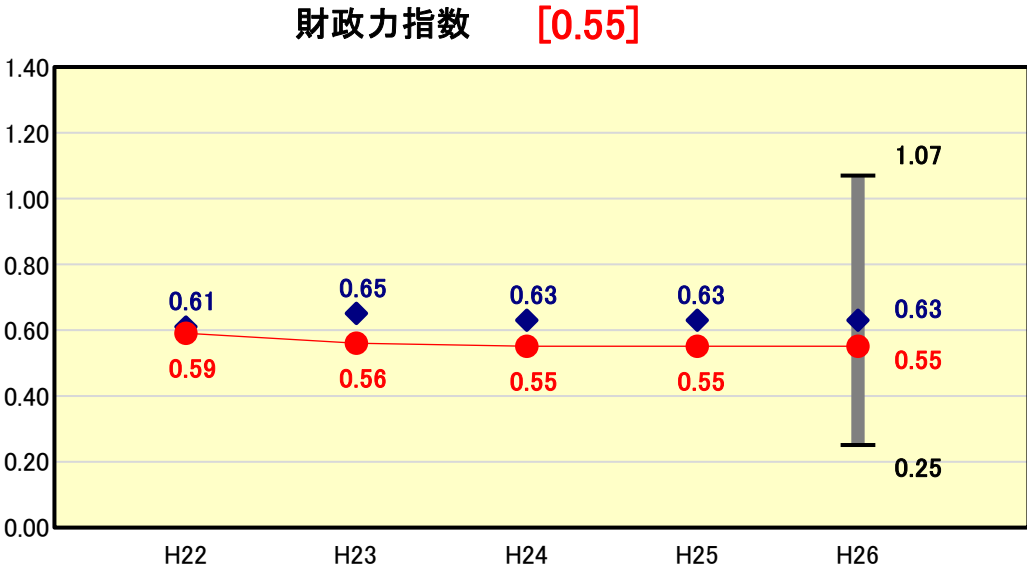
類似団体内順位 107/198 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

公共下水、水道事業等の公営企業において、東日本大震災に係る災害復旧費の減少に伴い準元利償還金算入額が減少したことに加え、一部事務組合においては、ごみ処理や消防事業等の償還完了となる地方債が多かったことにより、0.8ポイント改善している。

依然として類似団体平均を上回っていることから、今後も地方債の計画的発行に努める。

財政力

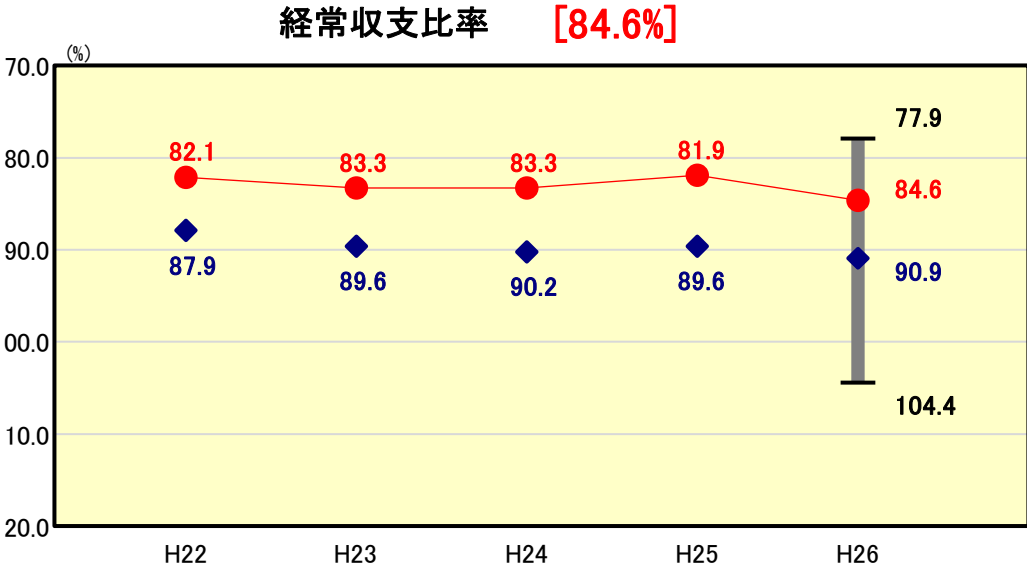


類似団体内順位 127/198 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

前年度同値の0.55となっている。長引く景気の低迷に加え、東日本大震災による影響、人口の減少を受け、税収の減少が続いているため、右肩下がりで推移している。全国平均を上回っているものの、類似団体平均及び県平均を下回っており、財政基盤が強いとはいえない。今後も集中改革プランの推進により、定員管理の適正化及び地方税徴収対策の一層の強化等を図り、財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性

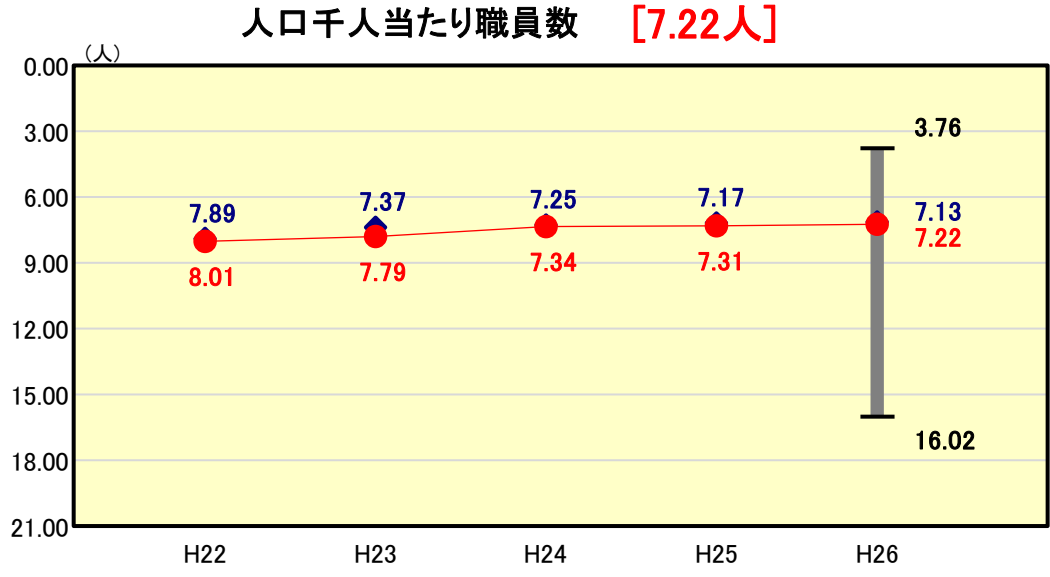


類似団体内順位 13/198 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

前年度から2.7ポイント増加し、84.6%となっている。歳入において地方消費税交付金の増額分を普通交付税の減額分が上回った一方、歳出で人件費や扶助費等が増加したことが主な要因である。引き続き、市債借入の抑制及び人件費や補助費等の削減を図り、経常経費の縮減に努める。

定員管理の状況



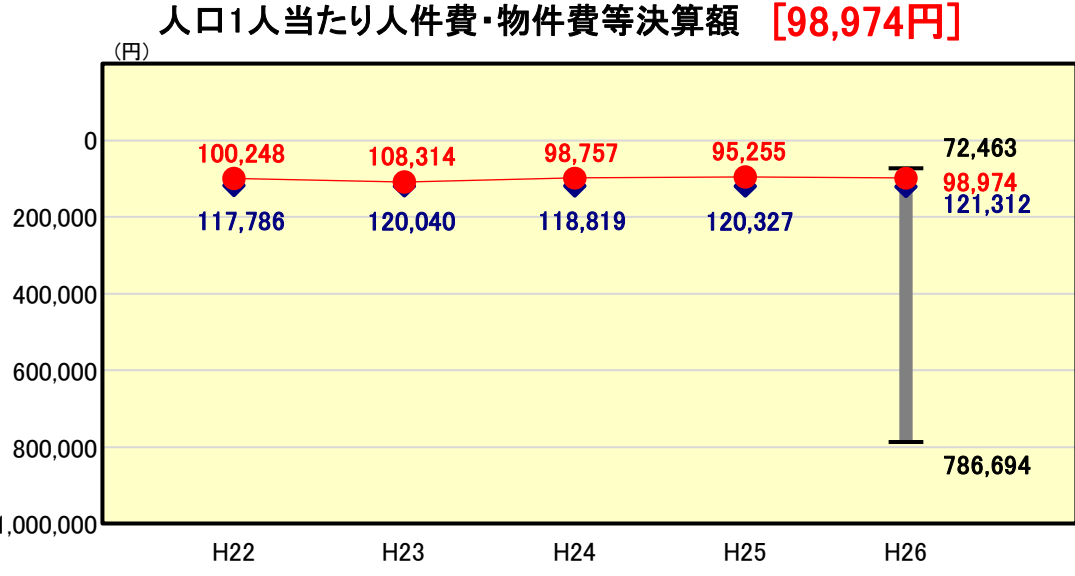
類似団体内順位 116/198 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

職員数は、601人(H26.4.1)→585人(H27.4.1)と16人減少している。依然として各種平均を上回っているが、これは、香取市が県内4番目という広い行政区画であり、住民自治を推進するために総合支所や教育事務所に多くの職員を配属しているためである。

効率的な組織体制の構築及び民間委託の推進等により、引き続き定員管理の適正化に努める。

人件費・物件費等の状況

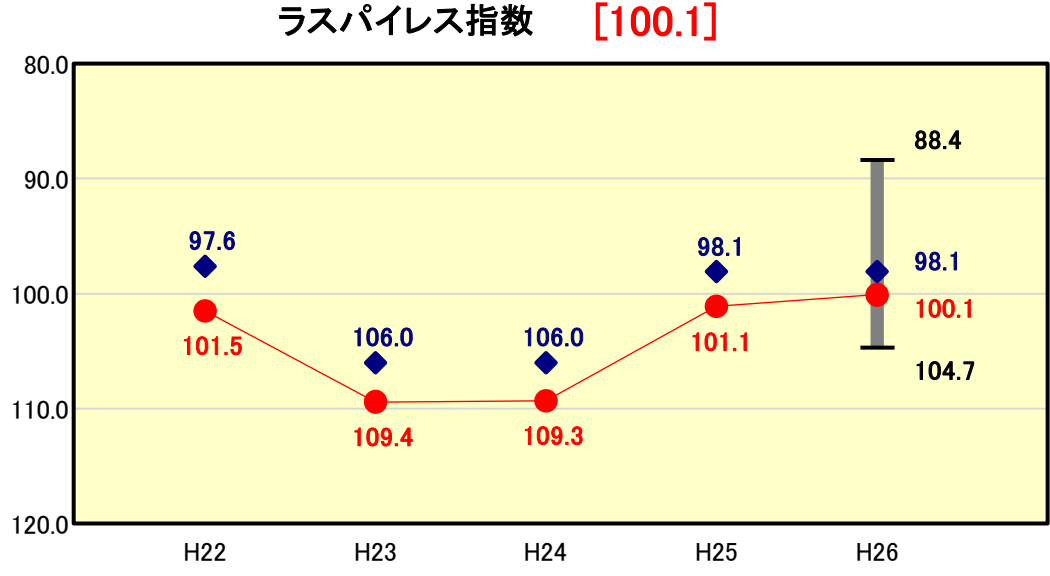


類似団体内順位 56/198 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

各種平均を下回っている要因は、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充当する負担金を合計した場合、人口一人当たりの金額は、大幅に増加することから、一部事務組合を含む経費の抑制を図る。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 153/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

職員構成の変動や給料水準の高い年齢層の退職等により、前年度から1.0ポイント減少している。依然として各種平均を上回っているため、昇格基準の適正化等、引き続き給与制度の適正な運用に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

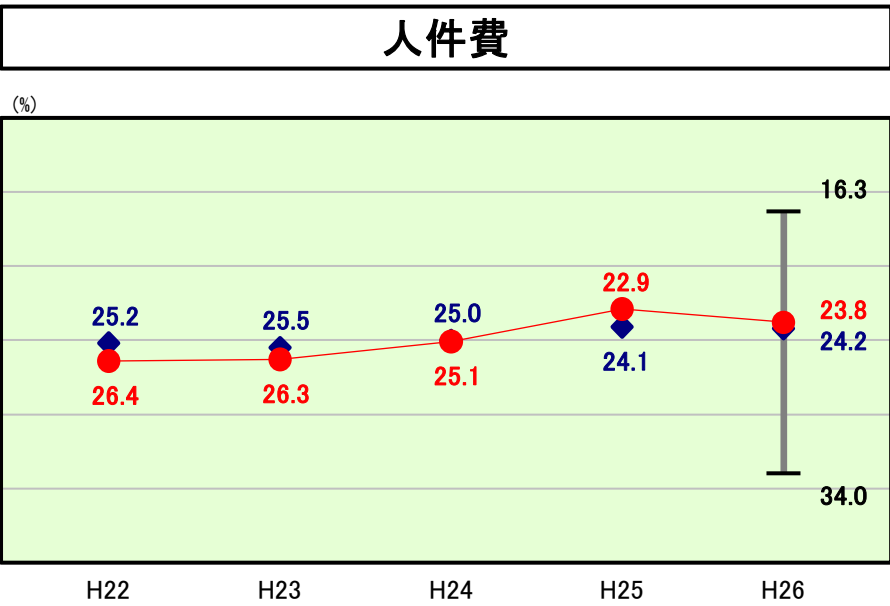
平成26年度

千葉県香取市

経常収支比率の分析

人口	81,065	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	80,304	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	262.35	km ²	実質公債費比率	9.2	%
歳入総額	33,996,969	千円	将来負担比率	69.0	%
歳出総額	31,600,642	千円	市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
実質収支	1,855,659	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
標準財政規模	19,531,245	千円			

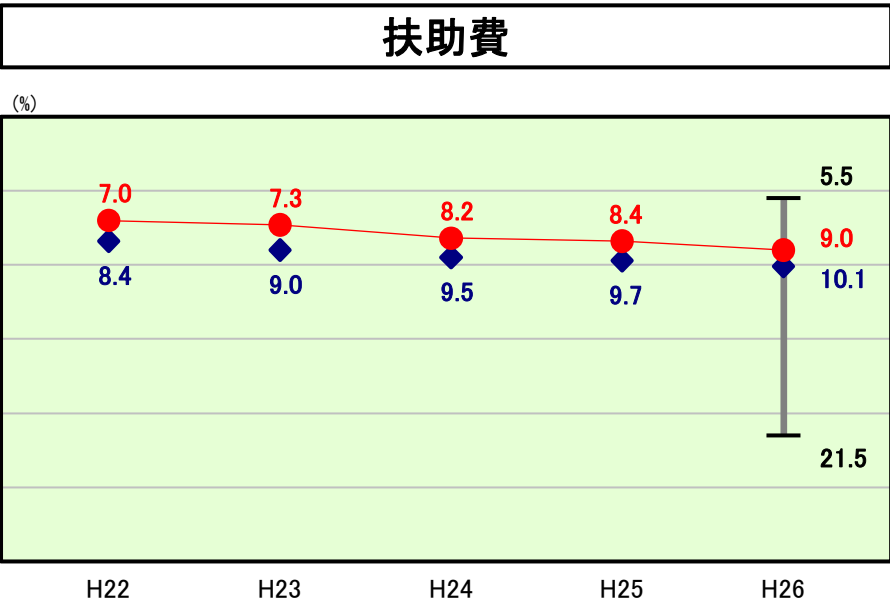
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 94/198 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

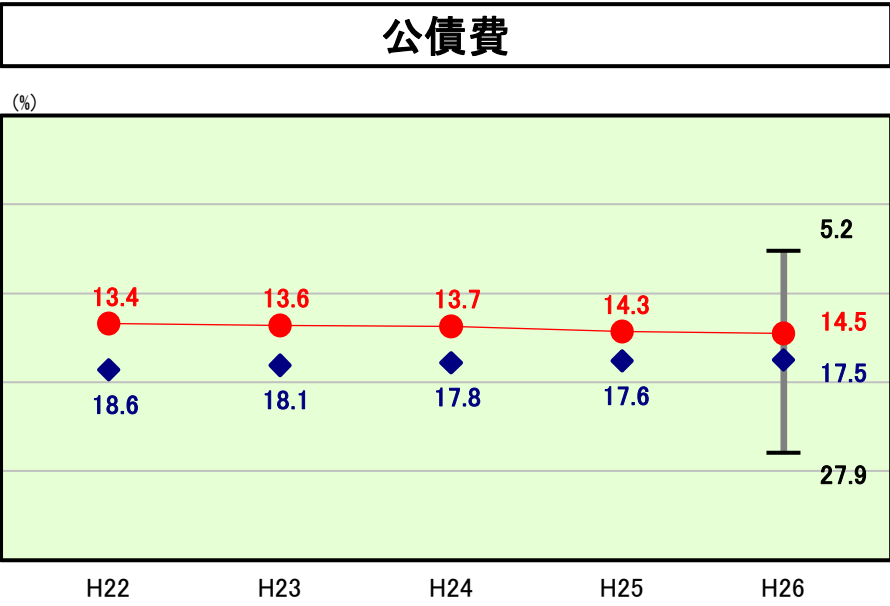
全国平均と同程度であるが、引き続き職員定数管理の適正化及び職員数の削減等により人件費の縮減に努める。



類似団体内順位 52/198 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

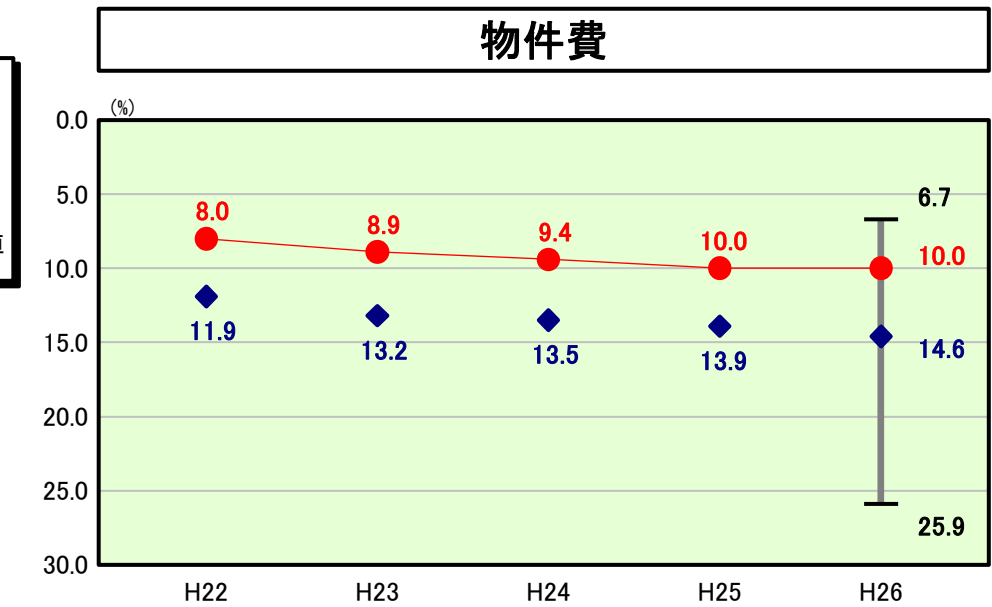
各種平均より低くなっているが、今後も高齢化の進展や生活保護費等の増加が見込まれることから、資格審査の適正化等を図りつつ、適正な給付に努める。



類似団体内順位 64/198 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

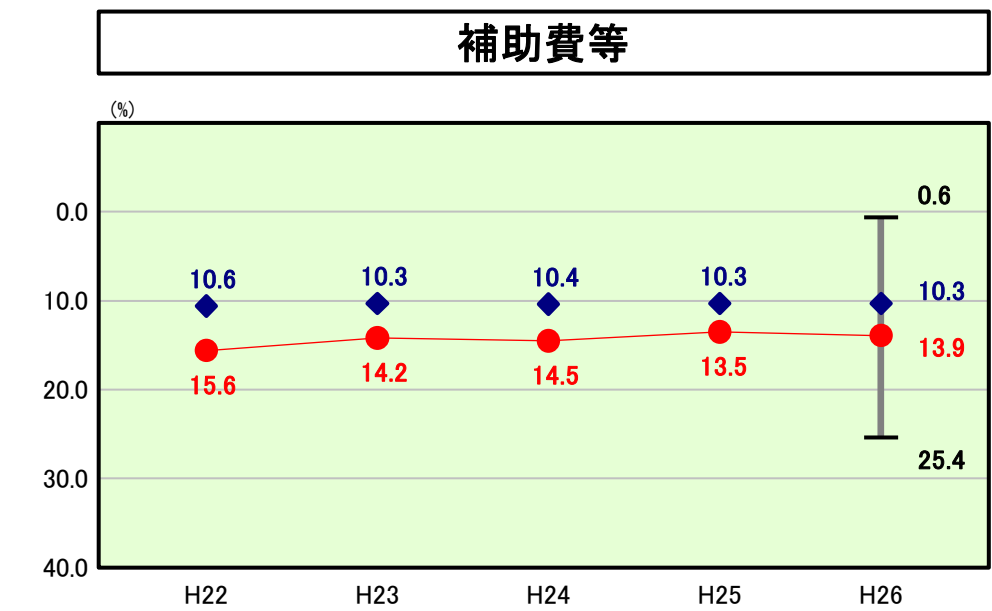
各種平均と比べ低くなっている要因は、ごみ処理や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。今後、臨時財政対策債のほか、合併関連事業の新規発行分の元金償還が発生することに伴い、増加が見込まれる。



類似団体内順位 12/198 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

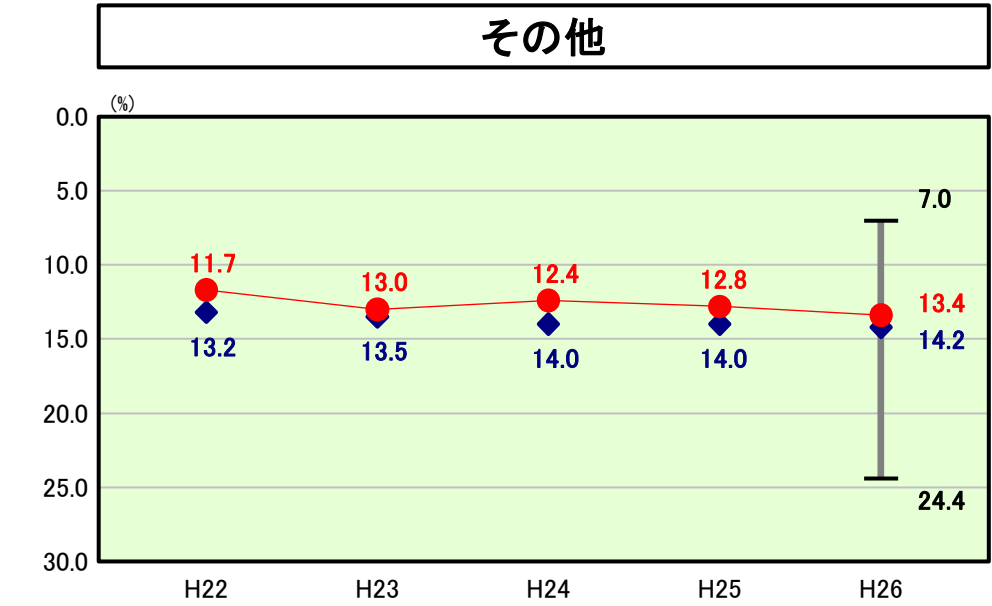
各種平均と比べ低くなっている要因は、ごみ処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げれる。各種施設の管理業務委託や臨時職員賃金の増により物件費総額は増加傾向にあるため、引き続き経常経費の抑制に努める。



類似団体内順位 148/198 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

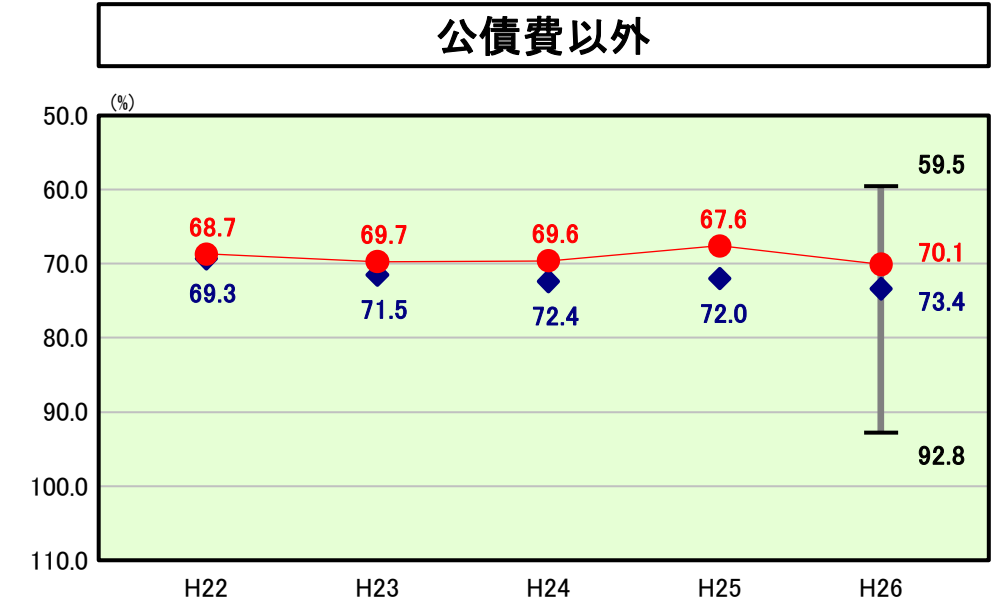
ごみ処理や消防業務等を一部事務組合で行っていることから、公債費、物件費とは逆に、各種平均と比べ高くなっている。引き続き、一部事務組合における経常経費の抑制を図る。



類似団体内順位 85/198 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

前年度から0.6ポイント上昇している要因としては、国民健康保険事業および介護保険事業特別会計への繰出金が増加したことが挙げられる。



類似団体内順位 48/198 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

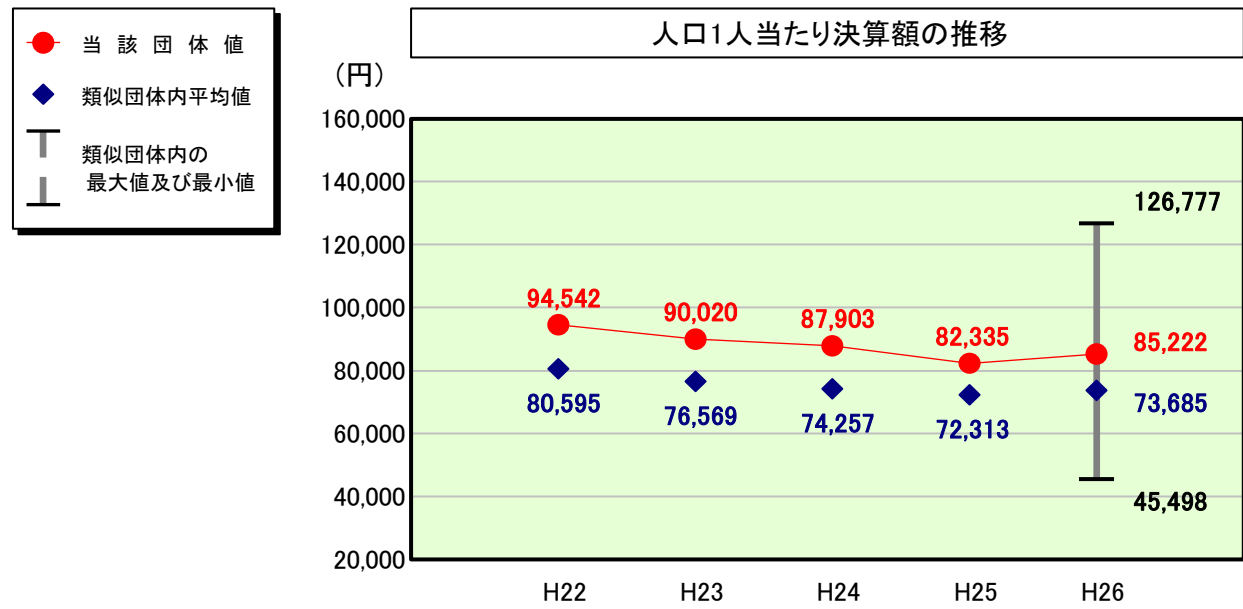
人件費および扶助費の増により、前年度比較で、2.5ポイント増となっている。今後も分母となる歳入の経常一般財源等の減少が見込まれることから、引き続き経常経費の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県香取市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



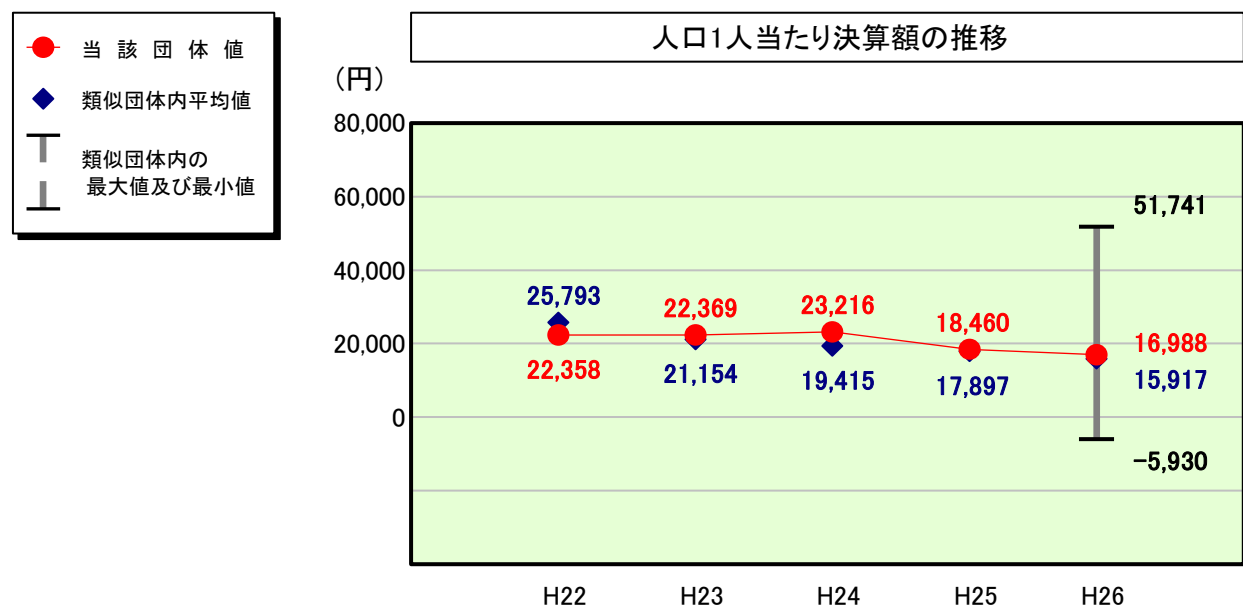
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,139,033	63,394	65,114	▲ 2.6
賃金 (物件費)	260,873	3,218	4,538	▲ 29.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	1,466,256	18,087	5,513	228.1
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	149,484	1,844	953	93.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	373,297	4,605	2,887	59.5
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	357,242	4,407	1,642	168.4
▲退職金	▲ 837,669	▲ 10,333	▲ 6,965	48.4
合計	6,908,516	85,222	73,685	15.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.22	7.13	0.09
ラスパイレス指数	100.1	98.1	2.0

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

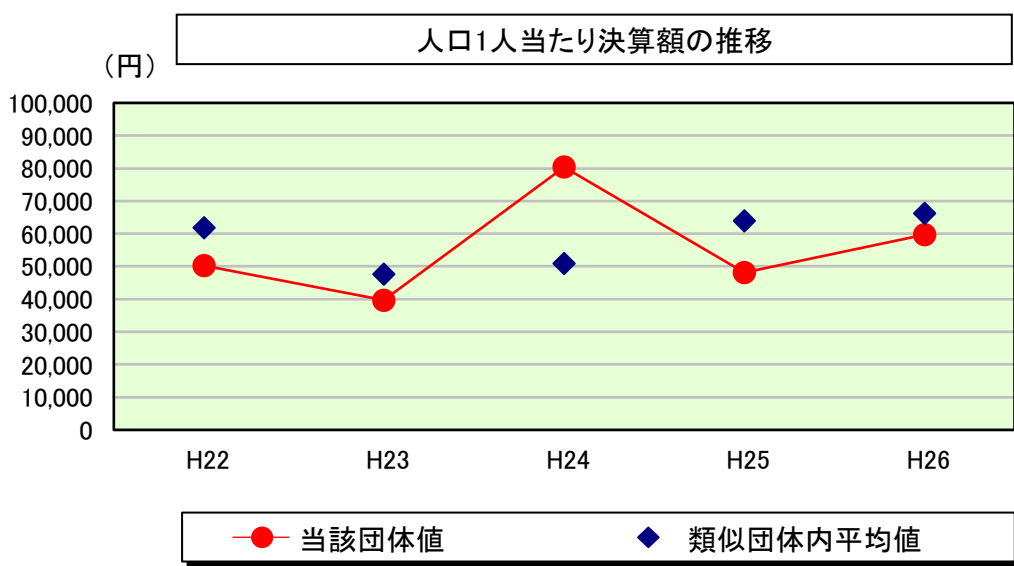


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,886,141	35,603	43,359	▲ 17.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	805,988	9,942	11,806	▲ 15.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	262,657	3,240	1,910	69.6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	38,735	478	1,129	▲ 57.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 175,762	▲ 2,168	▲ 5,126	▲ 57.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,440,597	▲ 30,107	▲ 37,205	▲ 19.1
合計	1,377,162	16,988	15,917	6.7

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

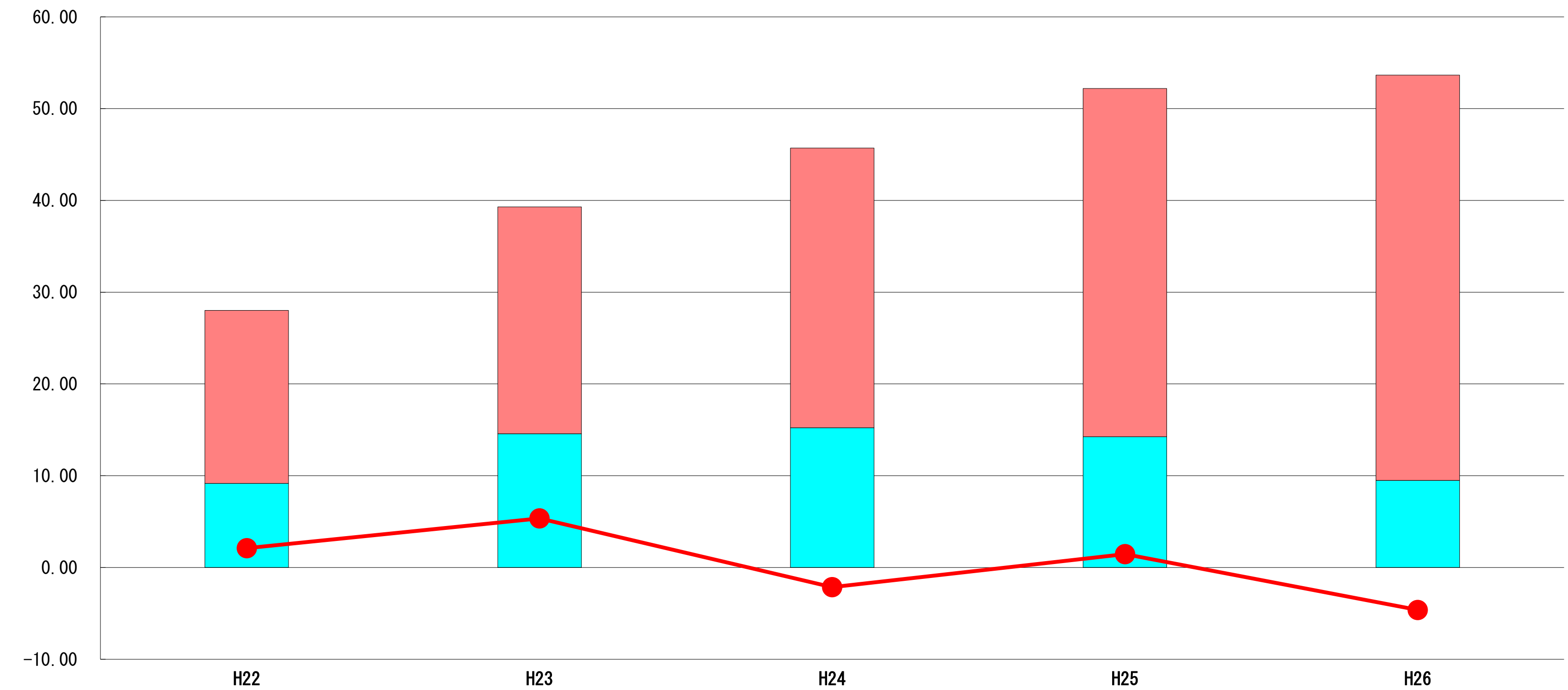
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	4,230,547	50,174	2.0	61,882	6.7	▲ 4.7
うち単独分	2,664,534	31,601	▲ 7.7	32,175	0.0	▲ 7.7
H23	3,301,956	39,690	▲ 20.9	47,569	▲ 23.1	2.2
うち単独分	2,201,399	26,461	▲ 16.3	26,255	▲ 18.4	2.1
H24	6,656,537	80,356	102.5	50,880	7.0	95.5
うち単独分	3,909,096	47,190	78.3	26,879	2.4	75.9
H25	3,949,770	48,098	▲ 40.1	63,956	25.7	▲ 65.8
うち単独分	1,570,489	19,124	▲ 59.5	29,239	8.8	▲ 68.3
H26	4,843,022	59,742	24.2	66,255	3.6	20.6
うち単独分	2,434,671	30,034	57.0	31,822	8.8	48.2
過去5年間平均	4,596,366	55,612	13.5	58,108	4.0	9.5
うち単独分	2,556,038	30,882	10.4	29,274	0.3	10.1

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県香取市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		18.85	24.74	30.49	37.95	44.17
実質収支額		9.18	14.57	15.23	14.25	9.50
実質単年度収支		2.11	5.35	▲ 2.14	1.45	▲ 4.62

分析欄

平成26年度の実質収支額は、黒字となっているものの大幅に減少している。これは、平成25年度決算における災害復旧費の執行残額が大きかったことと、これに伴い震災復興特別交付税の精算が生じたことから、平成26年度交付税額が予算額に対し少なかったためである。

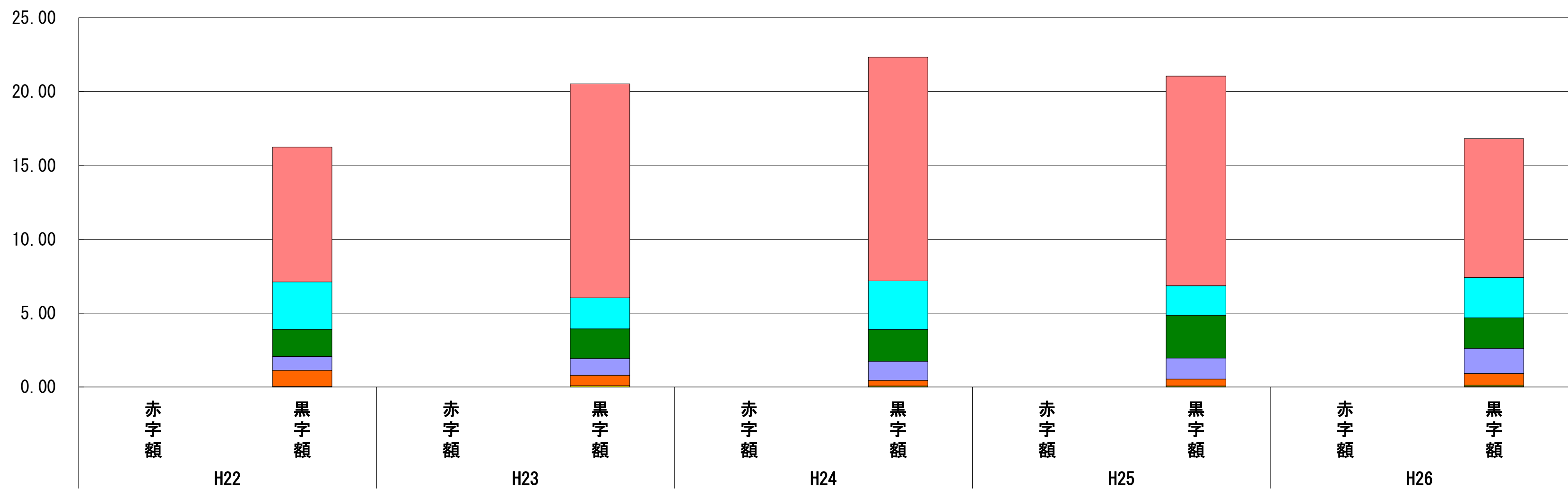
なお、平成26年度の財政調整基金残高については、取崩額を上回る決算剰余金を積み立てたため、前年度比で増加している。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県香取市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
一般会計		9.13	14.48	15.16	14.18	9.41
香取市水道事業会計		3.20	2.11	3.29	2.01	2.72
香取市国民健康保険事業特別会計		1.84	2.00	2.15	2.89	2.08
香取市簡易水道事業会計		0.95	1.13	1.30	1.43	1.69
香取市介護保険事業特別会計		1.08	0.72	0.38	0.47	0.81
香取市火葬場事業特別会計		0.04	0.08	0.06	0.06	0.08
香取市太陽光発電事業特別会計		-	-	-	0.00	0.03
香取市後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

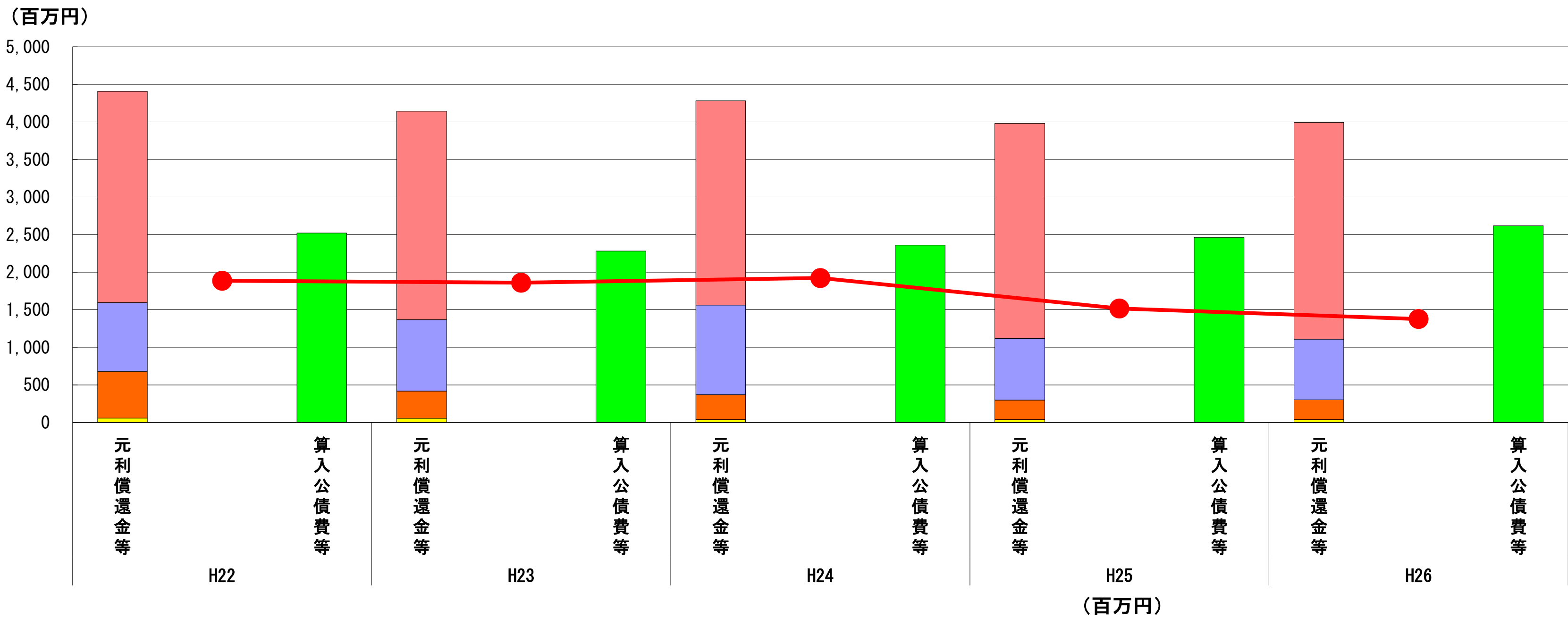
各会計において、赤字が生じておらず、公営企業会計においても資金不足が生じていないため、連結実質赤字比率は算出されていない。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県香取市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,814	2,773	2,720	2,863	2,886
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		913	949	1,193	820	806
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		622	363	328	258	263
	債務負担行為に基づく支出額		59	56	40	39	39
	一時借入金の利子		-	-	0	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,521	2,281	2,358	2,464	2,618
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,887	1,860	1,923	1,516	1,376

分析欄

臨時財政対策債や合併特例債が増えている一方で、公営企業債の元利償還金に対する繰入金
は東日本大震災に係る災害復旧費の減少により減額し、一部事務組合においては償還完了により負担金が減少していることから、元利償還金等全体としては横ばいとなっている。

一方、控除する算入公債費等については、臨時財政対策債や合併特例債分の増加により、実質公債費比率の分子は減少した。

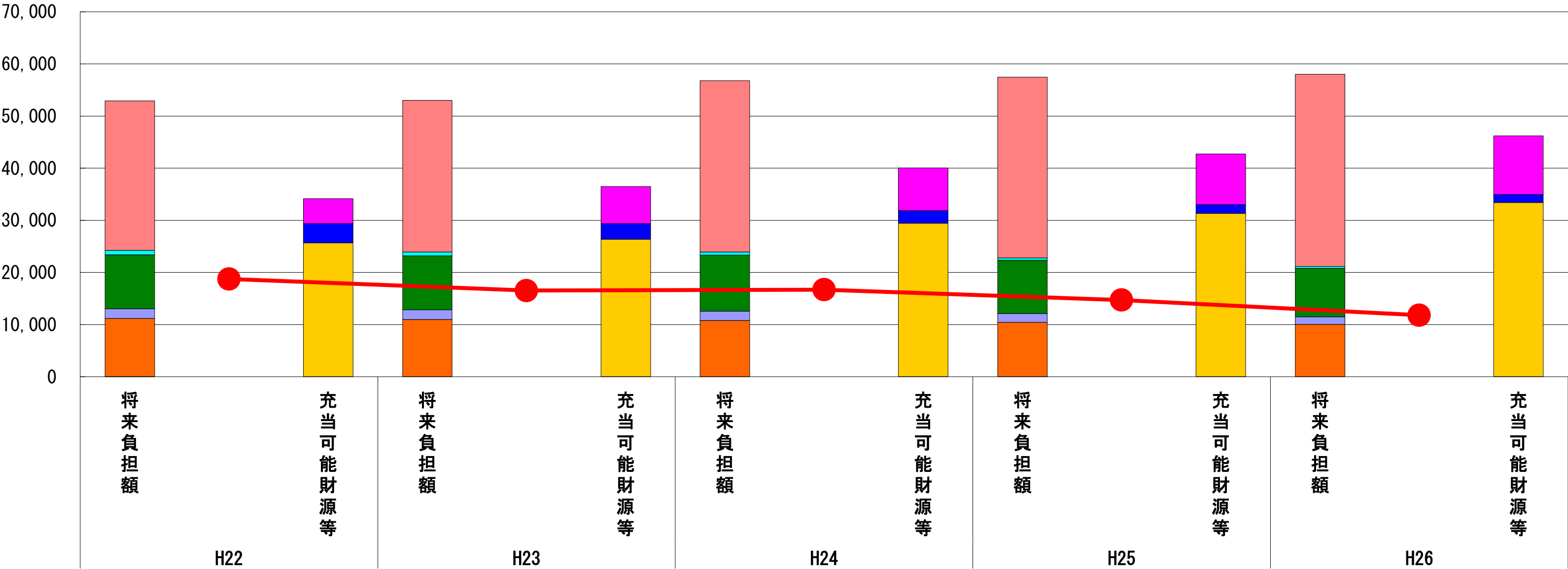
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県香取市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		28,655	29,097	32,879	34,667	36,848
	債務負担行為に基づく支出予定額		854	751	572	459	352
	公営企業債等繰入見込額		10,349	10,361	10,758	10,236	9,347
	組合等負担等見込額		1,834	1,847	1,781	1,668	1,434
	退職手当負担見込額		11,196	10,967	10,795	10,434	10,028
	設立法人等の負債額等負担見込額		1	-	-	-	0
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		4,775	7,089	8,228	9,733	11,277
	充当可能特定歳入		3,708	3,044	2,427	1,669	1,526
	基準財政需要額算入見込額		25,659	26,368	29,423	31,347	33,400
(A) - (B)		将来負担比率の分子	18,748	16,523	16,708	14,714	11,807

分析欄

一般会計等に係る地方債現在高は、臨時財政対策債及び合併特例債が増えている。
しかし、債務負担行為支出予定額等が減少しているほか、充当可能財源等においては、財政調整基金等の増や臨時財政対策債及び合併特例債分の基準財政需要額算入見込額が増加し、結果、将来負担比率の分子は減少している。
なお、職員数の減少により退職手当負担見込額は減少傾向にあるものの、依然として大きい割合であるため、引き続き行財政運営の健全化を図っていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)				
市町村名	山武市	地方交付税種地	2-3	財政健全化等	×		歳入総額	24,149,274	21,964,263	実質収支比率	5.0	6.2						
				財源超過	×		歳出総額	22,748,426	20,649,843	経常収支比率	90.1	87.8						
				首都	×		歳入歳出差引	1,400,848	1,314,420	(※1)	(97.0)	(94.1)						
				近畿	×		翌年度に繰越すべき財源	682,694	410,440	標準財政規模	14,491,195	14,555,391						
				中部	×		実質収支	718,154	903,980	財政力指数	0.52	0.53						
人口	22年国調(人)	56,089	産業構造 (※5)	過疎	×		単年度収支	-185,826	-152,051	公債費負担比率	16.5	17.0						
	17年国調(人)	59,024		山振	×		積立金	19,166	33,355	健全化判断比率								
	増減率 (％)	-5.0		低開発	×		繰上償還金	-	36,929	実質赤字比率	-	-						
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	54,904	区分	22年国調	17年国調	指数表選定	○	積立金取崩し額	100,000	-	連結実質赤字比率	-	-					
	うち日本人(人)	54,204	第1次	3,072	4,417			実質単年度収支	-266,660	-81,767	実質公債費比率	11.7	13.0					
	26.01.01(人)	55,783		11.9	14.8					将来負担比率	-	-						
	うち日本人(人)	55,101	第2次	6,585	7,769			基準財政収入額	5,421,613	5,248,544	資金不足比率 (※4)							
	増減率 (％)	-1.6		25.5	26.0			基準財政需要額	10,291,288	10,137,615								
うち日本人(%)	-1.6	第3次	16,139	17,492			標準税収入額等	6,897,740	6,680,692									
面積 (km ²)	146.77		62.6	58.5			経常経費充当一般財源等	12,969,149	12,808,523									
人口密度 (人/km ²)	382					歳入一般財源等	16,491,807	16,451,101										
世帯数 (世帯)	19,286																	
職員の状況																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	19,915,045	20,193,412							
	市区町村長	1	8,000		一般職員	406	1,321,124	3,254	うち公的資金	15,342,588	14,845,590							
	副市区町村長	1	6,900		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	2,484,297	1,442,550							
	教育長	1	6,100		うち技能労務職員	9	25,587	2,843	収益事業収入	-	-							
	議会議長	1	4,000		教育公務員	11	34,716	3,156	土地開発基金現在高	350,003	349,832							
	議会副議長	1	3,300		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	7,459,558				7,080,392			
	議会議員	20	3,000		合計	417	1,355,840	3,251		減債基金	1,808,607				1,702,456			
					ラスパイレス指数	99.9			その他特定目的基金	7,150,392	6,878,141							
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)
(1) 一般会計			(4) 山武市国民健康保険特別会計(事業勘定)			(8) 山武市水道事業会計			(9) 山武市農業集落排水事業特別会計			(10) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)			(20) 地方独立法人さんむ医療センター			
(2) 山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計			(5) 山武市国民健康保険特別会計(施設勘定)									(11) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)						
(3) 山武市組合立国保成東病院事業清算事務特別会計			(6) 山武市介護保険特別会計									(12) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)						
			(7) 山武市後期高齢者医療特別会計									(13) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)						
												(14) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)						
												(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)						
												(16) 山武郡市広域行政組合						
												(17) 東金市外三市町清掃組合						
												(18) 九十九里地域水道企業団						
												(19) 山武郡市広域水道企業団						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	5,622,898	23.3	5,622,898	42.1	普通税	5,622,898	100.0	-	
地方譲与税	324,188	1.3	324,188	2.4	法定普通税	5,622,898	100.0	-	
利子割交付金	9,939	0.0	9,939	0.1	市町村民税	2,655,443	47.2	-	
配当割交付金	43,690	0.2	43,690	0.3	個人均等割	89,101	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	30,595	0.1	30,595	0.2	所得割	2,068,305	36.8	-	
地方消費税交付金	564,451	2.3	564,451	4.2	法人均等割	123,550	2.2	-	
ゴルフ場利用税交付金	73,047	0.3	73,047	0.5	法人税割	374,487	6.7	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,475,559	44.0	-	
自動車取得税交付金	64,227	0.3	64,227	0.5	うち純固定資産税	2,462,371	43.8	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	126,974	2.3	-	
地方特例交付金	16,464	0.1	16,464	0.1	市町村たばこ税	359,338	6.4	-	
地方交付税	7,707,895	31.9	6,570,187	49.1	鉱産税	5,584	0.1	-	
普通交付税	6,570,187	27.2	6,570,187	49.1	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	595,208	2.5	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	542,500	2.2	-	-	目的税	-	-	-	
（一般財源計）	14,457,394	59.9	13,319,686	99.6	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	9,386	0.0	9,386	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	113,174	0.5	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	286,890	1.2	31,785	0.2	都市計画税	-	-	-	
手数料	76,397	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	2,897,496	12.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	1,099,697	4.6	-	-	合計	5,622,898	100.0	-	
財産収入	93,794	0.4	7,488	0.1					
寄附金	2,064	0.0	-	-					
繰入金	1,105,859	4.6	-	-					
繰越金	854,420	3.5	-	-					
諸収入	849,535	3.5	1,783	0.0					
地方債	2,303,168	9.5	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,023,268	4.2	-	-					
歳入合計	24,149,274	100.0	13,370,128	100.0					

区分		平成26年度		平成25年度	
徴収率	現・計 （％）年	合計	96.5 85.3	96.3 84.0	96.3 84.2
		市町村民税	96.3 85.3	96.0 84.2	96.0 81.8
		純固定資産税	96.3 83.4	96.0 81.8	

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,212,662	実質収支	612,551
下水道	213,825	再差引収支	542,349
上水道	202,118	加入世帯数（世帯）	11,114
病院	95,420	被保険者数（人）	20,329
工業用水道	-	被保険者	96
国民健康保険	464,799	1人当り	111
その他	1,236,500	保険給付費	252

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等
議会費	213,609	0.9	-	213,609
総務費	4,347,984	19.1	631,324	2,629,511
民生費	6,037,920	26.5	41,372	3,200,216
衛生費	2,270,650	10.0	61,789	2,076,156
労働費	49,015	0.2	-	548
農林水産業費	705,989	3.1	87,471	644,108
商工費	199,417	0.9	17,837	159,268
土木費	1,515,577	6.7	1,089,468	781,741
消防費	1,246,933	5.5	204,948	1,031,137
教育費	3,328,242	14.6	1,186,819	2,070,604
災害復旧費	15,143	0.1	-	1,234
公債費	2,817,947	12.4	-	2,717,818
諸支出費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	22,748,426	100.0	3,321,028	15,525,950

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,609,302	42.2	7,024,308	6,996,689	48.6
人件費	3,804,433	16.7	3,485,261	3,466,174	24.1
うち職員給	2,448,359	10.8	2,205,922	-	-
扶助費	2,986,922	13.1	821,229	812,697	5.6
公債費	2,817,947	12.4	2,717,818	2,717,818	18.9
元利償還金	2,817,947	12.4	2,717,818	2,717,818	18.9
うち元金	2,581,535	11.3	2,484,881	2,484,881	17.3
うち利子	236,412	1.0	232,937	232,937	1.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	9,802,953	43.1	7,673,382	5,972,460	41.5
物件費	2,825,710	12.4	2,221,530	1,790,159	12.4
維持補修費	131,840	0.6	129,926	129,926	0.9
補助費等	3,438,384	15.1	3,231,510	2,519,880	17.5
うち一部事務組合負担金	1,951,635	8.6	1,948,524	1,541,681	10.7
繰出金	1,915,124	8.4	1,565,378	1,523,959	10.6
積立金	1,400,024	6.2	513,967	-	-
投資・出資金・貸付金	91,871	0.4	11,071	8,536	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,336,171	14.7	828,260	-	-
うち人件費	76,239	0.3	76,239	-	-
普通建設事業費	3,321,028	14.6	827,026	-	-
うち補助	946,804	4.2	97,936	-	-
うち単独	2,304,784	10.1	674,150	-	-
災害復旧事業費	15,143	0.1	1,234	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	22,748,426	100.0	15,525,950	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	24,015	22,614	1,401	718	1,106	19,619	
2	山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	134	134	-	-	-	296	
3	山武市組合立国保成東病院事業清算事務特別会計	250	162	88	88	98	890	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	24,304	22,815	1,489	806		20,805	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	山武市国民健康保険特別会計(事業勘定)	8,546	7,934	613	613	467	-	-	-	
2	山武市国民健康保険特別会計(施設勘定)	156	139	17	17	-	-	-	-	
3	山武市介護保険特別会計	4,541	4,405	137	137	662	-	-	-	
4	山武市後期高齢者医療特別会計	414	412	2	2	127	-	-	-	
5	山武市水道事業会計	441	385	55	1,549	130	3,259	3,259	-	法適用企業
6	山武市農業集落排水事業特別会計	270	265	5	5	214	2,742	2,742	-	法非適用企業
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				2,323		6,001	6,001		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
2	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
3	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
4	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
5	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
6	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
7	山武郡市広域行政組合	4,614	4,424	190	190	-	1,344	440	
8	東金市外三市町清掃組合	1,780	1,583	197	197	-	192	34	
9	九十九里地域水道企業団	7,044	6,436	608	5,164	-	9,462	3	
10	山武郡市広域水道企業団	4,898	4,798	100	5,512	-	1,327	-	
11	山武郡市環境衛生組合	1,044	1,027	17	32	38	-	-	
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				27,465		12,325	477	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1	地方独立法人さんむ医療センター	130	2,816	1,403	-	296	-	-	-	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			1,403	-	296	-	-	-	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担の状況				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	債務負担行為に基づく支出予定額	公営企業債等繰入見込額	組合等負担等見込額
元利償還金	3,098,160	3,018,191	2,979,632	23.7		22,341,009	21,218,108	20,804,940	165.8
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		24,122	7,500	961,902	7.7
準元利償還金						6,573,740	6,293,773	6,000,484	47.8
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		562,910	508,593	476,510	3.8
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	278,668	292,359	284,960	2.3		5,069,175	4,740,257	4,553,433	36.3
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	226,626	72,891	90,024	0.7		-	-	-	-
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	16,997	16,922	2,725	0.0		-	-	-	-
一時借入金の利子	-	-	-	-		-	-	-	-
合計	(A) 3,620,451	3,400,363	3,357,341			(E) 34,570,956	32,768,231	32,797,269	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	充当可能財源等	12,336,710	13,468,281	13,733,181	109.4
PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能特定繰入	728,417	642,855	553,886	4.4
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	18,482,535	19,418,589	19,233,120	153.3
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	14,122	14,122	-	-	合計	(F) 31,547,662	33,529,725	33,520,187	
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	23.8	-	-	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	2,875	2,800	2,725	0.0					
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-					
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-					
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-					
利子補給に係るもの	-	-	-	-					
特定財源の額	(B) 115,649	98,587	111,304						
標準財政規模	(C) 14,509,668	14,555,391	14,491,195						
算入公債費等の額	(D) 1,831,416	1,830,105	1,943,720						
	(C)-(D) 12,678,252	12,725,286	12,547,475						
実質公債費比率	(単年度) 13.2	11.6	10.4						
((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100	(3ヵ年平均) 13.8	13.0	11.7						

将来負担の状況		将来負担比率（千円・％）										
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	22,341,009	21,218,108	20,804,940	165.8	PF事業に係るもの		-	-	-	-	
	債務負担行為に基づく支出予定額	24,122	7,500	961,902	7.7	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	
	公営企業債等繰入見込額	6,573,740	6,293,773	6,000,484	47.8	国営土地改良事業に係るもの		14,122	-	956,902	7.6	
	組合等負担等見込額	562,910	508,593	476,510	3.8	森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-	
	退職手当負担見込額	5,069,175	4,740,257	4,553,433	36.3	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの		-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		10,000	7,500	5,000	0.0	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-	
	合計	(E)	34,570,956	32,768,231	32,797,269	-	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
充当可能財源等	充当可能基金	12,336,710	13,468,281	13,733,181	109.4	企業債等繰入見込額	山武市水道事業会計	3,594,162	3,427,968	3,258,651	26.0	
	充当可能特定蔵入	728,417	642,855	553,886	4.4		山武市農業集落排水事業特別会計	2,979,578	2,865,805	2,741,833	21.9	
	基準財政需要額算入見込額	18,482,535	19,418,589	19,233,120	153.3							
	合計	(F)	31,547,662	33,529,725	33,520,187		-					
将来負担比率((E)-(F))／((C)-(D))×100		23.8	-	-	-							
						その他の会計		-	-	-	-	
						地方道路公社に係る将来負担額		-	-	-	-	
						土地開発公社に係る将来負担額		-	-	-	-	
						その他第三セクター等に係る将来負担額		-	-	-	-	
健全化判断比率		平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準		公社・三セク等						
実質赤字比率		-	12.82	20.00								

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	54,904	人(H27.1.1現在)		実質赤字比率	-	%
うち日本人	54,204	人(H27.1.1現在)		連結実質赤字比率	-	%
面積	146.77	km ²		実質公債費比率	11.7	%
歳入総額	24,149,274	千円		将来負担比率	-	%
歳出総額	22,748,426	千円				
実質収支	718,154	千円		市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
標準財政規模	14,491,195	千円		(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
地方債現在高	19,915,045	千円				



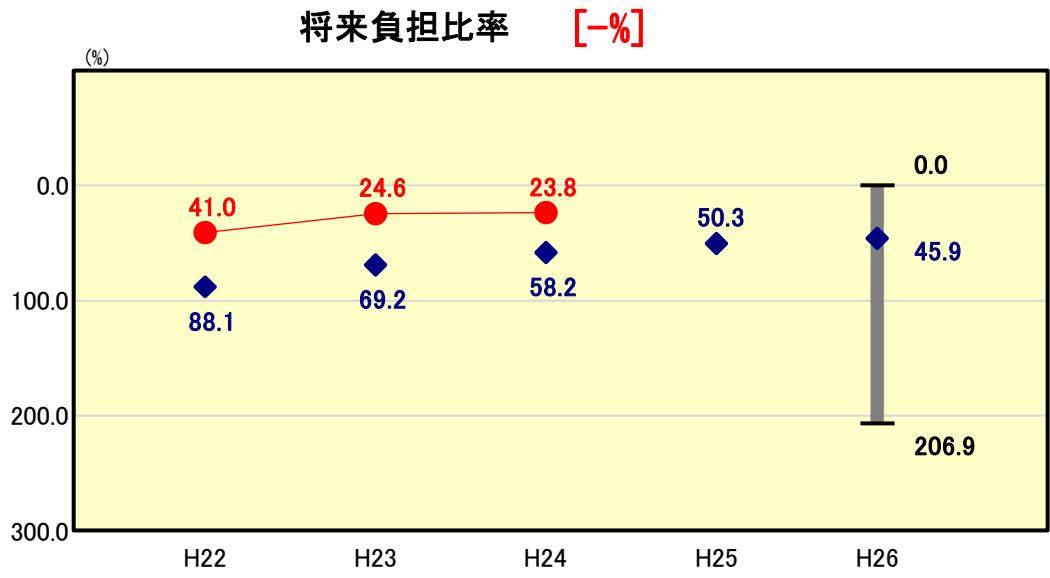
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況



類似団体内順位
1/198

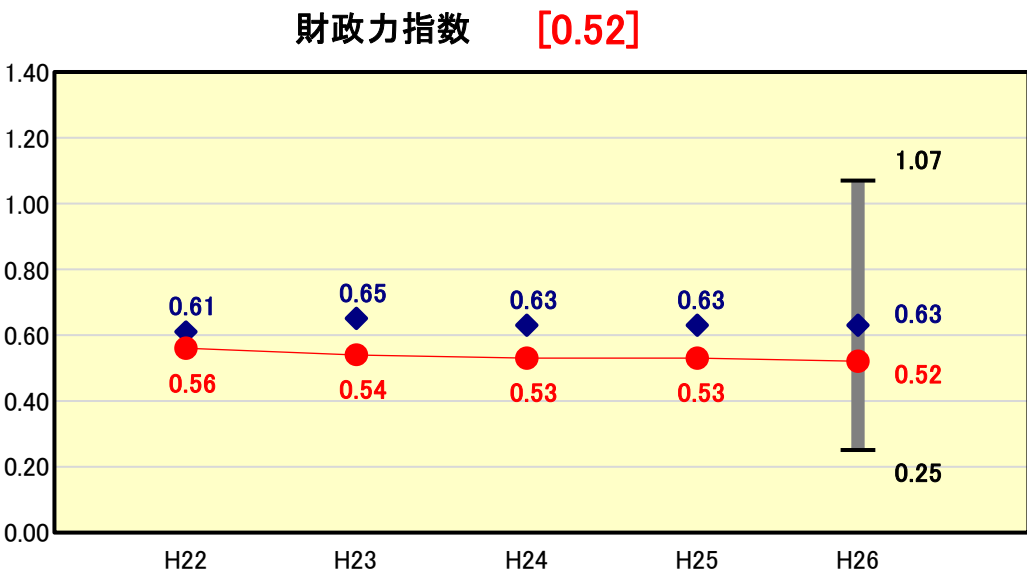
全国平均
45.8

千葉県平均
55.6

将来負担比率の分析欄

地方債残高の抑制に努める一方、合併により多額の基金を引き継いでいるため、類似団体平均をかなり下回っている。
今後も地方債の発行を抑制し、後年度負担の抑制に努める。

財政力



類似団体内順位
138/198

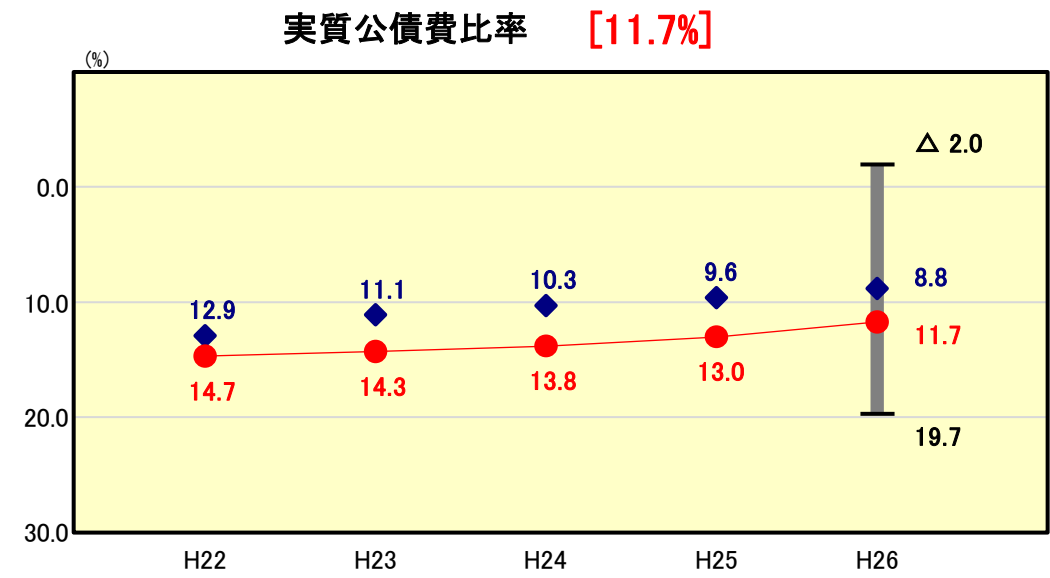
全国平均
0.49

千葉県平均
0.71

財政力指数の分析欄

市内に中心となる産業が無いため財政基盤が弱く、また生産年齢人口の減少にに伴う市税の減少傾向により、類似団体平均を下回っている。平成22年度以降景気低迷により低下傾向にある。
行政改革行動計画に基づく歳出の見直しや、自主財源の確保等に努める。

公債費負担の状況



類似団体内順位
152/198

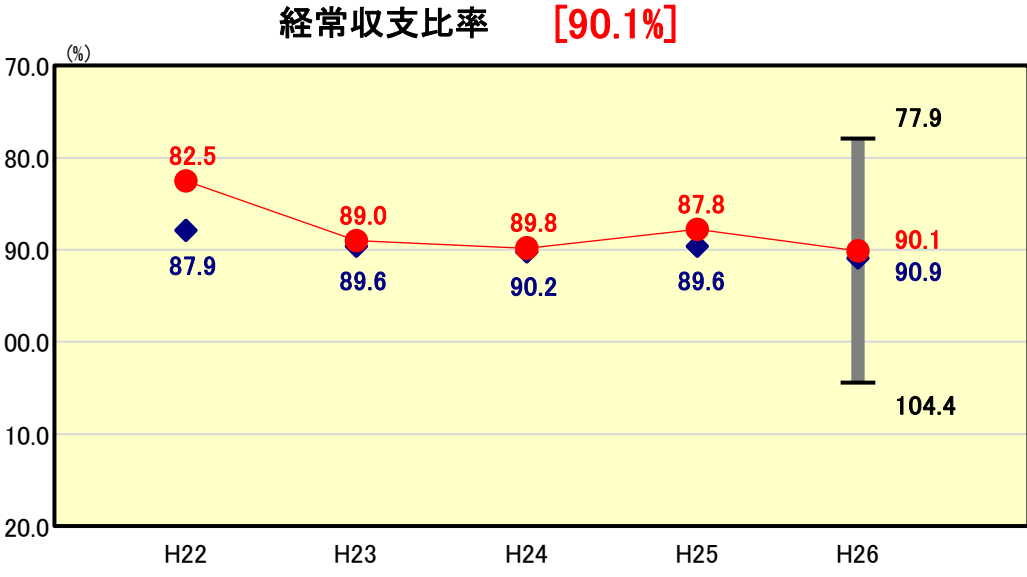
全国平均
8.0

千葉県平均
7.2

実質公債費比率の分析欄

普通交付税の合併特例債算定期間後の公債費負担を抑制するため、平成20年度から平成22年度借入の臨時財政対策債の償還期限を10年としたことにより、類似団体平均を上回っています。
交付税措置のある合併特例債を活用し、実質公債費比率の抑制に努める。

財政構造の弾力性



類似団体内順位
81/198

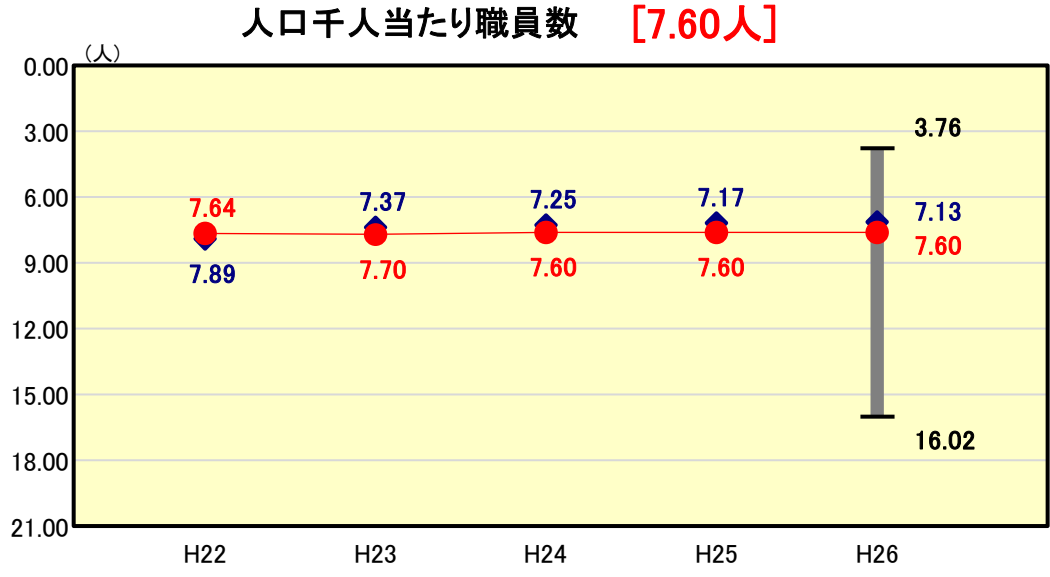
全国平均
91.3

千葉県平均
92.4

経常収支比率の分析欄

類似団体平均をやや下回っている。平成25年度は、時限的な職員給与の減額措置があったため、平成26年度は平成24年度並みの数値となった。
行政改革行動計画、職員定員適正化計画に基づき、人件費・物件費等の削減等、経常経費の削減に努める。

定員管理の状況



類似団体内順位
131/198

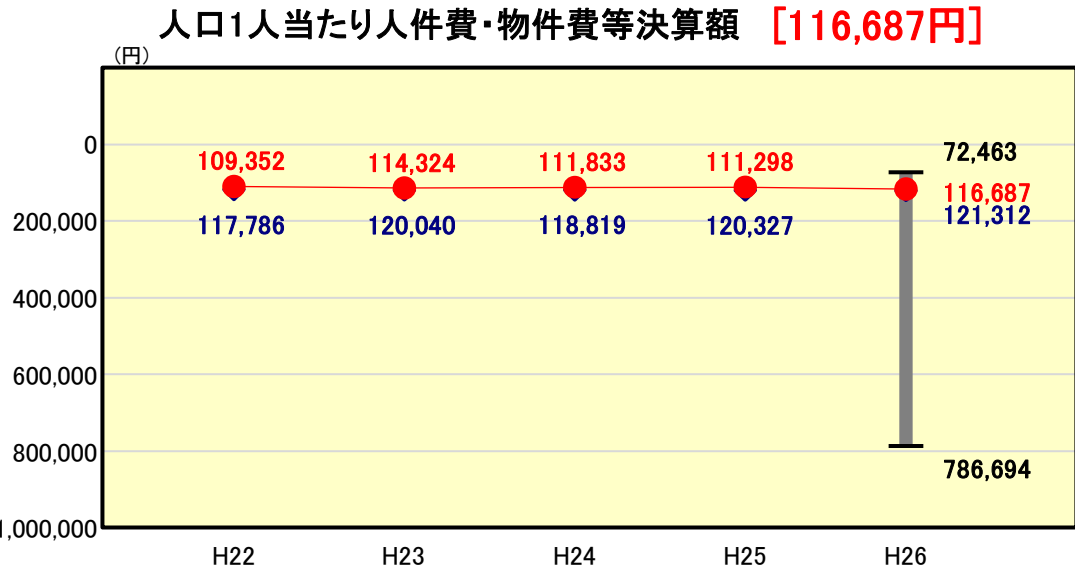
全国平均
6.96

千葉県平均
6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

平成26年度の職員数は、依然として類似団体平均値を上回っている状況である。このような状況を踏まえ『山武市職員定員適正化計画』に基づき、計画的な職員採用と組織の見直しや民間委託等を検討し、引き続き定員適正化に取り組む。

人件費・物件費等の状況



類似団体内順位
111/198

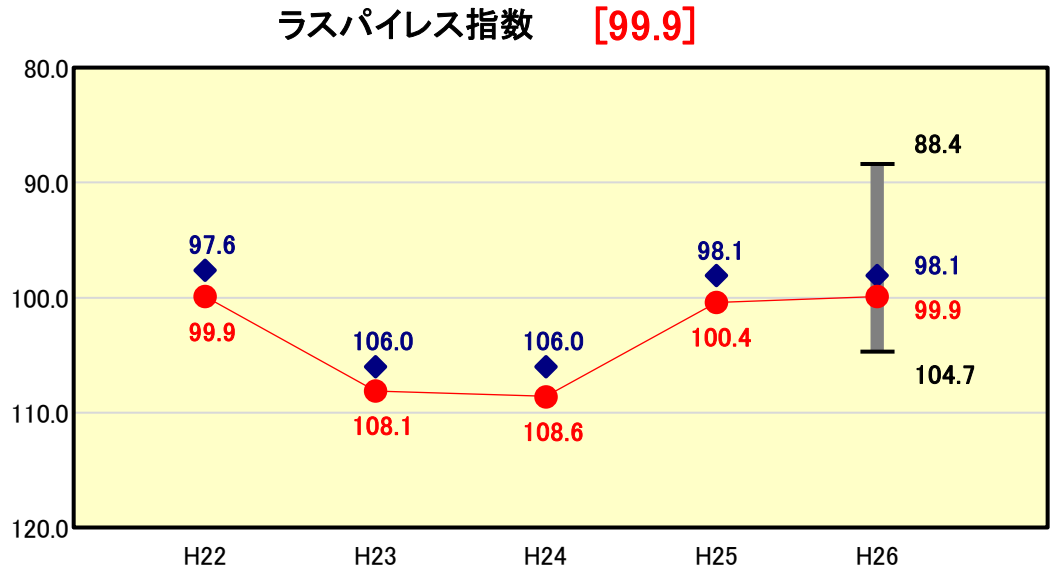
全国平均
119,984

千葉県平均
109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は、給与の減額措置終了により、増加している。消防業務が一部事務組合で行っているため、類似団体平均を下回っている。
行政改革行動計画、職員定員適正化計画に基づき、人件費・物件費等の削減等、経常経費の削減に努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位
148/198

全国市平均
98.7

全国町村平均
95.8

ラスパイレス指数の分析欄

前年度との比較では0.5ポイント減少している。また、国との比較では0.1ポイント下回っている。今後も引き続き給与水準の適正化を推進する。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県山武市

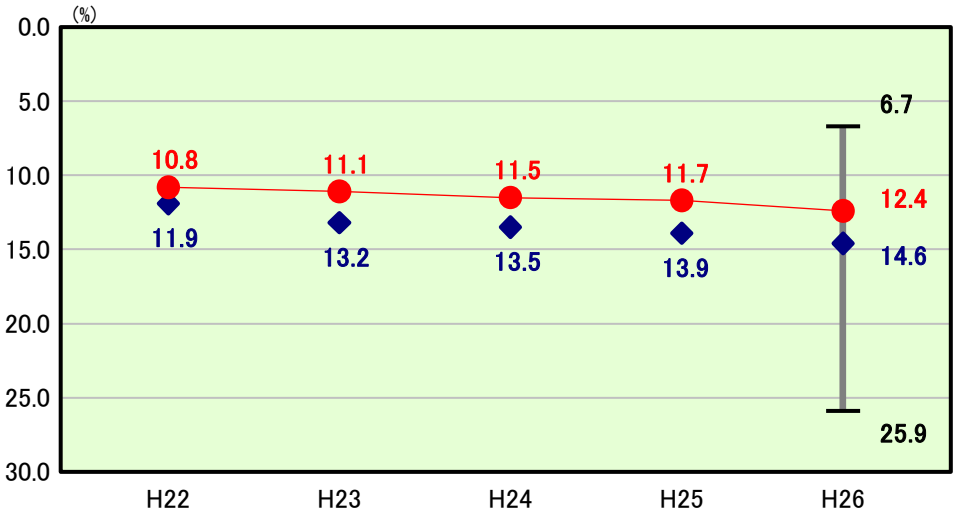
経常収支比率の分析

人口	54,904	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	54,204	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	146.77	km ²	実質公債費比率	11.7	%
歳入総額	24,149,274	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	22,748,426	千円	市町村類型	H22Ⅱ-1H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
実質収支	718,154	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
標準財政規模	14,491,195	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



物件費

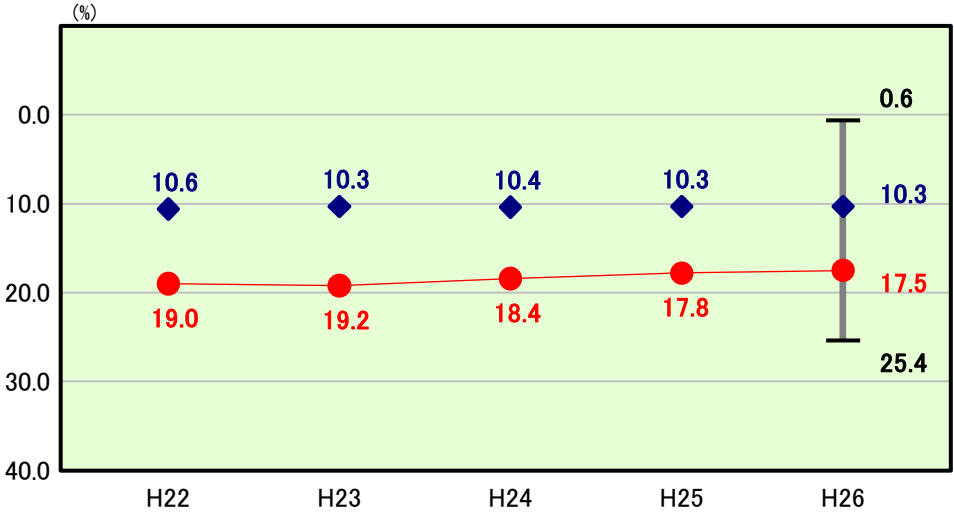


類似団体内順位 45/198 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

類似団体平均値と比較すると、下回っている。
合併団体のため旧町村の施設が多くあり、施設の老朽化から今後維持管理にかかる経費も増加していくことが予想される。
施設の適正な配置に努め、物件費の抑制を図る。

補助費等

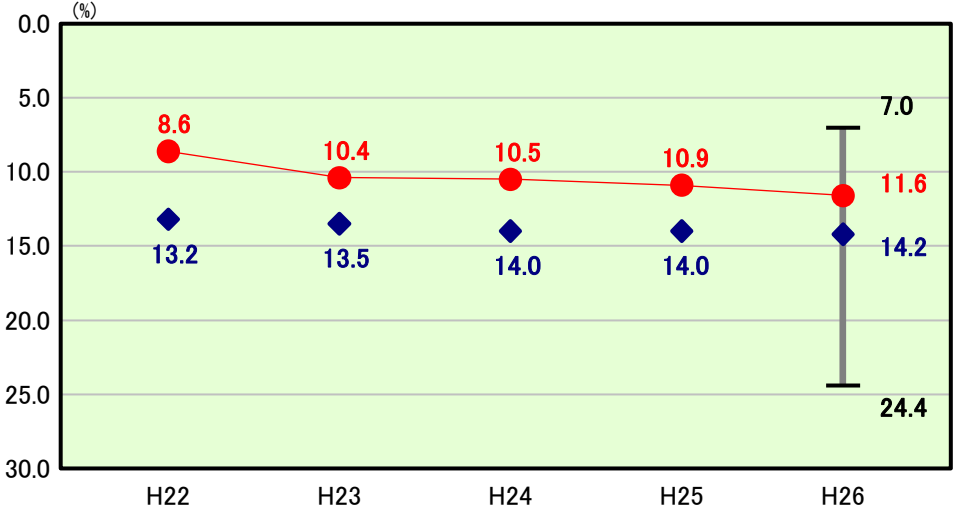


類似団体内順位 188/198 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

類似団体平均値と比較すると、大きく上回っている。
病院への補助および消防、ごみ処理業務を行う一部事務組合への負担金が必要な要因となっている。
病院に対しては、経営改善の努力を求め、一部事務組合に対しては負担金の抑制を申し入れる等を行い補助費等の抑制を図る。

その他

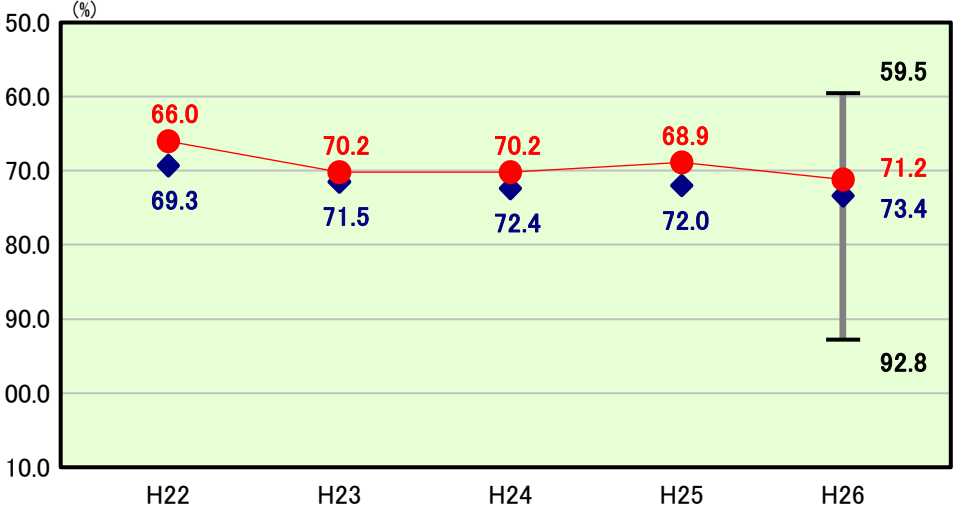


類似団体内順位 42/198 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

類似団体平均値と比較すると、下回っている。
その他の中身については、繰出金が主なものとなっているが、当市では、水道、農業集落排水事業があるため、今後も維持管理費や企業債の償還等の増加が見込まれている。
引き続き加入促進に努め、繰出金の節減を図る。

公債費以外

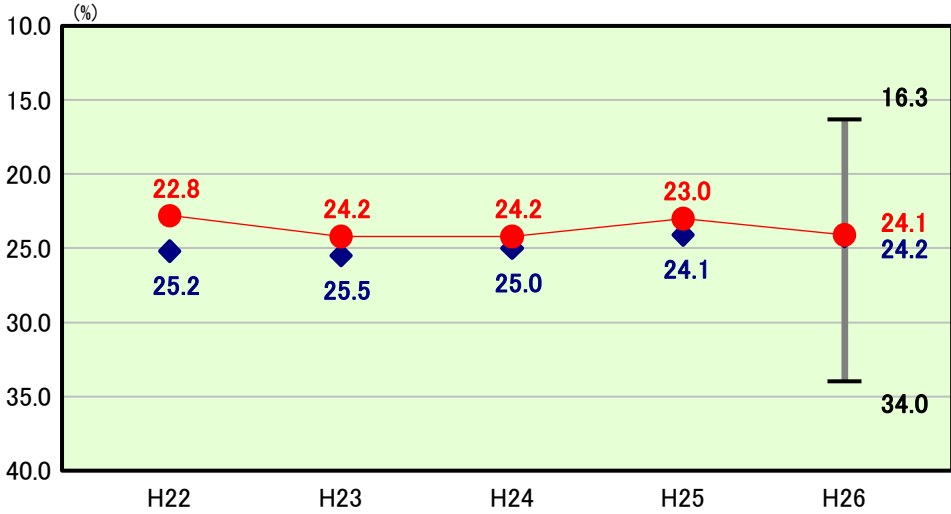


類似団体内順位 68/198 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

類似団体平均値と比較すると、上回っている。
補助費等以外は類似団体平均値を下回っているため、補助費の抑制が当市の財政健全化の課題となっている。

人件費

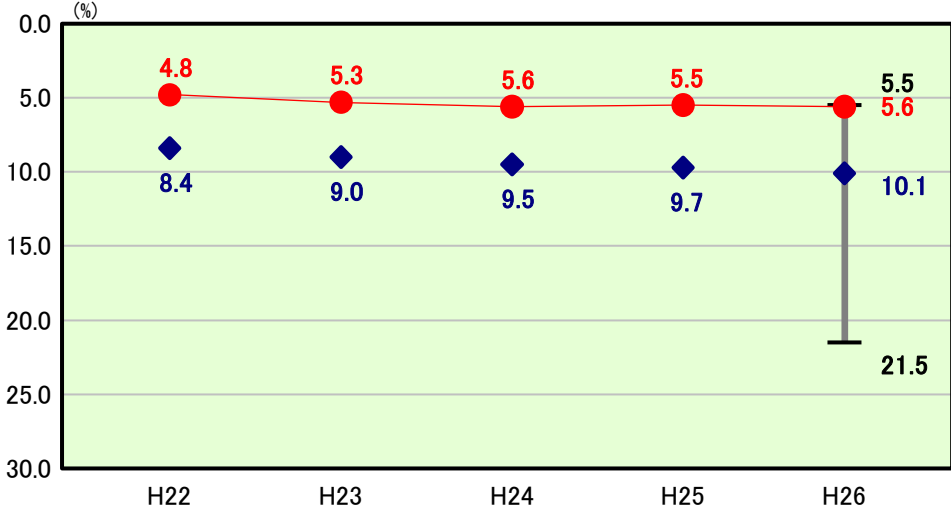


類似団体内順位 104/198 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

類似団体平均値と比較すると、人件費に係る経常収支比率は0.1ポイント下回っている。要因としては『山武市職員定員適正化計画』に基づき計画的な採用を行ったことや消防業務等を一部事務組合で行っていることも大きな要因である。

扶助費

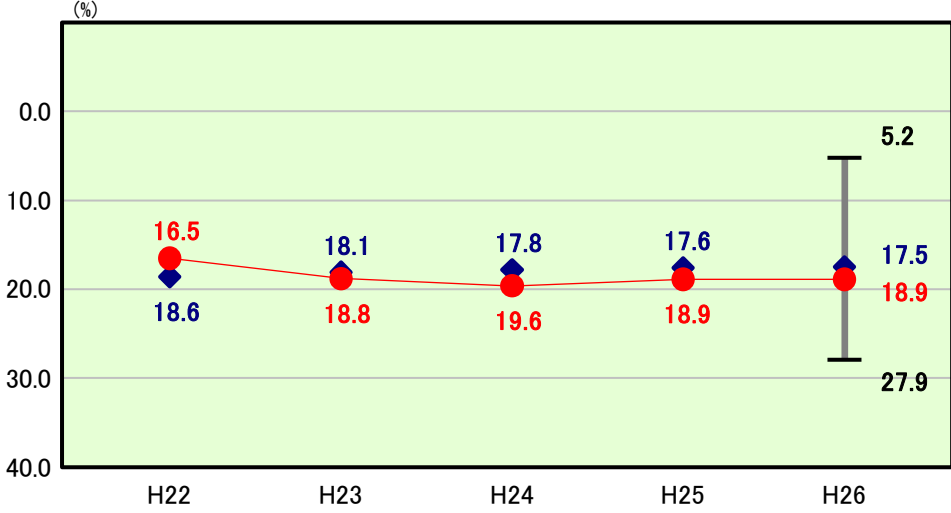


類似団体内順位 3/198 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

類似団体平均値と比較すると、大きく下回っている。
少子高齢化の進展から、扶助費の伸びが予想されるため適正な扶助を実施するよう努める。

公債費



類似団体内順位 138/198 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

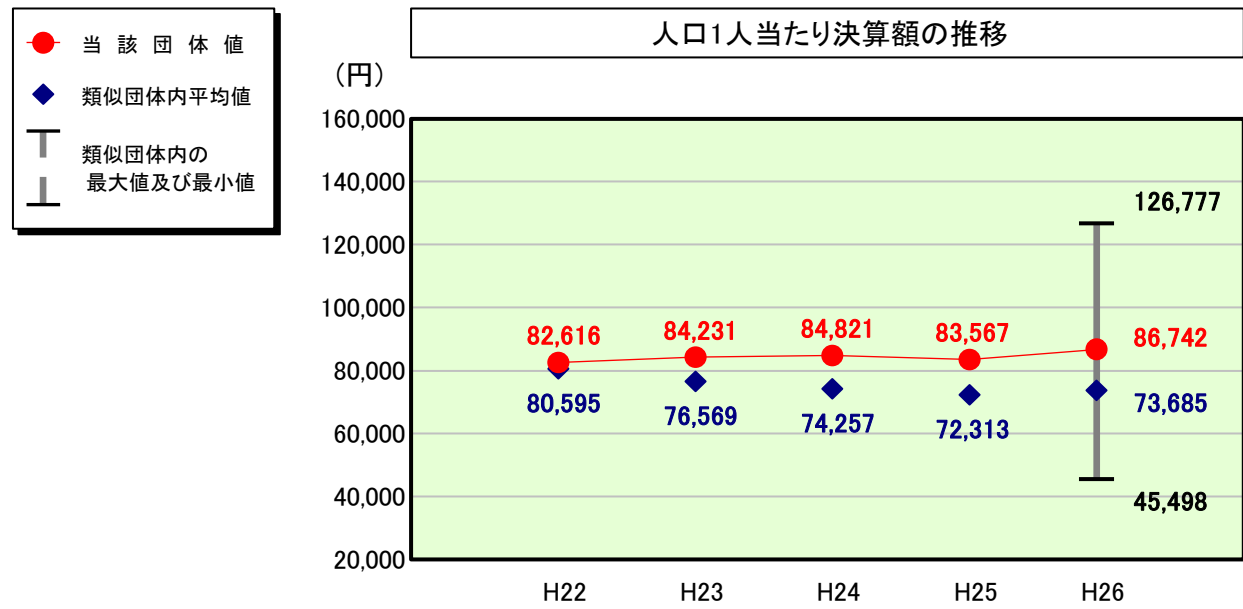
類似団体平均値と比較すると、合併事業による合併特例債の償還および臨時財政対策債の償還により若干上回っている。
今後も地方債の発行の抑制に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県山武市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



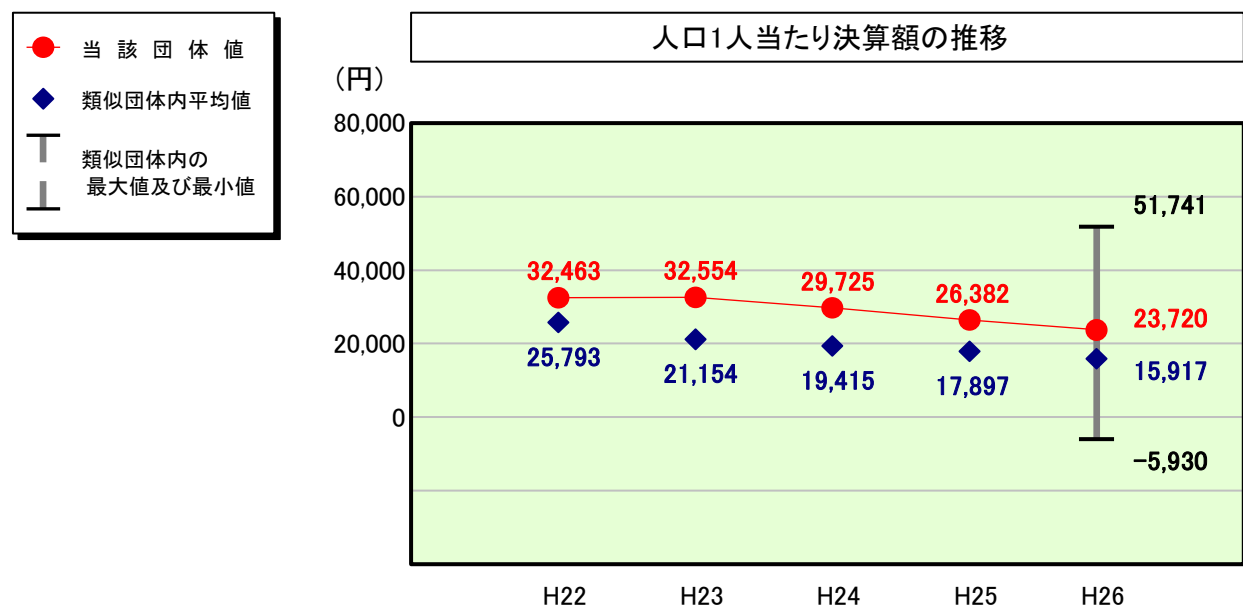
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,804,433	69,292	65,114	6.4
賃金 (物件費)	304,874	5,553	4,538	22.4
一部事務組合負担金 (補助費等)	829,510	15,108	5,513	174.0
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	953	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	179,053	3,261	2,887	13.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	76,239	1,389	1,642	▲ 15.4
▲退職金	▲ 431,624	▲ 7,861	▲ 6,965	12.9
合計	4,762,485	86,742	73,685	17.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.60	7.13	0.47
ラスパイレス指数	99.9	98.1	1.8

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

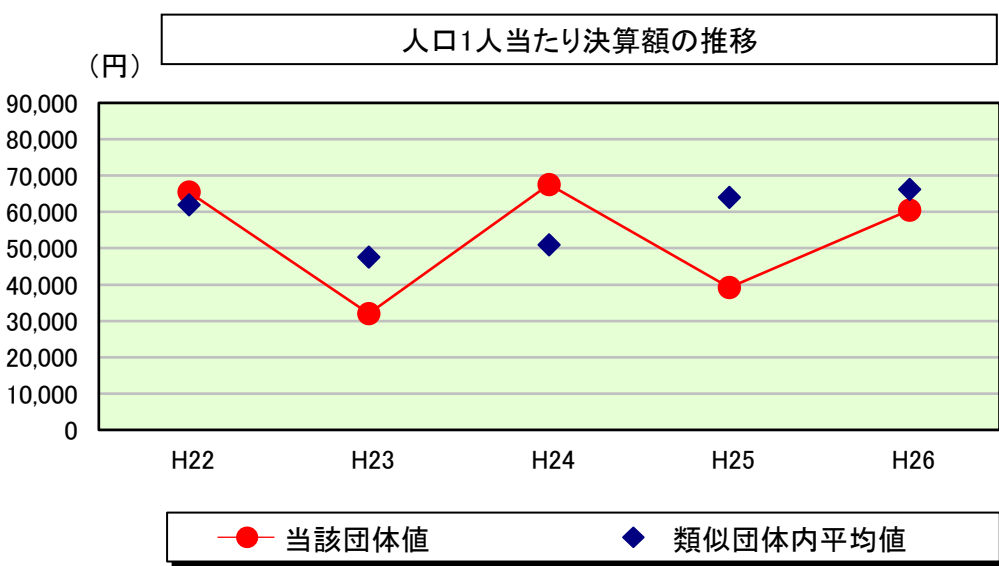


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,979,632	54,270	43,359	25.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	284,960	5,190	11,806	▲ 56.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	90,024	1,640	1,910	▲ 14.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,725	50	1,129	▲ 95.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 111,304	▲ 2,027	▲ 5,126	▲ 60.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,943,720	▲ 35,402	▲ 37,205	▲ 4.8
合計	1,302,317	23,720	15,917	49.0

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

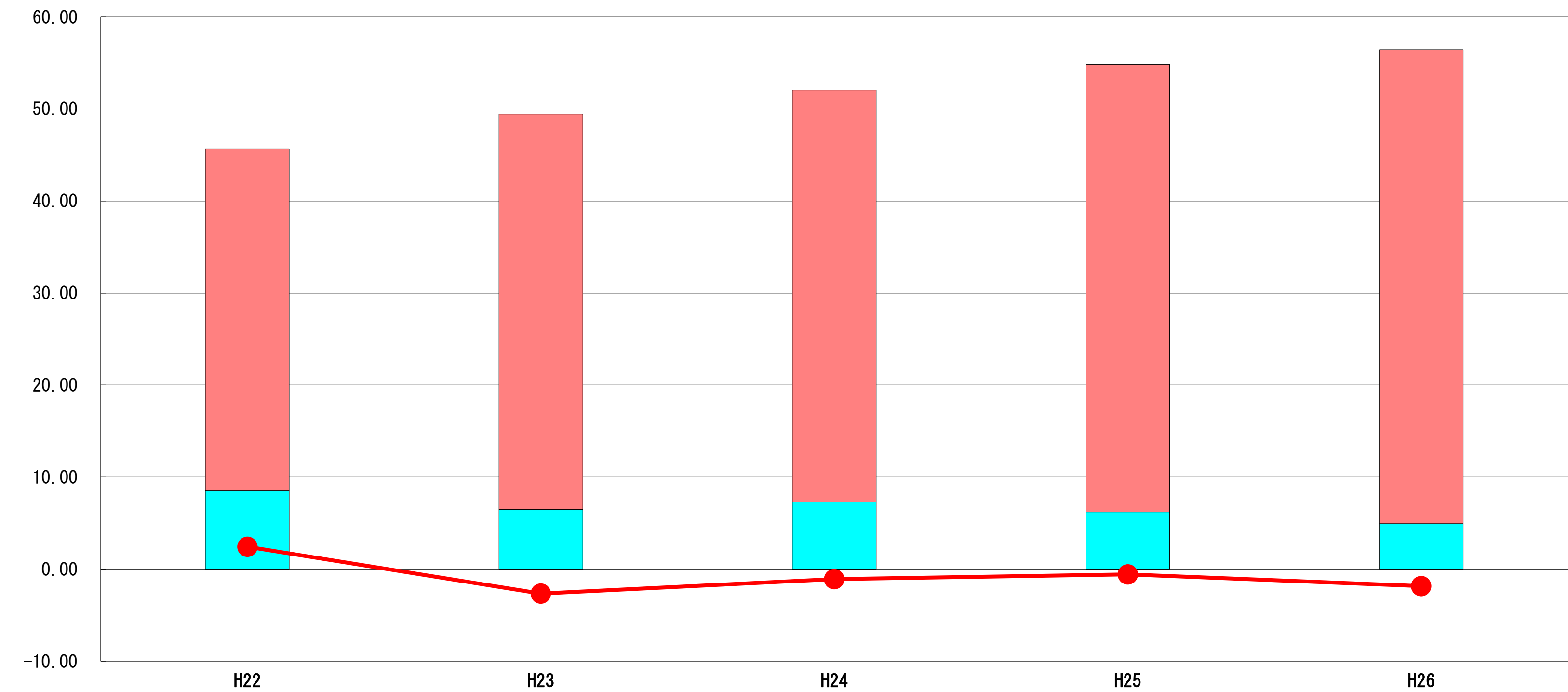
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	3,745,178	65,449	20.4	61,882	6.7	13.7
うち単独分	1,456,952	25,461	▲ 18.7	32,175	0.0	▲ 18.7
H23	1,807,586	32,007	▲ 51.1	47,569	▲ 23.1	▲ 28.0
うち単独分	1,246,284	22,068	▲ 13.3	26,255	▲ 18.4	5.1
H24	3,803,592	67,565	111.1	50,880	7.0	104.1
うち単独分	3,339,067	59,314	168.8	26,879	2.4	166.4
H25	2,184,039	39,152	▲ 42.1	63,956	25.7	▲ 67.8
うち単独分	1,256,520	22,525	▲ 62.0	29,239	8.8	▲ 70.8
H26	3,321,028	60,488	54.5	66,255	3.6	50.9
うち単独分	2,304,784	41,978	86.4	31,822	8.8	77.6
過去5年間平均	2,972,285	52,932	18.6	58,108	4.0	14.6
うち単独分	1,920,721	34,269	32.2	29,274	0.3	31.9

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県山武市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		37.16	42.95	44.78	48.64	51.48
実質収支額		8.53	6.48	7.28	6.21	4.96
実質単年度収支		2.43	▲ 2.65	▲ 1.08	▲ 0.56	▲ 1.84

分析欄

財政調整基金については、普通交付税の合併算定替の終了に備え、決算剰余金を積み立てるとともに、最小限の取崩に留めており基金残高を増やしている。

形式収支は昨年度より9千万円増となっているが、繰越額が2億7千万円増となったため、実質収支は1億8千万円の減となった。

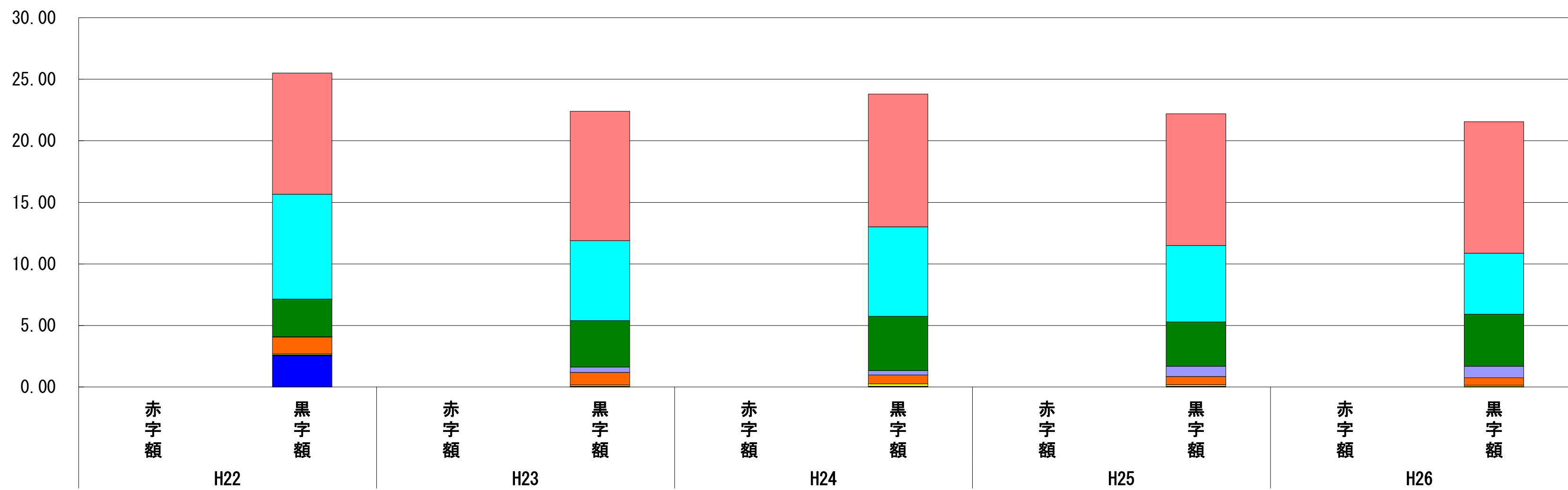
今後は交付税の段階的縮減に合わせ、予算規模の縮減が必須であり、事務事業の見直し等健全な財政運営に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県山武市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
山武市水道事業会計		9.84	10.52	10.77	10.71	10.68
一般会計		8.52	6.48	7.27	6.21	4.95
山武市国民健康保険特別会計（事業勘定）		3.07	3.77	4.42	3.60	4.22
山武市介護保険特別会計		0.02	0.45	0.36	0.82	0.94
山武市組合立国保成東病院事業清算事務特別会計		1.34	1.01	0.73	0.67	0.60
山武市国民健康保険特別会計（施設勘定）		0.09	0.11	0.18	0.14	0.11
山武市農業集落排水事業特別会計		0.07	0.05	0.05	0.04	0.03
山武市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		2.54	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

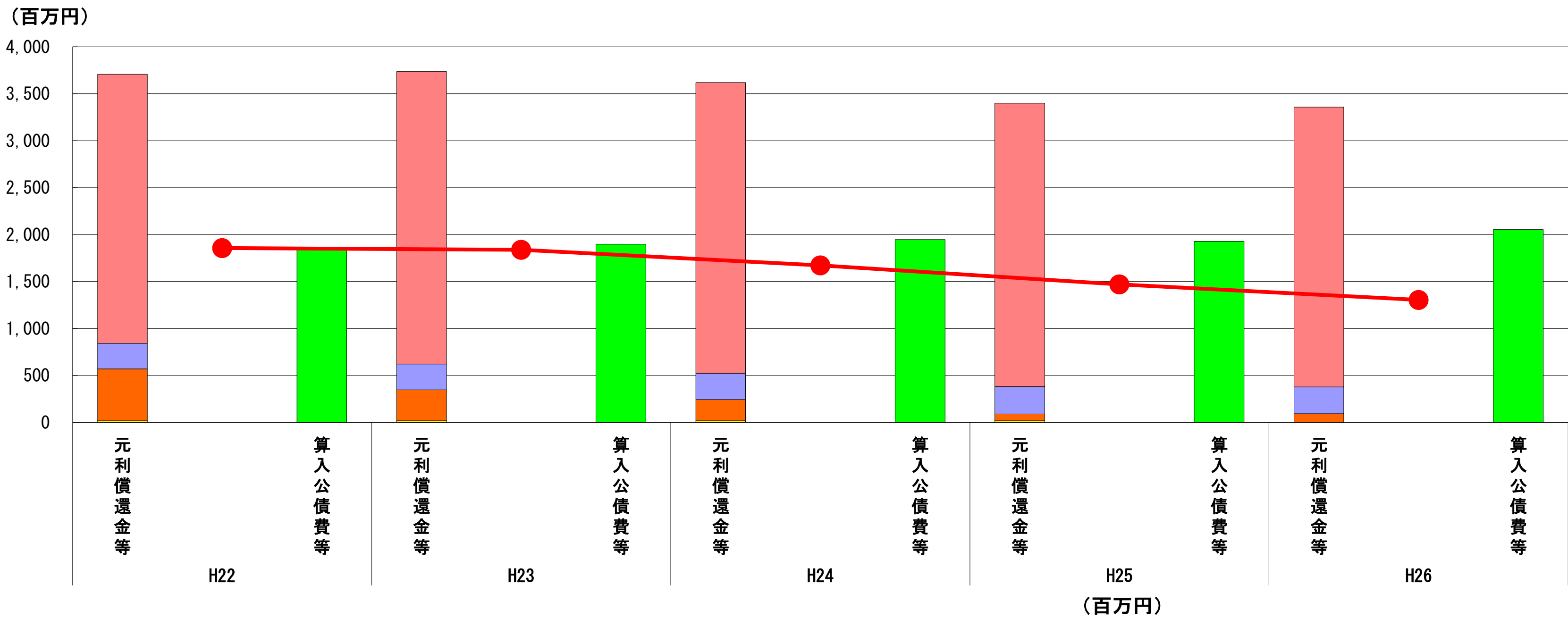
連結実質赤字比率については、全会計黒字であり、健全な運営を行っている。
国民健康保険特別会計（事業勘定）については、保険税の収納額が減少する一方医療費の伸びによる給付費は増加しており、厳しい財政運営を求められている。
保険税の確保と医療費の抑制に努め、一般会計からの繰入を最小限に抑えたい。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県山武市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,865	3,114	3,098	3,018	2,980
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		271	276	279	292	285
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		554	329	227	73	90
	債務負担行為に基づく支出額		17	17	17	17	3
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,850	1,898	1,948	1,930	2,053
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,857	1,838	1,673	1,470	1,305

分析欄

元利償還金は年々減少傾向にある。
新規借入は、合併特例事業債等の普通交付税
算入率が有利なものを選択している影響が表
れている。
今後も有利な借入を選択するとともに、新
規借入の抑制に努める。

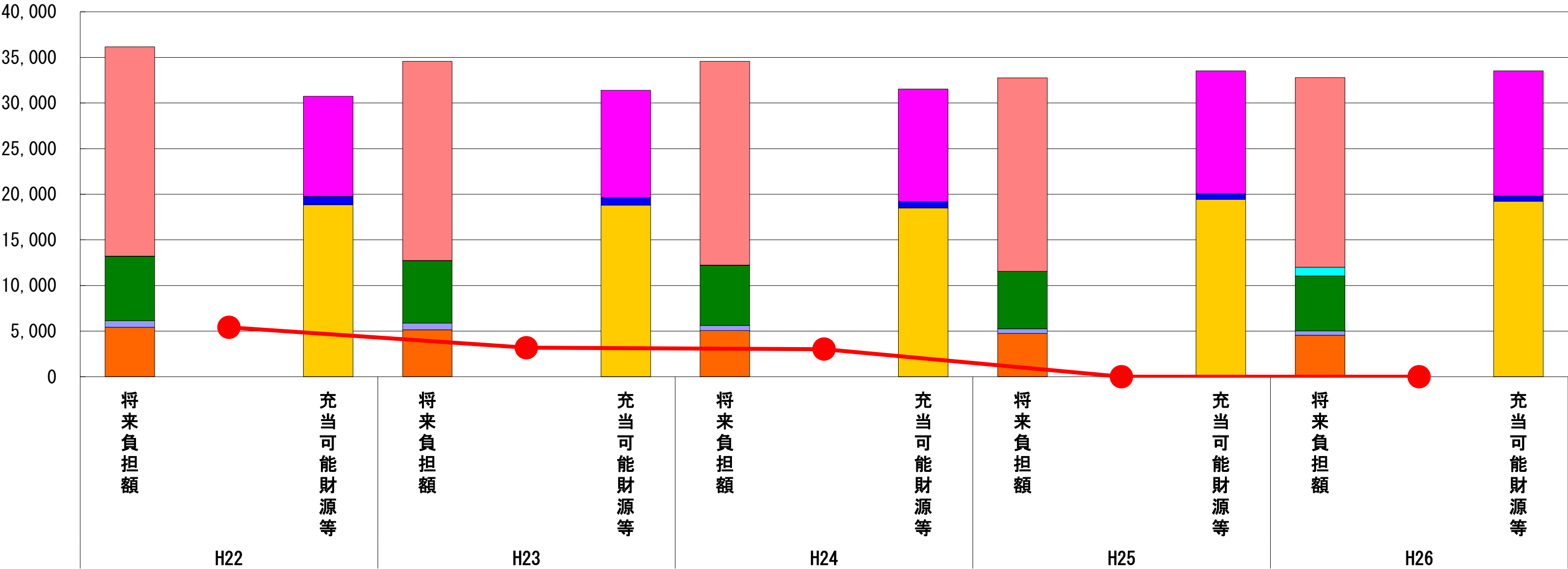
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県山武市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		22,921	21,831	22,341	21,218	20,805
	債務負担行為に基づく支出予定額		42	30	24	8	962
	公営企業債等繰入見込額		7,065	6,829	6,574	6,294	6,000
	組合等負担等見込額		715	720	563	509	477
	退職手当負担見込額		5,411	5,150	5,069	4,740	4,553
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		10,967	11,760	12,337	13,468	13,733
	充当可能特定歳入		937	817	728	643	554
	基準財政需要額算入見込額		18,839	18,809	18,483	19,419	19,233
(A) - (B)		将来負担比率の分子	5,411	3,174	3,023	▲ 761	▲ 723

分析欄

将来負担比率は年々減少傾向にある。
これは、地方債の現在高や公営企業債等繰入見込額等の将来負担額の減少とともに、充当可能基金などの充当可能財源等が増加していることが要因となっている。
今後も市債発行の抑制や基金の取り崩しを最小限に抑制し、財政健全化に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	I－1		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)					
市町村名				地方交付税種地	1-1	財政健全化等	×	歳入総額	18,026,042	17,290,748	実質収支比率	7.1	6.0						
						財源超過	×	歳出総額	17,186,791	16,402,150	経常収支比率	89.7	88.4						
						首都	×	歳入歳出差引	839,251	888,598	(※1)	(96.4)	(95.5)						
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	50,732	223,164	標準財政規模	11,057,019	11,110,786						
								実質収支	788,519	665,434	財政力指数	0.47	0.48						
人口	22年国調(人)	40,962	産業構造 (※5)	中部	×	単年度収支	123,085	-206,100	公債費負担比率	14.5	13.2								
	17年国調(人)	42,305		過疎	×	積立金	133,027	469,779	健全化判断比率										
	増減率 (％)	-3.2		山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-								
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	40,502	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	351,596	141,973	連結実質赤字比率	-	-						
	うち日本人(人)	40,003	第1次	1,462	1,950	指数表選定	○	実質単年度収支	-95,484	121,706	実質公債費比率	8.5	8.9						
	26.01.01(人)	41,015		8.4	9.9					将来負担比率	94.9	100.3							
	うち日本人(人)	40,514	第2次	4,562	5,469					資金不足比率 (※4)									
	増減率 (％)	-1.3		26.2	27.7														
うち日本人(%)	-1.3	第3次	11,386	12,083															
面積 (km ²)	157.44		65.4	61.3															
人口密度 (人/km ²)	260																		
世帯数 (世帯)	14,704																		
職員の状況																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		19,343,785	18,485,939							
	市区町村長	1	6,630		一般職員	351	1,109,862	3,162	うち公的資金		13,075,310	11,732,300							
	副市区町村長	1	5,355		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)		797,873	93,599							
	教育長	1	4,675		うち技能労務職員	32	88,512	2,766	収益事業収入		-	-							
	議会議長	1	4,130		教育公務員	3	12,174	4,058	土地開発基金現在高		-	-							
	議会副議長	1	3,510		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	2,539,498	2,458,067							
	議会議員	18	3,270		合計	354	1,122,036	3,170		減債基金	10,655	10,638							
						ラスパイレス指数	96.7		その他特定目的基金		2,864,324	2,843,415							
一般会計等の一覧 項番		会計名	事業会計の一覧 項番		会計名	公営企業(法適)の一覧 項番		会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名	(※3)	
(1)		一般会計	(2)		国民健康保険特別会計	(5)		水道事業会計			(6)		夷隅郡市広域市町村圏事務組合 (一般会計)						
			(3)		介護保険特別会計						(7)		夷隅郡市広域市町村圏事務組合 (外房線複線化特別会計)						
			(4)		後期高齢者医療特別会計						(8)		南房総広域水道企業団 (水道用水供給事業会計)						
											(9)		国保国吉病院 (国保国吉病院事業会計)						
											(10)		夷隅環境衛生組合 (一般会計)						
											(11)		布施学校組合 (布施学校組合会計)						
											(12)		千葉県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)						
											(13)		千葉県後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)						
											(14)		千葉県市町村総合事務組合 (一般会計)						
											(15)		千葉県市町村総合事務組合 (千葉県自治会館管理運営特別会計)						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,943,079	21.9	3,943,079	38.0	普通税	3,943,079	100.0	-	
地方譲与税	210,141	1.2	210,141	2.0	法定普通税	3,943,079	100.0	-	
利子割交付金	7,196	0.0	7,196	0.1	市町村民税	1,761,098	44.7	-	
配当割交付金	31,619	0.2	31,619	0.3	個人均等割	68,999	1.7	-	
株式等譲渡所得割交付金	22,131	0.1	22,131	0.2	所得割	1,456,070	36.9	-	
地方消費税交付金	414,971	2.3	414,971	4.0	法人均等割	87,650	2.2	-	
ゴルフ場利用税交付金	38,839	0.2	38,839	0.4	法人税割	148,379	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,816,369	46.1	-	
自動車取得税交付金	41,716	0.2	41,716	0.4	うち純固定資産税	1,813,872	46.0	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	90,024	2.3	-	
地方特例交付金	11,487	0.1	11,487	0.1	市町村たばこ税	268,075	6.8	-	
地方交付税	6,102,769	33.9	5,567,334	53.7	鉱産税	5,113	0.1	-	
普通交付税	5,567,334	30.9	5,567,334	53.7	特別土地保有税	2,400	0.1	-	
特別交付税	535,435	3.0	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-	
（一般財源計）	10,823,948	60.0	10,288,513	99.3	法定目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	5,916	0.0	5,916	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	130,092	0.7	6,219	0.1	事業所税	-	-	-	
使用料	240,672	1.3	24,999	0.2	都市計画税	-	-	-	
手数料	114,469	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	1,965,471	10.9	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	889,510	4.9	-	-	合計	3,943,079	100.0	-	
財産収入	39,158	0.2	13,738	0.1					
寄附金	7,676	0.0	-	-					
繰入金	447,575	2.5	23,785	0.2					
繰越金	588,598	3.3	-	-					
諸収入	315,257	1.7	402	0.0					
地方債	2,457,700	13.6	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	771,900	4.3	-	-					
歳入合計	18,026,042	100.0	10,363,572	100.0					

区分		平成26年度		平成25年度		
徴収率 (%)	現・計 年	合計	96.7	86.3	96.3	84.7
		市町村民税	96.6	85.9	96.1	84.5
		純固定資産税	96.3	85.2	95.9	83.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,488,016	実質収支	369,144
病院	399,243	再差引収支	232,688
上水道	383,046	加入世帯数（世帯）	8,283
工業用水道	-	被保険者数（人）	14,363
交通	-	被保険者 1人当り	保険税（料）収入額 国庫支出金 保険給付費
国民健康保険	471,579		
その他	1,234,148		

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）						
目的別歳出の状況（単位 千円・％）						
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等		
議会費	183,690	1.1	-	183,690		
総務費	2,150,902	12.5	8,992	1,938,945		
民生費	5,263,610	30.6	14,715	3,035,231		
衛生費	1,949,707	11.3	78,932	1,720,104		
労働費	-	-	-	-		
農林水産業費	489,276	2.8	112,327	341,778		
商工費	201,879	1.2	787	197,797		
土木費	584,049	3.4	330,158	295,223		
消防費	1,020,826	5.9	53,380	971,870		
教育費	3,399,149	19.8	2,195,576	1,216,192		
災害復旧費	78,698	0.5	-	2,572		
公債費	1,865,005	10.9	-	1,828,929		
諸支出費	-	-	-	-		
前年度繰上充用金	-	-	-	-		
歳出合計	17,186,791	100.0	2,794,867	11,732,331		
性質別歳出の状況（単位 千円・％）						
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	
義務的経費計	7,151,565	41.6	5,374,080	5,358,305	48.1	
人件費	3,094,177	18.0	2,948,731	2,942,394	26.4	
うち職員給	1,970,094	11.5	1,832,274	-	-	
扶助費	2,192,383	12.8	596,420	586,982	5.3	
公債費	1,865,005	10.9	1,828,929	1,828,929	16.4	
内 訳	元利償還金	1,865,005	10.9	1,828,929	1,828,929	16.4
	うち元金	1,599,854	9.3	1,570,946	1,570,946	14.1
	うち利子	265,151	1.5	257,983	257,983	2.3
	一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	7,161,661	41.7	5,893,685	4,631,220	41.6	
物件費	2,322,506	13.5	1,673,479	930,576	8.4	
維持補修費	62,993	0.4	59,668	59,668	0.5	
補助費等	2,820,056	16.4	2,561,780	2,312,362	20.8	
うち一部事務組合負担金	1,143,473	6.7	1,142,185	1,124,204	10.1	
繰出金	1,705,727	9.9	1,430,550	1,293,479	11.6	
積立金	176,436	1.0	131,535	-	-	
投資・出資金・貸付金	73,943	0.4	36,673	35,135	0.3	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	
投資的経費計	2,873,565	16.7	464,566	-	-	
うち人件費	24,810	0.1	24,810	-	-	
普通建設事業費	2,794,867	16.3	461,994	-	-	
うち補助	2,416,362	14.1	244,318	-	-	
うち単独	337,551	2.0	203,288	-	-	
災害復旧事業費	78,698	0.5	2,572	-	-	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	
歳出合計	17,186,791	100.0	11,732,331	-	-	

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	18,035	17,196	839	789	424	19,344	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	18,026	17,187	839	789		19,344	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	6,331	5,962	369	369	413	-	-	-	
2	介護保険特別会計	4,001	3,967	34	34	602	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	452	451	1	1	123	-	-	-	
4	水道事業会計	1,509	1,617	▲ 108	1,046	232	1,980	1,424	-	法適用企業
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				1,450		1,980	1,424		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	夷隅郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)	1,978	1,887	91	81	-	785	400	
2	夷隅郡市広域市町村圏事務組合(外局線緑化特別会計)	174	174	0	0	-	35	18	
3	南房総広域水道企業団(水道用水供給事業会計)	4,113	3,635	478	4,036	325	4,449	36	法適用
4	国保国吉病院(国保国吉病院事業会計)	2,823	3,098	▲ 275	666	496	3,744	2,967	法適用
5	夷隅環境衛生組合(一般会計)	927	879	48	▲ 104	32	132	89	
6	布施学校組合(布施学校組合会計)	161	152	9	9	-	83	41	
7	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
8	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
9	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
10	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
11	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
12	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通安全共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				21,058		9,228	3,551	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

		実質公債費比率（千円・％）			
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金		1,683,236	1,749,300	1,865,005	19.4
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-
準元利償還金		265,582	258,467	228,135	2.4
公営企業債の元利償還金に対する繰入金		195,842	195,243	163,043	1.7
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		14,094	11,182	8,710	0.1
債務負担行為		-	-	-	-
一時借入金の利子		-	-	-	-
合計	(A)	2,158,754	2,214,192	2,264,893	
内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
PFI事業に係るもの		-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-
その他上記に準ずるもの		-	-	-	-
利子補給に係るもの		14,094	11,182	8,710	0.1
特定財源の額	(B)	36,302	36,141	36,076	
標準財政規模	(C)	10,973,943	11,110,786	11,057,019	
算入公債費等の額	(D)	1,252,808	1,335,778	1,451,760	
	(C)－(D)	9,721,135	9,775,008	9,605,259	
実質公債費比率	(単年度)	8.9	8.6	8.1	
((A)－((B)＋(D)))／((C)－(D))×100	(3ヵ年平均)	9.3	8.9	8.5	

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）										
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	18,568,692	18,485,939	19,343,785	201.4	PFI事業に係るもの	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	-	-	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	2,136,728	1,749,906	1,423,612	14.8	国営土地改良事業に係るもの	-	-	-	-
	組合等負担等見込額	3,821,536	3,610,731	3,550,258	37.0	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	5,738,802	5,192,260	4,876,216	50.8	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
	合計	(E)	30,265,758	29,038,836	29,193,871	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
	充当可能財源等	充当可能基金	3,129,048	3,444,242	3,577,130	37.2	その他上記に準ずるもの	-	-	-
	充当可能特定歳入	304,010	277,150	249,881	2.6					
	基準財政需要額算入見込額	15,369,587	15,508,997	16,242,295	169.1	水道事業会計	2,136,728	1,749,906	1,423,612	14.8
	合計	(F)	18,802,645	19,230,389	20,069,306	企業債等繰入見込額				
将来負担比率 $((E)-(F)) \div ((C)-(D)) \times 100$		117.9	100.3	94.9		その他の会計	-	-	-	-
						地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
						土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-
						その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-
健全化判断比率		平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準		公社・三セク等				
実質赤字比率		-	13.17	20.00						
連結実質赤字比率		-	18.17	30.00						
実質公債費比率		8.5	25.0	35.0						
将来負担比率		94.9	350.0							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度千葉県いすみ市

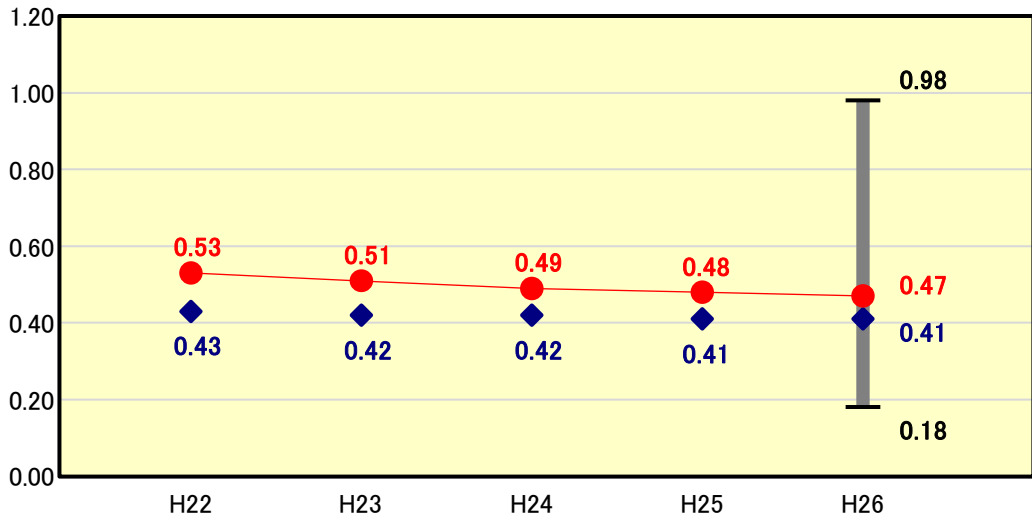
人口	40,502	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	40,003	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	157.44	km ²	実質公債費比率	8.5	%
歳入総額	18,026,042	千円	将来負担比率	94.9	%
歳出総額	17,186,791	千円			
実質収支	788,519	千円	市町村類型	H22 I-1 H23 I-1 H24 I-1	
標準財政規模	11,057,019	千円	(年度毎)	H25 I-1 H26 I-1	
地方債現在高	19,343,785	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.47]



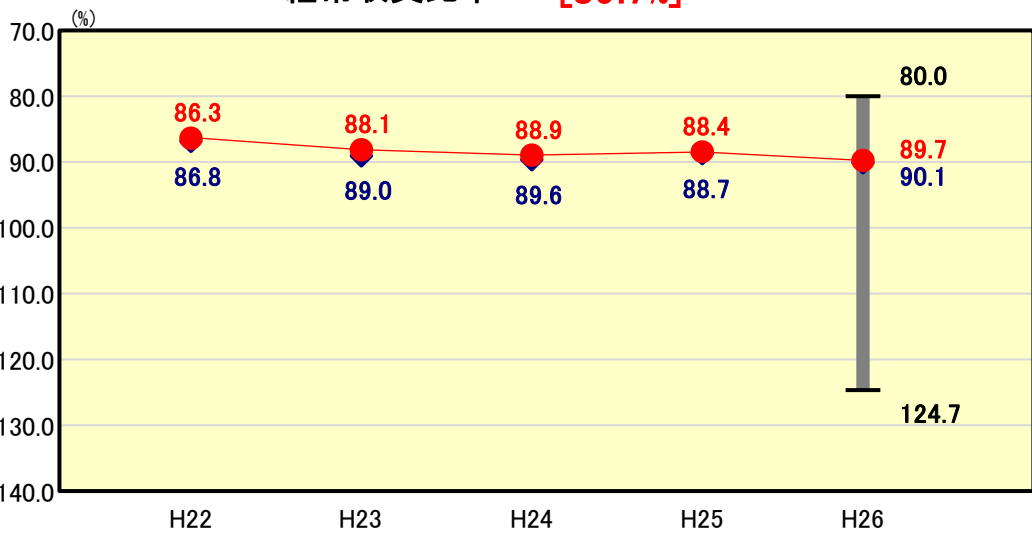
類似団体内順位 46/172 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

前年度と比較すると0.01ポイント減であり、類似団体平均を0.06ポイント上回り、全国平均よりも0.02ポイント低くなっている。平成17年12月5日合併後から数値は低下傾向にある。これは長引く景気の低迷と急速に進んでいる少子高齢化によることや市内に中心となる産業等がないこと等により、財政基盤が弱いことによる。また県内市町村平均からは0.24ポイント下回っていることから、平成26年度より市税の徴収強化のため、税務課内に滞納整理班をつくり、国税局のOBを採用し自主財源の確保に努め滞納分として約3千5百万円増の実績をあげることが出来た。今後も自主財源の確保を積極的に推進するとともに、地方創生を積極的に進め地域の魅力アップを図り、移住・定住者を増やし税収の確保に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [89.7%]



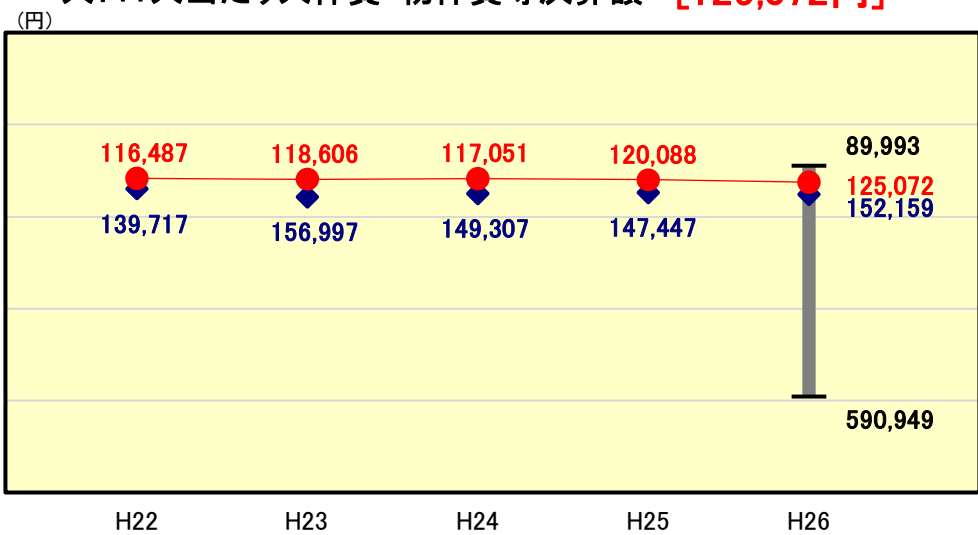
類似団体内順位 71/172 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

類似団体平均から0.4ポイント、県内市町村平均から2.7ポイント、全国平均から1.6ポイント下回っている。歳入においては、市税は滞納整理等により増加したが、地方譲与税をはじめとした各種交付金が減少となり、一般財源総額は約4千2百万円、3.3%減少した。歳出においては合併後実施している職員の給与カット(特別職15%カット、高齢層職員の昇給の見直し、管理職手当の15%カット)による人件費の削減を継続的に実施するとともに、退職者に対する不補充等により職員数は減少している。しかし生活保護世帯の増加や市単独事業の高校3年生までの医療費助成や福祉タクシー事業により扶助費は増加している。また市内の小中学校の整備で起債を起こしていることから公債費も増加している。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [125,072円]



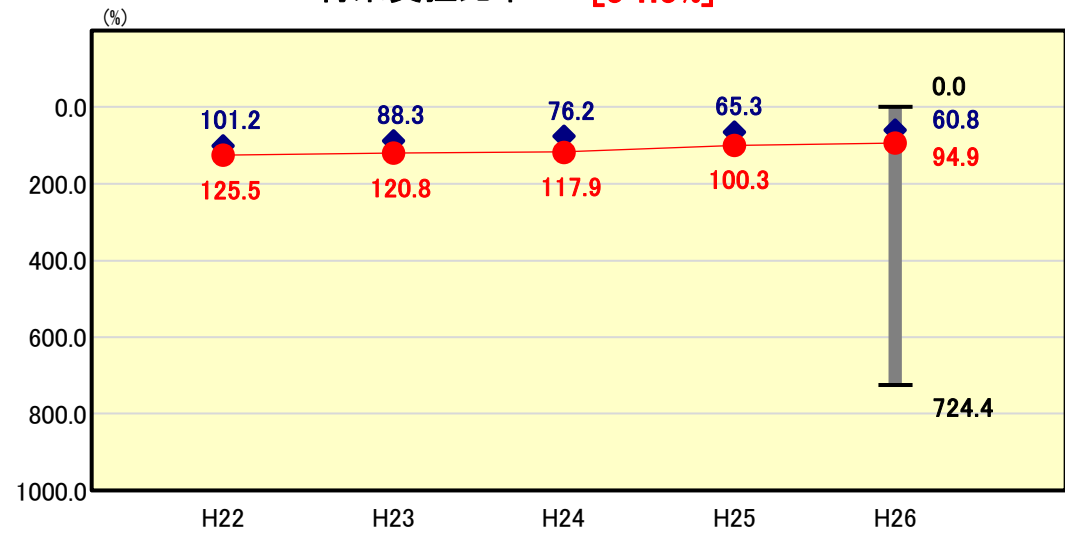
類似団体内順位 41/172 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

前年度と比較し4,984円増加したが、類似団体平均を27,087円下回っている。前年度に比較して増加したのは、職員の期末勤勉手当の支給率の改定や再任用職員の採用等により0.6%増加し、物件費についても5.7%増加したためである。物件費の増加については、職員数が減少していることを補うため、臨時職員の賃金が増加していることや個別予防接種事業等の単独委託事業を実施していることによる。また公共施設の老朽化が進み各種施設の修繕に多額の費用がかかるようになり、維持補修費も増加傾向にあるためである。今後は施設の統廃合を進め、施設の維持管理経費の削減に取り組んで行く。

将来負担の状況

将来負担比率 [94.9%]



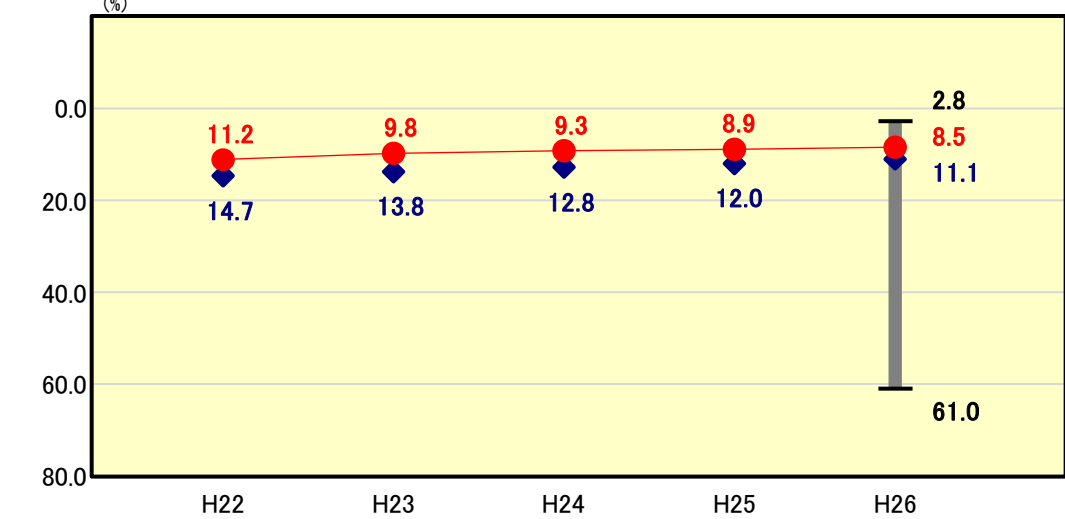
類似団体内順位 126/172 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

前年度に比較し5.4ポイント減少し、平成19年度からの分析開始から毎年減少しているが、類似団体や全国平均、千葉県平均と比較するとかなり高い数値となっている。これは、合併前の各町で実施した大規模事業の財源とした既発債の償還が終了している一方で、平成17年12月5日合併後に合併特例債を活用し、防災行政無線、小中学校の校舎、体育館の改修、統合保育所、統合の給食センターの建設を実施し、起債を起こしたことによる。今後は、財政調整基金の積立により充当可能基金の増加に努め、公債費等義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政の健全化に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [8.5%]



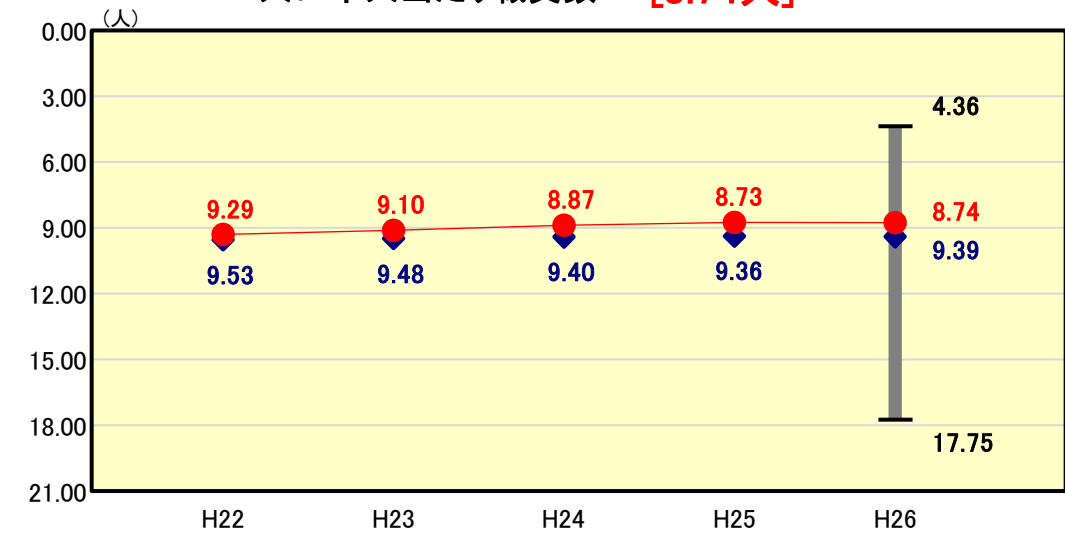
類似団体内順位 41/172 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

前年度と比較し0.4ポイント減少し、年々減少してきているが、全国平均よりも0.5ポイント、千葉県平均よりも1.3ポイント高くなっている。類似団体平均よりは2.6ポイント低くなっている。地方債現在高が増加し、標準財政規模は減少し、元利償還金に係る基準財政需要額算入額は増加している。これは合併特例債を活用し、施設等の建設を行っているが、交付税措置起債を多く借り入れているためと思われる。今後も財政状況を把握し、地方債発行は必要最小限に留め、地方債比率の抑制に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.74人]



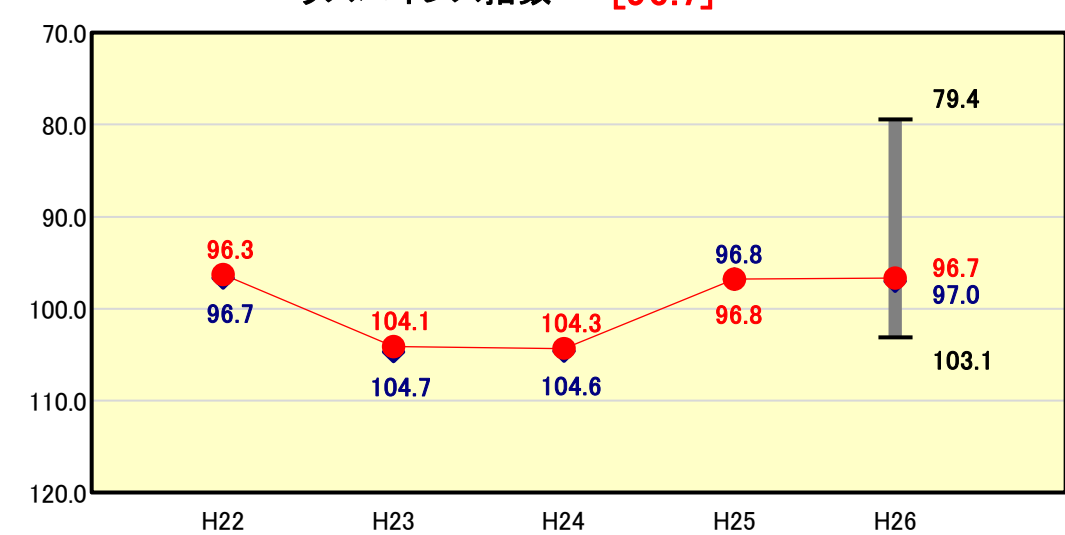
類似団体内順位 67/172 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

定員適正化計画を策定し、合併後定員管理に努めてきた。定員適正化計画に掲げている削減数を上回る114名を合併後削減したが、全国平均からは1.78ポイント、千葉県平均からは2.1ポイント高くなっている。これは4万人規模の市としては、公立保育所の数が他の類似団体と比較すると多く、民生部門に占める職員数が他の団体に比較し、突出しているためである。今後は施設の統廃合、民間委託等も検討し、定員管理の適正化に努める。

給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数 [96.7]



類似団体内順位 57/172 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

ラスパイレス指数については、ほぼ横ばいで推移している。類似団体平均よりも0.3ポイント、全国市平均よりも2.0ポイント低くなっている。今後も引き続き給与水準の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

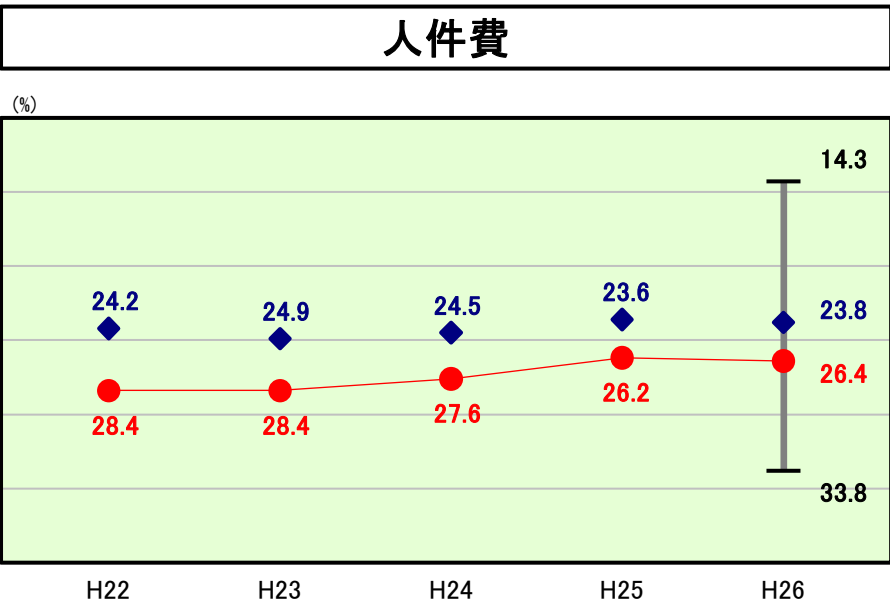
平成26年度

千葉県いすみ市

経常収支比率の分析

人口	40,502	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	40,003	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	157.44	km ²	実質公債費比率	8.5	%
歳入総額	18,026,042	千円	将来負担比率	94.9	%
歳出総額	17,186,791	千円	市町村類型	H22 I-1 H23 I-1 H24 I-1	
実質収支	788,519	千円	(年度毎)	H25 I-1 H26 I-1	
標準財政規模	11,057,019	千円			

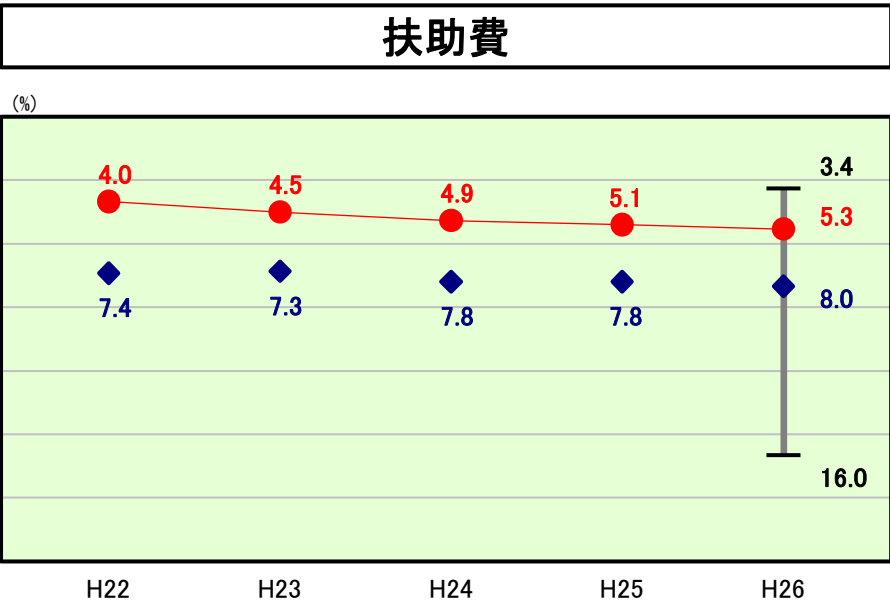
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 122/172 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

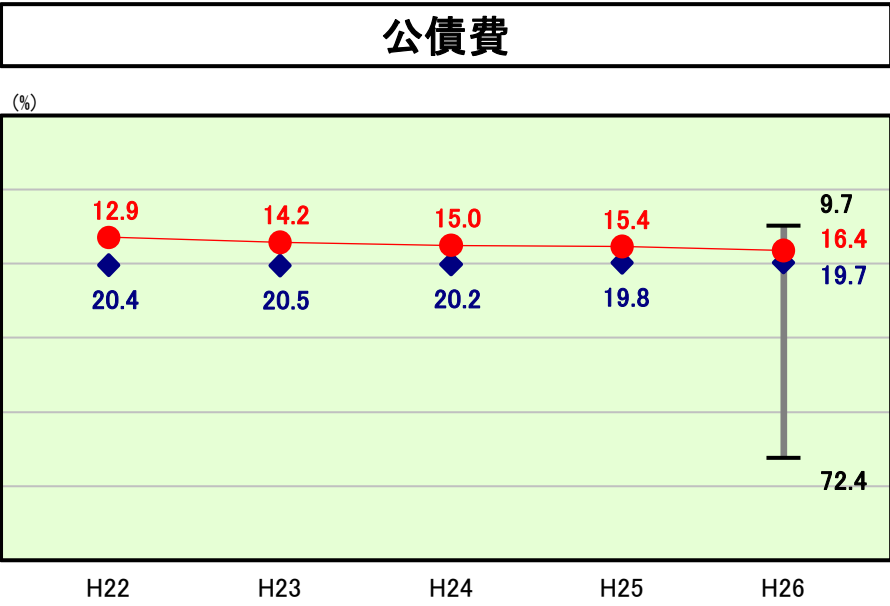
合併後、定員適正化計画に基づき職員数は毎年減少し、それに伴い人件費の決算額も毎年減少してきていたが、平成26年度については、人事院勧告に基づく給与改正(期末勤勉手当の支給率)を行ったこと等により、0.6%増加した。人件費に係る経常収支比率は低くなっているが、類似団体と比較し2.6ポイント、全国平均からも2.6ポイント高くなっている。千葉県平均からは0.8ポイント下回っている。今後も平成23年に策定した第2次定員適正化計画に基づき、定員管理の適正化に取り組み人件費の削減に努める。



類似団体内順位 24/172 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

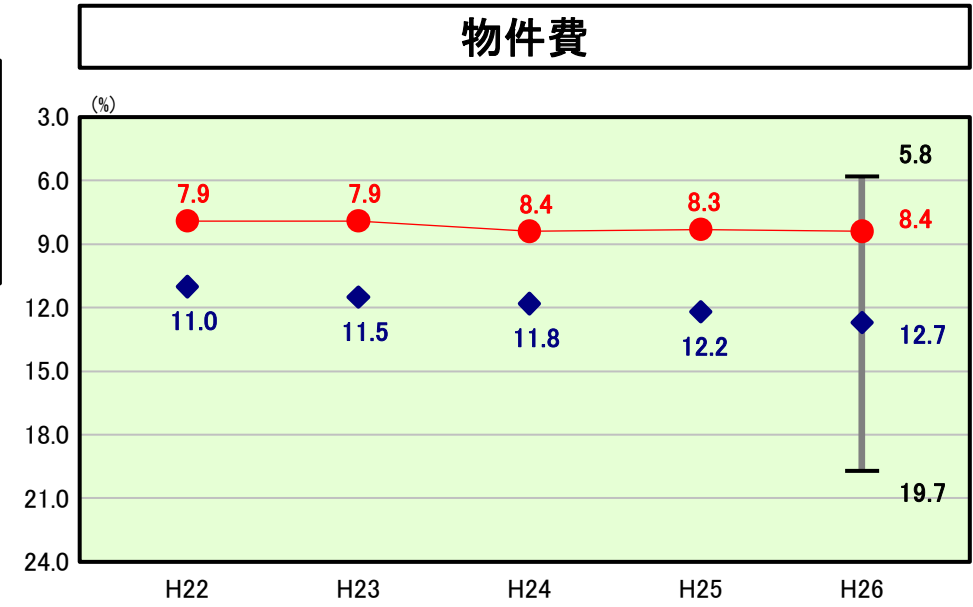
扶助費に係る経常収支比率については、類似団体平均、全国平均、千葉県平均を全て下回っているが、増加傾向にある。これは生活保護世帯の増加と市単独事業である子ども医療費助成(高校3年生まで)や福祉タクシー事業等による。今後は事業精査と生活保護資格審査等の厳格化、適正化を更に進めて行くことで、上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



類似団体内順位 52/172 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

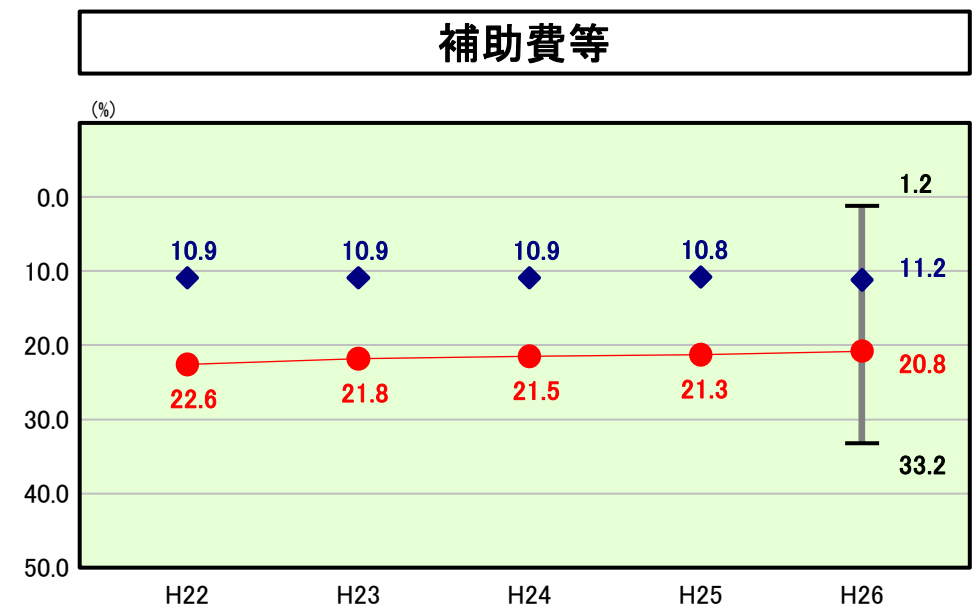
公債費に係る経常収支比率については、合併後に合併特例債を活用し、防災行政無線整備、小中学校校舎、体育館の整備、保育所、給食センターの建設、基幹道路の整備等様々な事業を実施してきた。起債償還額は、前年度に比較し約1億2千万円増加した。このことから経常収支比率に占める公債費の割合も1.0ポイント上昇した。類似団体平均と比較し3.3ポイント、全国平均と比較し1.8ポイント低いが、今後は起債を起こした給食センターの起債(約10億2千万円)の据え置き期間が終了し元金償還の始まる平成30年からは数値上昇が見込まれる。



類似団体内順位 7/172 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

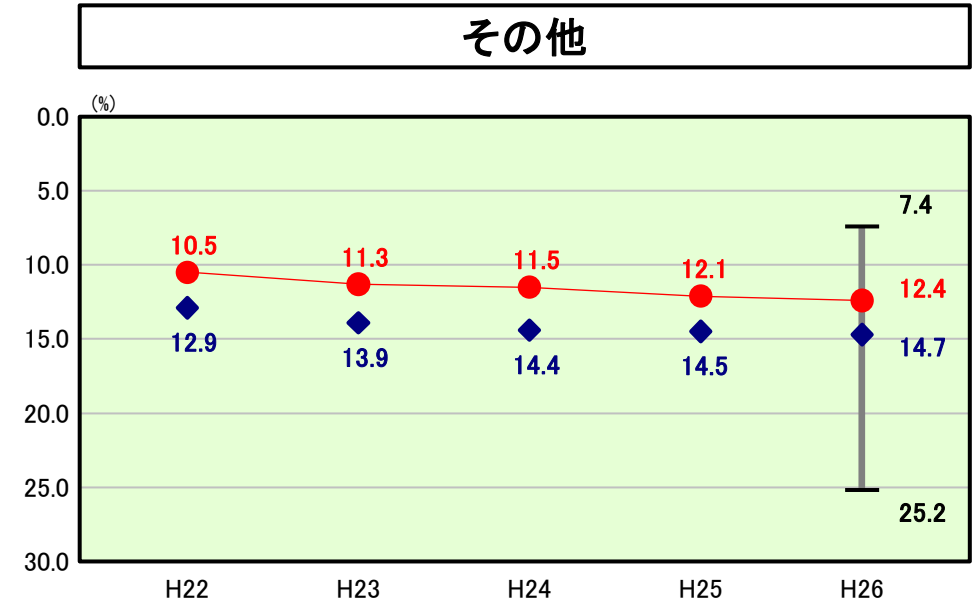
物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均、全国平均、千葉県平均ともに下回っている。しかし物件費の決算額は前年度に比較し約1億3千万円増加した。これは個別予防接種や固定資産現況調査等の委託料や臨時職員の増加、臨時職員の賃金見直し等による。今後も物件費は増加してしまうが、業務の民間委託化を推進し、業務縮減に努めていく。



類似団体内順位 165/172 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

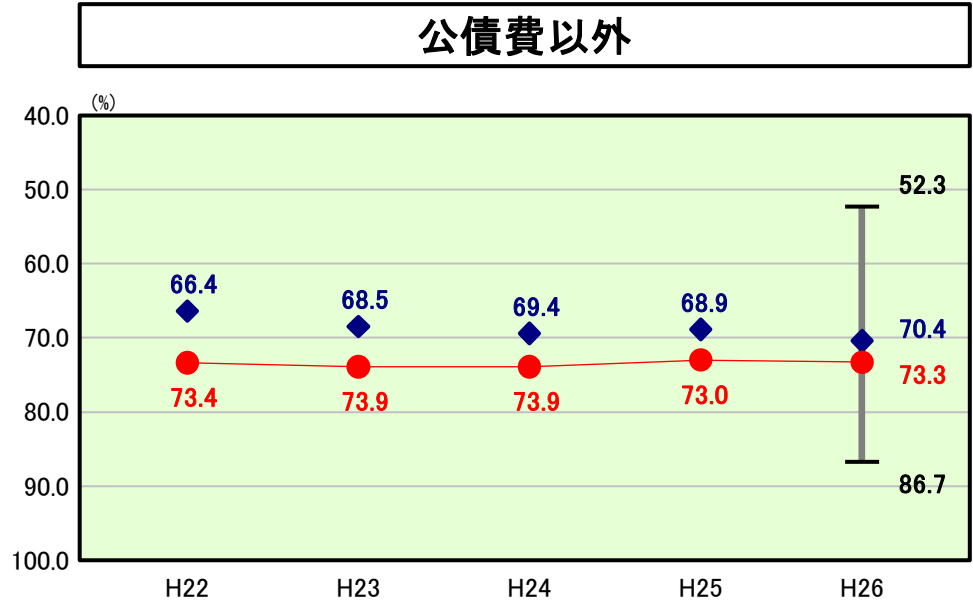
合併により消防、病院、ごみ、し尿処理、いすみ鉄道、水道事業といった広域的な行政経費に対する負担が多額であり、類似団体平均、全国平均、千葉県平均ともに大幅に上回っている。しかし補助団体の内容精査等を実施し、数値自体は若干ではあるが、毎年減少してきている。今後も各種団体に対する補助金については、市で定めた補助金に関する基本指針に基づき適正に処理していく。



類似団体内順位 36/172 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

類似団体平均を2.3ポイント、全国平均を0.8ポイント下回っているが、千葉県平均より0.4ポイント高くなっている。国民健康保険事業会計の財政状況の悪化等により、赤字補填的な繰出金や後期高齢者医療特別会計、介護保険の繰出金が全て前年度に比較し増額となっている。(国保約3千7百万円、後期約9百万円、介護約2千5百万円)このため、0.3ポイント増加した。今後は、国民健康保険会計で、国民健康保険料の適正化を図ることなどにより、税収を主な財源とする普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 105/172 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

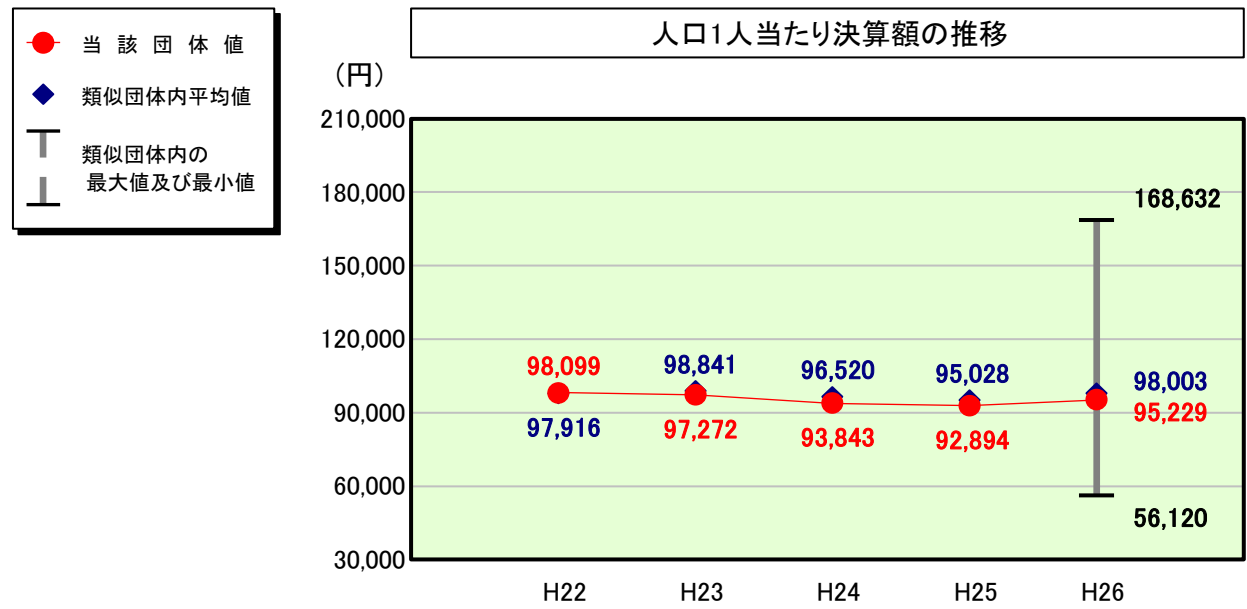
類似団体平均よりも2.9ポイント、全国平均よりも0.2ポイント高い数値となっていて、千葉県平均と比較すると3.4ポイント低くなっている。公債費以外の数値が、類似団体等と比較した時に高い数値なのは、補助費等の割合が非常に高いためである。今後は、補助金交付について更なる内容精査を実施するとともに、補助金を支出している一部事務組合等にも出来る限りの節減をお願いしながら、補助金額の削減をして行きたい、また各種補助金については補助終期の設定等を定め、抜本的見直しを実施していく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県いすみ市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



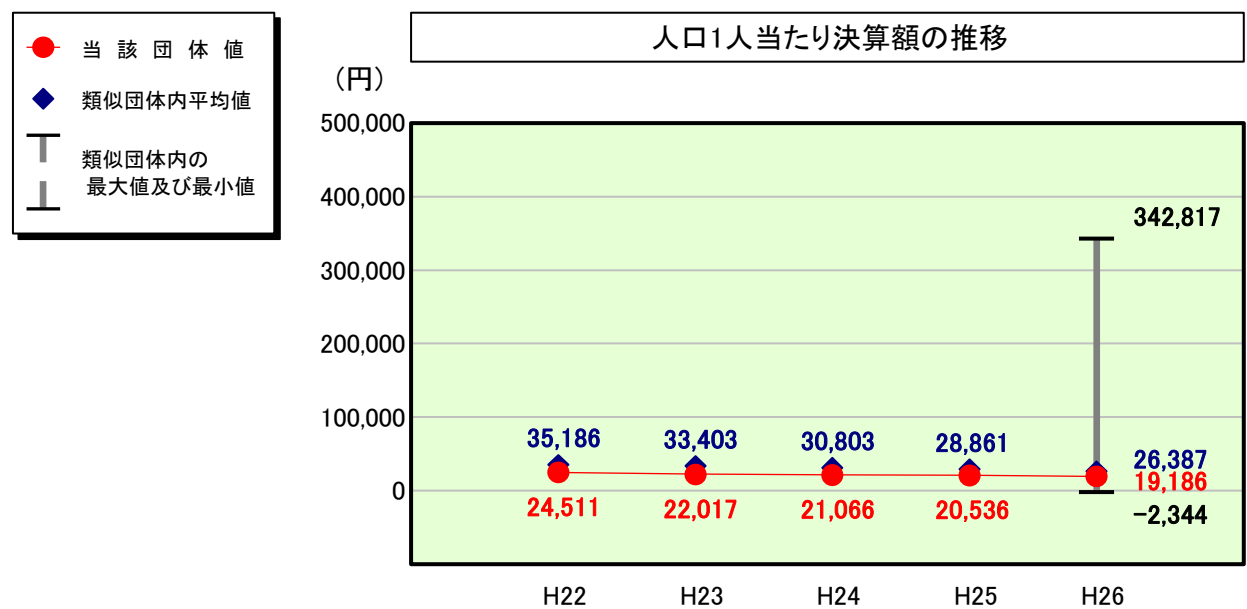
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,094,177	76,396	84,248	▲ 9.3
賃金 (物件費)	308,432	7,615	7,169	6.2
一部事務組合負担金 (補助費等)	753,126	18,595	9,152	103.2
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	893	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	115,223	2,845	3,652	▲ 22.1
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	24,810	613	2,134	▲ 71.3
▲退職金	▲ 438,812	▲ 10,834	▲ 9,248	17.1
合計	3,856,956	95,229	98,003	▲ 2.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	8.74	9.39	▲ 0.65
ラスパイレス指数	96.7	97.0	▲ 0.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

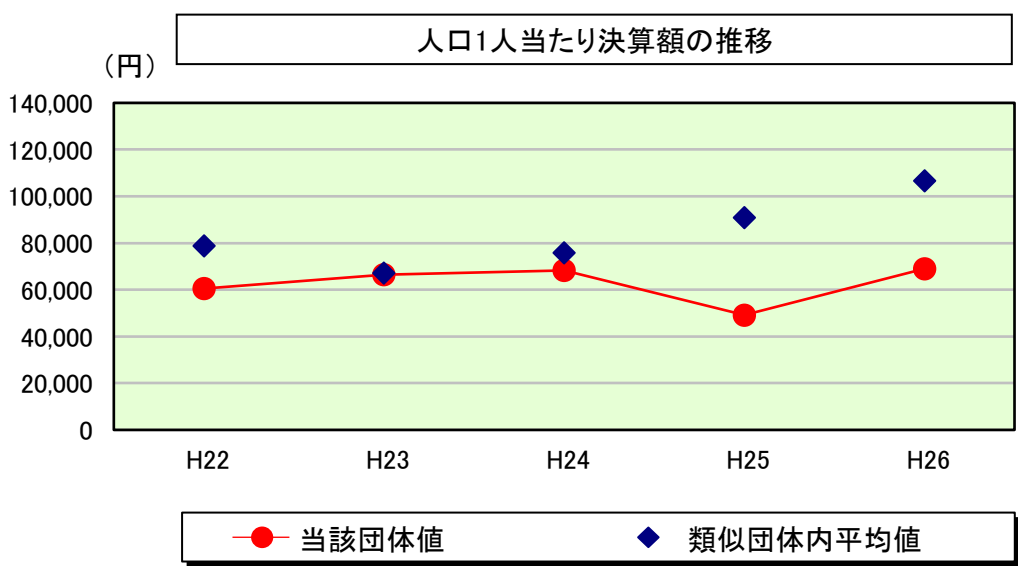


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,865,005	46,047	64,926	▲ 29.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	24	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	228,135	5,633	18,007	▲ 68.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	163,043	4,026	3,275	22.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	8,710	215	1,233	▲ 82.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	-
▲特定財源の額	▲ 36,076	▲ 891	▲ 4,280	▲ 79.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,451,760	▲ 35,844	▲ 56,807	▲ 36.9
合計	777,057	19,186	26,387	▲ 27.3

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

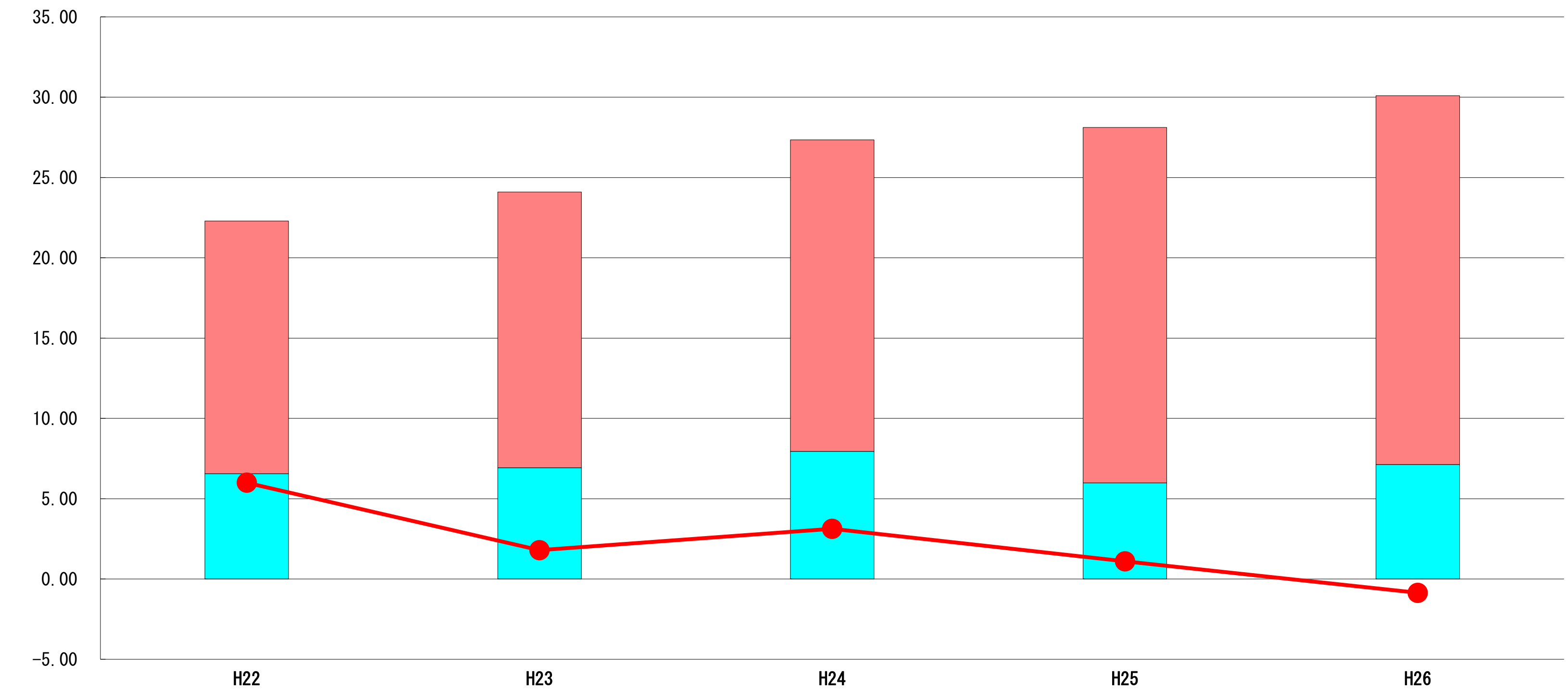
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	2,529,058	60,423	▲ 18.2	78,670	3.1	▲ 21.3
うち単独分	726,295	17,352	▲ 19.9	38,094	▲ 7.3	▲ 12.6
H23	2,741,344	66,362	9.8	67,201	▲ 14.6	24.4
うち単独分	907,824	21,976	26.6	35,210	▲ 7.6	34.2
H24	2,818,071	68,275	2.9	75,709	12.7	▲ 9.8
うち単独分	676,195	16,383	▲ 25.5	35,212	0.0	▲ 25.5
H25	2,017,756	49,196	▲ 27.9	90,961	20.1	▲ 48.0
うち単独分	852,709	20,790	26.9	37,720	7.1	19.8
H26	2,794,867	69,006	40.3	106,614	17.2	23.1
うち単独分	337,551	8,334	▲ 59.9	45,545	20.7	▲ 80.6
過去5年間平均	2,580,219	62,652	1.4	83,831	7.7	▲ 6.3
うち単独分	700,115	16,967	▲ 10.4	38,356	2.6	▲ 13.0

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県いすみ市

標準財政規模比（％）



		標準財政規模比（％）				
区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		15.74	17.17	19.41	22.12	22.97
実質収支額		6.55	6.92	7.94	5.99	7.13
実質単年度収支		5.99	1.79	3.13	1.10	▲ 0.86

分析欄

財政調整基金については、決算剰余金を中心に積立てるとともに、最低水準の取り崩しに努めている結果、平成17年12月5日の合併後基金残高は、年々増加している。今後も出来る限り財政調整基金への積立を実施し、残高を増やして行きたい。

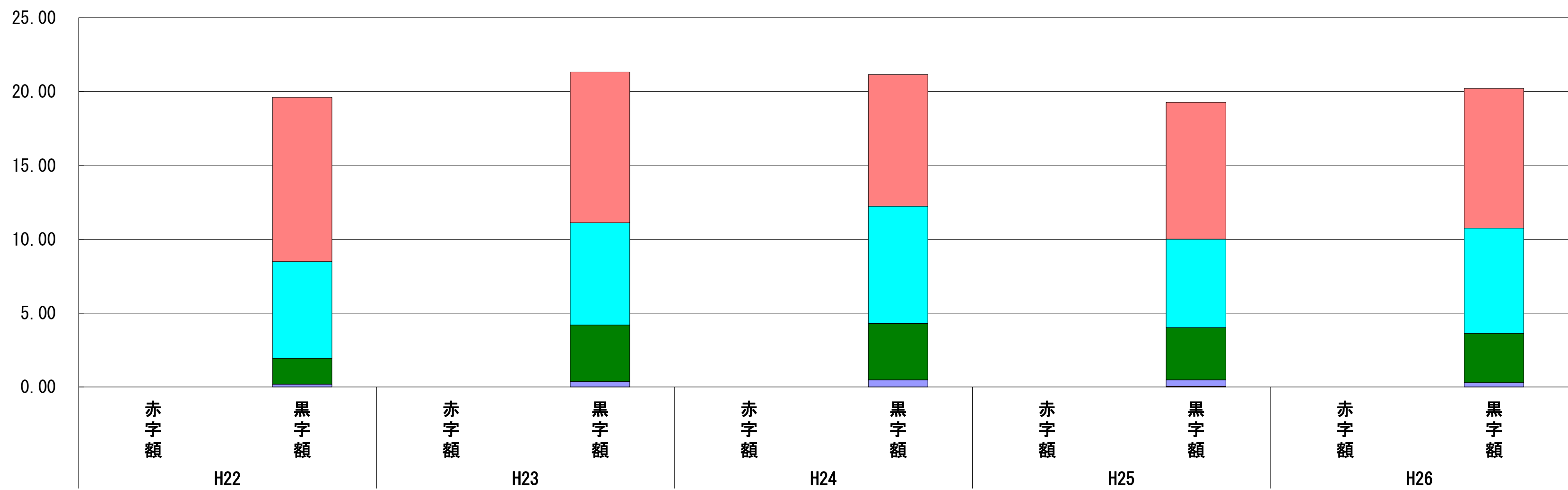
実質収支額の比率は、標準財政規模比6～7％前後で推移しているが、当初予算編成において、財政調整基金を繰り入れて調整していることから、今後は歳出削減に努め基金に頼らない予算編成を実施して行きたい。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県いすみ市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		11.11	10.21	8.92	9.27	9.45
一般会計		6.55	6.92	7.94	5.98	7.13
国民健康保険特別会計		1.76	3.84	3.82	3.55	3.33
介護保険特別会計		0.18	0.36	0.48	0.43	0.30
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.00	0.05	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	-	-	-	-

分析欄

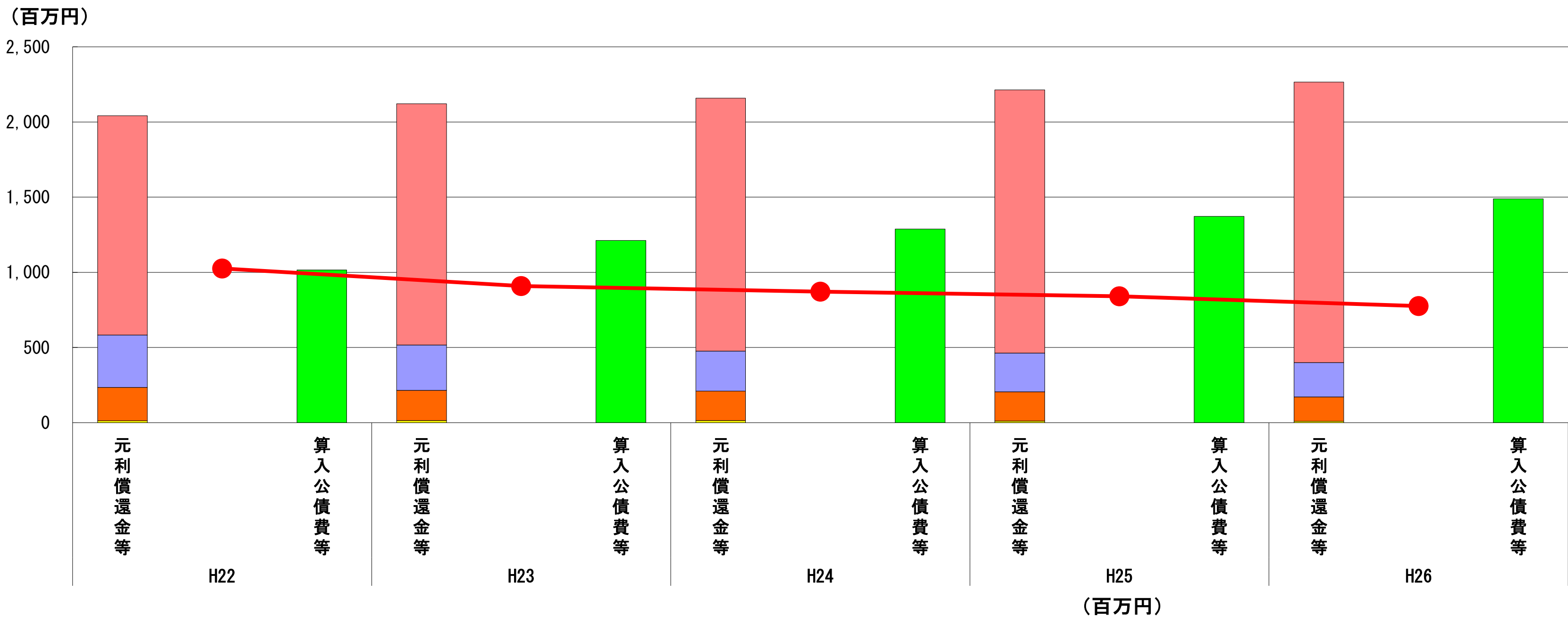
平成17年12月5日の合併以降、全ての会計で黒字決算となっている。企業会計は、水道会計のみである。
黒字額の標準財政規模比は、ほぼ横ばいであり毎年20%前後で推移している。
今後も黒字決算を維持できるよう更なる行財政改革を推進し、財政運営を図っていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県いすみ市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,459	1,605	1,683	1,749	1,865
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		348	301	266	258	228
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		222	200	196	195	163
	債務負担行為に基づく支出額		13	15	14	11	9
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,016	1,212	1,288	1,372	1,489
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,026	909	871	841	776

分析欄

元利償還金については、合併後様々な事業において合併特例債を活用し財源確保している。このことから元利償還金等は、年々増加しているが、それに伴い算入公債費等も年々増加している。

起債を起こす時は、なるべく交付税措置のある起債を活用している。

公営企業債の元利償還金に対する繰入金については、合併後公営企業債の借入を行っていないことから、年々減少している。

公債費の借入については、次世代への負担を少しでも軽減できるよう新規地方債の発行については、より一層の精査を行い持続可能な財政運営を図っていく。

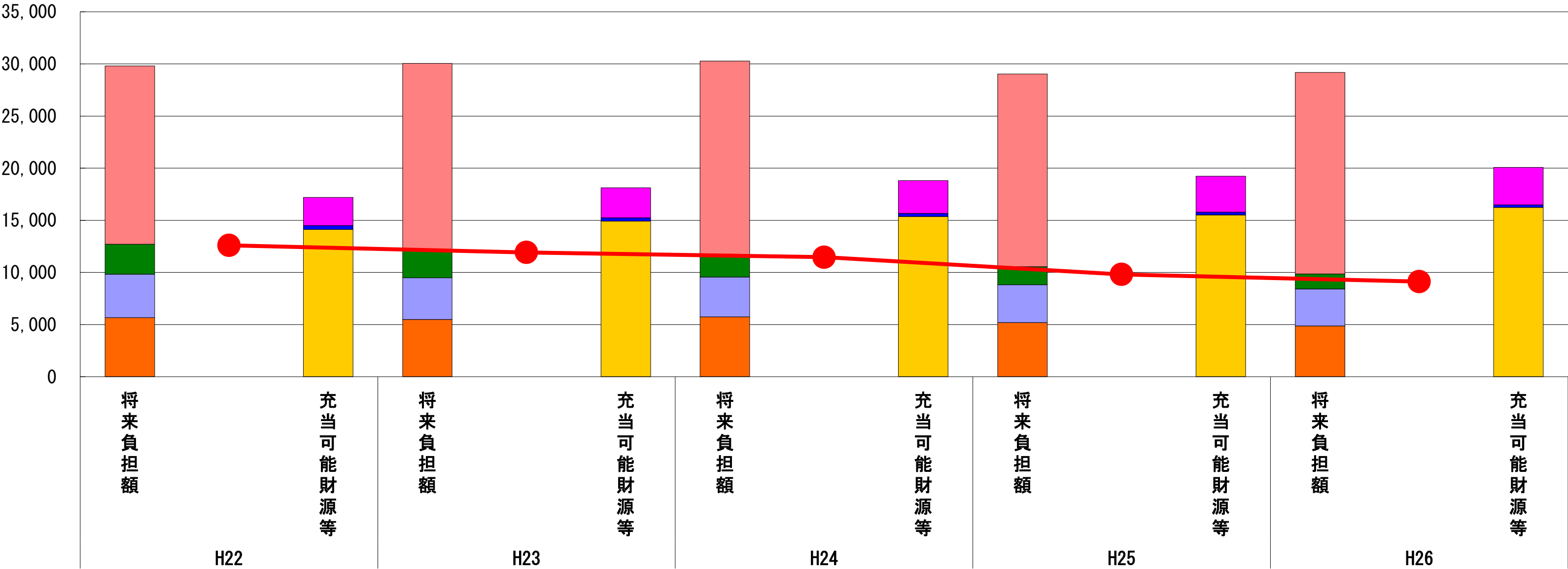
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県いすみ市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		17,086	17,972	18,569	18,486	19,344
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,884	2,598	2,137	1,750	1,424
	組合等負担等見込額		4,174	3,987	3,822	3,611	3,550
	退職手当負担見込額		5,656	5,488	5,739	5,192	4,876
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,711	2,885	3,129	3,444	3,577
	充当可能特定歳入		356	330	304	277	250
	基準財政需要額算入見込額		14,133	14,912	15,370	15,509	16,242
(A) - (B)		将来負担比率の分子	12,599	11,918	11,463	9,808	9,125

分析欄

将来負担額については、学校施設の改修等をはじめとした社会基盤整備等や学校給食センター建設に合併特例債を活用し積極的に実施したことや今後統合小学校建設等にも合併特例債を活用する予定であることから、今後も地方債残高が増加していく見込みである。

また、充当可能基金については年々増加しているが、今後の財政状況を考慮し持続可能な財政運営を行っていくため、財政調整基金の積み立てに努めていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)									
市町村名		大網白里市		地方交付税種地	2-4		財政健全化等	×	歳入総額	14,725,962	14,793,983	実質収支比率	5.0	4.5									
							財源超過	×	歳出総額	14,066,483	14,077,777	経常収支比率	94.3	91.7									
							首都	×	歳入歳出差引	659,479	716,206	(※1)	(103.5)	(101.4)									
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	192,102	292,314	標準財政規模	9,383,318	9,506,564									
									実質収支	467,377	423,892	財政力指数	0.62	0.62									
人口		22年国調(人)		50,113		産業構造 (※5)		中部	×	単年度収支	43,485	-171,615	公債費負担比率	9.9	10.6								
								過疎	×	積立金	8,613	4,845	健全化判断比率										
								山振	×	繰上償還金	-	61,472	実質赤字比率	-	-								
住民基本台帳人口		27.01.01(人)		50,714		区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	355,972	333,924	連結実質赤字比率	-	-							
						第1次	1,047	1,431	指数表選定	○	実質単年度収支	-303,874	-439,222	実質公債費比率	9.2	10.2							
													将来負担比率	69.8	56.6								
						26.01.01(人)	50,869		第2次	4,825	5,213			基準財政収入額	4,549,783	4,447,306	資金不足比率 (※4)						
										増減率 (%)	-0.3	22.5	22.5			基準財政需要額				7,280,250	7,332,153		
うち日本人(%)		-0.3		第3次	15,620	15,754			標準税収入額等	5,823,251	5,709,188												
					面積 (km ²)	58.08		72.7	68.1			経常経費充当一般財源等	8,846,416	8,790,760									
人口密度 (人/km ²)		863						歳入一般財源等	10,687,523	10,717,549													
世帯数 (世帯)		18,135																					
職員の状況																							
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		13,665,788	13,152,464											
	市区町村長	1	8,200		一般職員	326	1,018,750	3,125	うち公的資金		9,865,718	9,285,012											
	副市区町村長	1	6,720		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)		3,090,303	1,765,929											
	教育長	1	6,020		うち技能労務職員	27	80,406	2,978	収益事業収入		-	-											
	議会議長	1	3,410		教育公務員	24	64,680	2,695	土地開発基金現在高		366,318	365,705											
	議会副議長	1	3,060		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	財政調整基金	1,862,510	2,008,869											
	議会議員	18	2,930		合計	350	1,083,430	3,096		減債基金	435,187	579,966											
					ラスパイレス指数				100.4	その他特定目的基金		2,023,728					2,324,454						
一般会計等の一覧 項番 会計名				事業会計の一覧 項番 会計名				公営企業(法適)の一覧 項番 会計名				公営企業(法非適)の一覧 項番 会計名				関係する一部事務組合等一覧 項番 組合等名				地方公社・第三セクター等一覧 項番 団体名 (※3)			
(1) 一般会計				(4) 国民健康保険特別会計				(8) ガス事業会計				(10) 公共下水道事業特別会計				(12) 山武郡市広域行政組合							
(2) 土地取得事業特別会計				(5) 後期高齢者医療特別会計				(9) 病院事業会計				(11) 農業集落排水事業特別会計				(13) 東金市外三市町清掃組合							
(3) 土地区画整理事業特別会計				(6) 介護保険特別会計												(14) 九十九里地域水道企業団							
				(7) 介護サービス事業特別会計												(15) 山武郡市広域水道企業団							
																(16) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)							
																(17) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)							
																(18) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)							
																(19) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)							
																(20) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)							
																(21) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)							

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	4,952,081	33.6	4,952,081	57.9	普通税	4,952,081	100.0		-
地方譲与税	173,546	1.2	173,546	2.0	法定普通税	4,952,081	100.0		-
利子割交付金	10,131	0.1	10,131	0.1	市町村民税	2,648,080	53.5		-
配当割交付金	42,471	0.3	42,471	0.5	個人均等割	80,709	1.6		-
株式等譲渡所得割交付金	28,376	0.2	28,376	0.3	所得割	2,398,276	48.4		-
地方消費税交付金	433,861	2.9	433,861	5.1	法人均等割	68,988	1.4		-
ゴルフ場利用税交付金	42,951	0.3	42,951	0.5	法人税割	100,107	2.0		-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,920,474	38.8		-
自動車取得税交付金	34,358	0.2	34,358	0.4	うち純固定資産税	1,919,873	38.8		-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	85,774	1.7		-
地方特例交付金	34,187	0.2	34,187	0.4	市町村たばこ税	294,363	5.9		-
地方交付税	2,910,397	19.8	2,730,467	31.9	鉱産税	3,390	0.1		-
普通交付税	2,730,467	18.5	2,730,467	31.9	特別土地保有税	-	-		-
特別交付税	172,103	1.2	-	-	法定外普通税	-	-		-
震災復興特別交付税	7,827	0.1	-	-	目的税	-	-		-
（一般財源計）	8,662,359	58.8	8,482,429	99.2	法定目的税	-	-		-
交通安全対策特別交付金	3,998	0.0	3,998	0.0	入湯税	-	-		-
分担金・負担金	108,878	0.7	800	0.0	事業所税	-	-		-
使用料	225,302	1.5	43,981	0.5	都市計画税	-	-		-
手数料	100,450	0.7	-	-	水利地益税等	-	-		-
国庫支出金	1,765,192	12.0	-	-	法定外目的税	-	-		-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-		-
都道府県支出金	899,220	6.1	-	-	合計	4,952,081	100.0		-
財産収入	56,035	0.4	18,312	0.2					
寄附金	15,492	0.1	-	-	区分	平成26年度	平成25年度		
繰入金	842,484	5.7	-	-	徴収率	現・計	合計	96.7	85.8
繰越金	515,206	3.5	-	-	(%)	年	市町村民税	96.8	87.2
諸収入	109,546	0.7	459	0.0			純固定資産税	96.1	82.0
地方債	1,421,800	9.7	-	-				96.0	80.0
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	公営事業等への繰出				
うち臨時財政対策債	829,600	5.6	-	-	国民健康保険事業会計の状況				
歳入合計	14,725,962	100.0	8,549,979	100.0	合計	2,507,208	実質収支	77,918	
					下水道	644,621	再差引収支	24,051	
					病院	330,000	加入世帯数（世帯）	9,184	
					上水道	92,028	被保険者数（人）	16,008	
					ガス	1,898	被保険者 1人当り	保険税（料）収入額	101
					国民健康保険	396,949		国庫支出金	85
					その他	1,041,712		保険給付費	248

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	176,313	1.3	-	176,313	
総務費	1,495,818	10.6	150,811	1,176,193	
民生費	4,955,688	35.2	97,311	2,472,382	
衛生費	1,614,200	11.5	34,762	1,480,296	
労働費	-	-	-	-	
農林水産業費	501,140	3.6	170,887	381,845	
商工費	146,662	1.0	8,576	137,507	
土木費	1,539,133	10.9	542,753	1,211,168	
消防費	900,066	6.4	217,775	697,371	
教育費	1,671,729	11.9	449,476	1,243,275	
災害復旧費	2,305	0.0	-	2,305	
公債費	1,061,531	7.5	-	1,061,531	
諸支出費	1,898	0.0	-	1,898	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	14,066,483	100.0	1,672,351	10,042,084	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	6,562,084	46.7	4,407,253	4,380,141	46.7
人件費	2,670,697	19.0	2,485,140	2,477,996	26.4
うち職員給	1,871,361	13.3	1,705,448	-	-
扶助費	2,829,856	20.1	860,582	840,614	9.0
公債費	1,061,531	7.5	1,061,531	1,061,531	11.3
元利償還金	1,061,531	7.5	1,061,531	1,061,531	11.3
うち元金	908,476	6.5	908,476	908,476	9.7
うち利子	153,055	1.1	153,055	153,055	1.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	5,829,743	41.4	5,135,256	4,466,275	47.6
物件費	1,629,768	11.6	1,313,923	983,384	10.5
維持補修費	23,554	0.2	21,289	18,358	0.2
補助費等	1,930,623	13.7	1,842,317	1,712,872	18.3
うち一部事務組合負担金	1,224,412	8.7	1,214,779	1,098,643	11.7
繰出金	2,083,282	14.8	1,826,716	1,662,459	17.7
積立金	31,505	0.2	-	-	-
投資・出資金・貸付金	131,011	0.9	131,011	89,202	1.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	1,674,656	11.9	499,575	-	-
うち人件費	74,241	0.5	74,241	-	-
普通建設事業費	1,672,351	11.9	497,270	-	-
うち補助	448,454	3.2	38,910	-	-
うち単独	1,175,659	8.4	422,722	-	-
災害復旧事業費	2,305	0.0	2,305	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	14,066,483	100.0	10,042,084	-	-

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	14,615	14,012	603	420	842	13,264	
2	土地取得事業特別会計	1	1	1	1	-	-	
3	土地区画整理事業特別会計	259	204	55	46	-	402	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）	14,726	14,066	659	467		13,666	-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	6,125	6,047	78	78	430	-	-	-	
2	後期高齢者医療特別会計	411	408	3	3	86	-	-	-	
3	介護保険特別会計	3,579	3,431	148	148	516	-	-	-	
4	介護サービス事業特別会計	21	20	1	1	7	-	-	-	
5	ガス事業会計	724	674	50	367	2	138	-	-	法適用企業
6	病院事業会計	2,209	2,310	▲ 101	290	330	1,141	330	-	法適用企業
7	公共下水道事業特別会計	1,349	1,327	22	22	551	6,764	551	-	法非適用企業
8	農業集落排水事業特別会計	139	135	4	4	94	1,112	94	-	法非適用企業
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				912		9,155	975		-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	山武郡市広域行政組合	4,614	4,424	190	190	-	1,344	1,344	
2	東金市外三市町清掃組合	1,780	1,583	197	197	-	192	57	
3	九十九里地域水道企業団	7,044	6,436	608	5,164	-	9,462	5	
4	山武郡市広域水道企業団	4,898	4,798	100	5,512	-	1,327	-	
5	千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
6	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	170	118	52	52	-	-	-	
7	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研修センター特別会計）	109	101	8	8	2	-	-	
8	千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通災害共済特別会計）	129	96	33	33	-	-	-	
9	千葉県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
10	千葉県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療特別会計）	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				27,433		12,325	1,406	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					分母比
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
元利償還金	1,043,303	1,070,865	1,061,531	12.8	
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	
準元利償還金					
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	650,874	714,141	628,420	7.6	
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	235,451	80,595	91,757	1.1	
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	-	-	-	-	
一時借入金の利子	-	-	-	-	
合計	(A) 1,929,628	1,865,601	1,781,708		
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	
PFI事業に係るもの	-	-	-	-	
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	
利子補給に係るもの	-	-	-	-	
特定財源の額	(B) -	-	-		
標準財政規模	(C) 9,159,420	9,506,564	9,383,318		
算入公債費等の額	(D) 1,118,602	1,059,219	1,114,627		
	(C)－(D) 8,040,818	8,447,345	8,268,691		
実質公債費比率	(単年度)	10.1	9.5	8.1	
((A)－(B)＋(D))／((C)－(D))×100	(3ヵ年平均)	11.1	10.2	9.2	

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）											
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	12,353,086	13,152,464	13,665,788	165.3	PFI事業に係るもの		-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	-	876,145	10.6	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額	8,370,779	8,293,643	7,136,687	86.3	国営土地改良事業に係るもの		-	-	876,145	10.6
	組合等負担等見込額	478,808	516,668	1,405,942	17.0	森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-
	退職手当負担見込額	2,227,514	2,171,548	2,151,508	26.0	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買戻しに係るもの		-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-
合計	(E)	23,430,187	24,134,323	25,236,070		引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-
充当可能財源等	充当可能基金	5,658,804	5,461,909	4,904,229	59.3	その他上記に準ずるもの		-	-	-	-
	充当可能特定歳入	-	-	-	-	企業債等繰入見込額	公共下水道事業特別会計	6,245,054	6,308,466	6,033,468	73.0
	基準財政需要額算入見込額	13,311,811	13,887,705	14,557,567	176.1		農業集落排水事業特別会計	1,230,216	1,165,526	1,103,219	13.3
	合計	(F)	18,970,615	19,349,614	19,461,796		ガス事業会計	-	-	-	-
					病院事業会計		895,509	819,651	-	-	-
将来負担比率((E)-(F))/(C)-(D)×100		55.4	56.6	69.8		その他の会計		-	-	-	-
						公社・三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
							土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-
							その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-
健全化判断比率		平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準							
実質赤字比率		-	13.44	20.00							
連結実質赤字比率		-	18.44	30.00							
実質公債費比率		9.2	25.0	35.0							
将来負担比率		69.8	350.0								

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度千葉県大網白里市

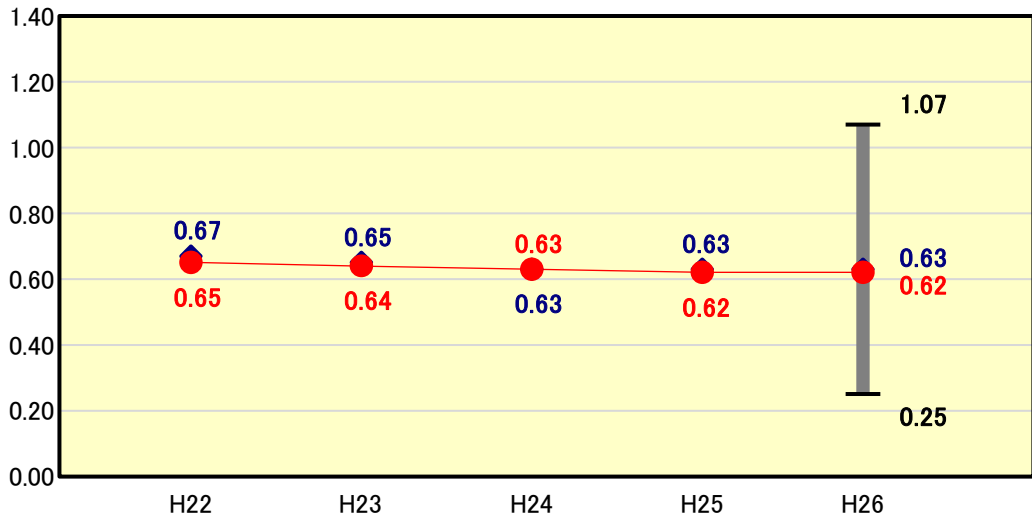
人口	50,714	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	50,161	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	58.08	km ²	実質公債費比率	9.2	%
歳入総額	14,725,962	千円	将来負担比率	69.8	%
歳出総額	14,066,483	千円			
実質収支	467,377	千円	市町村類型	H22Ⅴ-2H23Ⅴ-2H24Ⅱ-1	
標準財政規模	9,383,318	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
地方債現在高	13,665,788	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.62]



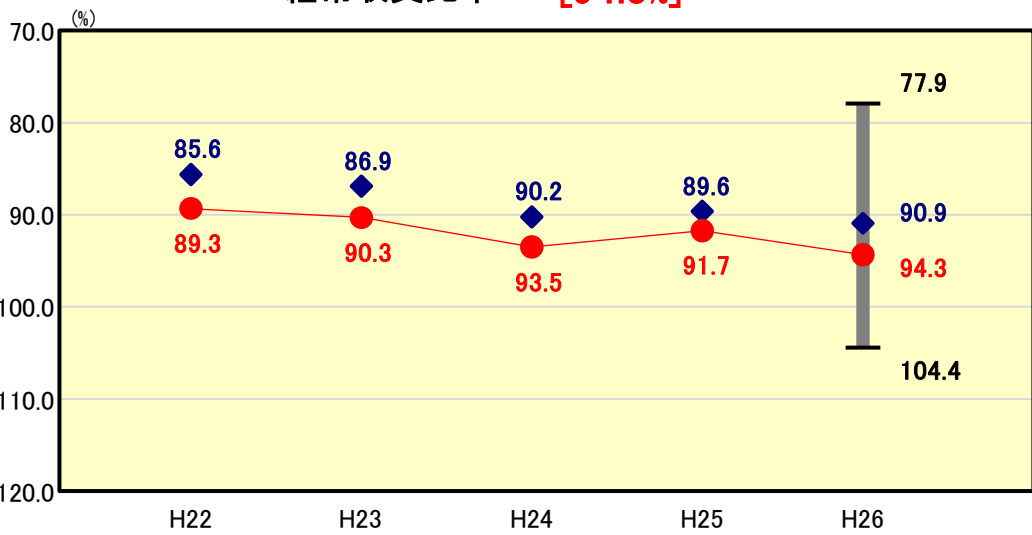
類似団体内順位 104/198 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

市内に大型事業所等が少ないため、固定資産税や法人市民税収入額の割合が低いこと、納税義務者の減少や個人所得の伸び悩みによる個人市民税の減収等の影響から、財政力指数は下降傾向にある。今後も市税の徴収率の向上、受益者負担の適正化等により、財源の確保に努めるとともに、行財政改革の推進、費用対効果を重視した事業選択により歳出の抑制及び効率化に取り組み、財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [94.3%]



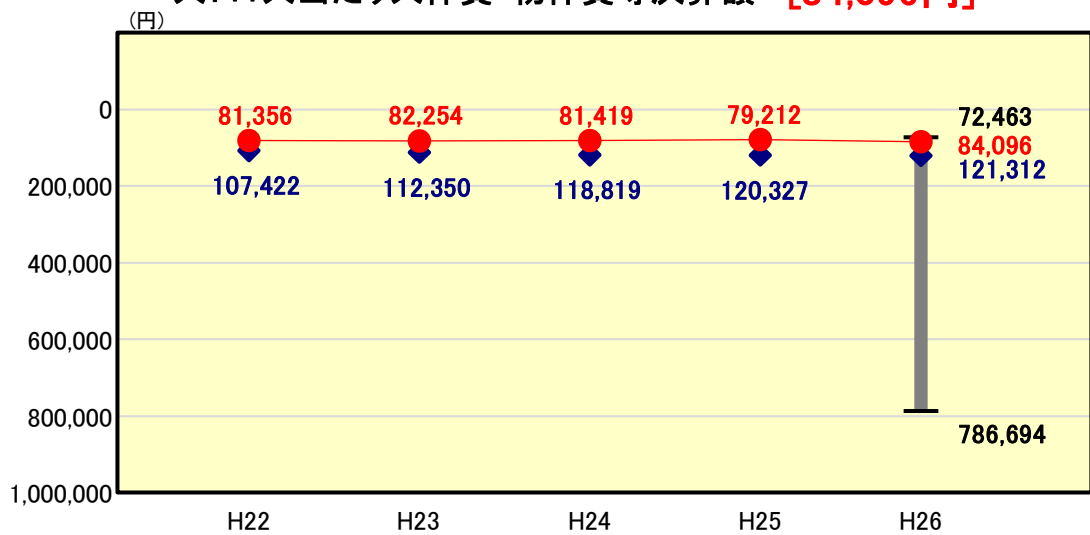
類似団体内順位 153/198 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

生活保護費や児童扶養手当、障害者自立支援事業などの扶助費が増加傾向にあることから、引き続き行財政改革の推進を通じて経常経費の削減に努めるとともに、未利用地の利活用やふるさと応援寄附金の推進などの歳入確保策、維持管理経費や公共施設の管理経費の見直しによる物件費の抑制などにより、経常収支比率の改善に努める。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [84,096円]



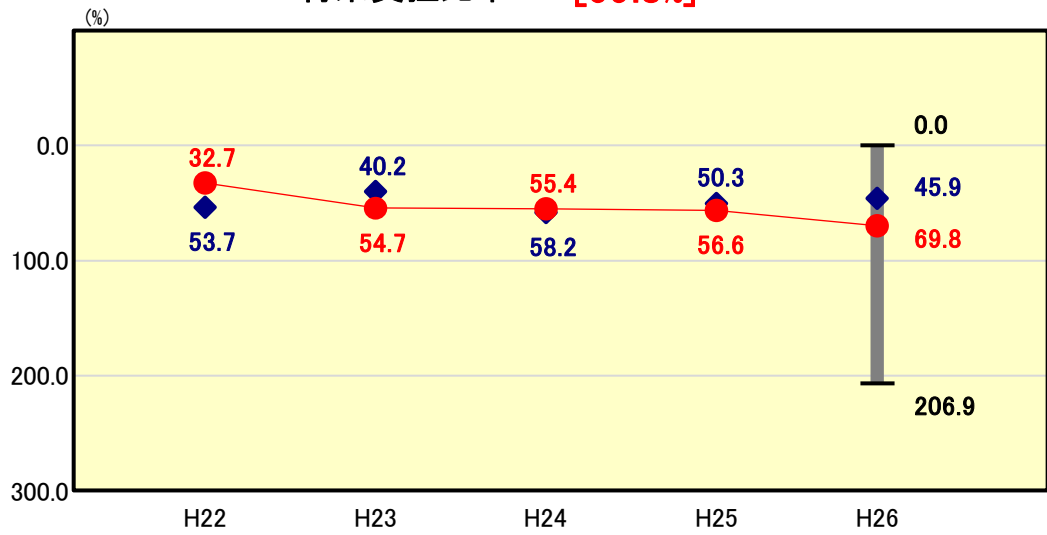
類似団体内順位 9/198 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

類似団体内で平均値を下回っている要因は、ごみ処理業務、消防業務、電算業務等を一部事務組合において共同処理を行っていることなどがあげられる。
今後、システム関係委託料・点検等の維持管理経費や公共施設の管理経費の見直し等による物件費の抑制に努める。

将来負担の状況

将来負担比率 [69.8%]



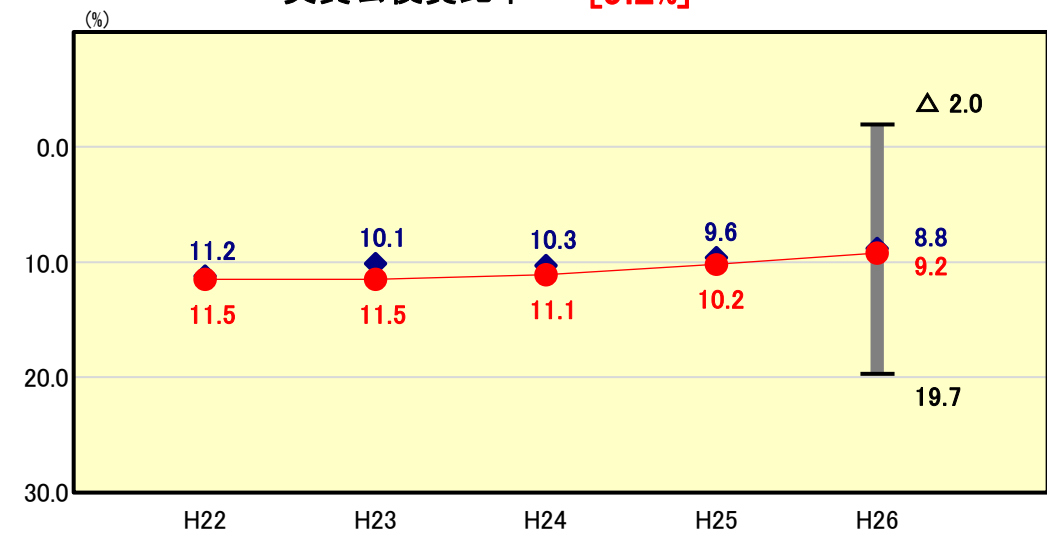
類似団体内順位 141/198 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

義務教育施設の耐震改修事業等の財源として発行した多額の市債により、地方債残高が増加傾向にあるため、引き続き財政状況を考慮し、計画的な市債の発行により将来負担の抑制に努める。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [9.2%]



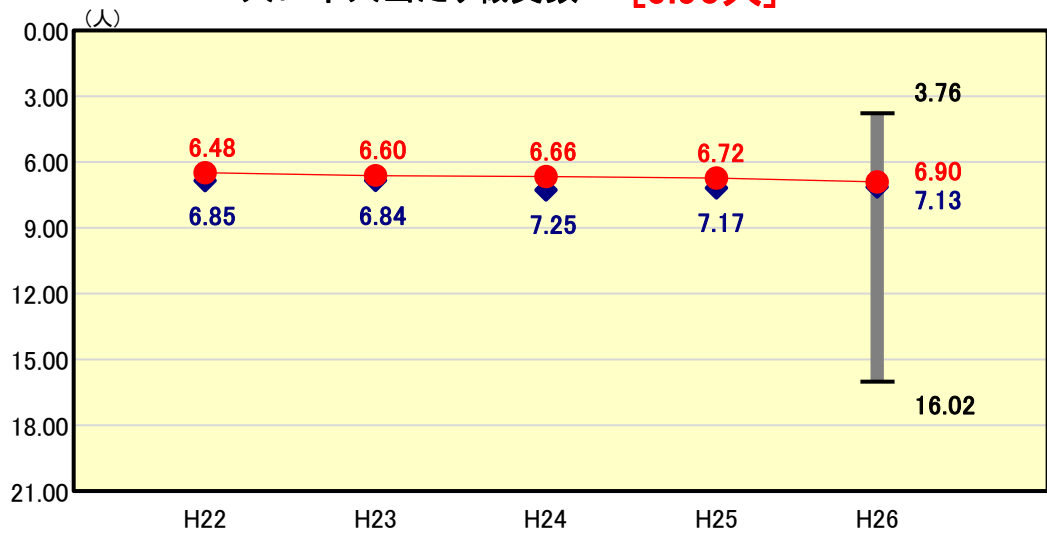
類似団体内順位 107/198 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

類似団体平均値を上回っている原因としては、小中学校の耐震化事業や下水道事業の改築更新等の大型事業債の発行によるものと見込まれる。実質公債費比率が減少傾向にあるのは、過去に発行した市債が利率見直し時期を迎え、見直しの結果、大幅に利率が下がったことなどが要因として考えられる。しかし、小中学校の耐震改修事業に係る元金償還の開始とともに、今後、実質公債費比率も増加に転じると見込まれる。引き続き、事業の選択を慎重に行い、公債費抑制に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.90人]



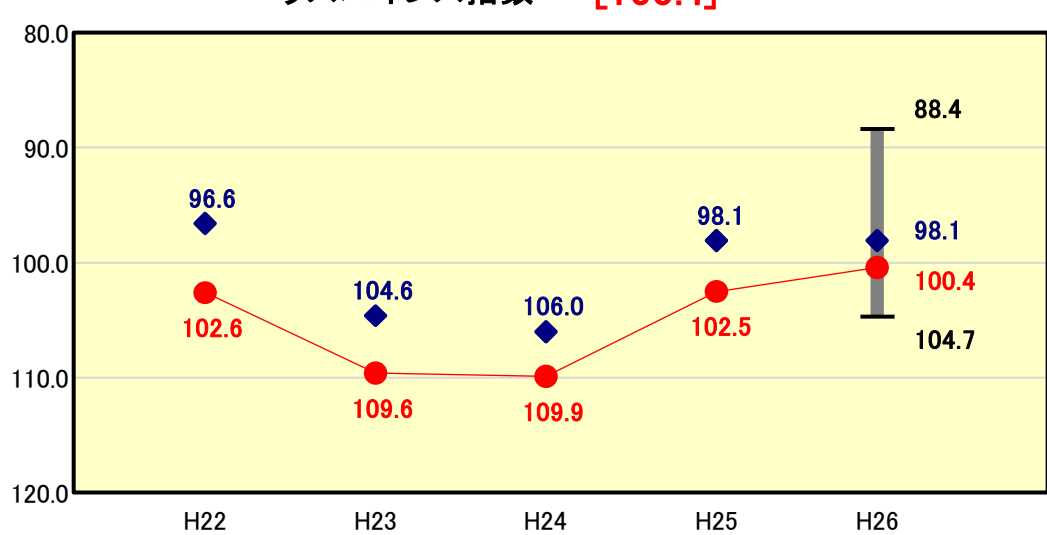
類似団体内順位 103/198 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

これまで職員数の抑制に努めていることもあり、類似団体内平均値を下回る状況を維持している。
今後も行政サービスを維持するとともに、定員管理の適正化に努める。

給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数 [100.4]



類似団体内順位 162/198 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

本市の指数が高いのは、人材確保の観点から初任給を国より4号給高く設定していることが要因。給与の適正化及び人件費抑制策として昇給基準を改正しているが、今後さらに給与制度の見直しに取り組み、引き続き給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

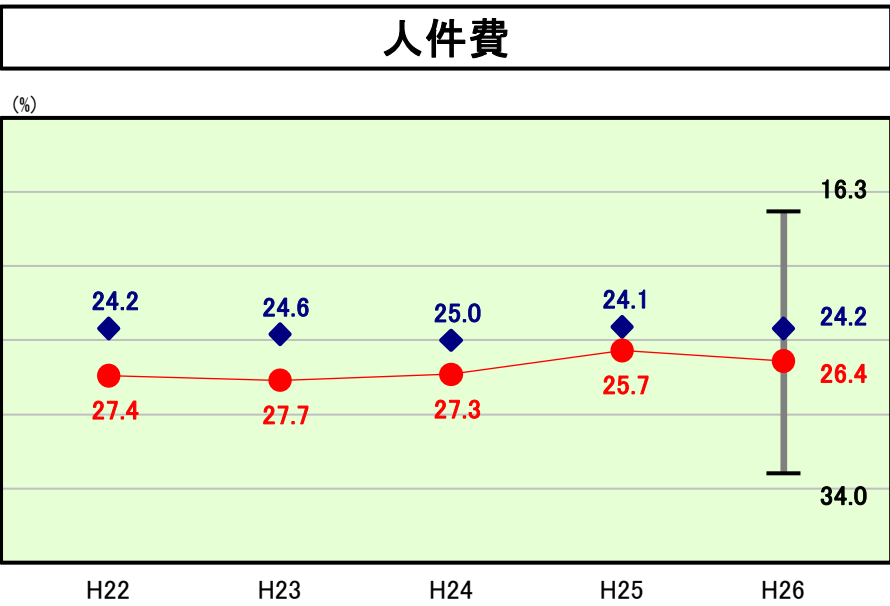
平成26年度

千葉県大網白里市

経常収支比率の分析

人口	50,714	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	50,161	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	58.08	km ²	実質公債費比率	9.2	%
歳入総額	14,725,962	千円	将来負担比率	69.8	%
歳出総額	14,066,483	千円	市町村類型	H22 V-2 H23 V-2 H24 II-1	
実質収支	467,377	千円	(年度毎)	H25 II-1 H26 II-1	
標準財政規模	9,383,318	千円			

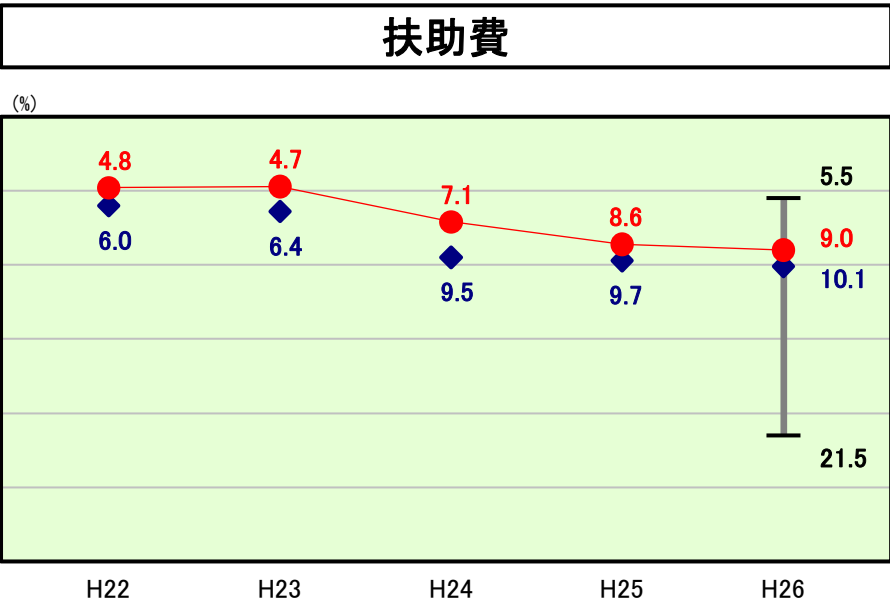
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 144/198 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

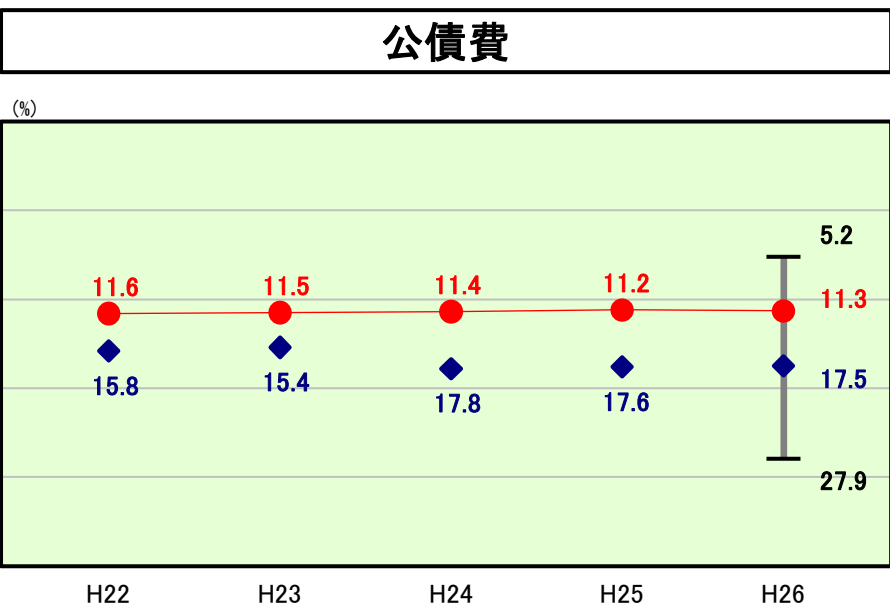
人件費に係る経常収支比率は、依然として類似団体平均値を上回っていることから、より適切な定員管理に努める。



類似団体内順位 52/198 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

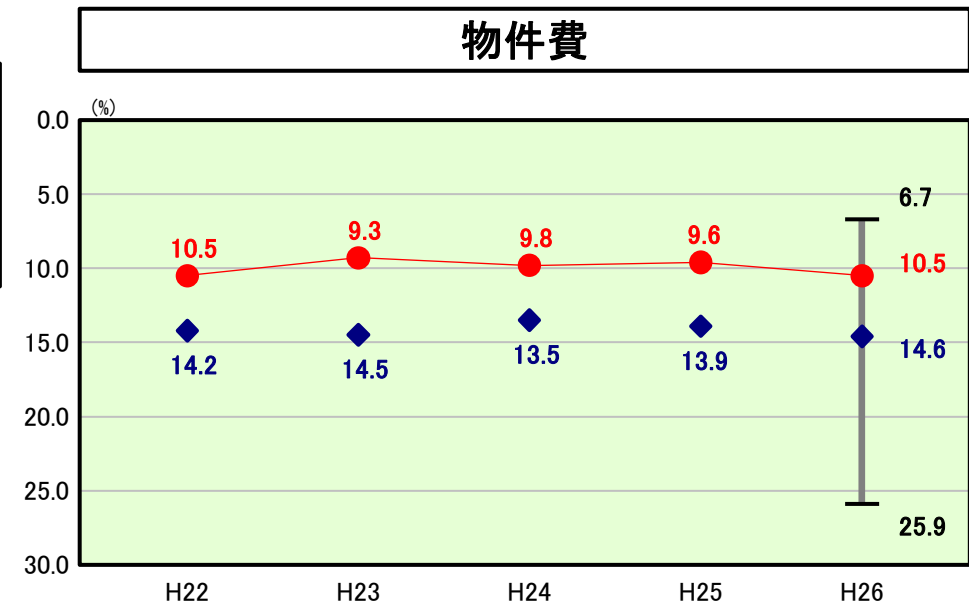
平成24年度の市制施行に伴う生活保護費や児童福祉費などの増加が主な要因となり、依然として増加の傾向にある。今後、財政の健全性を確保するため、資格審査や給付の適正化等に努める。



類似団体内順位 19/198 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

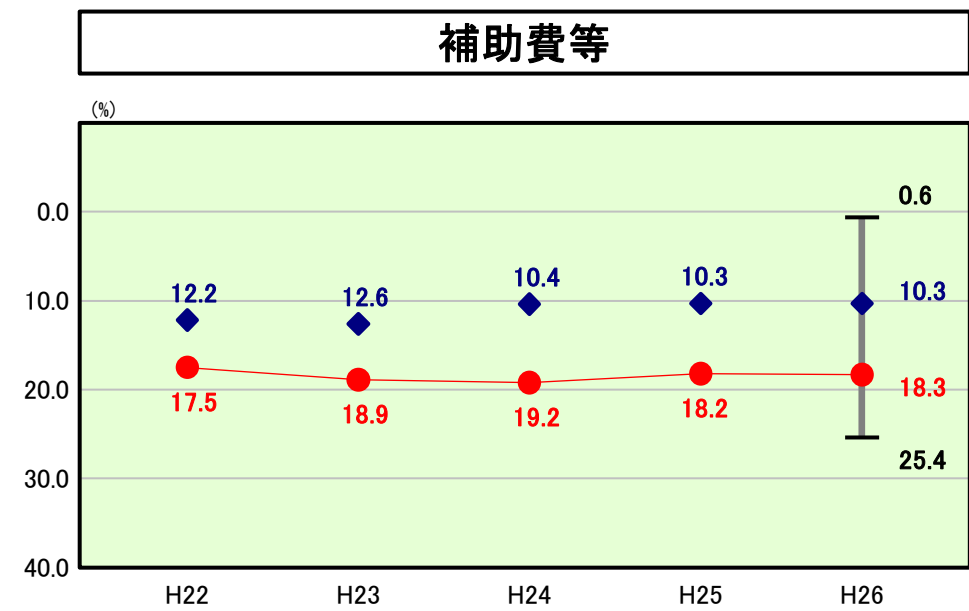
ほぼ横ばい状態が続いているが、小中学校の耐震改修事業、スマートインターチェンジ関連事業などの大規模な建設事業に係る元金償還の開始とともに、公債費は増加することが見込まれる。引き続き財政状況を考慮し、計画的な地方債の発行に努める。



類似団体内順位 18/198 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

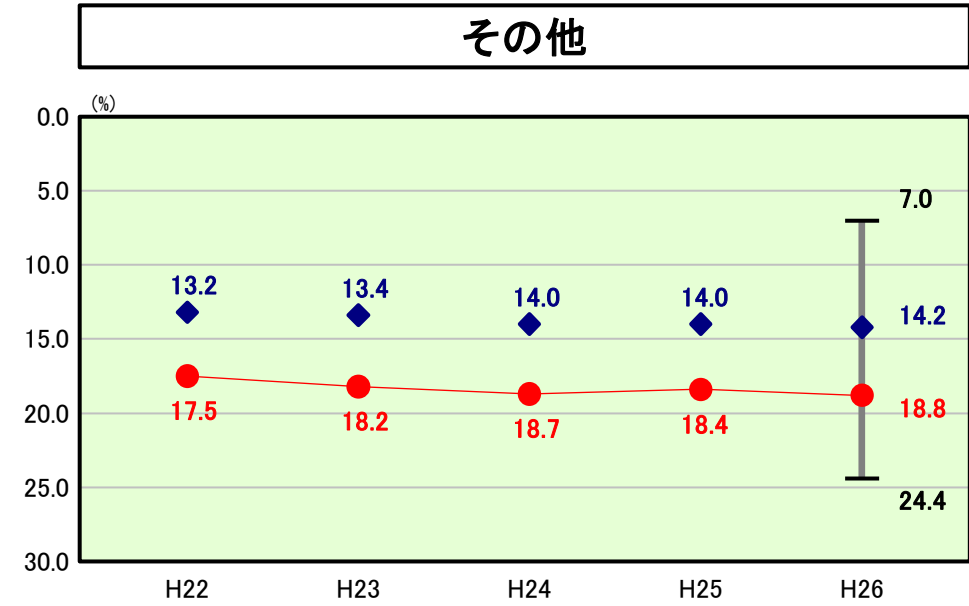
ごみ処理や消防業務等を一部事務組合で共同処理していることから、一部事務組合への負担金のうち物件費相当額について、補助費等に分類されていることが、類似団体内平均値を下回っている一番の要因であると考えられる。今後も、行財政改革の取り組み強化により、物件費の抑制に努める。



類似団体内順位 191/198 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

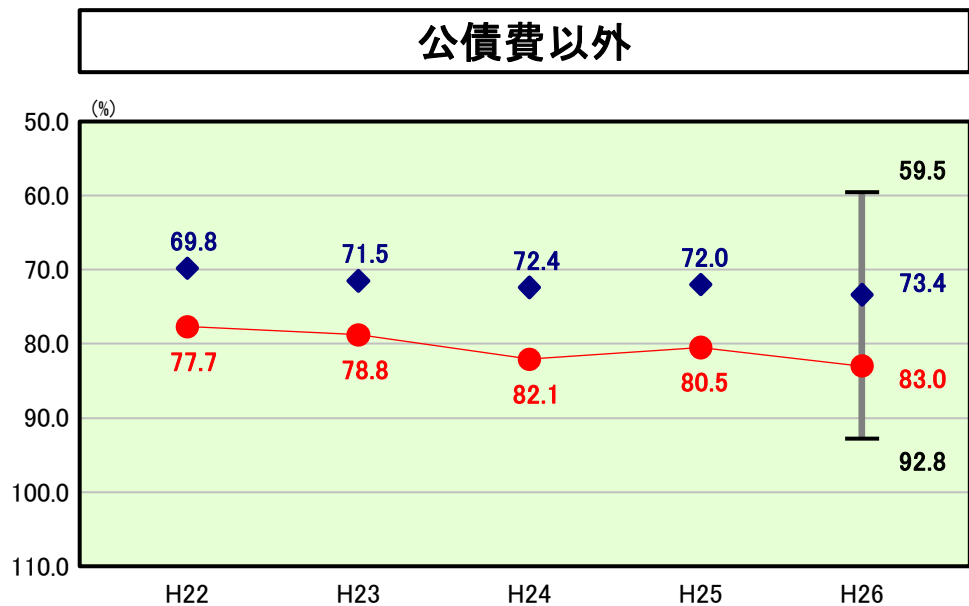
類似団体平均を上回る要因として、ごみ処理、消防事業等を一部事務組合で共同処理していることから、一部事務組合の負担金相当分が影響している。一部事務組合に対しても、職員数、給与の適正化や物件費の抑制を求めるとともに、団体補助金等の適正化を推進し、継続的な見直しを行っていく。



類似団体内順位 181/198 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

類似団体平均を上回る要因として、公営企業(公共下水道事業、農業集落排水事業及び病院事業)への繰出金と考えられる。この繰出金については、繰出基準の範囲内に抑えるとともに、経費の節減・収入増加を図り、普通会計の負担軽減が図られるよう努める。



類似団体内順位 183/198 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

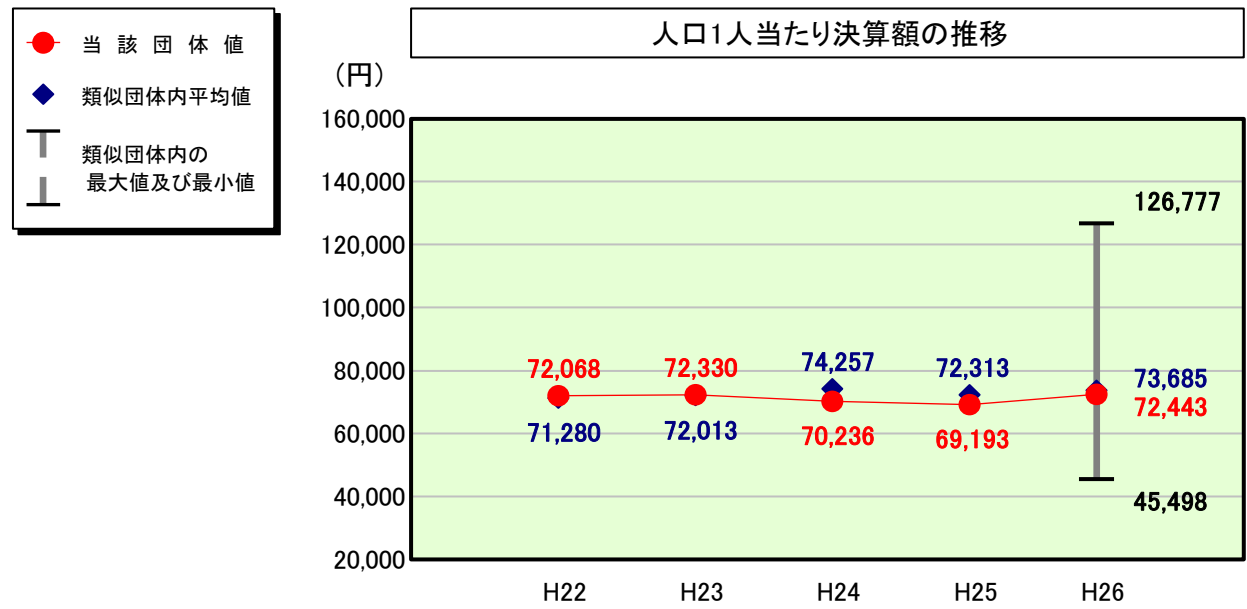
扶助費の増加や公営企業への繰出金、県内平均いずれも上回っている。扶助費の増加や公営企業への繰出金、一部事務組合への負担金、人件費等の経常経費の削減に努めるとともに、徴収体制等の強化などによる経常一般財源の増加に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県大網白里市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



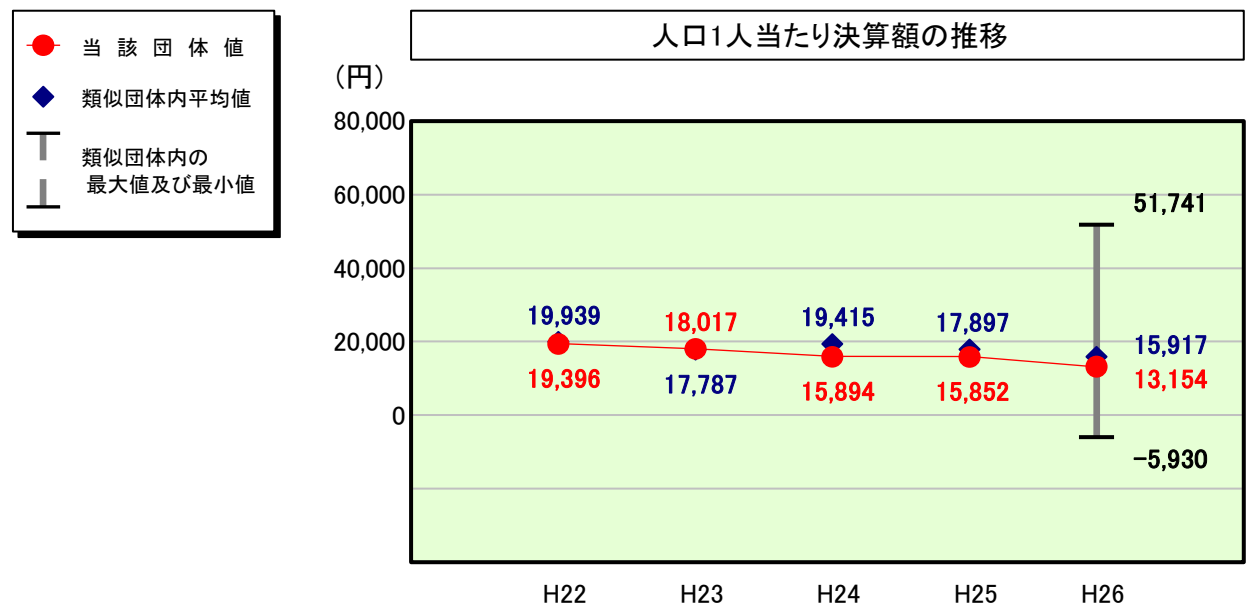
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,670,697	52,662	65,114	▲ 19.1
賃金 (物件費)	210,462	4,150	4,538	▲ 8.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	604,577	11,921	5,513	116.2
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	84,328	1,663	953	74.5
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	162,996	3,214	2,887	11.3
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	74,241	1,464	1,642	▲ 10.8
▲退職金	▲ 133,427	▲ 2,631	▲ 6,965	▲ 62.2
合計	3,673,874	72,443	73,685	▲ 1.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	6.90	7.13	▲ 0.23
ラスパイレス指数	100.4	98.1	2.3

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

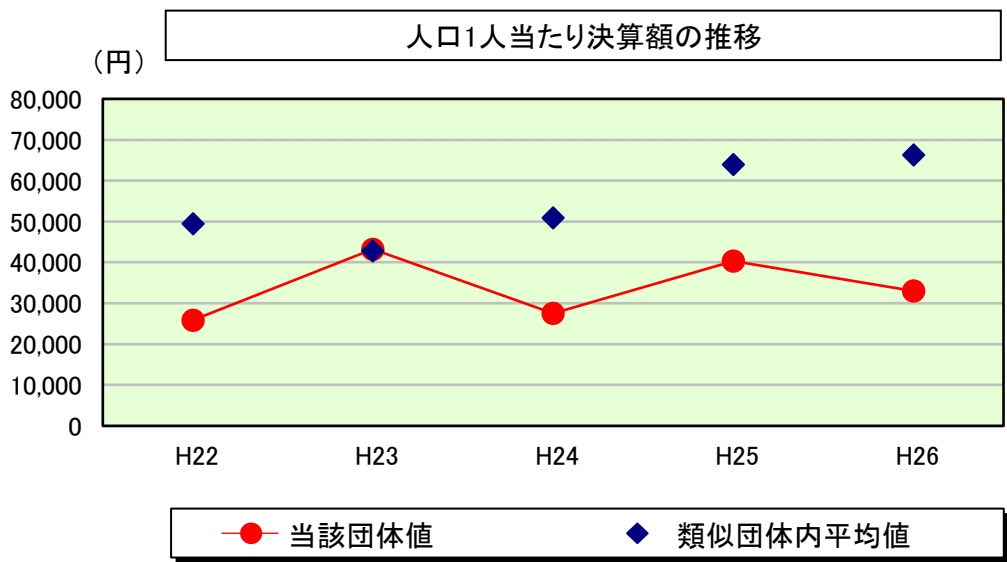


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,061,531	20,932	43,359	▲ 51.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	628,420	12,391	11,806	5.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	91,757	1,809	1,910	▲ 5.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,129	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	-	-	▲ 5,126	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,114,627	▲ 21,979	▲ 37,205	▲ 40.9
合計	667,081	13,154	15,917	▲ 17.4

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

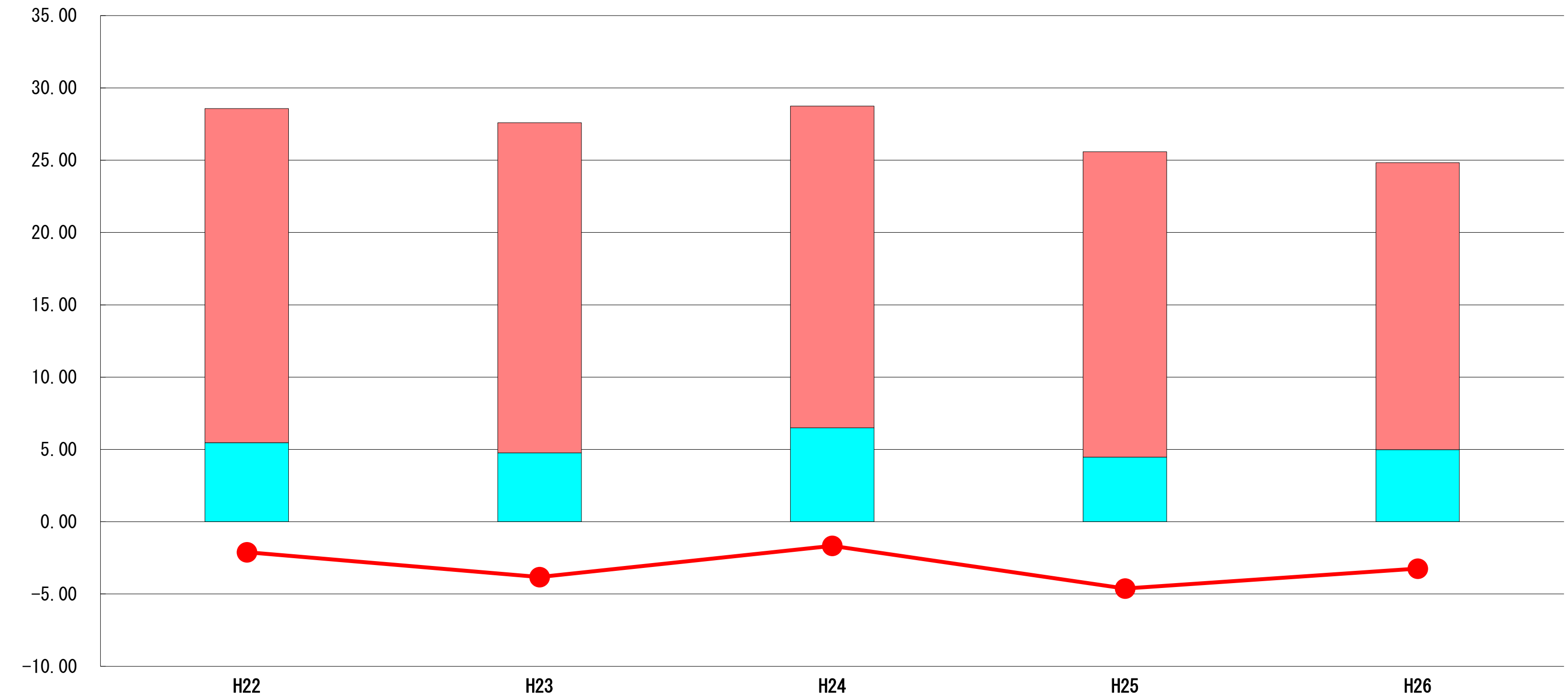
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	1,312,769	25,869	4.6	49,426	4.6	0.0
うち単独分	909,571	17,924	15.5	26,568	▲ 4.6	20.1
H23	2,192,995	43,232	67.1	42,839	▲ 13.3	80.4
うち単独分	839,349	16,547	▲ 7.7	22,027	▲ 17.1	9.4
H24	1,405,148	27,537	▲ 36.3	50,880	18.8	▲ 55.1
うち単独分	860,018	16,854	1.9	26,879	22.0	▲ 20.1
H25	2,052,649	40,352	46.5	63,956	25.7	20.8
うち単独分	1,135,512	22,322	32.4	29,239	8.8	23.6
H26	1,672,351	32,976	▲ 18.3	66,255	3.6	▲ 21.9
うち単独分	1,175,659	23,182	3.9	31,822	8.8	▲ 4.9
過去5年間平均	1,727,182	33,993	12.7	54,671	7.9	4.8
うち単独分	984,022	19,366	9.2	27,307	3.6	5.6

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県大網白里市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H22	H23	H24	H25	H26
区分	財政調整基金残高	23.11	22.83	22.25	21.13	19.85
	実質収支額	5.47	4.76	6.50	4.46	4.98
	実質単年度収支	▲ 2.11	▲ 3.83	▲ 1.67	▲ 4.62	▲ 3.24

分析欄

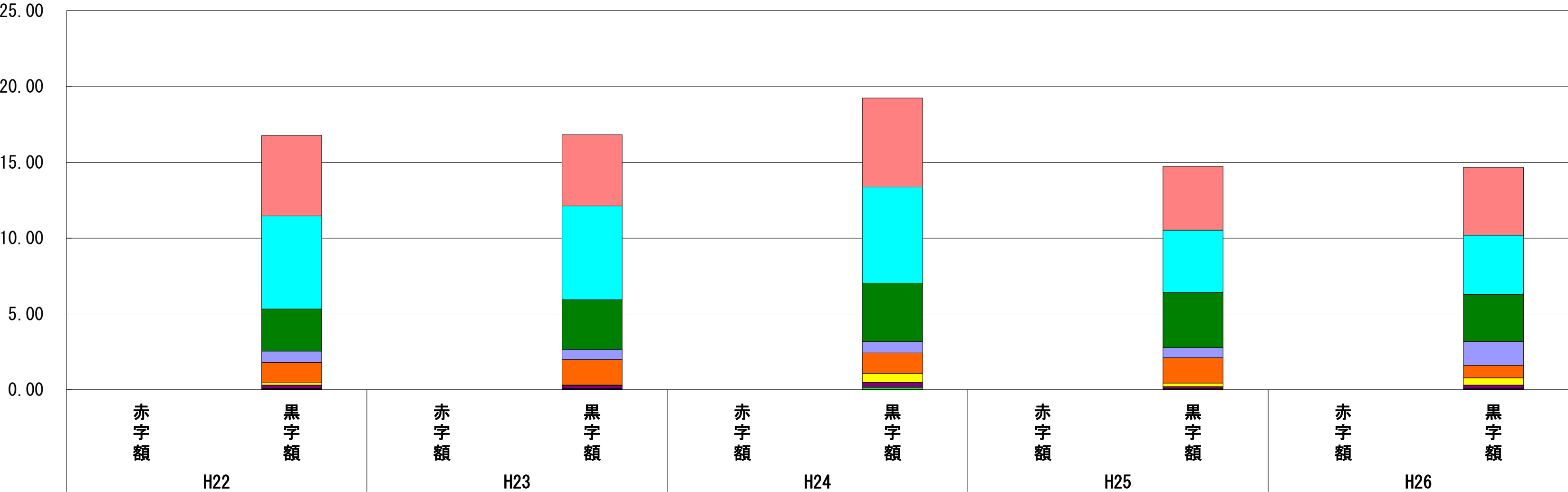
社会保障費、義務教育施設の耐震改修事業等の増加による歳出の増大に対応するため、基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況である。今後も歳出規模の増加が見込まれるところであるが、未利用公有財産の売却や有効活用、ふるさと応援寄附金の推進等の歳入の確保に努めるとともに、今後の財政需要の的確な把握や、収支見直しのローリング等を行い、基金に過度に依存しない適正規模の予算が編成できるよう努める必要がある。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県大網白里市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H22	H23	H24	H25	H26
会計						
	一般会計	5.31	4.71	5.88	4.21	4.48
	ガス事業会計	6.13	6.18	6.33	4.12	3.91
	病院事業会計	2.79	3.28	3.87	3.63	3.09
	介護保険特別会計	0.73	0.67	0.74	0.65	1.58
	国民健康保険特別会計	1.36	1.67	1.34	1.68	0.82
	土地区画整理事業特別会計	0.15	0.03	0.60	0.24	0.49
	公共下水道事業特別会計	0.22	0.20	0.33	0.14	0.23
	農業集落排水事業特別会計	0.05	0.03	0.12	0.03	0.03
	その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
	その他会計（黒字）	0.03	0.05	0.03	0.03	0.04

分析欄

本市の特別会計に赤字額は発生してはいないものの、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等については、給付費等の増加により、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれる。また、国民健康保険税の低所得者軽減や、下水道施設の改築更新などにより、一般会計の負担額が増加しているため、歳出削減や歳入確保策、経営戦略の実施を通じて、各会計のスリム化に努めていく必要がある。

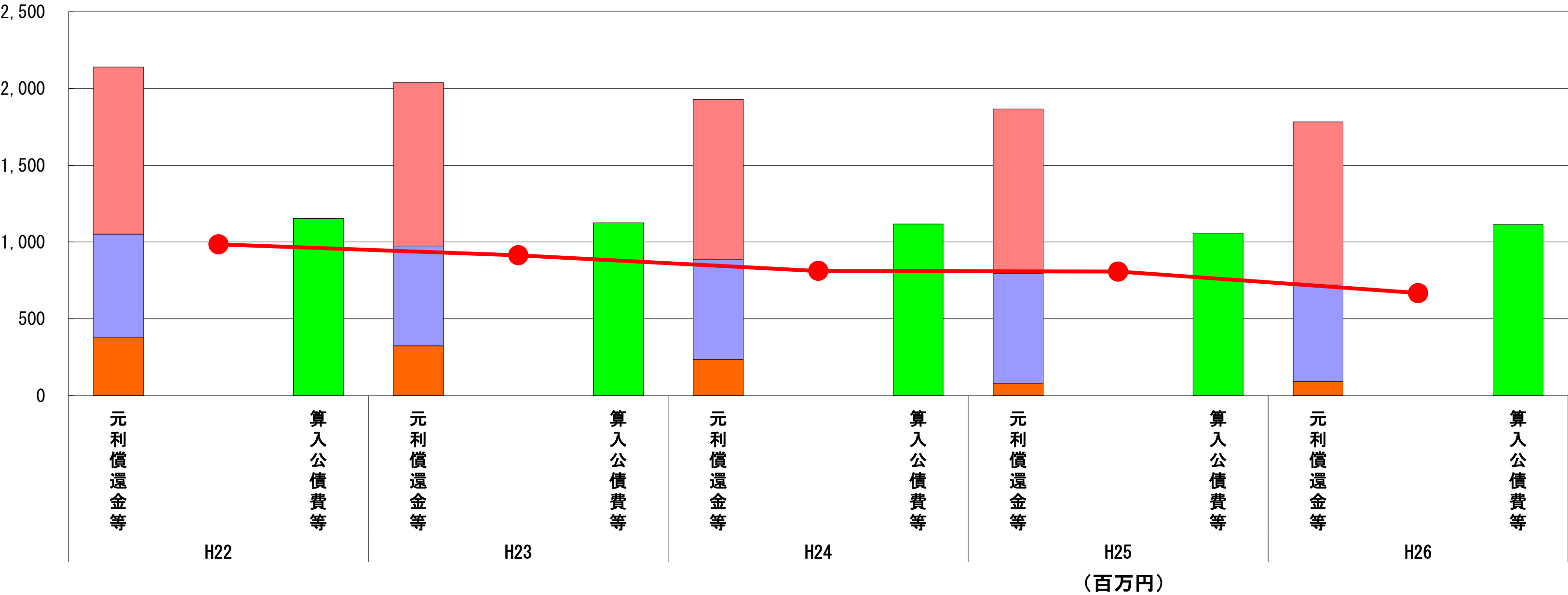
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県大網白里市

（百万円）



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,088	1,066	1,043	1,071	1,062
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		675	650	651	714	628
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		376	324	235	81	92
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,154	1,126	1,117	1,058	1,114
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		985	914	812	808	668

分析欄

実質公債費比率が減少したのは、過去に発行した市債が利率見直し時期を迎え、大幅に利率が下がったことなどが要因として考えられる。

一方、算入公債費が増加した要因は、公債費の基準財政需要額算入分の増、地方消費税交付金の増などが挙げられる。

しかし、小中学校の耐震改修事業、スマートインテリジェント関連事業などの財源として発行した市債の元金償還の開始とともに、実質公債費比率も増加に転じると見込まれる。

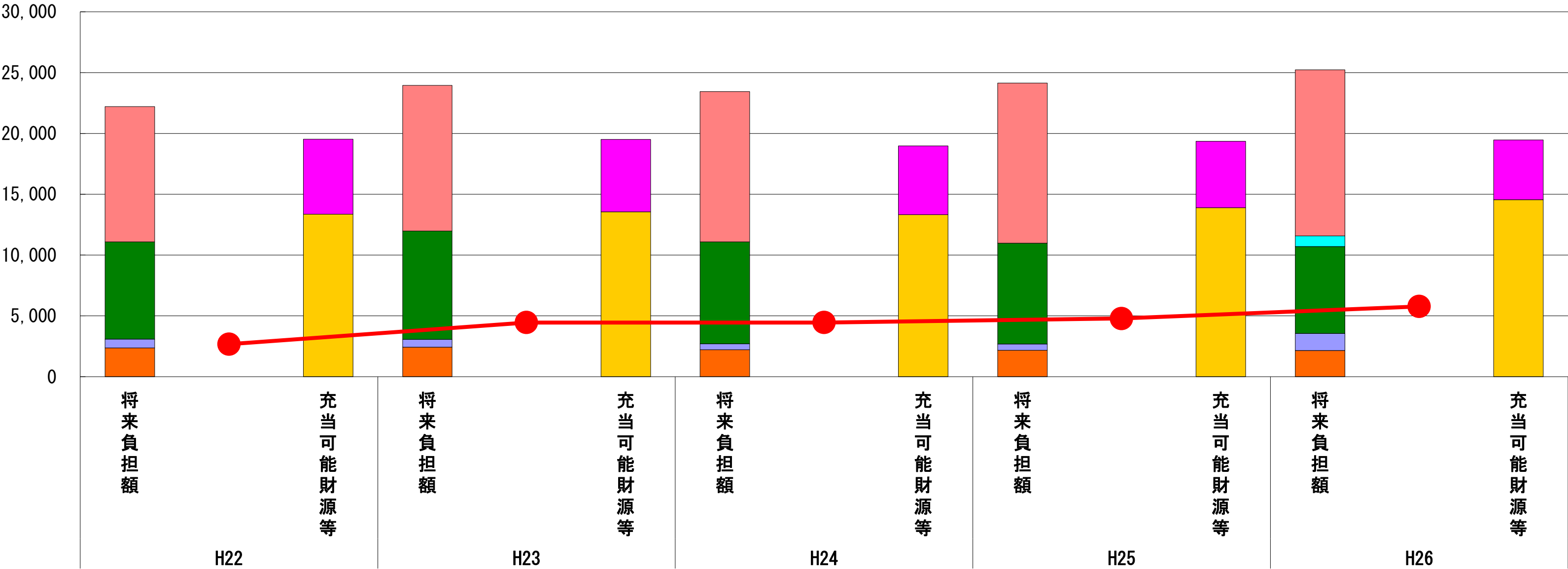
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県大網白里市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		11,124	11,985	12,353	13,152	13,666
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	876
	公営企業債等繰入見込額		8,007	8,905	8,371	8,294	7,137
	組合等負担等見込額		717	644	479	517	1,406
	退職手当負担見込額		2,364	2,426	2,228	2,172	2,152
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		6,171	5,955	5,659	5,462	4,904
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		13,366	13,553	13,312	13,888	14,558
(A) - (B)		将来負担比率の分子	2,675	4,453	4,460	4,785	5,774

分析欄

義務教育施設の耐震化事業、防災行政無線デジタル化整備事業などの財源として発行した市債による地方債現在高の増加に伴い、将来負担比率が増加している。

なお、平成26年度に債務負担行為に基づく支出予定額が大幅に増加しているが、それは、平成27年度に支払う国営両総土地改良事業負担金を当該年度に債務負担行為を設定したことによるものである。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅴ－2		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)	
							財政健全化等		×	歳入総額	6,472,038	6,415,010	実質収支比率		7.6	8.3	
									×	歳出総額	5,920,631	6,008,167	経常収支比率		88.9	92.0	
市町村名		酒々井町		地方交付税種地	2-5		財源超過		×	歳入歳出差引	551,407	406,843	(※1)		(96.2)	(101.5)	
							首都		○	翌年度に繰越すべき財源	233,916	66,124	標準財政規模		4,161,836	4,113,134	
							近畿		×	実質収支	317,491	340,719	財政力指数		0.70	0.68	
									×	単年度収支	-23,228	-96,332	公債費負担比率		8.7	9.7	
人口		22年国調(人)	21,234 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>21,915</td> <td>200,385</td> <th colspan="2">健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>	産業構造 (※5)			中部	×	積立金	21,915	200,385	健全化判断比率					
		17年国調(人)	21,385 <th>過疎</th> <td>×</td> <th>繰上償還金</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2">実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				過疎	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率		-	-		
		増減率 (％)	-0.7 <th>山振</th> <td>×</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>320,751</td> <td>208,722</td> <th colspan="2">連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	積立金取崩し額	320,751	208,722	連結実質赤字比率		-	-		
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	21,348 <th>区分</th> <th>22年国調</th> <th>17年国調</th> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>実質単年度収支</th> <td>-322,064</td> <td>-104,669</td> <th colspan="2">実質公債費比率</th> <td>2.6</td> <td>2.8</td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	実質単年度収支	-322,064	-104,669	実質公債費比率		2.6	2.8		
		うち日本人(人)		21,013 <th rowspan="2">第1次</th> <td>252</td> <td>342</td> <th>指数表選定</th> <td>○</td> <th colspan="2"></th> <td></td> <th colspan="2">将来負担比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	第1次	252	342	指数表選定	○				将来負担比率		-	-	
		26.01.01(人)	21,453 <td></td> <td>2.6</td> <td>3.2<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>		2.6	3.2 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>											
		うち日本人(人)		21,121 <th rowspan="2">第2次</th> <td>1,805</td> <td>1,923<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>	第2次	1,805	1,923 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>										
		増減率 (％)		-0.5 <td></td> <td>18.9</td> <td>17.9<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td>			18.9	17.9 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>									
		うち日本人(%)	-0.5 <th rowspan="2">第3次</th> <td>7,495</td> <td>8,186</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	第3次	7,495	8,186											
面積 (km ²)		19.01 <td></td> <td>78.5</td> <td>76.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				78.5	76.1										
人口密度 (人/km ²)		1,117															
世帯数 (世帯)		8,571															
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	基準財政収入額		2,358,649	2,148,012	資金不足比率 (※4)				
	市区町村長	1	8,000 <th>一般職員</th> <td>154</td> <td>522,368</td> <td>3,392<th colspan="2">基準財政需要額</th><td>3,178,359</td><td>3,105,357</td></td>		一般職員	154	522,368	3,392 <th colspan="2">基準財政需要額</th> <td>3,178,359</td> <td>3,105,357</td>	基準財政需要額		3,178,359	3,105,357					
	副市区町村長	1	6,600 <th>うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">標準税収入額等</th><td>3,027,628</td><td>2,763,404</td></td>		うち消防職員	-	-	- <th colspan="2">標準税収入額等</th> <td>3,027,628</td> <td>2,763,404</td>	標準税収入額等		3,027,628	2,763,404					
	教育長	1	6,300 <th>うち技能労務職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th><td>3,720,655</td><td>3,828,704</td></td>		うち技能労務職員	-	-	- <th colspan="2">経常経費充当一般財源等</th> <td>3,720,655</td> <td>3,828,704</td>	経常経費充当一般財源等		3,720,655	3,828,704					
	議会議長	1	3,500 <th>教育公務員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">歳入一般財源等</th><td>5,124,219</td><td>4,843,541</td></td>		教育公務員	-	-	- <th colspan="2">歳入一般財源等</th> <td>5,124,219</td> <td>4,843,541</td>	歳入一般財源等		5,124,219	4,843,541					
	議会副議長	1	2,850 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">地方債現在高</th><td>4,828,952</td><td>4,779,203</td></td>		臨時職員	-	-	- <th colspan="2">地方債現在高</th> <td>4,828,952</td> <td>4,779,203</td>	地方債現在高		4,828,952	4,779,203					
	議会議員	14	2,650 <th>合計</th> <td>154</td> <td>522,368</td> <td>3,392<th colspan="2">うち公的資金</th><td>3,877,780</td><td>3,819,231</td></td>		合計	154	522,368	3,392 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>3,877,780</td> <td>3,819,231</td>	うち公的資金		3,877,780	3,819,231					
									債務負担行為額(支出予定額)		198,810	226,570					
									収益事業収入		-	-					
									土地開発基金現在高	115,318	115,317						
									積立金現在高	1,075,999	1,134,116						
									減債基金	20,640	20,629						
									その他特定目的基金	512,094	553,399						
一般会計等の一覧																	
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		関係する一部事務組合等一覧		関係する一部事務組合等一覧		関係する一部事務組合等一覧		関係する一部事務組合等一覧	
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	組合等名	項番	組合等名	項番	組合等名	項番	団体名
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	水道事業会計	(6)	下水道事業会計	(7)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(8)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(9)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(10)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(11)	佐倉市、酒々井町清掃組合(一般会計)
		(3)	介護保険特別会計	(6)	下水道事業会計					(12)	印旛衛生施設管理組合(一般会計)	(13)	佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合(一般会計)	(14)	印旛利根川水防事務組合(一般会計)	(15)	佐倉市八街市酒々井町消防組合(一般会計)
		(4)	後期高齢者医療特別会計							(16)	印旛郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,800,052	43.3	2,703,143	69.9	普通税	2,703,143	96.5	-	-
地方譲与税	59,442	0.9	59,442	1.5	法定普通税	2,703,143	96.5	-	-
利子割交付金	5,011	0.1	5,011	0.1	市町村民税	1,312,664	46.9	-	-
配当割交付金	22,140	0.3	22,140	0.6	個人均等割	36,846	1.3	-	-
株式等譲渡所得割交付金	15,575	0.2	15,575	0.4	所得割	1,096,088	39.1	-	-
地方消費税交付金	199,486	3.1	199,486	5.2	法人均等割	63,753	2.3	-	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	115,977	4.1	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,179,478	42.1	-	-
自動車取得税交付金	11,787	0.2	11,787	0.3	うち純固定資産税	1,174,691	42.0	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	32,259	1.2	-	-
地方特例交付金	11,417	0.2	11,417	0.3	市町村たばこ税	178,742	6.4	-	-
地方交付税	970,963	15.0	818,830	21.2	鉱産税	-	-	-	-
普通交付税	818,830	12.7	818,830	21.2	特別土地保有税	-	-	-	-
特別交付税	114,605	1.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	-
震災復興特別交付税	37,528	0.6	-	-	目的税	96,909	3.5	-	-
（一般財源計）	4,095,873	63.3	3,846,831	99.4	法定目的税	96,909	3.5	-	-
交通安全対策特別交付金	3,342	0.1	3,342	0.1	入湯税	-	-	-	-
分担金・負担金	8,857	0.1	-	-	事業所税	-	-	-	-
使用料	78,242	1.2	13,961	0.4	都市計画税	96,909	3.5	-	-
手数料	16,456	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	-
国庫支出金	654,139	10.1	-	-	法定外目的税	-	-	-	-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	-
都道府県支出金	368,805	5.7	-	-	合計	2,800,052	100.0	-	-
財産収入	5,956	0.1	4,260	0.1					
寄附金	-	-	-	-	区分	平成26年度		平成25年度	
繰入金	455,287	7.0	-	-	徴収率	合計	98.3	93.4	98.1
繰越金	166,124	2.6	-	-	現・計	市町村民税	97.9	91.5	97.5
諸収入	170,157	2.6	118	0.0	(%)	純固定資産税	98.6	94.7	98.6
地方債	448,800	6.9	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	315,000	4.9	-	-					
歳入合計	6,472,038	100.0	3,868,512	100.0					

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	580,737	実質収支	176,461
下水道	93,246	再差引収支	162,826
上水道	8,628	加入世帯数(世帯)	3,614
工業用水道	-	被保険者数(人)	6,223
交通	-	被保険者	96
国民健康保険	132,759	1人当り	81
その他	346,104	保険税(料)収入額	271
		国庫支出金	
		保険給付費	

（注釈）
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	119,808	2.0	-	119,808	-
総務費	979,759	16.5	211,546	909,657	-
民生費	1,695,495	28.6	41,173	990,523	-
衛生費	480,025	8.1	979	448,266	-
労働費	7,960	0.1	-	-	-
農林水産業費	118,883	2.0	28,311	103,706	-
商工費	99,452	1.7	13,728	76,915	-
土木費	799,490	13.5	538,816	459,115	-
消防費	434,965	7.3	29,121	410,021	-
教育費	721,395	12.2	26,142	603,499	-
災害復旧費	15,609	0.3	-	5,051	-
公債費	447,790	7.6	-	446,251	-
諸支出費	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	5,920,631	100.0	889,816	4,572,812	-
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2,559,512	43.2	1,942,653	1,941,071	46.4
人件費	1,361,619	23.0	1,255,240	1,253,658	30.0
うち職員給	896,402	15.1	792,825	-	-
扶助費	750,103	12.7	241,162	241,162	5.8
公債費	447,790	7.6	446,251	446,251	10.7
元利償還金	447,790	7.6	446,251	446,251	10.7
うち元金	399,051	6.7	397,634	397,634	9.5
うち利子	48,739	0.8	48,617	48,617	1.2
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	2,455,694	41.5	2,103,695	1,779,584	42.5
物件費	967,854	16.3	735,242	639,776	15.3
維持補修費	36,776	0.6	36,666	36,666	0.9
補助費等	868,429	14.7	833,002	706,920	16.9
うち一部事務組合負担金	564,357	9.5	564,357	525,410	12.6
繰出金	478,863	8.1	400,624	396,222	9.5
積立金	97,565	1.6	96,054	-	-
投資・出資金・貸付金	6,207	0.1	2,107	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	905,425	15.3	526,464	-	-
うち人件費	45,183	0.8	45,183	-	-
普通建設事業費	889,816	15.0	521,413	-	-
うち補助	396,839	6.7	105,691	-	-
うち単独	492,977	8.3	415,722	-	-
災害復旧事業費	15,609	0.3	5,051	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	5,920,631	100.0	4,572,812	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	6,474	5,923	551	317	455	4,829	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	6,474	5,923	551	317		4,829	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純増益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	2,623	2,447	176	176	133	-	-	-	
2 介護保険特別会計	1,184	1,168	16	16	181	-	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	176	175	1	1	165	-	-	-	
4 水道事業会計	536	490	46	1,152	-	952	-	-	法適用企業
5 下水道事業会計	355	414	59	93	93	978	65	-	法適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,439		1,930	65		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	27,388	26,658	730	730	3,640	—	—	—
2 千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	170	118	52	52	—	—	—	—
3 千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研センター特別会計）	109	101	8	8	2	—	—	—
4 千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通災害共済特別会計）	129	96	33	33	—	—	—	—
5 佐倉市、酒々井町清掃組合（一般会計）	1,426	1,403	23	23	—	910	98	—
6 印旛衛生施設管理組合（一般会計）	778	773	5	5	—	678	44	—
7 佐倉市、四街道市、酒々井町募整組合（一般会計）	295	285	10	10	1	—	—	—
8 印旛利根川水防事務組合（一般会計）	13	12	1	0	1	—	—	—
9 佐倉市八街市酒々井町消防組合（一般会計）	4,268	4,239	29	24	—	2,469	199	—
10 印旛都市広域市町村圏事務組合（一般会計）	291	268	23	23	—	—	—	—
11 印旛都市広域市町村圏事務組合（水道用水供給事業会計）	3,579	2,973	606	1,734	59	3,290	—	—
12 千葉県後高齢者医療広域連合（一般会計）	4,356	4,210	146	146	57	—	—	—
13 千葉県後高齢者医療広域連合（特別会計）	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	—	—	—
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				18,189		7,347	341	

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金		488,363	470,247	447,790	12.1
減価基金積立不足算定額		－	－	－	－
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		－	－	－	－
準元利償還金	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	33,528	28,434	65,414	1.8
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	56,312	53,979	56,091	1.5
	債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	29,680	28,897	25,930	0.7
	一時借入金の利息	－	－	－	－
合計 (A)		607,883	581,557	595,225	－
内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
債務負担行為	PFI事業に係るもの	－	－	－	－
	いわゆる五省協定等に係るもの	－	－	－	－
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	2,795	2,795	2,795	0.1
	地方公務員等共済組合に係るもの	－	－	－	－
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	－	－	－	－
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	－	－	－	－
	引き受けた債務の履行に係るもの	－	－	－	－
	その他上記に準ずるもの	26,885	26,102	23,135	0.6
	利子補給に係るもの	－	－	－	－
特定財源の額	(B)	62,528	40,219	18,598	／
標準財政規模	(C)	4,122,909	4,113,134	4,161,836	／
算入公債費等の額	(D)	448,691	451,624	467,651	／
	(C)－(D)	3,674,218	3,661,510	3,694,185	／
実質公債費比率 ((A)－((B)+(D))) / ((C)－(D)) × 100 (3ヵ年平均)		(単年度)	2.6	2.5	2.9
			3.6	2.8	2.6

将来負担の状況

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来負担比率
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	4,607,856	4,779,203	4,828,952	130.7
	債務負担行為に基づく支出予定額	251,628	222,730	196,800	5.3
	公営企業債等繰入見込額	226,723	250,405	363,656	9.8
	組合等負担等見込額	420,907	372,157	343,681	9.3
	退職手当負担見込額	1,042,987	1,089,707	996,256	27.0
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
	合計	(E) 6,550,101	6,714,202	6,729,345	-
充当可能財源等	充当可能基金	1,512,447	2,007,551	1,992,632	53.9
	充当可能特定歳入	185,450	143,508	142,525	3.9
	基準財政需要額算入見込額	4,985,097	4,994,372	4,919,614	133.2
	合計	(F) 6,682,994	7,145,431	7,054,771	-
将来負担比率((E)-(F)) / ((C)-(D)) × 100		-	-	-	-

健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.00	20.00
連結実質赤字比率	-	20.00	30.00
実質公債費比率	2.6	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	-

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

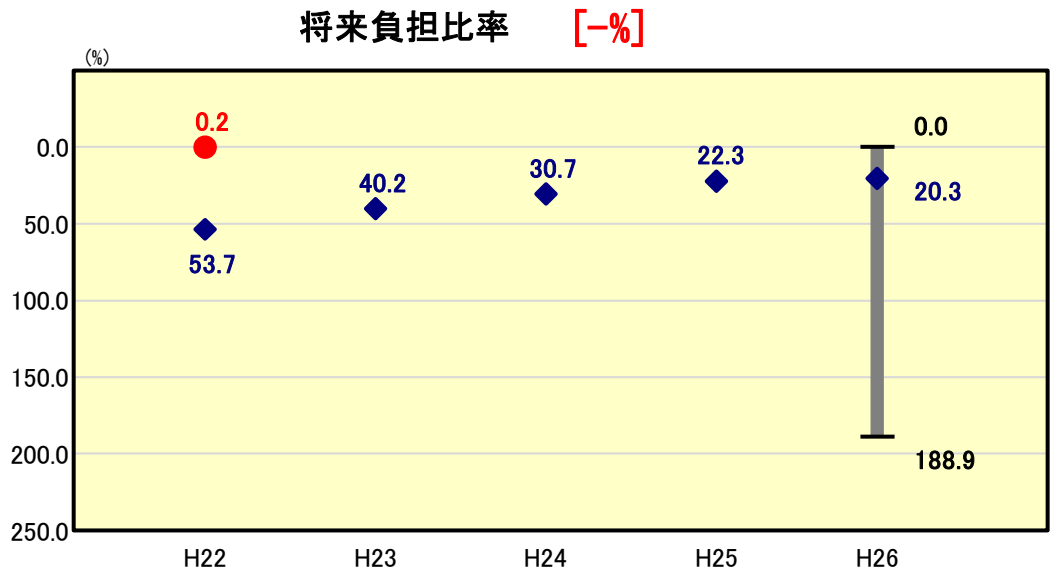
平成26年度千葉県酒々井町

人口	21,348人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	21,013人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	19.01km ²	実質公債費比率	2.6%
歳入総額	6,472,038千円	将来負担比率	-%
歳出総額	5,920,631千円		
実質収支	317,491千円	市町村類型	H22 V-2 H23 V-2 H24 V-2
標準財政規模	4,161,836千円	(年度毎)	H25 V-2 H26 V-2
地方債現在高	4,828,952千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況

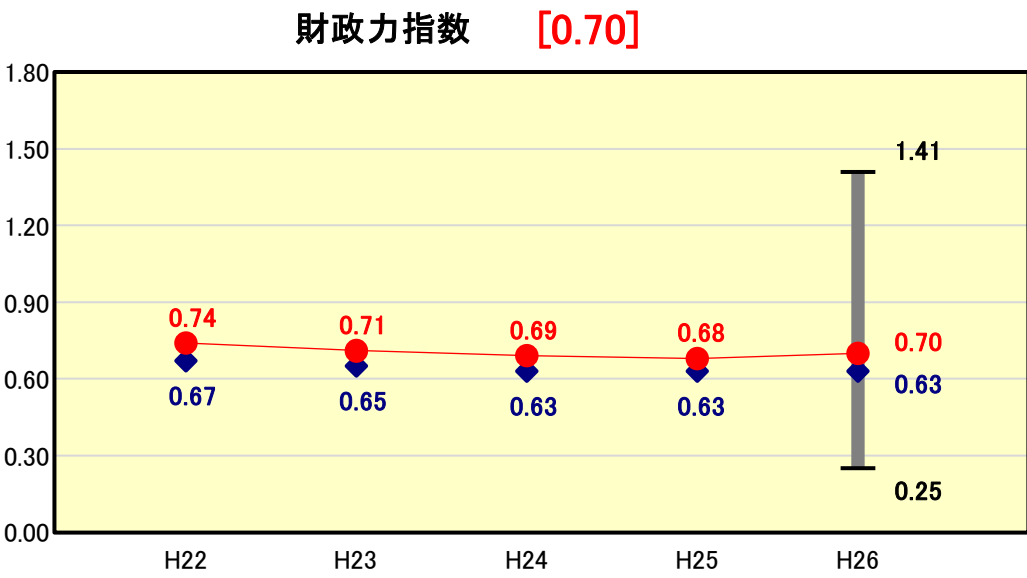


類似団体内順位 1/138 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

類似団体内平均値よりも下回り、前年度に引き続き、将来負担比率はマイナスとなっている。地方債残高の増加など、将来負担比率の悪化する要素も見え始めているので、地方債の発行や債務負担行為の設定などについては、将来負担への配慮を行い、健全な範囲に収まるよう努めていく。

財政力

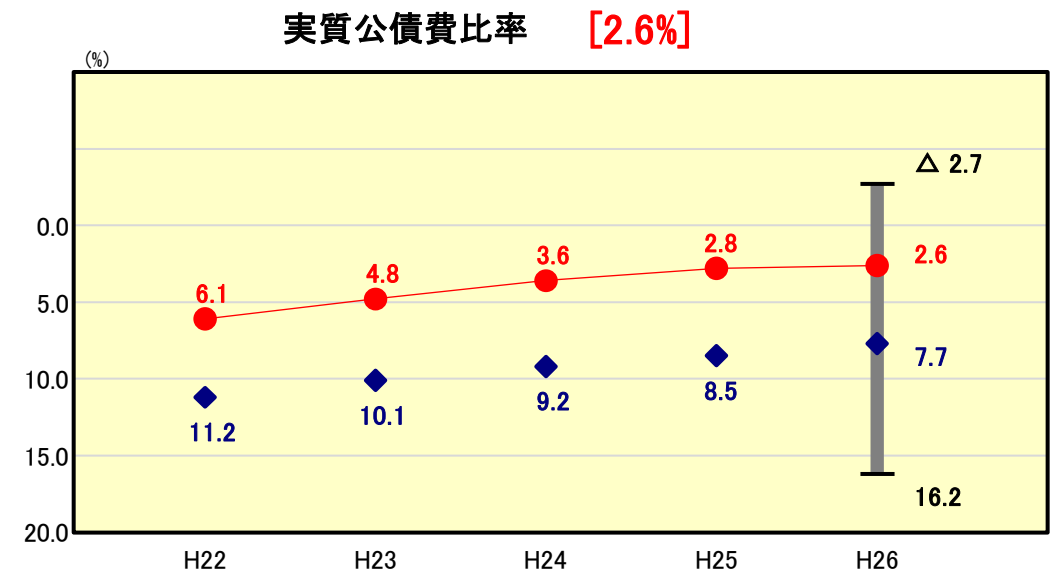


類似団体内順位 49/138 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

大型商業施設の開業により、固定資産税・法人町民税が増加し、財政力指数は、前年度より0.02ポイント上昇した。今後は、大型商業施設の波及効果を引き出せるよう周辺地区への企業誘致と雇用の増による個人住民税の税收増を図って行きたい。

公債費負担の状況

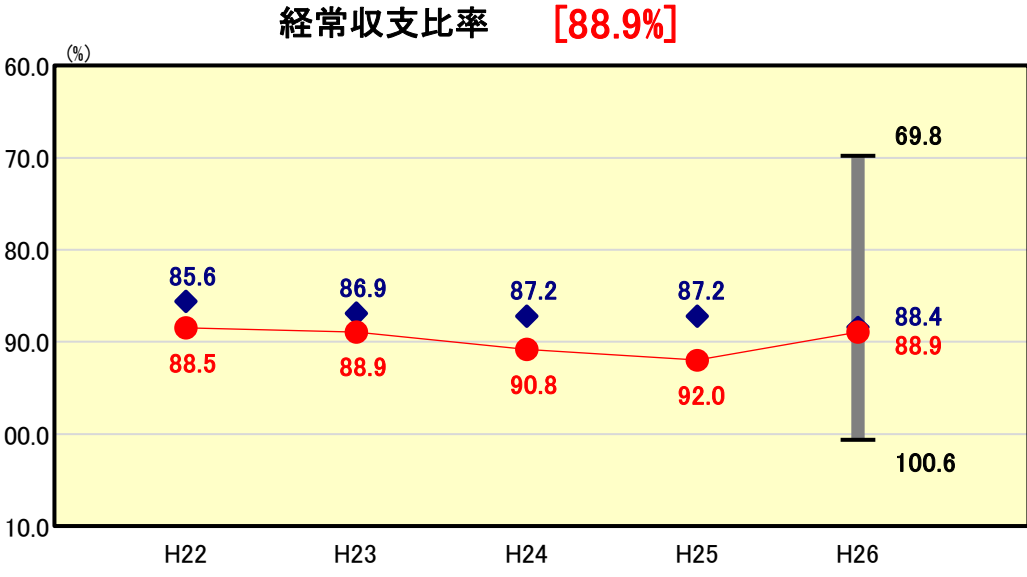


類似団体内順位 15/138 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

過年度の普通建設事業費に係る起債の償還が順調に進んでいることから、類似団体内順位は良い状況である。その一方で、近年実施してきた大型事業及び平成25年度以降の経済対策における公共事業に係る起債の元金償還が始まること、また、臨時財政対策債の償還額が大きくなっていることに伴い、借入額が償還額を上回ることがないように、この抑制に努めたい。

財政構造の弾力性

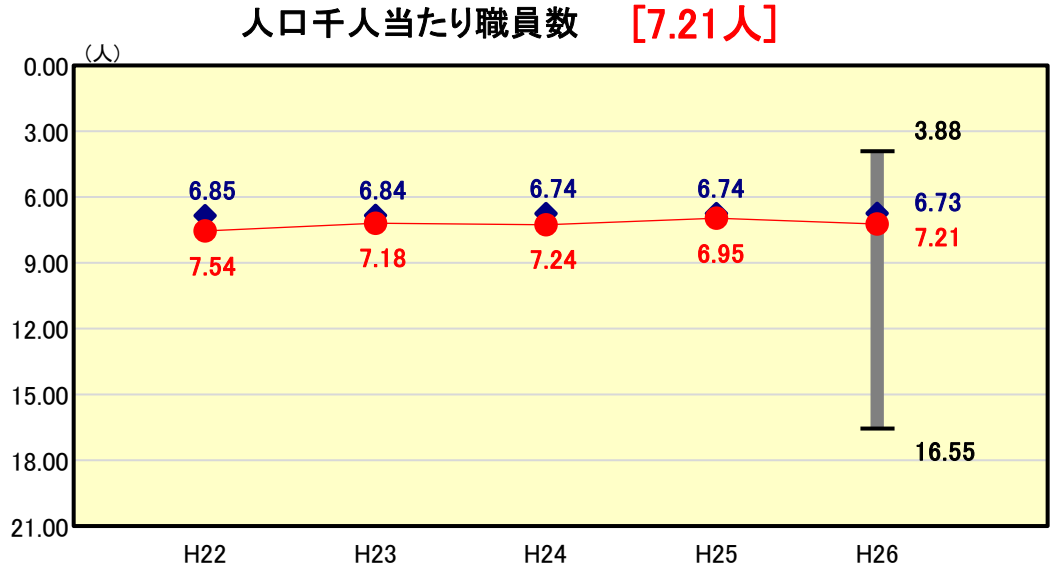


類似団体内順位 75/138 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

前年度比で3.1ポイント改善した。これは、大型商業施設開業による税收の増加、退職手当負担金、高齢者層の退職による人件費の減少、図書館等複合施設建設事業債(平成13年度起債分)の終了等が影響している。今後は、社会保障関係費のが見込まれるため、さらなる経常経費の削減に努める。

定員管理の状況

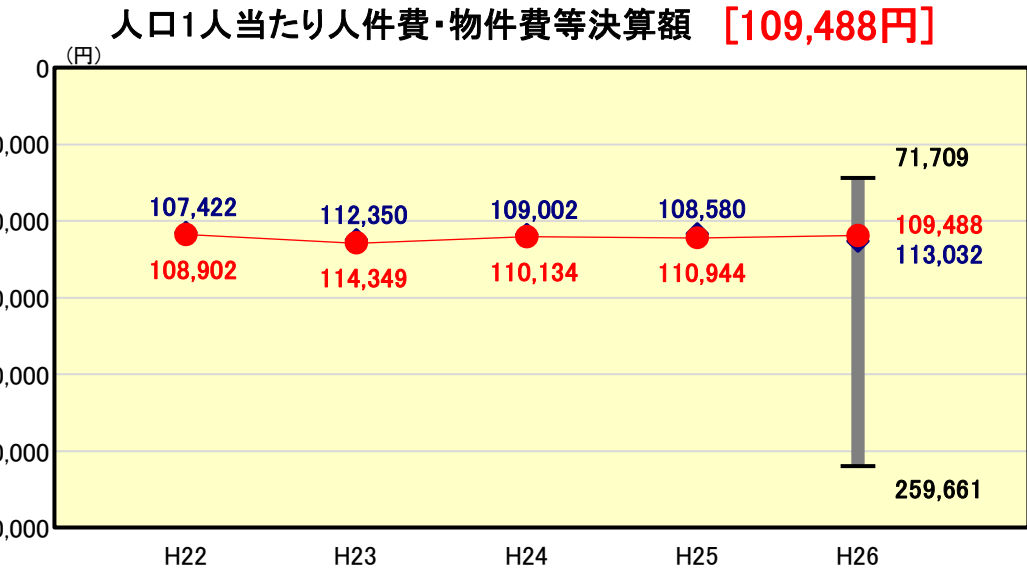


類似団体内順位 83/138 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

集中改革プラン(平成17年度～平成21年度)において、退職勧奨や新規採用の抑制による削減を行い、以後も同様の措置を継続しているが、人口千人当たりの職員数を類似団体と比較すると依然として類似団体平均を上回っている状態である。今後も定員管理計画や財政健全化計画に基づき、定員管理の適正化に努めていく。

人件費・物件費等の状況

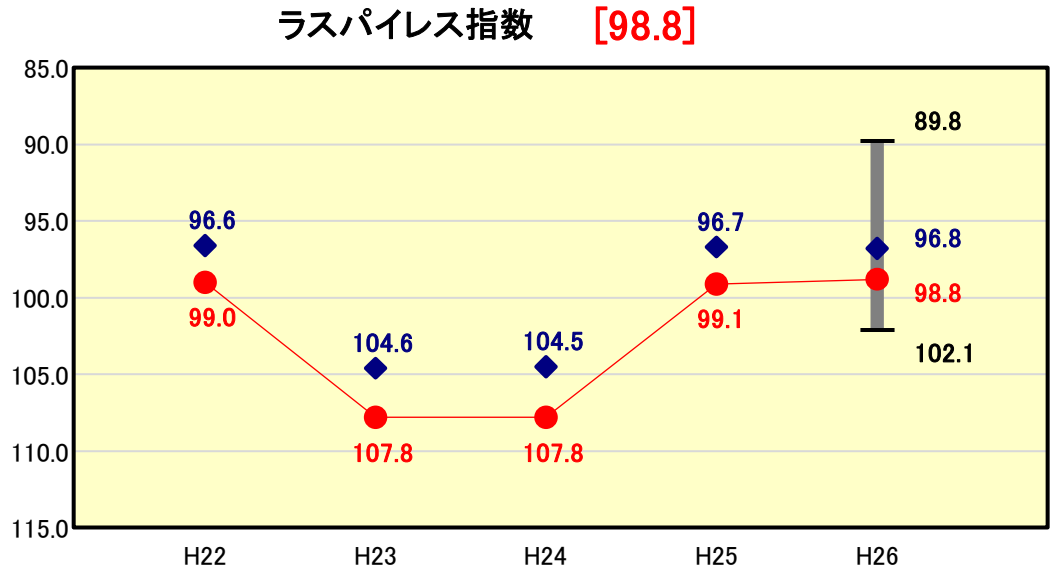


類似団体内順位 74/138 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は、定員管理の効果により、物件費は、経費削減等により減少となった。人口一人当たり決算額は、微減となり、類似団体内順位は上昇した。引き続き、経常的な人件費及び物件費の適正化に努めていく。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 102/138 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

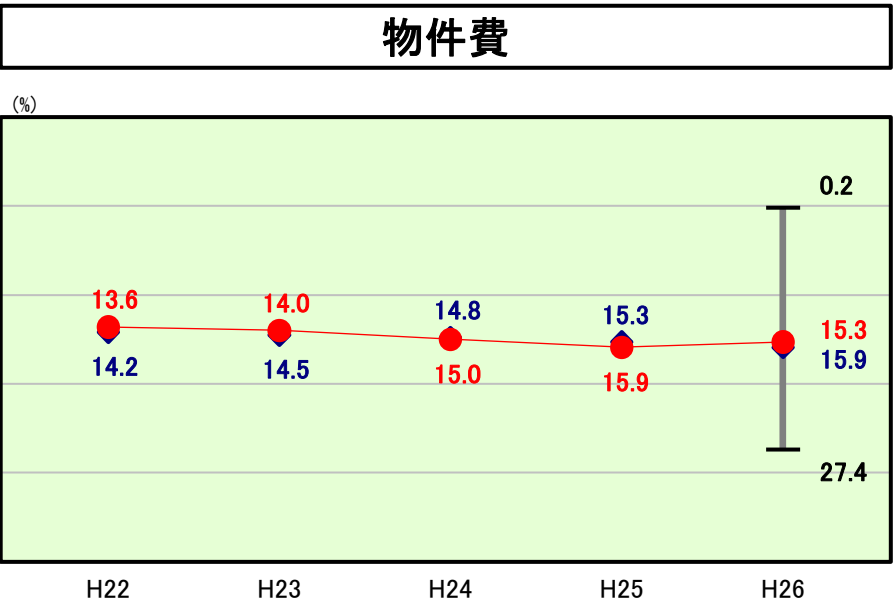
過去における人口急増時の職員採用や集中改革プランに伴う職員数の削減を行うため、新規採用の抑制等を実施したことにより、職員年齢構成のバランスが偏り、特に中高年齢層の比率が高くなっていることが指数を高くしている要因である。今後は、定員の適正化を進める中で、年齢構成バランスのとれた職員採用を行うとともに、給与水準の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人	口	21,348	人(H27.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
うち	日 本	21,013	人(H27.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率			
面	積	19.01	km ²	実	質	公	債	費	比	率	2.6 %			
歳 入	総 額	6,472,038	千円	将	来	負	担	比	率	-	%			
歳 出	総 額	5,920,631	千円	市	町	村	類	型	H22	V-2	H23	V-2	H24	V-2
実 質	収 支	317,491	千円	(	年	度	毎	)	H25	V-2	H26	V-2		
標 準	財 政 規 模	4,161,836	千円											

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



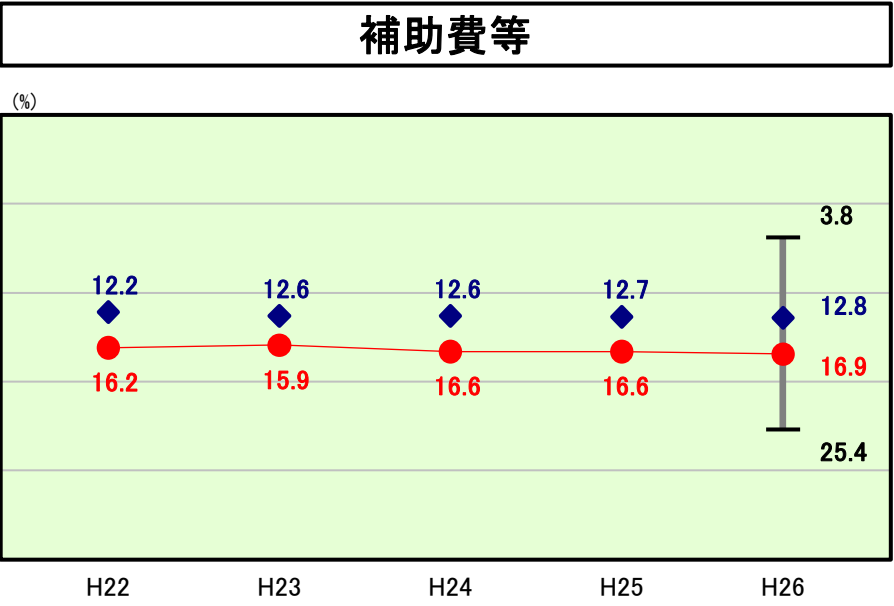
類似団体内順位
68/138

全国平均
14.3

千葉県平均
18.1

物件費の分析欄

類似団体内順位、ポイント共に改善されている。
今後も、財政健全化画などにに基づき、施設管理を含めた業務委託内容等の見直しを行うほか、経費節減に努め、改善を図っていく。



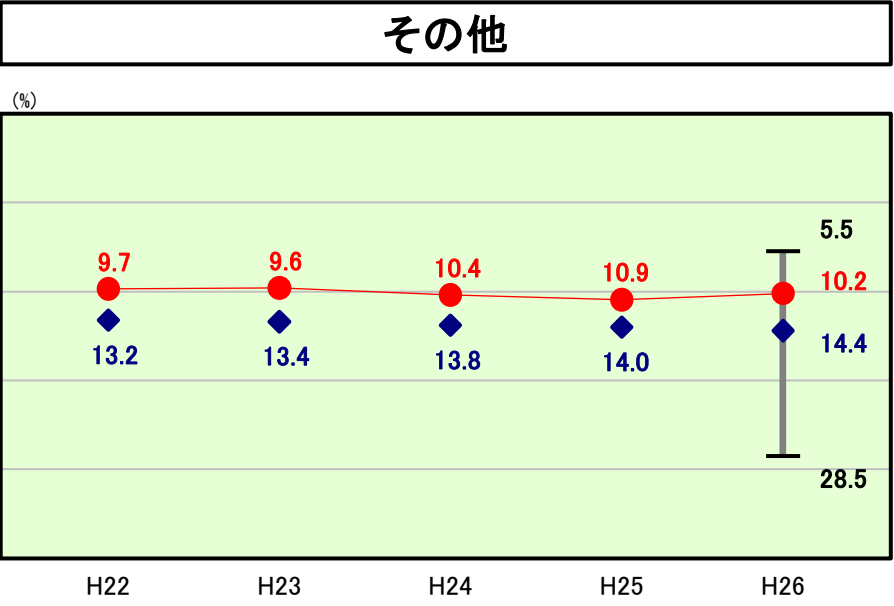
類似団体内順位
115/138

全国平均
10.1

千葉県平均
7.7

補助費等の分析欄

類似団体平均を上回っているのは、消防・清掃・衛生業務などを一部事務組合で行っており、一部事務組合への負担金が多額のためである。毎年、予算編成前に当町を含む構成団体から各組合へ組合事業における経常経費の見直しなどを依頼しており、こうした積み重ねにより負担金の減少につなげ、町財政を圧迫することがないように努めていく。



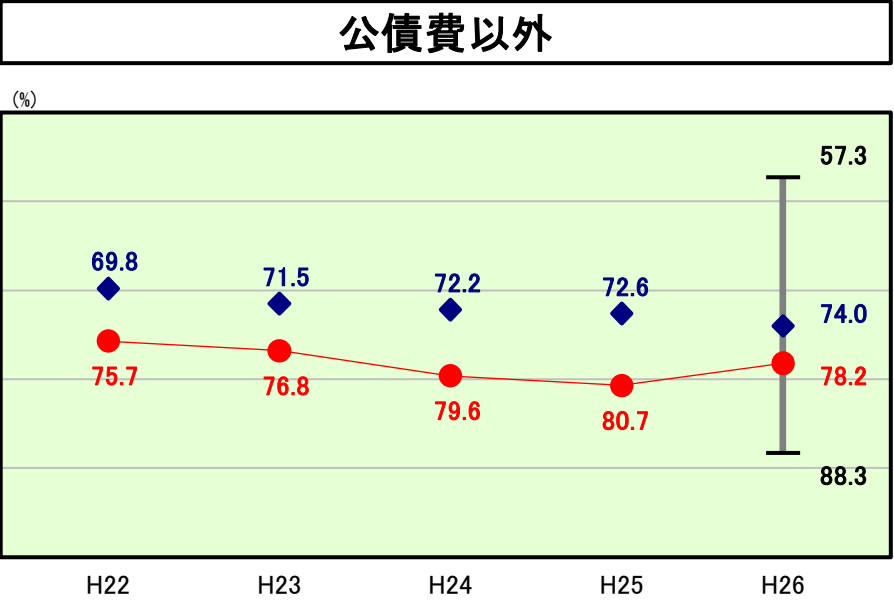
類似団体内順位
15/138

全国平均
13.2

千葉県平均
12.0

その他の分析欄

その他で類似団体を下回っているのは、繰出金が少ないことが主要因である。公営企業会計への繰出は、下水道事業のみとなっており、また、国民健康保険などについても基準内繰出のみとなっていることも要因と考えている。ただし、国民健康保険や介護保険などへの繰出が増加傾向であることから、今後も財政を圧迫することのないように努めていく。



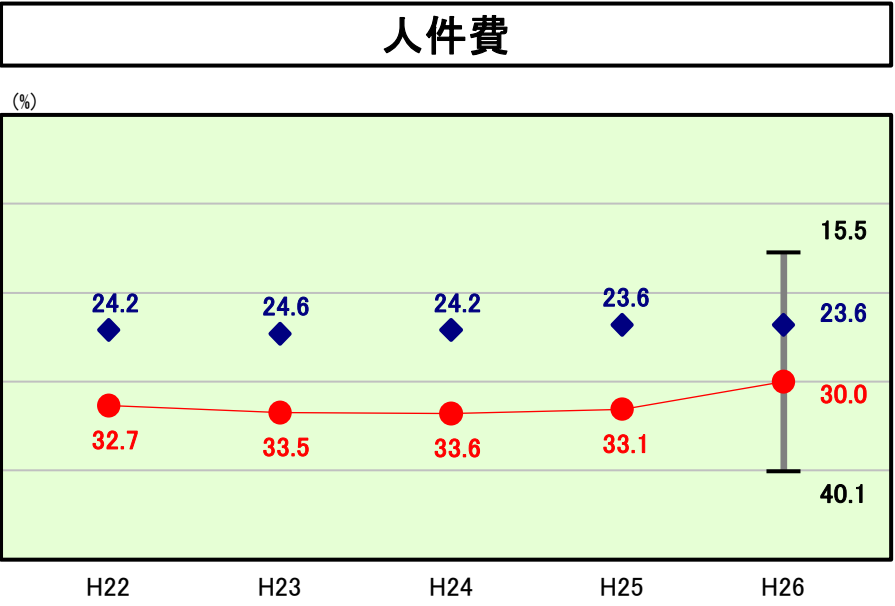
類似団体内順位
102/138

全国平均
73.1

千葉県平均
76.7

公債費以外の分析欄

類似団体、全国平均、千葉県の平均をいずれも上回っている。特に人件費については、高い水準にある。補助費については、一部事務組合への負担金が大きく関係しているなど特殊な要因もあるが、公債費以外の経費の比率についても減少となるよう努めたい。



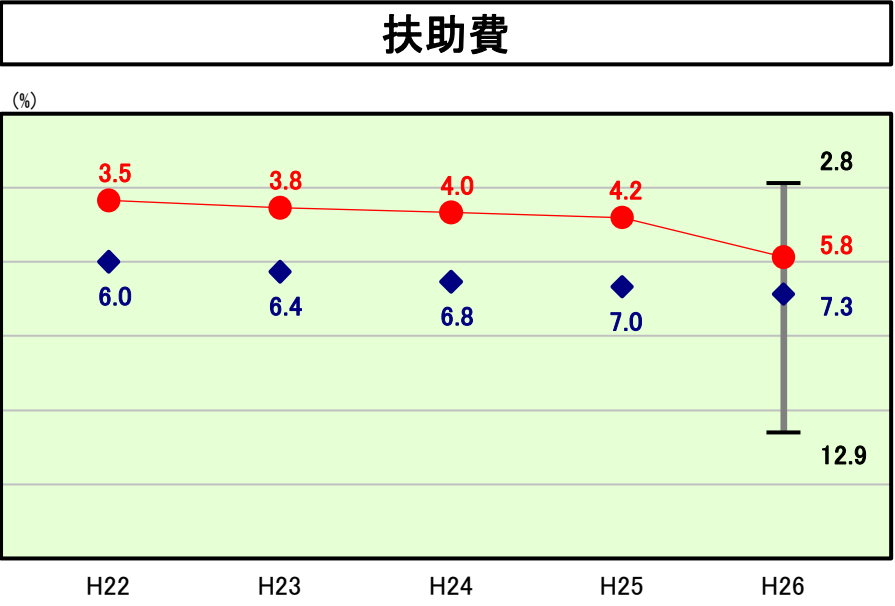
類似団体内順位
128/138

全国平均
23.8

千葉県平均
27.2

人件費の分析欄

類似団体と比較して、職員数が多いことから、人件費の経常収支比率が高くなっているため、退職職員数と新規採用職員数のバランスをとりつつ職員数の削減に取り組み、人件費の削減に引き続き務める。



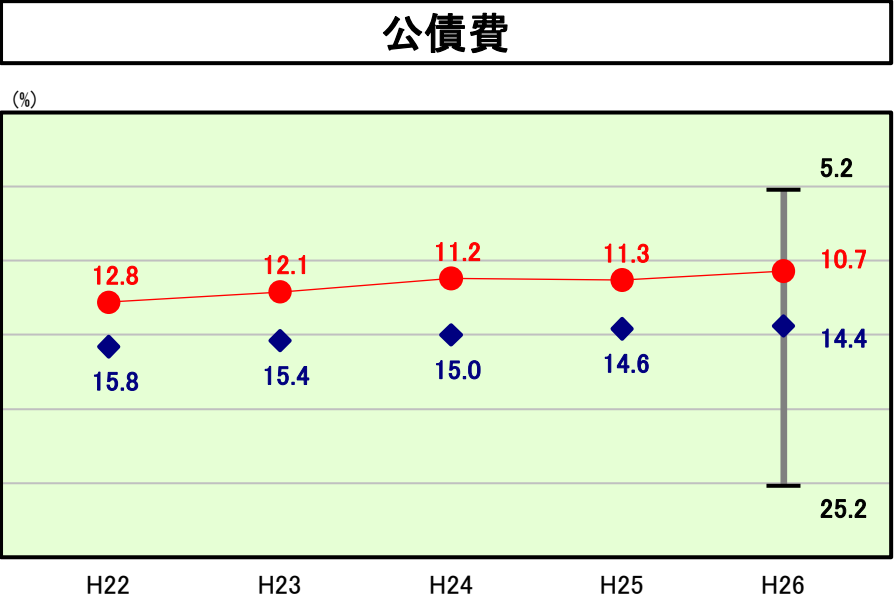
類似団体内順位
34/138

全国平均
11.7

千葉県平均
11.7

扶助費の分析欄

現在は、類似団体を下回る数値となっているが、町の高齢化率が上昇を続け、高齢者施策に係る扶助費の増加が見込まれている。
また、法律に基づく扶助費の増加にとどまらず、今後は町単独の施策に係る経費の増加も見込まれるため、上昇傾向は避けられない状況であるが、事業の適正な査定・執行を行い、大幅な増加を抑制するように努めていく。



類似団体内順位
30/138

全国平均
18.2

千葉県平均
15.7

公債費の分析欄

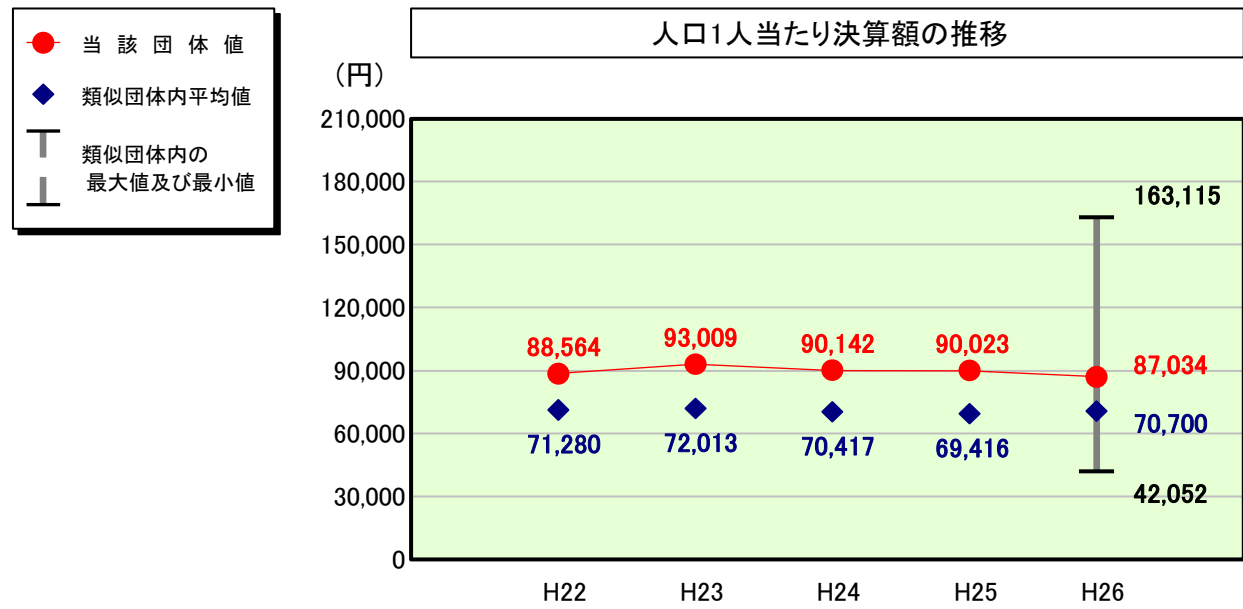
類似団体平均を下回っているが、今後は、臨時財政対策債分の償還増が見込まれ、また、平成24年度以降の土木債などの新規発行事業分の増加の影響も見込まれるため、借入額と償還額のバランスを取りつつ、大きく上昇することのないよう、適正な状態を保てるよう努めたい。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県酒々井町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



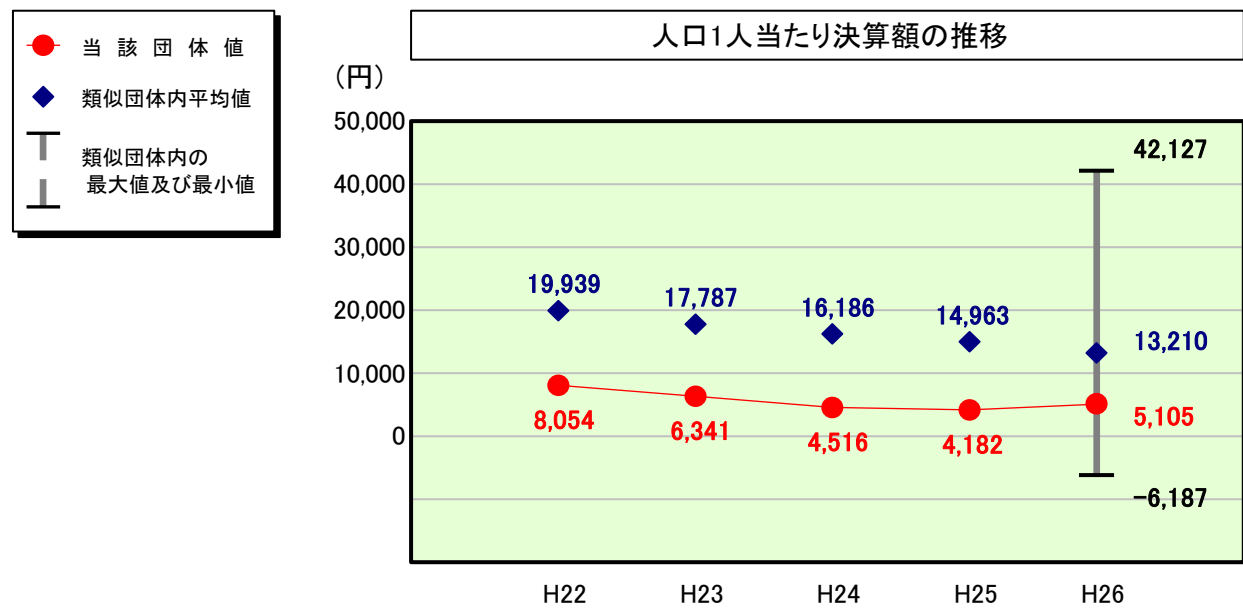
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,361,619	63,782	59,313	7.5
賃金 (物件費)	101,230	4,742	5,376	▲ 11.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	353,833	16,575	7,786	112.9
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	131	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	70,220	3,289	2,777	18.4
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	45,183	2,116	1,317	60.7
▲退職金	▲ 74,085	▲ 3,470	▲ 6,006	▲ 42.2
合計	1,858,000	87,034	70,700	23.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	7.21	6.73	0.48
ラスパイレス指数	98.8	96.8	2.0

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

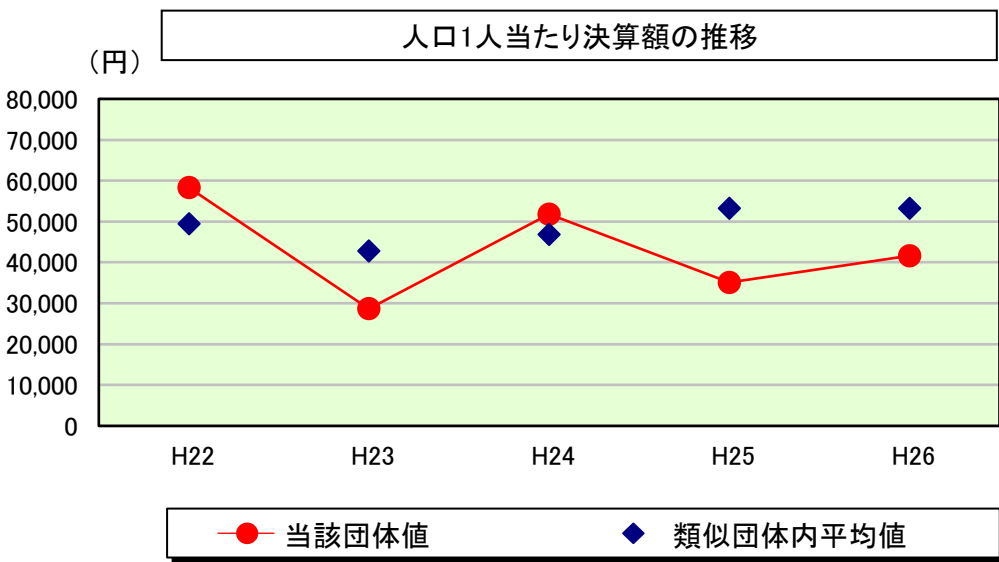


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	447,790	20,976	33,640	▲ 37.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	65,414	3,064	10,374	▲ 70.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	56,091	2,627	2,665	▲ 1.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	25,930	1,215	1,343	▲ 9.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 18,598	▲ 871	▲ 3,110	▲ 72.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 467,651	▲ 21,906	▲ 31,707	▲ 30.9
合計	108,976	5,105	13,210	▲ 61.4

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

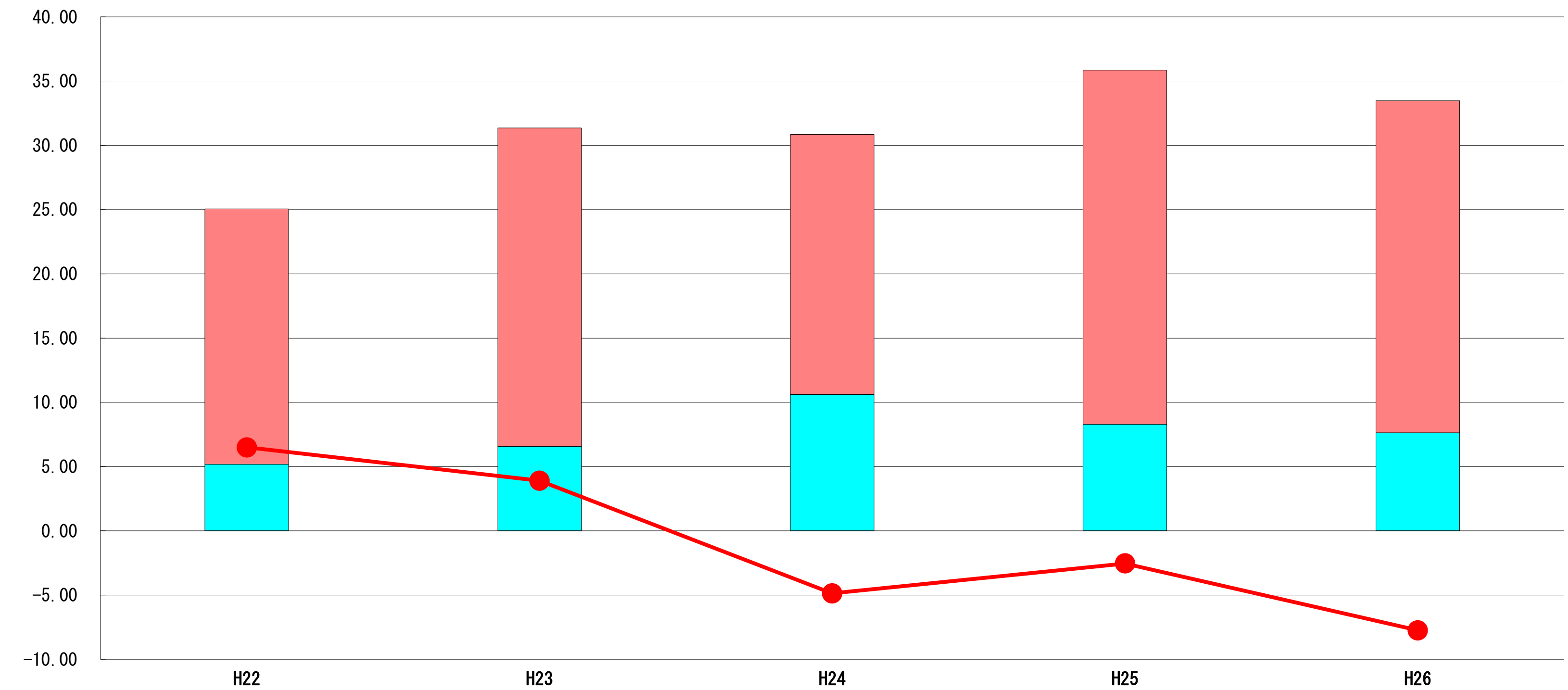
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	1,237,024	58,303	73.1	49,426	4.6	68.5
うち単独分	596,130	28,097	117.1	26,568	▲ 4.6	121.7
H23	606,466	28,651	▲ 50.9	42,839	▲ 13.3	▲ 37.6
うち単独分	229,251	10,831	▲ 61.5	22,027	▲ 17.1	▲ 44.4
H24	1,108,010	51,769	80.7	46,819	9.3	71.4
うち単独分	534,843	24,989	130.7	24,121	9.5	121.2
H25	753,840	35,139	▲ 32.1	53,270	13.8	▲ 45.9
うち単独分	306,791	14,301	▲ 42.8	24,316	0.8	▲ 43.6
H26	889,816	41,681	18.6	53,292	0.0	18.6
うち単独分	492,977	23,092	61.5	28,900	18.9	42.6
過去5年間平均	919,031	43,109	17.9	49,129	2.9	15.0
うち単独分	431,998	20,262	41.0	25,186	1.5	39.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県酒々井町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		19.88	24.79	20.26	27.57	25.85
実質収支額		5.17	6.56	10.60	8.28	7.63
実質単年度収支		6.50	3.91	▲ 4.86	▲ 2.54	▲ 7.74

分析欄

毎年、予算編成方針の中で、財政調整基金の残高が標準財政規模の20%となるよう目標設定しており、この方針の成果が出ていると考えている。

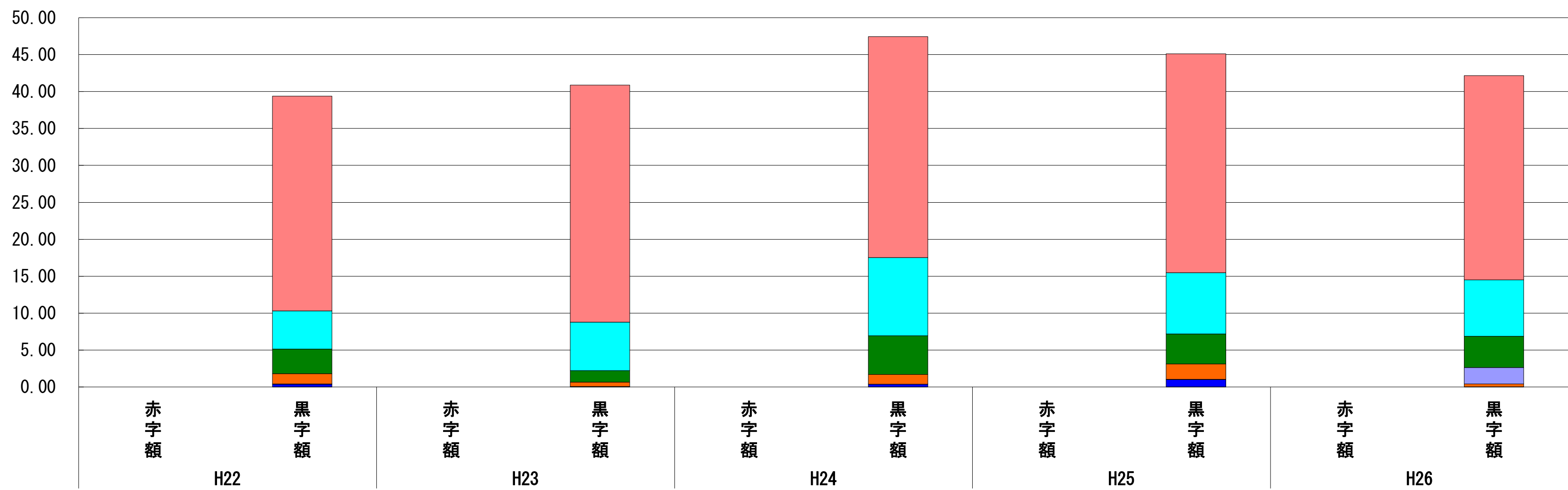
今後は、少子高齢化に伴い、社会保障関連経費の増加が見込まれることから、厳しい財政運営を強いられるものと予測されるが、歳入規模に見合った健全な財政運営に努めたい。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県酒々井町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		29.08	32.11	29.90	29.66	27.68
一般会計		5.17	6.55	10.60	8.28	7.62
国民健康保険特別会計		3.33	1.55	5.23	4.06	4.23
下水道事業会計		-	-	-	-	2.24
介護保険特別会計		1.39	0.62	1.32	2.10	0.38
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.02	0.03	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.39	0.04	0.36	1.00	-

分析欄

一般会計をはじめ、各特別会計、公営企業である水道事業、下水道事業のすべての会計において赤字額は発生していないことから、連結実質赤字比率は算出されない。

一般会計では、予算編成時に歳入予算を過大に見積もることなく、また、歳出においても、歳出根拠等を十分に聞き取ったうえで査定し、歳入に見合った予算を組んでいるので、実質収支は常に黒字である。

また、国保、介護及び後期高齢者特別会計においては、特定の歳入に対し、必要となる歳出が不足する場合は、特別会計に予め準備している基金等の繰り入れで対応することから、こちらも実質収支が赤字となることはない。

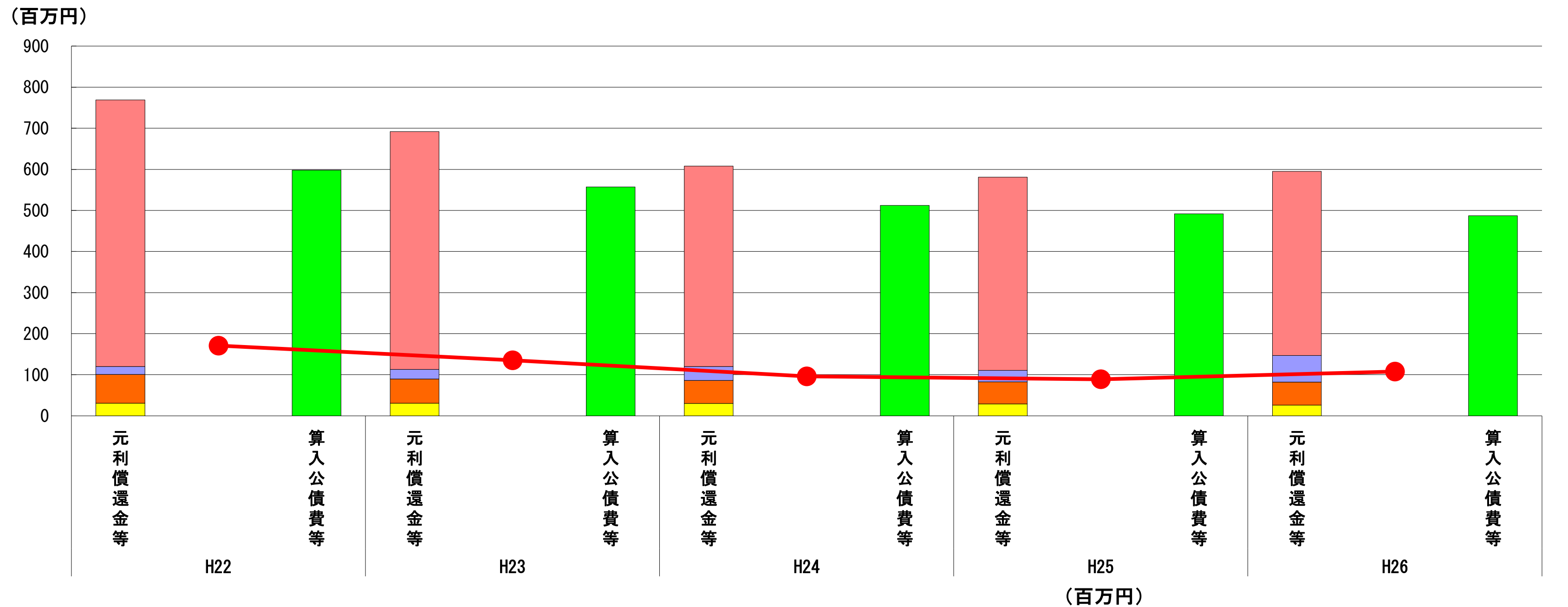
水道事業会計も毎年黒字となっており、後年度の支出に備えて内部留保を続け、また、一般会計からの繰入もなく経営した結果、町全体の連結実質赤字比率の対標準財政規模比で大きなウェイトを占めることとなっている。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県酒々井町



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		649	579	488	470	448
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		19	23	34	28	65
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		70	59	56	54	56
	債務負担行為に基づく支出額		31	31	30	29	26
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		598	557	512	492	487
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		171	135	96	89	108

分析欄

借入残高の約7割を臨時財政対策債が占めており、今後、地方債残高の上昇が予想されるため、新規地方債の借り入れ抑制に努力していく。

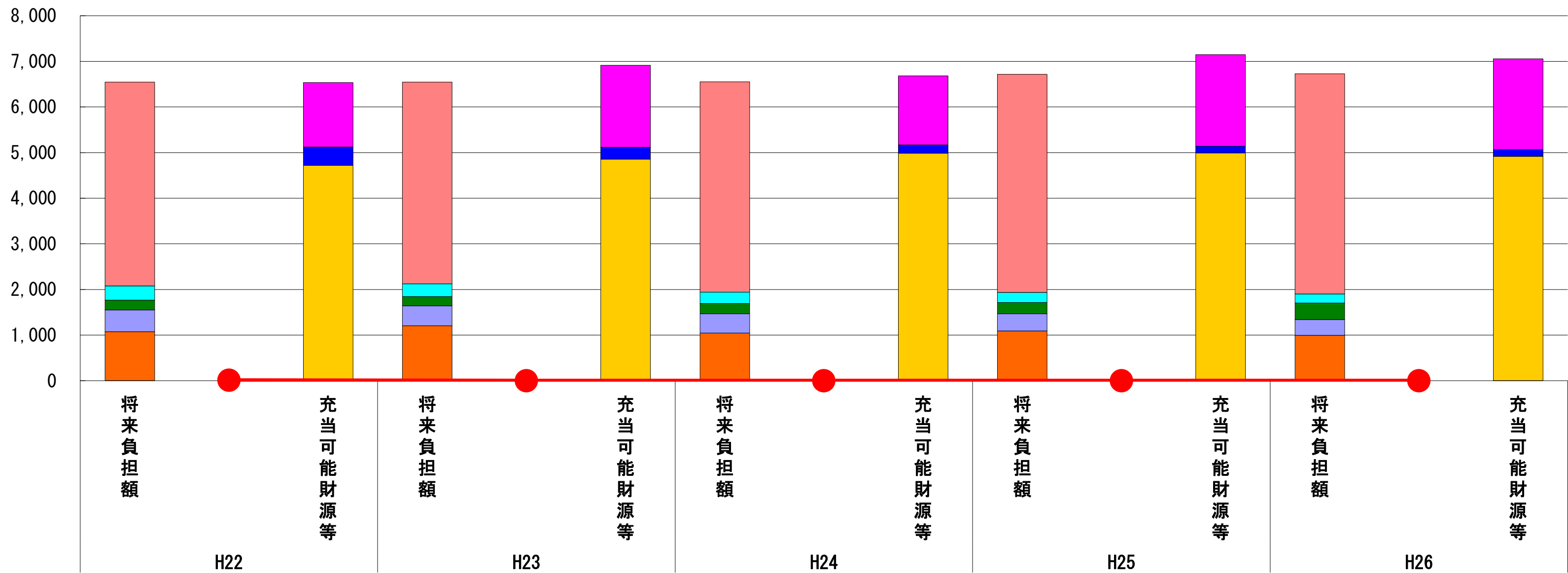
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県酒々井町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		4,469	4,419	4,608	4,779	4,829
	債務負担行為に基づく支出予定額		312	281	252	223	197
	公営企業債等繰入見込額		212	203	227	250	364
	組合等負担等見込額		481	440	421	372	344
	退職手当負担見込額		1,071	1,201	1,043	1,090	996
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,413	1,796	1,512	2,008	1,993
	充当可能特定歳入		402	263	185	144	143
	基準財政需要額算入見込額		4,719	4,854	4,985	4,994	4,920
(A) - (B)		将来負担比率の分子	10	▲ 369	▲ 133	▲ 431	▲ 325

分析欄

借入残高の約7割を臨時財政対策債が占めており、今後、地方債残高の上昇が予想されるため、新規地方債の借り入れ抑制に努力していく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		千葉県		市町村類型	Ⅴ－2		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)								
市町村名		栄町		地方交付税種地	2-4		財政健全化等		歳入総額	7,481,983	7,487,771	実質収支比率		2.7	6.2									
							財源超過	×	歳出総額	7,355,711	7,204,728	経常収支比率		96.5	97.2									
							首都	○	歳入歳出差引	126,272	283,043	(※1)		(106.0)	(107.0)									
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	6,491	3,741	標準財政規模		4,453,804	4,537,014									
							中部	×	実質収支	119,781	279,302	財政力指数		0.61	0.62									
人口		22年国調(人)		22,580		産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	-159,521	87,087	公債費負担比率		16.9	17.7								
								増減率(%)	-7.4	積立金	252,744	255,528	健全化判断比率											
								山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率		-	-								
住民基本台帳人口		27.01.01(人)		21,731		区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	329,801	261,603	連結実質赤字比率		-	-							
									うち日本人(人)	21,554	第1次	402	621	指数表選定	○	実質単年度収支	-236,578	81,012	実質公債費比率		11.3	12.7		
		26.01.01(人)		22,011		第2次	1,989	2,511						将来負担比率		55.6	56.7							
									うち日本人(人)	21,833	第3次	8,200	9,370											
		面積(k㎡)		32.51		第3次	77.4	74.8																
人口密度(人/k㎡)		695																						
世帯数(世帯)		8,004																						
職員の状況																								
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		7,939,157	8,026,902												
	市区町村長	1	6,696 <th>一般職員</th> <td>213</td> <td>746,778</td> <td>3,506<th colspan="2">うち公的資金</th><td>6,043,358</td><td>5,715,567</td></td>		一般職員	213	746,778	3,506 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>6,043,358</td> <td>5,715,567</td>	うち公的資金		6,043,358	5,715,567												
	副市区町村長	1	5,580 <th>うち消防職員</th> <td>43</td> <td>139,707</td> <td>3,249<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>161,368</td><td>151,555</td></td>		うち消防職員	43	139,707	3,249 <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>161,368</td> <td>151,555</td>	債務負担行為額(支出予定額)		161,368	151,555												
	教育長	1	5,301 <th>うち技能労務職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td></td>		うち技能労務職員	-	-	- <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>	収益事業収入		-	-												
	議会議長	1	3,200 <th>教育公務員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>190,146</td><td>190,146</td></td>		教育公務員	-	-	- <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>190,146</td> <td>190,146</td>	土地開発基金現在高		190,146	190,146												
	議会副議長	1	2,700 <th>臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>660,149</td><td>737,206</td></td>		臨時職員	-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>660,149</td> <td>737,206</td>	積立金現在高	財政調整基金	660,149	737,206												
	議会議員	12	2,500 <th>合計</th> <td>213</td> <td>746,778</td> <td>3,506<th>減債基金</th><td>190</td><td>190</td></td>		合計	213	746,778	3,506 <th>減債基金</th> <td>190</td> <td>190</td>		減債基金	190	190												
					ラスパイレス指数	96.2 <th>その他特定目的基金</th> <td>453,980</td> <td>270,784</td> <td colspan="2"></td>			その他特定目的基金	453,980	270,784													
一般会計等の一覧 項番		会計名		事業会計の一覧 項番		会計名		公営企業(法適)の一覧 項番		会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番		会計名		関係する一部事務組合等一覧 項番		組合等名		地方公社・第三セクター等一覧 項番		団体名		(※3)
(1) 一般会計				(2) 国民健康保険特別会計								(5) 公共下水道事業特別会計						(6) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)						
				(3) 介護保険特別会計														(7) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)						
				(4) 後期高齢者医療特別会計														(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)						
																		(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)						
																		(10) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)						
																		(11) 印旛郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)						
																		(12) 印旛郡市広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業会計)						
																		(13) 長門川水道企業団						
																		(14) 印西地区衛生組合						
																		(15) 印旛利根川水防事務組合						

(注釈)※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1	4,791	0.1	市町村民税	1,245,719	51.7	-	
配当割交付金	19,569	0.3	19,569	0.5	個人均等割	39,224	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	12,716	0.2	12,716	0.3	所得割	1,079,777	44.8	-	
地方消費税交付金	210,469	2.8	210,469	5.2	法人均等割	34,886	1.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	3,589	0.0	3,589	0.1	法人税割	91,832	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	877,992	36.4	-	
自動車取得税交付金	19,115	0.3	19,115	0.5	うち純固定資産税	877,964	36.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	38,993	1.6	-	
地方特例交付金	7,425	0.1	7,425	0.2	市町村たばこ税	109,923	4.6	-	
地方交付税	1,588,125	21.2	1,371,159	33.9	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,371,159	18.3	1,371,159	33.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	157,656	2.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	59,310	0.8	-	-	目的税	139,133	5.8	-	
（一般財源計）	4,374,018	58.5	4,017,919	99.3	法定目的税	139,133	5.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,811	0.0	2,811	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	138,915	1.9	1,281	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	25,489	0.3	11,663	0.3	都市計画税	139,133	5.8	-	
手数料	42,349	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	821,361	11.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	484,124	6.5	-	-	合計	2,411,760	100.0	-	
財産収入	18,641	0.2	13,211	0.3					
寄附金	11,194	0.1	-	-					
繰入金	467,914	6.3	-	-					
繰越金	283,043	3.8	-	-					
諸収入	79,485	1.1	148	0.0					
地方債	732,639	9.8	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	398,739	5.3	-	-					
歳入合計	7,481,983	100.0	4,047,033	100.0					

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1	4,791	0.1	市町村民税	1,245,719	51.7	-	
配当割交付金	19,569	0.3	19,569	0.5	個人均等割	39,224	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	12,716	0.2	12,716	0.3	所得割	1,079,777	44.8	-	
地方消費税交付金	210,469	2.8	210,469	5.2	法人均等割	34,886	1.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	3,589	0.0	3,589	0.1	法人税割	91,832	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	877,992	36.4	-	
自動車取得税交付金	19,115	0.3	19,115	0.5	うち純固定資産税	877,964	36.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	38,993	1.6	-	
地方特例交付金	7,425	0.1	7,425	0.2	市町村たばこ税	109,923	4.6	-	
地方交付税	1,588,125	21.2	1,371,159	33.9	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,371,159	18.3	1,371,159	33.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	157,656	2.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	59,310	0.8	-	-	目的税	139,133	5.8	-	
（一般財源計）	4,374,018	58.5	4,017,919	99.3	法定目的税	139,133	5.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,811	0.0	2,811	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	138,915	1.9	1,281	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	25,489	0.3	11,663	0.3	都市計画税	139,133	5.8	-	
手数料	42,349	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	821,361	11.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	484,124	6.5	-	-	合計	2,411,760	100.0	-	
財産収入	18,641	0.2	13,211	0.3					
寄附金	11,194	0.1	-	-					
繰入金	467,914	6.3	-	-					
繰越金	283,043	3.8	-	-					
諸収入	79,485	1.1	148	0.0					
地方債	732,639	9.8	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	398,739	5.3	-	-					
歳入合計	7,481,983	100.0	4,047,033	100.0					

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1	4,791	0.1	市町村民税	1,245,719	51.7	-	
配当割交付金	19,569	0.3	19,569	0.5	個人均等割	39,224	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	12,716	0.2	12,716	0.3	所得割	1,079,777	44.8	-	
地方消費税交付金	210,469	2.8	210,469	5.2	法人均等割	34,886	1.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	3,589	0.0	3,589	0.1	法人税割	91,832	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	877,992	36.4	-	
自動車取得税交付金	19,115	0.3	19,115	0.5	うち純固定資産税	877,964	36.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	38,993	1.6	-	
地方特例交付金	7,425	0.1	7,425	0.2	市町村たばこ税	109,923	4.6	-	
地方交付税	1,588,125	21.2	1,371,159	33.9	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,371,159	18.3	1,371,159	33.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	157,656	2.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	59,310	0.8	-	-	目的税	139,133	5.8	-	
（一般財源計）	4,374,018	58.5	4,017,919	99.3	法定目的税	139,133	5.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,811	0.0	2,811	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	138,915	1.9	1,281	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	25,489	0.3	11,663	0.3	都市計画税	139,133	5.8	-	
手数料	42,349	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	821,361	11.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	484,124	6.5	-	-	合計	2,411,760	100.0	-	
財産収入	18,641	0.2	13,211	0.3					
寄附金	11,194	0.1	-	-					
繰入金	467,914	6.3	-	-					
繰越金	283,043	3.8	-	-					
諸収入	79,485	1.1	148	0.0					
地方債	732,639	9.8	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	398,739	5.3	-	-					
歳入合計	7,481,983	100.0	4,047,033	100.0					

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1	4,791	0.1	市町村民税	1,245,719	51.7	-	
配当割交付金	19,569	0.3	19,569	0.5	個人均等割	39,224	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	12,716	0.2	12,716	0.3	所得割	1,079,777	44.8	-	
地方消費税交付金	210,469	2.8	210,469	5.2	法人均等割	34,886	1.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	3,589	0.0	3,589	0.1	法人税割	91,832	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	877,992	36.4	-	
自動車取得税交付金	19,115	0.3	19,115	0.5	うち純固定資産税	877,964	36.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	38,993	1.6	-	
地方特例交付金	7,425	0.1	7,425	0.2	市町村たばこ税	109,923	4.6	-	
地方交付税	1,588,125	21.2	1,371,159	33.9	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,371,159	18.3	1,371,159	33.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	157,656	2.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	59,310	0.8	-	-	目的税	139,133	5.8	-	
（一般財源計）	4,374,018	58.5	4,017,919	99.3	法定目的税	139,133	5.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,811	0.0	2,811	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	138,915	1.9	1,281	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	25,489	0.3	11,663	0.3	都市計画税	139,133	5.8	-	
手数料	42,349	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	821,361	11.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	484,124	6.5	-	-	合計	2,411,760	100.0	-	
財産収入	18,641	0.2	13,211	0.3					
寄附金	11,194	0.1	-	-					
繰入金	467,914	6.3	-	-					
繰越金	283,043	3.8	-	-					
諸収入	79,485	1.1	148	0.0					
地方債	732,639	9.8	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	398,739	5.3	-	-					
歳入合計	7,481,983	100.0	4,047,033	100.0					

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1	4,791	0.1	市町村民税	1,245,719	51.7	-	
配当割交付金	19,569	0.3	19,569	0.5	個人均等割	39,224	1.6	-	
株式等譲渡所得割交付金	12,716	0.2	12,716	0.3	所得割	1,079,777	44.8	-	
地方消費税交付金	210,469	2.8	210,469	5.2	法人均等割	34,886	1.4	-	
ゴルフ場利用税交付金	3,589	0.0	3,589	0.1	法人税割	91,832	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	877,992	36.4	-	
自動車取得税交付金	19,115	0.3	19,115	0.5	うち純固定資産税	877,964	36.4	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	38,993	1.6	-	
地方特例交付金	7,425	0.1	7,425	0.2	市町村たばこ税	109,923	4.6	-	
地方交付税	1,588,125	21.2	1,371,159	33.9	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	1,371,159	18.3	1,371,159	33.9	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	157,656	2.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	59,310	0.8	-	-	目的税	139,133	5.8	-	
（一般財源計）	4,374,018	58.5	4,017,919	99.3	法定目的税	139,133	5.8	-	
交通安全対策特別交付金	2,811	0.0	2,811	0.1	入湯税	-	-	-	
分担金・負担金	138,915	1.9	1,281	0.0	事業所税	-	-	-	
使用料	25,489	0.3	11,663	0.3	都市計画税	139,133	5.8	-	
手数料	42,349	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	821,361	11.0	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	484,124	6.5	-	-	合計	2,411,760	100.0	-	
財産収入	18,641	0.2	13,211	0.3					
寄附金	11,194	0.1	-	-					
繰入金	467,914	6.3	-	-					
繰越金	283,043	3.8	-	-					
諸収入	79,485	1.1	148	0.0					
地方債	732,639	9.8	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	398,739	5.3	-	-					
歳入合計	7,481,983	100.0	4,047,033	100.0					

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	2,411,760	32.2	2,272,627	56.2	普通税	2,272,627	94.2	-	
地方譲与税	96,459	1.3	96,459	2.4	法定普通税	2,272,627	94.2	-	
利子割交付金	4,791	0.1							

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	7,482	7,356	126	120	468	7,939	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等（純計）	7,482	7,356	126	120		7,939	-

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

	会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	2,853	2,742	111	111	199	-	-	-	
2	介護保険特別会計	1,296	1,255	41	41	169	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	174	174	0	0	36	-	-	-	
4	公共下水道事業特別会計	756	734	22	22	128	3,162	1,496	-	法非適用企業
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				176		3,162	1,496		-

関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

	一部事務組合等名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
1	千葉県市町村総合事務組合（一般会計）	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
2	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治会館管理運営特別会計）	170	118	52	52	-	-	-	
3	千葉県市町村総合事務組合（千葉県自治研修センター特別会計）	109	101	8	8	2	-	-	
4	千葉県市町村総合事務組合（千葉県市町村交通災害共済特別会計）	129	96	33	33	-	-	-	
5	千葉県県後期高齢者医療広域連合（一般会計）	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
6	千葉県県後期高齢者医療広域連合（後期高齢者医療特別会計）	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
7	印旛都市広域市町村圏事務組合（一般会計）	291	268	23	23	-	-	-	
8	印旛都市広域市町村圏事務組合（水道用水供給事業会計）	3,579	2,973	606	1,734	59	3,290	3	
9	長門川水道企業団	617	508	109	648	7	1	0	
10	印西地区衛生組合	210	204	6	6	-	141	25	
11	印旛利根川水防事務組合	13	12	1	0	1	-	-	
12	印西地区環境整備事業組合（一般会計）	2,571	2,403	168	168	0	319	26	
13	印西地区環境整備事業組合（墓地事業特別会計）	191	182	9	9	0	190	-	
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				18,958		3,941	54	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	980,757	954,645	918,988	23.7
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-
準元利償還金				
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	116,202	105,673	98,757	2.5
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	71,257	62,544	31,168	0.8
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	6,830	6,830	6,830	0.2
一時借入金の利子	-	-	-	-
合計	(A) 1,175,046	1,129,692	1,055,743	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
PF事業に係るもの	-	-	-	-
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-
利子補給に係るもの	6,830	6,830	6,830	0.2
特定財源の額	(B) 115,479	106,023	95,029	
標準財政規模	(C) 4,562,840	4,537,014	4,453,804	
算入公債費等の額	(D) 562,965	559,868	569,069	
	(C)－(D) 3,999,875	3,977,146	3,884,735	
実質公債費比率	(単年度) 12.4	11.7	10.1	
((A)－(B)＋(D))／((C)－(D))×100	(3ヵ年平均) 13.5	12.7	11.3	

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
将来負担額	8,132,844	8,026,902	7,939,157	204.4
一般会計等に係る地方債の現在高	88,784	280,401	385,501	9.9
債務負担行為に基づく支出予定額	1,800,454	1,660,050	1,495,527	38.5
公営企業債等繰入見込額	115,056	67,896	53,317	1.4
組合等負担等見込額	1,236,621	1,430,304	1,350,691	34.8
退職手当負担見込額	-	-	-	-
設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
連結実質赤字額	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
合計	(E) 11,373,759	11,465,553	11,224,193	
充当可能財源等	1,063,089	1,179,554	1,221,411	31.4
充当可能特定歳入	1,482,761	1,417,079	1,331,201	34.3
基準財政需要額算入見込額	6,449,571	6,611,187	6,510,590	167.6
合計	(F) 8,995,421	9,207,820	9,063,202	
将来負担比率((E)－(F))／((C)－(D))×100	59.4	56.7	55.6	

健全化判断比率	平成26年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	15.00	20.00
連結実質赤字比率	-	20.00	30.00
実質公債費比率	11.3	25.0	35.0
将来負担比率	55.6	350.0	

企業債等繰入見込額	公共下水道事業特別会計	1,800,454	1,660,050	1,495,527	38.5
	その他の会計	-	-	-	-
公社・三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-
	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県栄町

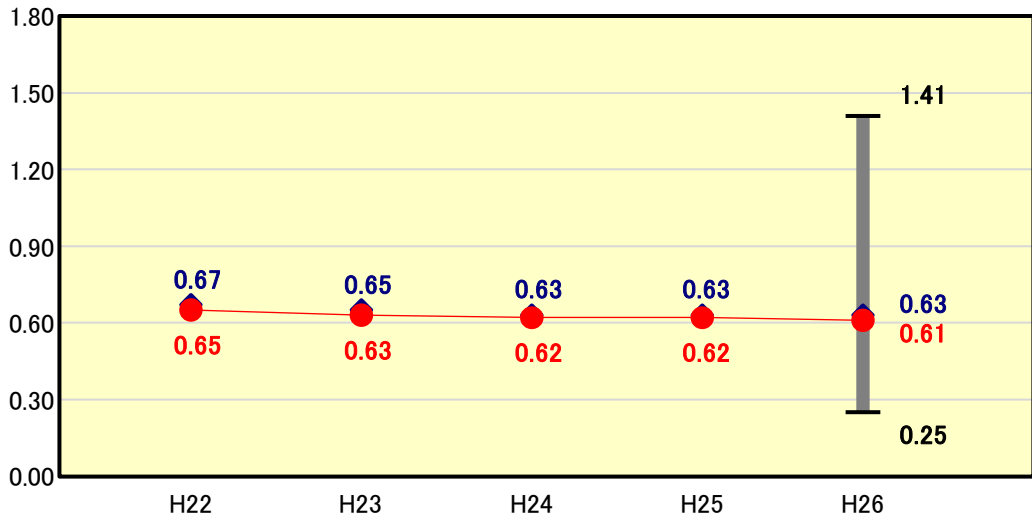
人口	21,731	人(H27.1.1現在)			
うち日本人	21,554	人(H27.1.1現在)			
面積	32.51	km ²	実質赤字比率	-	%
歳入総額	7,481,983	千円	連結実質赤字比率	-	%
歳出総額	7,355,711	千円	実質公債費比率	11.3	%
実質収支	119,781	千円	将来負担比率	55.6	%
標準財政規模	4,453,804	千円	市町村類型	H22 V-2 H23 V-2 H24 V-2	
地方債現在高	7,939,157	千円	(年度毎)	H25 V-2 H26 V-2	



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.61]



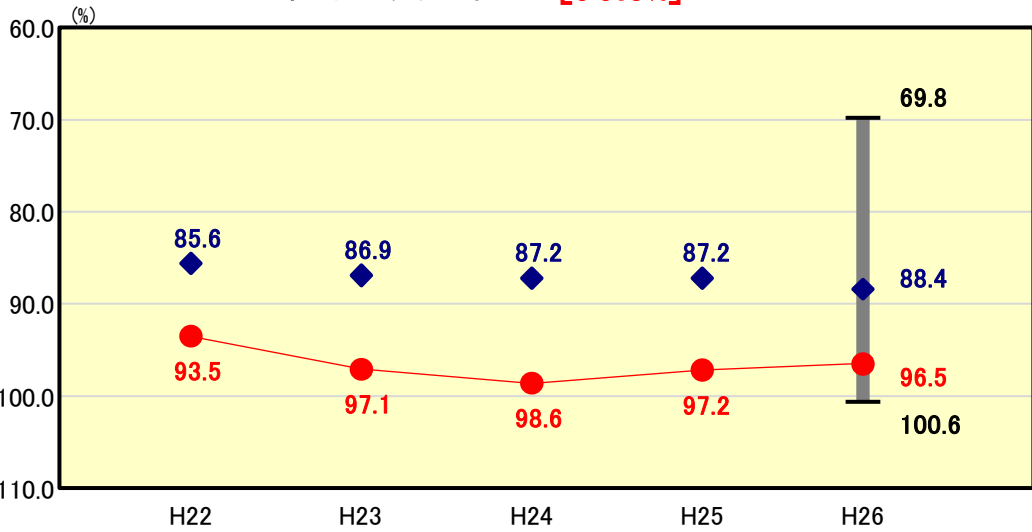
類似団体内順位 73/138 全国平均 0.49 千葉県平均 0.71

財政力指数の分析欄

基準財政収入額は、景気の低迷や生産年齢人口の減少等に伴い町税(個人所得割、法人税割)が減収となったこと等が影響し減少している。また、基準財政需要額についても、道路橋りょう費、小学校費、清掃費の事業費補正等が影響し減少しているところであるが、指数としては前年度比0.01ポイント低下し緩やかな下降傾向にある。今後も高齢化の進展及び生産年齢人口の減少等による町税の減収傾向が続くことが予想されるため、定住・移住の促進に向けた施策や駅前の活性化対策により、まちの活力の源である人口の減少を食い止めつつ、財政基盤の強化に取り組んでいく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [96.5%]



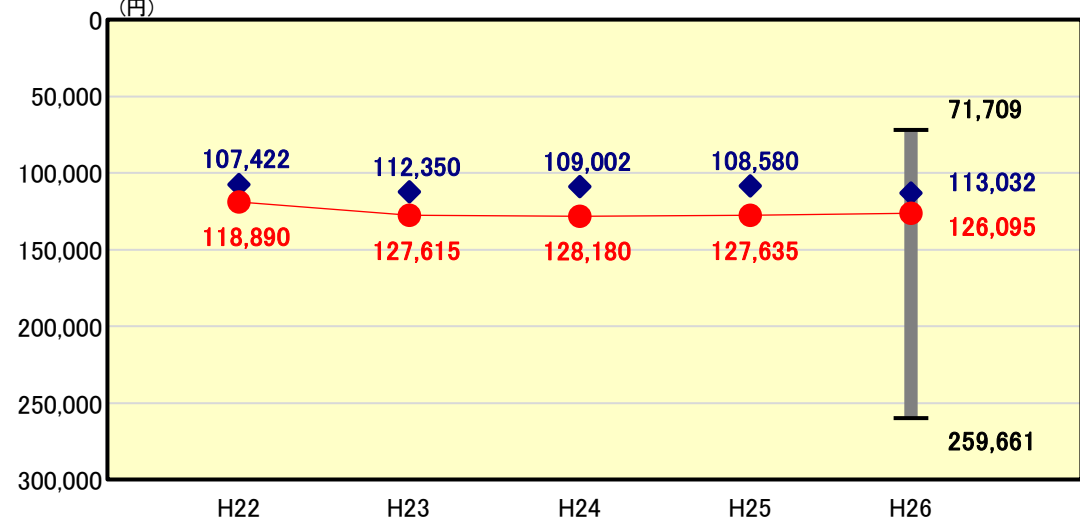
類似団体内順位 122/138 全国平均 91.3 千葉県平均 92.4

経常収支比率の分析欄

前年度と比較すると0.7ポイント好転しているが、類似団体平均値と比較すると8ポイント上回り、依然として財政構造の弾力性が硬直化していることが示されている。
この要因は、経常経費の人件費や公債費等への一般財源からの負担比率が高いことによるものであるため、定員適正化計画による人件費の削減や、投資的経費の可能な限りの抑制による公債費の削減を進めているところであるが、今後も、定住・移住の促進や地域経済の活性化、徴収率の向上等による自主財源の確保に努めるとともに、経常的経費の削減に取り組んでいく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [126,095円]



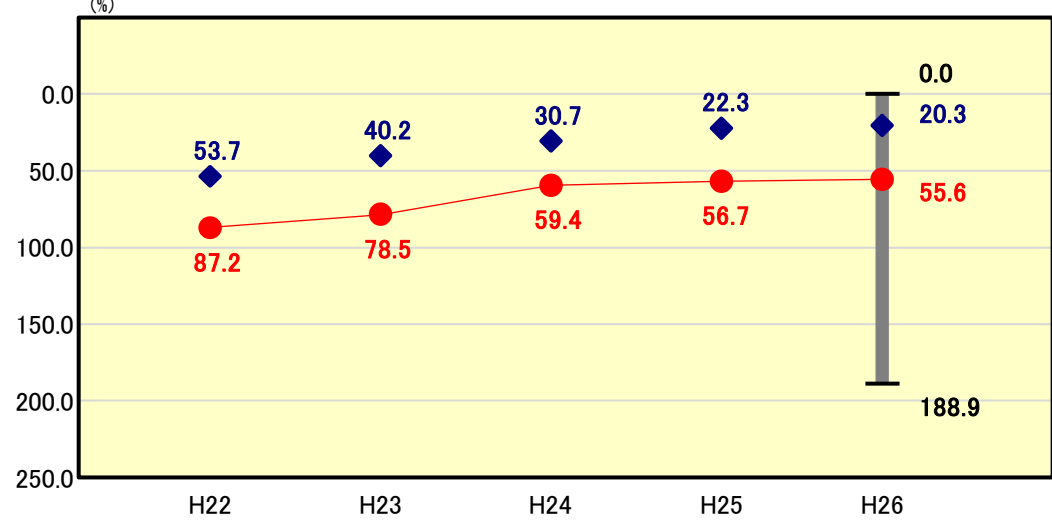
類似団体内順位 101/138 全国平均 119,984 千葉県平均 109,993

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

前年度と比較すると、人件費は職員数の減員分を上回る給与改定分や退職手当負担金などが増となり、全体では増額となったものの、委託費、備品購入費の減により物件費が減額となったため、一人当たりの決算額では1540円減少している。しかしながら、宅地開発に伴う人口の急増による行政需要の増大に対応するための職員の大量採用や単独消防本部業務などを要因として、類似団体平均と比較すると13,063円上回っている。今後も職員の年齢構成のバランスなども考慮しつつ、退職者に対する新規採用職員の抑制を基本として人件費の削減に努めるとともに、内部管理に要する経費については必要最小限度に止めるなど、物件費の抑制に取り組んでいく。

将来負担の状況

将来負担比率 [55.6%]



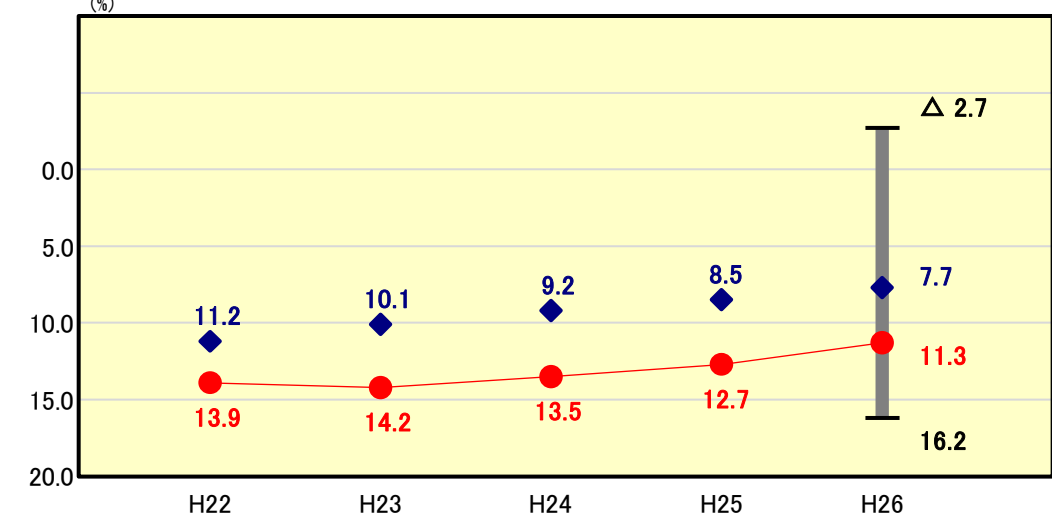
類似団体内順位 95/138 全国平均 45.8 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

前年度と比較すると1.1ポイント好転しているが、昭和50年代からの宅地開発に伴う社会資本整備に加え、義務教育施設整備や文化施設整備などの公債費負担が依然として重く、類似団体平均値と比較すると35.3ポイント上回っている。
今後も、地方債の新規発行を極力抑制しながら残高の削減に努め、将来負担の圧縮に努めていく。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [11.3%]



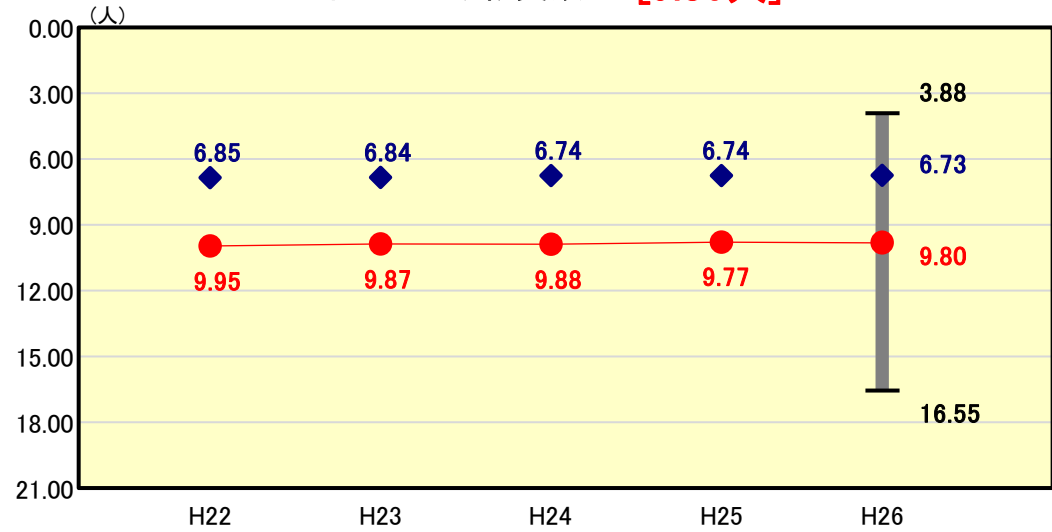
類似団体内順位 114/138 全国平均 8.0 千葉県平均 7.2

実質公債費比率の分析欄

前年度と比較すると1.4ポイント好転しているが、その要因は、新規借入額の抑制により公債費が減少したことに加え、一部事務組合等が借入れている地方債に対する一般会計負担額が減少したことによるものである。
しかしながら、昭和50年代からの宅地開発に伴う社会資本整備に加え、義務教育施設整備や文化施設整備などの公債費負担が依然として重く、類似団体平均値と比較すると3.6ポイント上回っている。
今後も地方債の新規発行を極力抑制しながら残高の削減に努め、将来負担の圧縮に努めていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [9.80人]



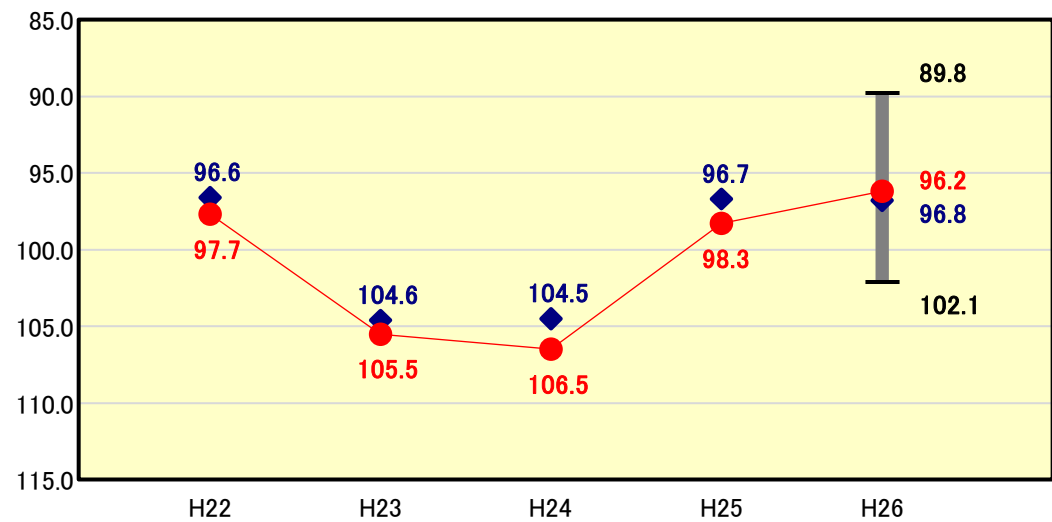
類似団体内順位 125/138 全国平均 6.96 千葉県平均 6.64

人口千人当たり職員数の分析欄

職員数については、新規採用職員を抑制するなど定員適正化計画の着実な実行により減少しているものの、人口の減少率が大きいため前年度と比較し数値が下降している。
今後も定員適正化計画に基づき、職員の年齢構成のバランスなども考慮しつつ、退職者に対する新規採用職員の抑制を基本として、類似団体平均の水準まで職員数を削減することを目標に、より適切な定員管理に努めていく。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [96.2]



類似団体内順位 56/138 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

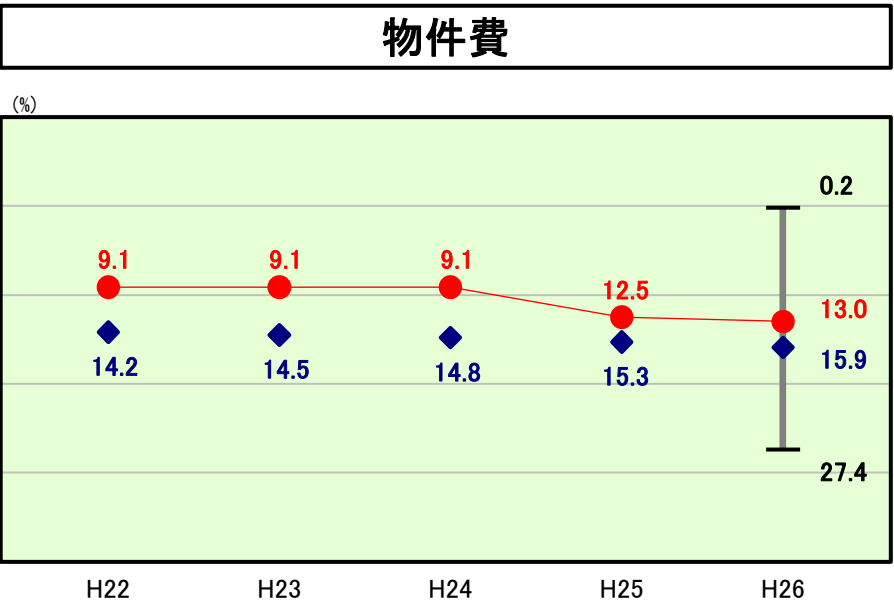
国家公務員同様、給与の総合的見直しを行うとともに、地域手当の支給割合の見直し等による給与費の増嵩に対応するため、平成27年4月1日の通常昇給を1号級抑制(4号級昇給のところ3号級)したため、指数が低下している。
今後も、引き続き給与の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人	口	21,731	人(H27.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%			
うち	日 本	21,554	人(H27.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率			
面	積	32.51	km ²	実	質	公	債	費	比	率	11.3 %			
歳	入 総 額	7,481,983	千円	将	来	負	担	比	率	55.6 %				
歳	出 総 額	7,355,711	千円	市	町	村	類	型	H22	V-2	H23	V-2	H24	V-2
実	質 収 支	119,781	千円	(	年	度	毎	)	H25	V-2	H26	V-2		
標	準 財 政 規 模	4,453,804	千円											

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



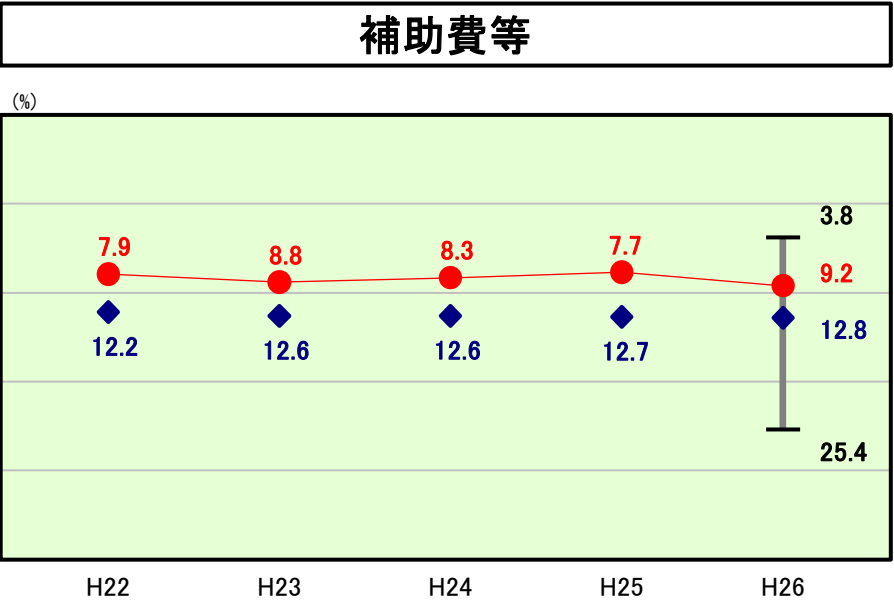
類似団体内順位 35/138 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

物件費の分析欄

物件費に係る経常収支比率は、類似団体平均値と比較すると2.9ポイント低い状況にある。

これは、公共用地管理業務を出来る限り職員対応とし委託費の削減に努めてきたことや、内部管理に要する経費については必要最小限度に止めるなどの削減を図ってきたことが主な要因となっている。

今後も業務の効率化を一層推進し、物件費の抑制に努めていく。



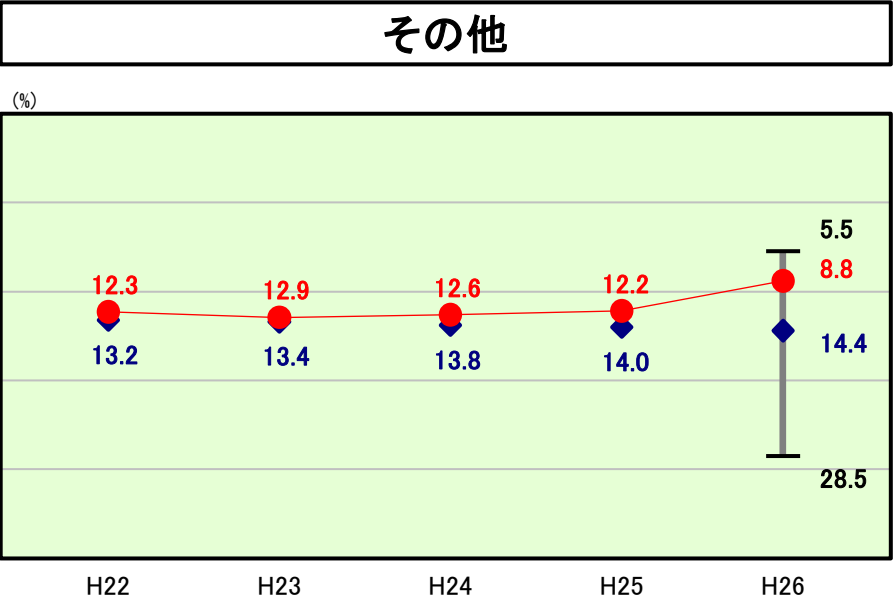
類似団体内順位 26/138 全国平均 10.1 千葉県平均 7.7

補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は、類似団体平均値と比較すると3.6ポイント低い状況にある。

これは、消防業務が町単独の常備消防のため、類似団体に比べ一部事務組合への負担金が少ないことなどが主な要因となっている。

今後も一部事務組合における事業経費の精査などを一層推進し、補助費等の抑制に努めていく。



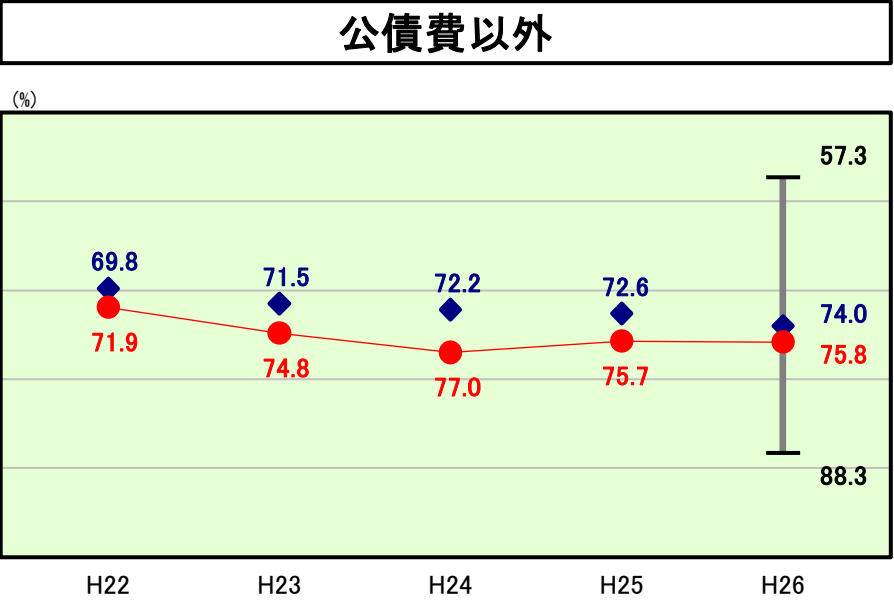
類似団体内順位 5/138 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

その他経費に係る経常収支比率は、前年度と比較すると3.4ポイント好転しており、類似団体平均値と比較すると5.6ポイント低い状況にある。

これは、高齢化の進展に伴って後期高齢者療養給付費などが増加したものの、公共下水道事業特別会計などの事業経費の精査に努め、繰出金の増加を抑制したことなどが主な要因と考えられる。

今後も医療・介護保険等への繰出金の増加傾向が予想されるため、引き続き各特別会計の事業経費の精査に努めていく。

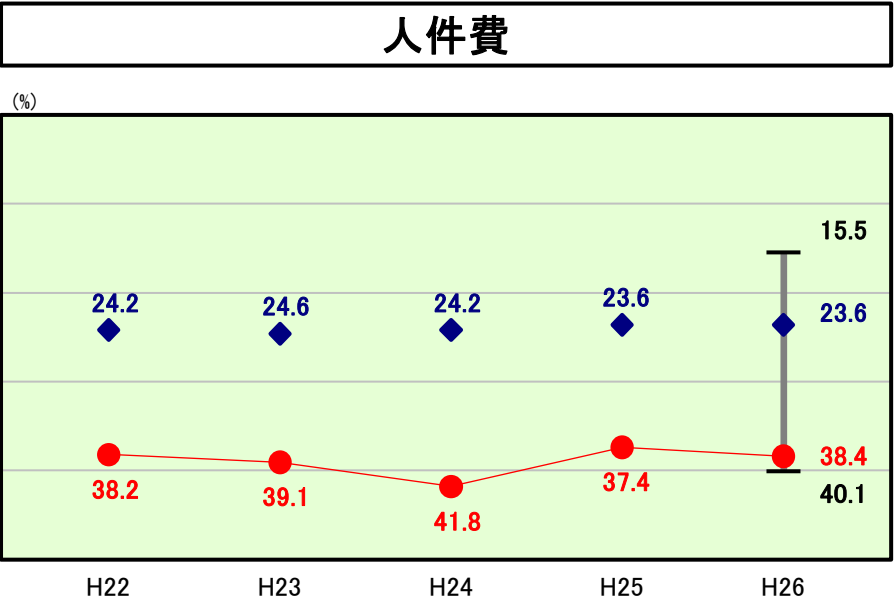


類似団体内順位 79/138 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率が類似団体平均値を上回っているのは、特に人件費の水準が高いことによるものであることから、今後も将来の職員の年齢構成のバランスなども考慮しつつ、退職者に対する新規採用職員の抑制を基本として人件費の削減に取り組んでいく。

また、高齢化の進展及び生産年齢人口の減少による税収の落ち込みとともに、社会保障費の増加が予想されることから、生産年齢人口の増加を図り自主財源を確保するため、定住・移住の促進に向けた施策を展開していく。

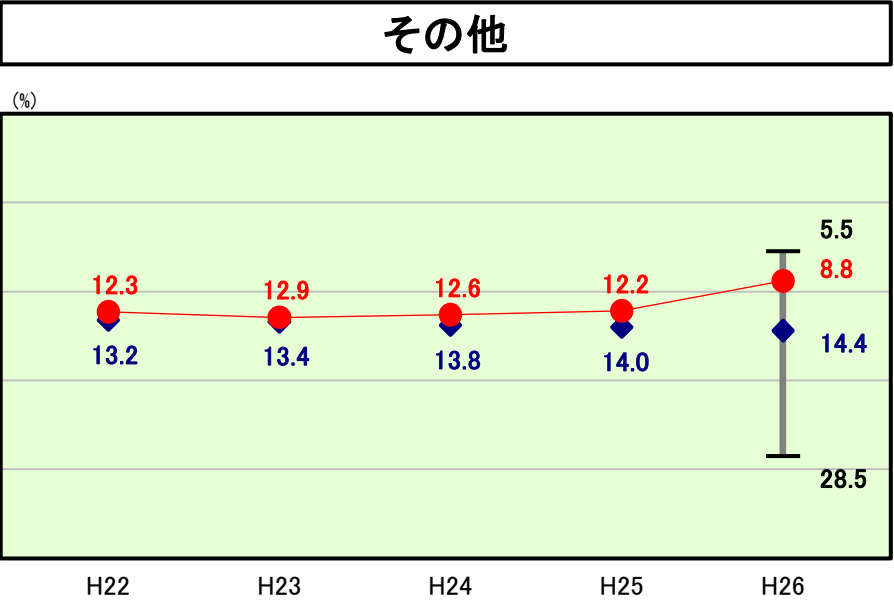


類似団体内順位 137/138 全国平均 23.8 千葉県平均 27.2

人件費の分析欄

職員数が類似団体と比較して高いために、経常収支比率の人件費分が平均値と比較すると14.8ポイント高くなっており、これは宅地開発に伴う人口の急増などによる行政需要の増大に対応するための職員の大量採用や直営での消防業務が主な要因と考えられる。

今後も将来の職員の年齢構成のバランスなども考慮しつつ、退職者に対する新規採用職員の抑制を基本として人件費の削減に取り組んでいく。



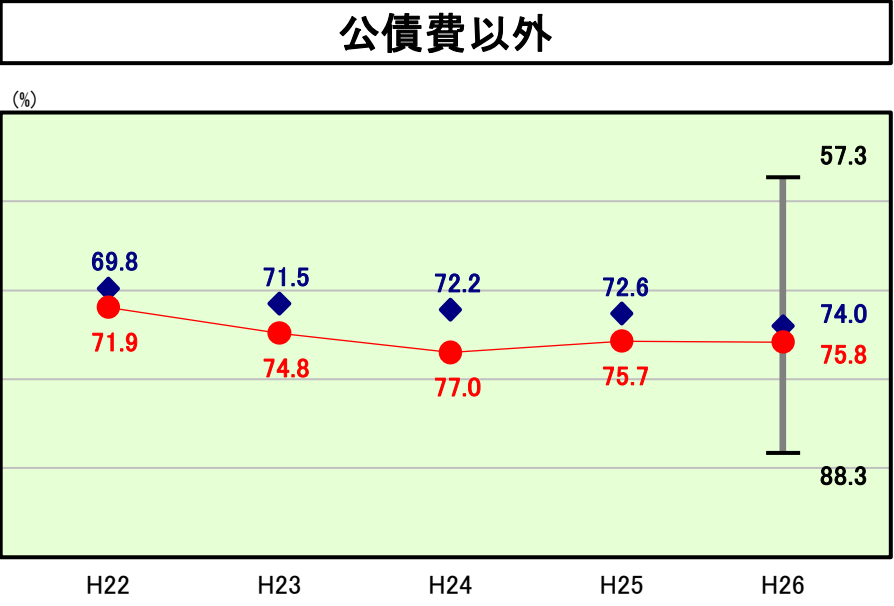
類似団体内順位 5/138 全国平均 13.2 千葉県平均 12.0

その他の分析欄

その他経費に係る経常収支比率は、前年度と比較すると3.4ポイント好転しており、類似団体平均値と比較すると5.6ポイント低い状況にある。

これは、高齢化の進展に伴って後期高齢者療養給付費などが増加したものの、公共下水道事業特別会計などの事業経費の精査に努め、繰出金の増加を抑制したことなどが主な要因と考えられる。

今後も医療・介護保険等への繰出金の増加傾向が予想されるため、引き続き各特別会計の事業経費の精査に努めていく。

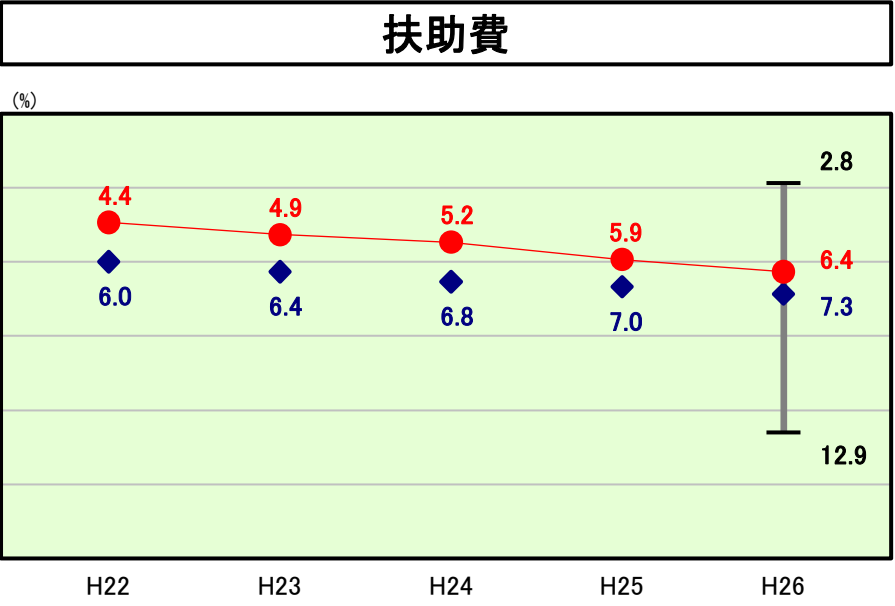


類似団体内順位 79/138 全国平均 73.1 千葉県平均 76.7

公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率が類似団体平均値を上回っているのは、特に人件費の水準が高いことによるものであることから、今後も将来の職員の年齢構成のバランスなども考慮しつつ、退職者に対する新規採用職員の抑制を基本として人件費の削減に取り組んでいく。

また、高齢化の進展及び生産年齢人口の減少による税収の落ち込みとともに、社会保障費の増加が予想されることから、生産年齢人口の増加を図り自主財源を確保するため、定住・移住の促進に向けた施策を展開していく。

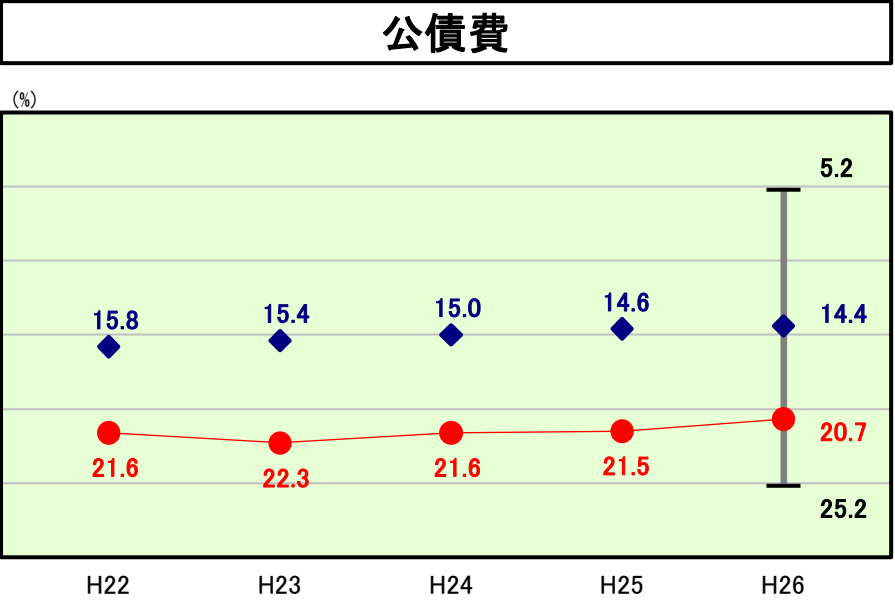


類似団体内順位 50/138 全国平均 11.7 千葉県平均 11.7

扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、類似団体平均値と比較すると低い水準にあるが、高齢化の進展や生産年齢人口の減少による町税収入額が減少しているため、数値は上昇傾向にある。

今後も生産年齢人口の減少などによる税収の落ち込みとともに、町単独の子ども・子育て支援施策等に係る社会保障関係費の増加が予想されるため、上昇傾向は避けられないところであるが、自主財源の確保を図るべく、定住・移住の促進に向けた施策を展開していく。



類似団体内順位 130/138 全国平均 18.2 千葉県平均 15.7

公債費の分析欄

公債費に係る経常収支比率は、前年度と比較すると0.8ポイント好転しているが、昭和50年代からの宅地開発に伴う社会資本整備に加え、義務教育施設整備や文化施設整備などの公債費負担が依然として重く、類似団体平均値と比較すると6.3ポイント上回っている。

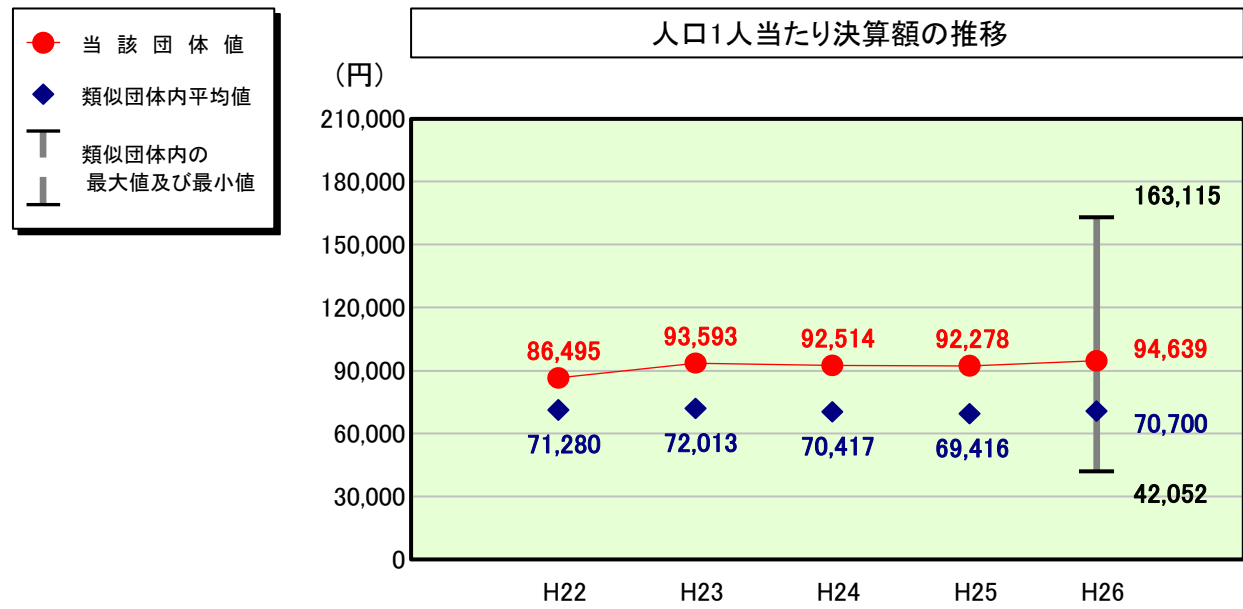
今後も地方債の新規発行を極力抑制しながら残高の削減に努め、将来負担の圧縮に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県栄町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



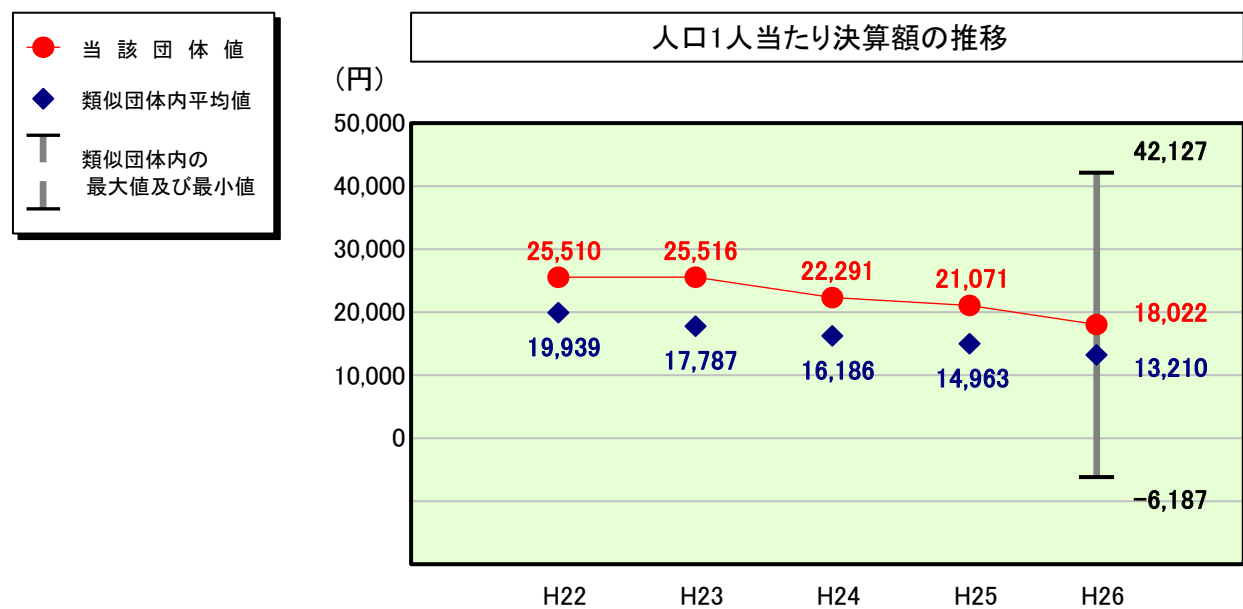
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,799,894	82,826	59,313	39.6
賃金 (物件費)	76,329	3,512	5,376	▲ 34.7
一部事務組合負担金 (補助費等)	61,211	2,817	7,786	▲ 63.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	131	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	84,463	3,887	2,777	40.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	77,150	3,550	1,317	169.6
▲退職金	▲ 42,438	▲ 1,953	▲ 6,006	▲ 67.5
合計	2,056,609	94,639	70,700	33.9

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	9.80	6.73	3.07
ラスパイレス指数	96.2	96.8	▲ 0.6

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

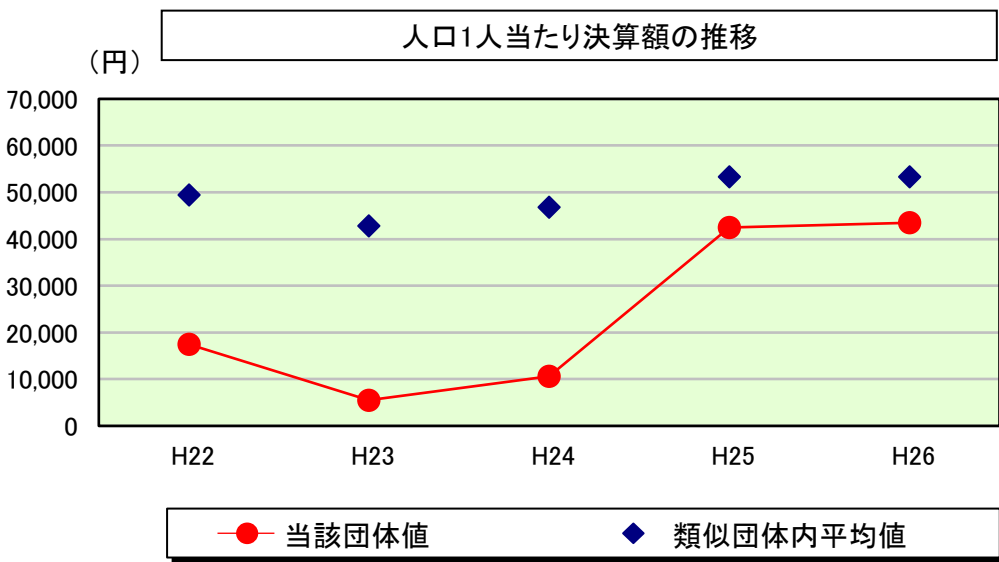


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	918,988	42,289	33,640	25.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	98,757	4,545	10,374	▲ 56.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	31,168	1,434	2,665	▲ 46.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	6,830	314	1,343	▲ 76.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 95,029	▲ 4,373	▲ 3,110	40.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 569,069	▲ 26,187	▲ 31,707	▲ 17.4
合計	391,645	18,022	13,210	36.4

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

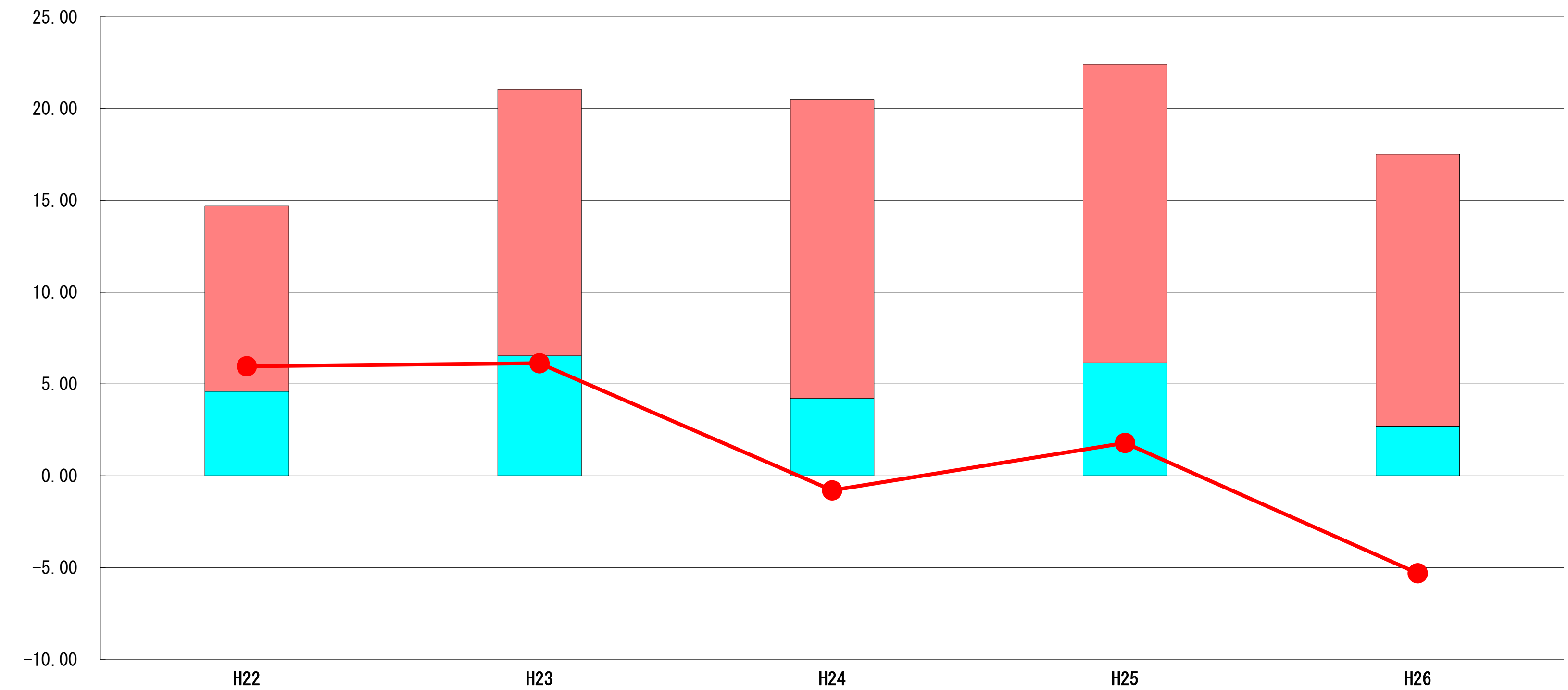
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	399,873	17,523	▲ 46.1	49,426	4.6	▲ 50.7
うち単独分	261,678	11,467	29.5	26,568	▲ 4.6	34.1
H23	123,813	5,507	▲ 68.6	42,839	▲ 13.3	▲ 55.3
うち単独分	90,713	4,035	▲ 64.8	22,027	▲ 17.1	▲ 47.7
H24	236,883	10,633	93.1	46,819	9.3	83.8
うち単独分	162,776	7,307	81.1	24,121	9.5	71.6
H25	934,802	42,470	299.4	53,270	13.8	285.6
うち単独分	179,526	8,156	11.6	24,316	0.8	10.8
H26	944,888	43,481	2.4	53,292	0.0	2.4
うち単独分	222,648	10,246	25.6	28,900	18.9	6.7
過去5年間平均	528,052	23,923	56.0	49,129	2.9	53.1
うち単独分	183,468	8,242	16.6	25,186	1.5	15.1

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

千葉県栄町

標準財政規模比（％）



		標準財政規模比（％）				
区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高		10. 10	14. 51	16. 29	16. 25	14. 82
実質収支額		4. 60	6. 54	4. 21	6. 16	2. 69
実質単年度収支		5. 96	6. 13	▲ 0. 79	1. 79	▲ 5. 31

分析欄

実質収支額については、町の基幹収入である町税の収納率向上対策、定員適正化計画に基づく新規採用職員の抑制を基本とした人件費の削減、既存公共施設の有効活用、投資的経費及び町債の新規借入れ抑制などの経費削減に努めていることにより、黒字を確保している。今後も高齢化の進展及び生産年齢人口の減少等による町税の減収傾向が続くことが予想されるため、定住・移住の促進に向けた施策を展開し、まちの活力の源である人口の減少を食い止めるとともに、産業活性化による雇用の拡大や町民の就業支援対策などに取り組み、財政基盤の強化を図る。

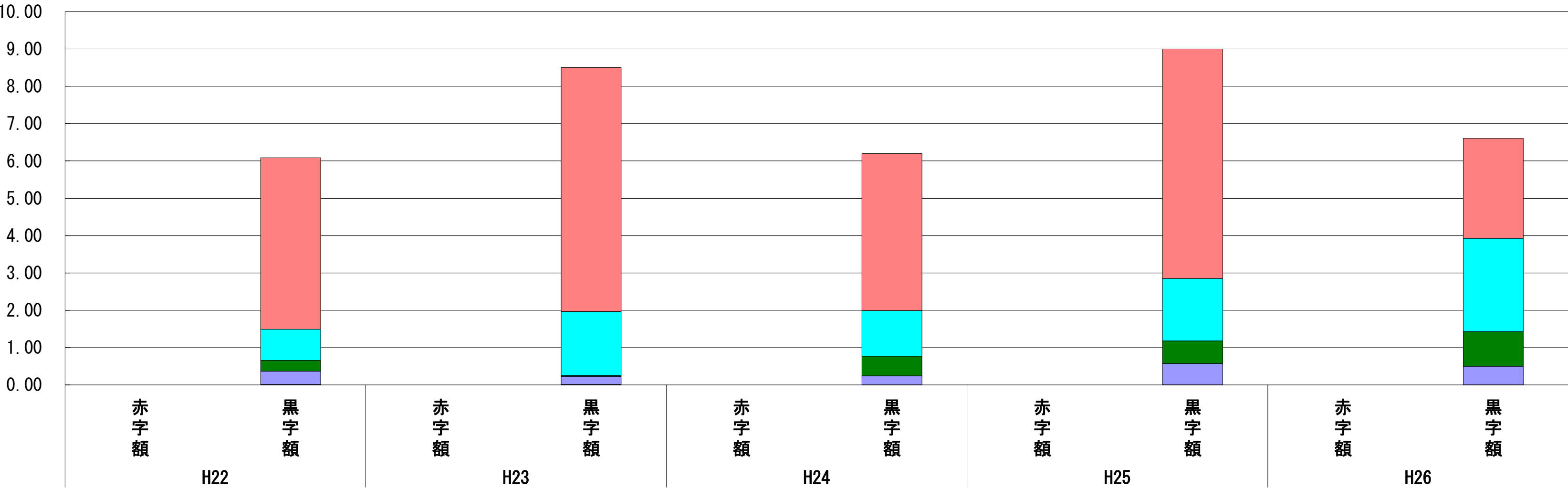
財政調整基金については、取り崩しの抑制と着実に積立て、引き続き適正な残高の確保に努めていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

千葉県栄町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H22	H23	H24	H25	H26
会計						
一般会計		4.60	6.54	4.21	6.15	2.68
国民健康保険特別会計		0.83	1.71	1.22	1.67	2.50
介護保険特別会計		0.29	0.02	0.53	0.61	0.93
公共下水道事業特別会計		0.36	0.22	0.24	0.57	0.50
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.01	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	-	-	-	-

分析欄

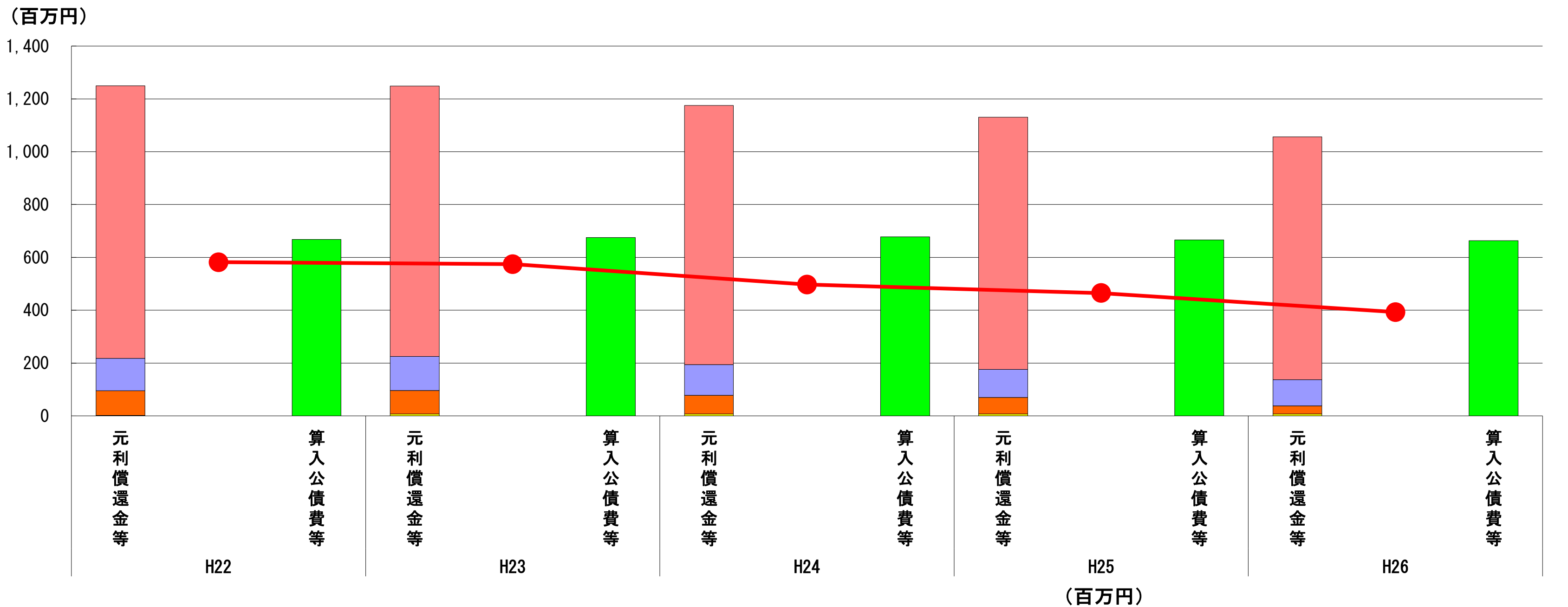
一般会計及び特別会計の実質赤字比率は黒字で推移している。
今後も高齢化の進展及び生産年齢人口の減少等による町税の減収傾向が続くことが予想されるため、定住・移住の促進に向けた施策を展開し、まちの活力の源である人口の減少を食い止めるとともに、産業活性化による雇用の拡大や町民の就業支援対策などに取り組み、財政基盤の強化を図る。
また、医療・介護の給付費増加に伴い、特別会計への繰出金の増加が予想されるため、各事業会計の経営安定に努め、一般会計からの繰出金の抑制を図る。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県栄町



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,032	1,024	981	955	919
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		123	129	116	106	99
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		93	89	71	63	31
	債務負担行為に基づく支出額		2	7	7	7	7
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		668	675	678	666	663
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		582	574	497	465	393

分析欄

実質公債費比率の分子は、平成21年度以降減少傾向で推移している。

これは、近年既存公共施設の有効活用などにより、投資的経費を可能な限り抑制し、また、公的資金補償金免除繰上償還制度を活用しての低利資金への借換えなどにより、一般会計における元利償還金が減少していることや、一部事務組合への地方債負担額等が減少したためである。

今後も、投資的経費の抑制などに継続して取り組み、公債費負担の圧縮に努めていく。

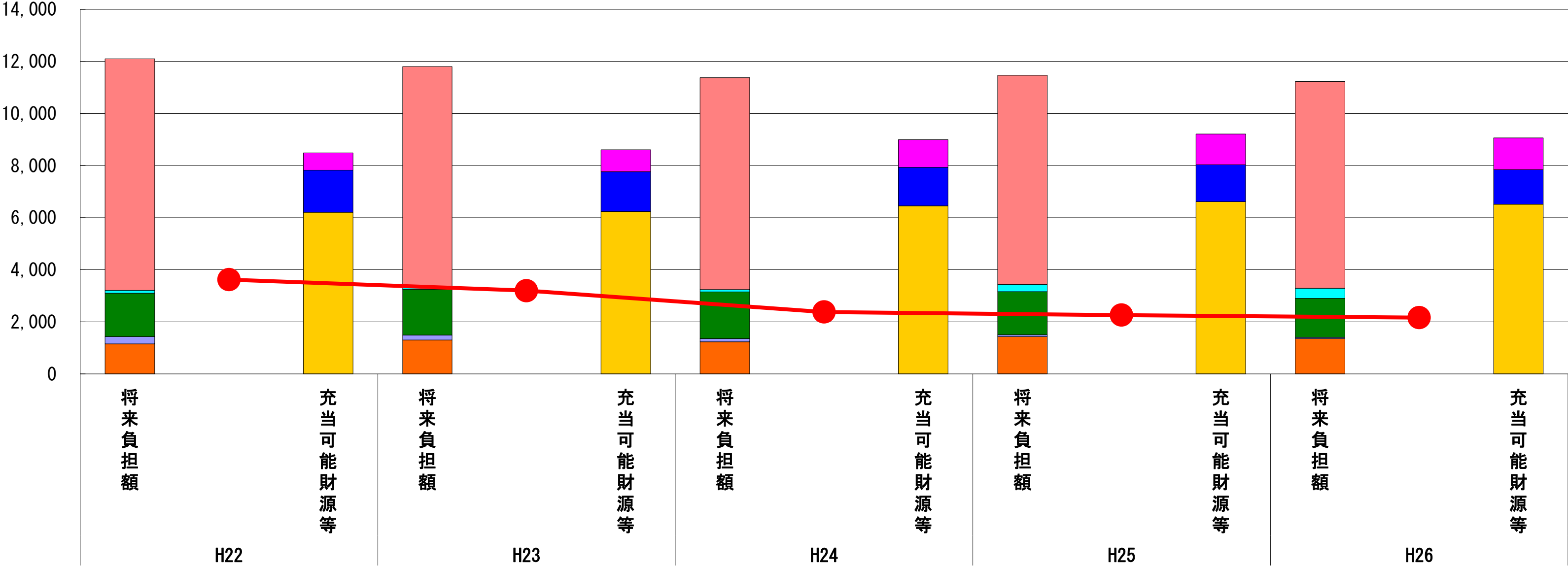
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

千葉県栄町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		8,900	8,467	8,133	8,027	7,939
	債務負担行為に基づく支出予定額		102	96	89	280	386
	公営企業債等繰入見込額		1,666	1,754	1,800	1,660	1,496
	組合等負担等見込額		287	191	115	68	53
	退職手当負担見込額		1,149	1,298	1,237	1,430	1,351
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		661	844	1,063	1,180	1,221
	充当可能特定歳入		1,618	1,533	1,483	1,417	1,331
	基準財政需要額算入見込額		6,206	6,234	6,450	6,611	6,511
(A) - (B)		将来負担比率の分子	3,619	3,195	2,378	2,258	2,161

分析欄

将来負担比率の分子は、平成21年度以降減少傾向で推移している。
これは、町税等の減少により標準財政規模は縮小しているものの、それ以上に一般会計の地方債残高や公営企業債等繰入見込額が減少しているためである。
今後も、既存公共施設の有効活用などにより、投資的経費を可能な限り抑制し町債残高の削減に努め、将来負担の圧縮に努めていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。